

## 日本国憲法

大嶽 浩

### 【授業の概要】

日本国憲法について、その成立の事情や明治憲法との比較を通じ、現行憲法の内容と主要な問題点を講義する。憲法問題における具体的事例にもふれる。

### 【授業計画】

1. 憲法と理想
2. 憲法と法律
3. 憲法と憲法典
4. 国民の司法参加
5. 憲法の最高法規性
6. 憲法の改正

### 【評価方法】

試験とレポートによる評価。

### 【テキスト】

使用せず。プリントを配布。

### 【参考文献・資料】

授業の中で紹介する。

## 日本国憲法

初谷良彦

### 【授業の概要】

法と国家は人間のためにある。憲法は、このような法の目的と国家の責務を明らかにしようとするものである。なるべく具体的な現実の問題と関連させて説明したり、裁判例などにも触れ、憲法はわれわれの生活の中に入り込んでいる身近な、確かな存在であることを実感できるようにしたい。

### 【授業計画】

- 第1回 日本国憲法制定の経緯
- 第2回 プライバシー権
- 第3～4回 自己決定権
- 第5～6回 法の下での平等
- 第7～8回 信教の自由と政教分離
- 第9～10回 情報公開、言論・出版の自由、報道の自由
- 第11～12回 生存権、教育権、労働基本権
- 第13回 国会・内閣
- 第14回 裁判所
- 第15回 地方分権

### 【評価方法】

主として単位認定試験の成績によって評価する。

### 【テキスト】

憲法講義 I (第2版) (初谷良彦著 成文堂)

### 【参考文献・資料】

授業の際、随時紹介する。

## 民主主義と人権

初谷良彦

### 【授業の概要】

民主主義の根本原則は人権（人間としての権利）の尊重にある。人権の理想と実現が民主主義のあり方と人間の生き方に大きく影響する。民主主義の制度と仕組みについて、人権を保障する法律やその実態にふれながら、現代の課題として講義する。

### 【授業計画】

- 第1～2回 近代民主主義の思想と制度
- 第3～4回 民主主義と選挙制度
- 第5～6回 民主主義の諸問題
- 第7～8回 民主主義と議会制
- 第9～10回 死刑制度の運用（罪、罰、人権、国家）
- 第11～12回 高齢者の人権と障害者の人権
- 第13回 障害者の国務請求権
- 第14回 21世紀の平和と民主主義をめざして

### 【評価方法】

主として単位認定試験の成績によって評価する。

### 【テキスト】

概説 デモクラシーと国家 (初谷良彦他 成文堂)

### 【参考文献・資料】

講義の際、随時紹介する。

## 民主主義と人権

本 秀紀

### 【授業の概要】

日本国憲法は民主主義と人権を保障しているが、その制度と仕組みについて、人権を守る法律やその実態にふれながら、現代の課題として講義する。

### 【授業計画】

新聞報道などから、できるかぎり身近で具体的な素材を取り上げつつ、まずは現実を知り、その上で諸問題への対応を考える力を養う。

基本的には講義形式で行うが、受講生の問題関心を高めるため、適宜質疑をしたり、ビデオを観る予定である。

授業内容は現在のところ、以下の項目から適宜選択する予定だが、そのときどきのトピックによって変更もありうる。

- 1 はじめに：「民主主義と人権」って？
- 2 企業社会と人権：過労死、育児休業、労働者差別
- 3 女性と人権：ドメスティック・ヴァイオレンス、労働と女性差別
- 4 マスメディアと人権：プライバシー侵害、メディア規制立法
- 5 子どもと人権：校則・体罰、少年法、いじめ・体罰・児童虐待
- 6 医療と人権：インフォームド・コンセント、安楽死・尊厳死、代理出産
- 7 外国人と人権：参政権、出入国管理、外国人差別、難民問題
- 8 ゴミ問題と民主主義：廃棄物処分場と環境、住民投票
- 9 政治の仕組みと民主主義：選挙制度、国会・内閣、憲法改正

### 【評価方法】

学期末の筆記試験（受講者数によってはレポート）を基本とし、ビデオへの感想などを加味する。

### 【参考文献・資料】

テキストブック現代の人権〔第3版〕(川人博編著 日本評論社 2004年刊行予定)  
人権ウォッチング(前田朗 凱風社 2000年)  
ハンドブック国際化のなかの人権問題〔第3版〕(上田正昭編 明石書店 2002年)  
それぞれの人権〔第2版〕(憲法教育研究会編 法律文化社 2002年)  
など。なお、必要に応じて、講義の際に資料・レジュメ等を配布する。

## 哲学的人間論

高畑祐人

### 【授業の概要】

東西の著名な哲学者の古典的な哲学論にふれながら、現代社会がかかえる諸課題についていかに対応し、対処すべきかについて講義をする。

### 【授業計画】

今日の環境問題や生命・医療をめぐる問題は、われわれの自然への関わり方の問題でもある。自然への関わり方（実践）は「自然」の捉え方（理論）によって規定されている。自然の捉え方から、自然を捉えている人間自身のあり方を照らし出すことが出来る。そこで、この講義では西洋哲学の歴史の中の主な哲学者の思想を「自然」の概念を手がかりにして通覧する。

1. 神話的自然観—ギリシャ神話におけるプロメテウス—
2. ソクラテス以前の自然哲学
3. ソフィストとソクラテス
4. プラトン
5. アリストテレス
6. デカルト
7. カント
8. 進化論的自然観
9. エコロジー的自然観

### 【評価方法】

学期末の筆記試験あるいはレポート、授業への参加態度などで総合的に評価する。

### 【テキスト】

特に指定しない。

### 【参考文献・資料】

西洋哲学史上・下（シュベグラー 岩波文庫）  
野生の歌が聞こえる（レオポルド 講談社学術文庫）  
エマソン論文集 上（エマソン 岩波文庫）

## 宗教的人間論

梅村敏郎

### 【授業の概要】

世界には数多くの宗教があるが、現在、さまざまな問題を起こしている。宗教の持つ本来の役割と意味について、人間の生きざまという観点から講義する。

### 【授業計画】

- 1 神の「似姿」としての人間
- 2 人間と世界との関わり
- 3 礼拝と祈り—シナゴグ、教会、モスク
- 4 人類共同体
- 5 信仰と「倫理徳」
- 6 神による人間の「救済」

### 【評価方法】

評価方法は、履修者数がおおよそ判明した段階で決めるため、第1回目の授業で発表する。出席率は成績には反映させない。

### 【テキスト】

教科書は使用しない。

### 【参考文献・資料】

参考書・資料等は授業中に適宜紹介する。

## 生命倫理学

加藤太喜子

### 【授業の概要】

現代医学の進歩と発達によって、今や人間の生命の誕生と死は医学よりも倫理の問題になりつつある。「生命」を倫理や哲学の面から講義する。

### 【授業計画】

次の主な項目に従って授業を展開する。

1. 生命倫理学の成り立ち
2. インフォームド・コンセント
3. 脳死と移植医療
4. 生殖医療
5. 代理母
6. 人工妊娠中絶
7. 出生前診断
8. 優生思想とは
9. よりよい自己決定に向けて

### 【評価方法】

レポート及び期末に行う筆記試験により評価する。

### 【テキスト】

授業中に指示する

### 【参考文献・資料】

優生学と人間社会（米本昌平他著 講談社現代新書）  
クローン人間（淵川準二著 光文社新書）

## 現代社会と倫理

大野波矢登

### 【授業の概要】

民主主義社会と自由主義社会は人々に多くの権利を保障しているが、それは人々がモラルや義務を守ることを前提としている。現代社会の守るべき倫理と課題について講義する。

### 【授業計画】

授業はおもに講義形式で行なう。

1. 倫理的視点から見た現代の社会問題
2. 倫理学の概念と理論に関する若干の考察
3. 倫理学理論の応用（道徳的意思決定の方法）
4. 社会の安全性と科学技術者の責任
5. 環境倫理の主張
6. インターネット時代の倫理
7. 内部告発と社会の浄化

### 【評価方法】

期末試験と小レポート（3、4回授業時に書いてもらう予定）の成績によって評価する。

### 【テキスト】

特に指定しない

### 【参考文献・資料】

入門講義 倫理学の視座（新田孝彦著 世界思想社）  
先端技術と人間 21世紀の生命・情報・環境  
（加藤尚武著 NHKライブラリー）  
環境と倫理 自然と人間の共生を求めて（加藤尚武編 有斐閣アルマ）

## ジェンダーと社会Ⅰ

國信潤子 星山幸子 佐藤光 林かぐみ 生江明

### 【授業の概要】

この講義は、まずジェンダーとは何かについて解説し、それらが日本社会において、また開発途上国においてどのように現象化しているかを紹介するオムニバス講座である。4名の開発協力の現場で活躍する講師によって日本、フィリピン、トルコ、バングラデシュ、ネパールなどでの現場の開発協力活動を基礎にジェンダー関係の多様性を紹介する。

持続可能な開発、基本的な生活ニーズの確保、参加型開発、地域住民の意識化など、近年の開発論の理論的展開をもとにジェンダー関係の変容を考察する。

### 【授業計画】

まず、本講座のコーディネーターである國信（本学教授）がジェンダーとは何か、日本社会におけるジェンダー関係の実態、国際開発におけるジェンダー視点の展開について講じる。次に生江明（日本福祉大学教授）による国際統計にみるジェンダー格差の意味を参加型小グループ討議で読み取り、発表、討議する。第三番目の講師は星山幸子（金城学院大学講師）によってトルコ南東部アナトリア地方の縮小女性労働者の生活実態とイスラム農村社会にみるジェンダー規範を紹介する。第四番目の講師はアジア保健研修所（AHI）の佐藤光医師および、林かぐみ研究員によって愛知県日進市にある国際的なNGOであるAHIの活動、つまりアジア諸国で実施されている保健リーダーの参加型学習による医療・保健、ジェンダー平等化の促進活動を紹介する。

各講師が3・4回ずつ講義を行うリレー講義である。大半は講義形式である。必要に応じて、小グループ討議、ビデオ視聴なども取り入れる。

### 【評価方法】

期末レポート、出席状況、履修態度、感想カード内容などの総合評価による。

### 【テキスト】

資料配布

### 【参考文献・資料】

開発とジェンダー（田中他 国際開発事業団出版 刊 2001年）

## 女性学・男性学

井深淳子

### 【授業の概要】

男女についての定説化した知識、それによって生まれた役割、人格の内部に及ぶ性別化の影響とその結果生まれる病理などについて、事例や理論を紹介して講義する。

### 【授業計画】

- 第1回 はじめに
- 第2～5回 家族・結婚
- 第6～9回 子育て
- 第10～11回 現代の病巣
- 第12～13回 女性が働き続けること

### 【評価方法】

期末試験、講義時に行う課題や、受講態度等、総合的に評価する。

### 【テキスト】

女性学への招待（新版）（井上輝子著 有斐閣）

テキストとともに、講義中に適宜配布する関連資料を用いてすすめる。

## ジェンダーと社会Ⅱ

中島美幸 山下智恵子

### 【授業の概要】

ジェンダーの観点から文学作品を分析することによって、〈女/男〉の規範がどのようにテキストにおりこまれていたかを読み解き、さらにテキストがどれほど現実の女と男の生と性を規定してきたかを検証する。（オムニバス方式）

（中島美幸兼任講師）「女性の表現」の観点から日本文学を歴史的に跡づける。特に近代以降の女性表現については外国の女性文学と比較しつつ読み解いていく。

（山下智恵子兼任講師）現代の文学作品を中心に、家族、母娘などの人間関係を、ジェンダーの視点から検証する。

### 【授業計画】

- 第1回 オリエンテーション
  - 第2回 〈ことば〉とジェンダー
  - 第3回 〈書く女〉の登場（1）
  - 第4回 〈書く女〉の登場（2）
  - 第5回 女性を描く男性作家のまなざし（1）
  - 第6回 女性を描く男性作家のまなざし（2）
  - 第7回 母と娘の物語（1）
  - 第8回 母と娘の物語（2）
  - 第9回 家族の物語
  - 第10回 文学の政治性
  - 第11回 文学と映像文化
  - 第12回 まとめ
- \*内2回は山下智恵子担当。他は中島美幸担当。

### 【評価方法】

出席状況、毎回の感想、学期末のレポートを総合して評価する。

### 【テキスト】

なし。随時、プリントを配布する。

### 【参考文献・資料】

講義の中でその都度紹介する。

## 女性学・男性学

中村正

### 【授業の概要】

男女についての定説化した知識、それによって生まれた役割、人格の内部に及ぶ性別化の影響とその結果生まれる病理などについて、事例や理論を紹介して講義する。

### 【授業計画】

一日3コマを4日間にわたりおこなう。担当者の専門が社会病理学・臨床社会学・男性研究なので、そうした領域での主題をとりあげることが多い。

- 第1日目 男性学研究の背景・現実・課題  
—日本社会の現実とかかわって—
- 第2日目 男性学研究の方法・内容・理論  
—国際的な研究動向ともかかわって—
- 第3日目 男性学研究の応用・展開  
—ドメスティック・バイオレンス問題を素材に—
- 第4日目 ジェンダー研究と男性学研究の今後（最終コマにレポート）

### 【評価方法】

最終日のレポートで評価する。

### 【テキスト】

第1日目のテーマについては、「男らしさ」からの自由（中村 かもがわ出版）、第3日目のテーマについては、ドメスティック・バイオレンスと家族の病理（中村 作品社）。

### 【参考文献・資料】

講義で配布したり、具体的に紹介したりする。

## 女性学・男性学

竹信三恵子

### 【授業の概要】

男女についての定説化した知識やその内面化が日本の戦後の経済政策や働き方に及ぼした影響を、新聞記者としての体験やマスメディアの検証から明らかにし、これらが産んだ社会病理をどう克服するかを考える。

### 【授業計画】

下記テキスト、当日配布の記事の切り抜きなどの資料、ビデオを利用しつつ、グループ討議も交えて講義する。

1. 戦後経済政策を男女分業はどう支えたか（前半）～高度経済成長から男女雇用機会均等法
2. 戦後経済政策を男女分業はどう支えたか（後半）～バブル経済の崩壊から男女共同参画社会基本法
3. 男女分業主義の浸透とマスメディアの役割～戦後経済政策の背骨となった男女分業主義に新聞報道はどう関わったかを検証。
4. 戦後の男女分業の乗り越え～マスメディア報道からは見えにくい現実の男女関係の変化とこれに見合った新しい働き方の展望。

### 【評価方法】

出席状況と簡単なレポートなどによる。

### 【テキスト】

『家事』の値段とは何か  
(久場嬉子・竹信三恵子著 岩波ブックレット 1999年)

### 【参考文献・資料】

ジェンダーから見た新聞のうら・おもて～新聞女性学入門 (田中和子・諸橋泰樹著 現代書館 1996年)、ワークシェアリングの実像～雇用の分配か、分断か (竹信三恵子著 岩波書店 2003年)

## 大衆文化論

鈴木 互

### 【授業の概要】

現在は大衆化社会と言われ、文化にもまた大衆に愛され、大衆に浸透したものが社会で高い地位を占めている。大衆化社会の中で流行しているさまざまな文化について考察し講義する。

### 【授業計画】

記号空間論に基づいて、自然・身体・言語・制度の観点から大衆文化についてアプローチしたい。

- 1 自然：野球、パチンコなど。
- 2 身体：舞踊、ライブ、ロックなど。
- 3 言語：コマーシャル、落語、漫才、小説、マンガ、メールなど。
- 4 制度：演劇、映画、ゲームなど。

なお、最初に記号分析に慣れるために、コマーシャルの分析から始めたい。

### 【評価方法】

出席、受講態度、提出物によって総合的に評価する。

### 【テキスト】

未定

### 【参考文献・資料】

必要に応じて、授業中に指示する。

## 暮らしの法律

辻田芳幸

### 【授業の概要】

日本は法治国家であり、したがって国家は法律によって運営され、身近な生活も法によって守られている。本講義では日常生活の中で法律がどのように働いているか、具体例をあげて講義する。

### 【授業計画】

- 第1回 導入
- 第2回 Web上の著作物利用と著作権
- 第3回 Webへの写真掲載と肖像権
- 第4回 インターネット上の名誉毀損(1)
- 第5回 インターネット上の名誉毀損(2)
- 第6回 オンラインショッピングと契約法(1)
- 第7回 オンラインショッピングと契約法(2)
- 第8回 インターネット犯罪(1)
- 第9回 インターネット犯罪(2)
- 第10～12回 その他の問題点

### 【評価方法】

出席状況、試験の結果などを総合的に考慮する

## 文化人類学

三木 誠

### 【授業の概要】

人間は無意識のうちに自然に生れ育った文化からさまざまな影響を受けている。世界中の社会に見られるさまざまな文化的事象を、できるだけ多くの事例をあげて講義する。

### 【授業計画】

以下のようなテーマで講義を行う。それぞれのテーマを総合的に理解するのに不可欠な概念や用語の解説と、テキスト、プリント等を利用した事例研究が主になる。異文化に対する興味や好奇心を喚起するためにVTR資料なども活用する。

1. 文化
2. 性別と社会
3. 婚姻と家族
4. 交換と人間関係
5. 宗教と信仰
6. 民族と国家

### 【評価方法】

定期試験により評価する。ノートは持ち込み可とする。

### 【テキスト】

指定せず。

### 【参考文献・資料】

興味を持った学生にはそのつど指示する。

## 文化人類学

水口千里

### 【授業の概要】

人間の生活や行動様式は、帰属する社会の固有の文化から多くの影響を受けている。本講義では、さまざまな分野にわたる国内外の事例を取り上げ、その文化的背景を学ぶ。

### 【授業計画】

講義形式による。デジタル画像、VTRなど視聴覚教材を併用する。時間中に適宜プリントを配布する。

1. 概論 文化人類学の調査、研究方法
2. 精神文化をひも解く  
(異界からのメッセージ/願い・占い・おまじない/幽霊と妖怪)
3. 食文化を読む  
(飲酒の意味/宴会の型/外食の発展/行事食のあり方)
4. 贈答文化を探る  
(ギフトとプレゼント/贈与交換)
5. 海外の日本文化を知る  
(外国人が見たニッポン/ヨーロッパの博物館の日本コレクション)
6. 総論 異文化理解と自文化理解

### 【評価方法】

おもに単位認定試験(論述形式)で評価する。講義時間中に小レポートを提出させた場合は、これを成績評価に反映する。

### 【テキスト】

テキストとしては使用しない

### 【参考文献・資料】

参考文献リストを講義時間中に配布する

## 比較文化論

星山幸子

### 【授業の概要】

国際化が進み、世界の異文化が日本に入り、日本の文化も世界に伝わるようになった。世界の文化の特徴をあげ、日本の文化との比較を考察しながら、異文化交流についても講義する。

とくに、イスラームの文化を事例として取り上げ、異文化に対する視座について検証する。この授業をおとして、多様な文化や価値観を学ぶことにより自分自身の社会や文化を見つめ直すことを目標とする。

### 【授業計画】

1. 文化と文明
2. 文化の理解
3. 民族と国家と文化
4. 南北問題と発展途上国の文化
5. 人の移動と異文化接触
6. イスラームの文化
7. イスラームとジェンダー
8. 文化摩擦と国際問題
9. 中央アジアの人びと
10. トルコの人びとと暮らしと文化
11. 日本社会における異文化交流

### 【評価方法】

出席、授業中の提出物、討論と質疑応答 30%  
期末レポート 70%

### 【テキスト】

テキストは使用しない。授業中にプリント等を配布する。

### 【参考文献・資料】

授業のなかで参考文献リストを配布する。また、ビデオなどの視聴覚資料を使用する。

## 比較文化論

文 喜眞

### 【授業の概要】

国際化が進み、世界の異文化が日本に入り、日本の文化も世界に伝わるようになった。世界の文化の特徴をあげ、日本の文化との比較を考察しながら、異文化交流についても講義する。

### 【授業計画】

本講義では、主に「日本の文化」に焦点を当て考えることにする。特に、外国人(見る側)が日本という異文化(見られる側の文化)と直接接触した際、どのように評価(表現方法)・認識したかを考察し、その考察からなぜそのような評価・認識があらわれるかを分析する。そして、得られた分析によって外国人(見る側)がもつ「文化」を再分析する。すなわち、外国人(見る側)が「異文化」(見られる側の文化)を見るまなざしに関して考察することによって、自文化(見る側の文化)を再認識するだろう。

1. 異文化との理解・誤解に関する一般的な概論
2. 異文化交流史における本講義の位置付け
3. 前近代の外国人(見る側)における「日本認識」および外国人(見る側)がもつ「文化」に関する考察
4. 近・現代の外国人(見る側)における「日本認識」および外国人(見る側)がもつ「文化」に関する考察
5. 異文化としての「日本文化論」

### 【評価方法】

1. 出席、受講態度、講義時の課題等で全体の50%を評価する。
2. 学期末レポートで残る50%を評価する。

### 【テキスト】

講義の中で随時、配布する。(必ず事前に読んでおくこと)

### 【参考文献・資料】

授業中に指示する。

## 国際政治論

草間秀三郎

### 【授業の概要】

前半では冷戦終結後の国際政治の特徴と課題を検討していく。唯一の超大国となったアメリカの新しい外交・経済・軍事政策を分析し、新世紀における役割を展望する。後半では国連の組織と活動、EUとASEANという地域国際協力機関を比較的に分析し、最後にグローバル化と「人間の安全保障」の諸問題も検討する。

### 【授業計画】

1. 21世紀初頭の国際政治—特徴と課題—
2. アメリカの新しい外交・経済・軍事政策
3. 冷戦終結と激動の世界
4. 同時多発テロと対アフガン・イラク戦争
5. ベトナム戦争後のアメリカ外交
6. 現代アメリカ政治外交の源流
7. 国連の組織と活動
8. 国連平和維持活動(PKO)
9. 欧州連合(EU)と東南アジア諸国連合(ASEAN) — (1) —
10. 欧州連合(EU)と東南アジア諸国連合(ASEAN) — (2) —
11. グローバル化の諸問題
12. ロシア型と中国型
13. 「人間の安全保障」—国連と日本の対応—

### 【評価方法】

期末試験により評価する。出席を重視する。

### 【テキスト】

世紀転換期の国際政治史(福田茂夫他 ミネルヴァ書房)

### 【参考文献・資料】

毎回、テキストの内容に関するレジュメと資料を配布する。

## 国際政治論

瀬戸裕之

### 【授業の概要】

国際関係は冷戦時代の東西対決時代から、協力時代へと変化し、グローバル化が進んでいる。しかし、民族・宗教・地域などの対決と紛争は今も絶えない。国際政治の実情を具体的な事象にふれながら講義する。

### 【授業計画】

1. 国際関係の基本概念
2. 国際関係理論
3. 冷戦構造の展開と終焉
4. 国際経済と地域統合
5. 核兵器と安全保障
6. 南北問題と開発
7. 地球環境問題
8. 地域紛争、テロリズム
9. 第二次世界大戦と日本
10. 戦後日本と安全保障
11. 日本の国際協力
12. アジア太平洋のなかの日本

### 【評価方法】

成績評価は、期末試験（筆記）により行う。出欠は考慮しないが、中間試験を受験しないものは、期末試験の受験資格を失う。

### 【テキスト】

テキストとしては使用しない。

### 【参考文献・資料】

国際関係学講義 新版（原彬久編 有斐閣）

## 外国の言語と文化1（朝鮮半島）

尹 大辰

### 【授業の概要】

韓国・朝鮮語の基礎を学び、初歩的な語学力を身につけ、ハングルの文字と発音への関心を高める。朝鮮半島の歴史・文化・風土についても学び、アジアの隣国としての共通性や異質性を理解し、違いを共に生きる認識を深める。

### 【授業計画】

- 第1回 訓民正音について
- 第2回 ハングルの文字と発音（1）
- 第3回 ハングルの文字と発音（2）
- 第4回 基本的な日常会話（1）
- 第5回 基本的な日常会話（2）
- 第6回 基本的な日常会話（3）
- 第7回 言語と文化（1）－衣・食・住
- 第8回 言語と文化（2）－社会的構造
- 第9回 言語と文化（3）－漢字語比較
- 第10回 朝鮮半島の風土
- 第11回 朝鮮半島の歴史と文化
- 第12回 まとめ－言語表現から見た文化比較

### 【評価方法】

期末試験とレポート、出席率を加味して評価する。

### 【テキスト】

プリント教材を使用する。

### 【参考文献・資料】

韓国（金両基監修 新潮社）  
韓国と日本の比較文化論（金澳著 明石書店）

## 国際交流論

松本一子

### 【授業の概要】

国際化時代といわれる現代社会は、さまざまな形で国際交流や国際協力が行われている。最近ではNGOやNPOの活躍がめざましい。国際交流の歴史を概観しながら、主として日本に滞在する多くの外国人との異文化接触を通しての国際交流のあり方について講義する。

### 【授業計画】

1. 国際交流とは
2. 国際交流の歴史
3. 国際交流活動の現状
  - ・自治体と国際交流
  - ・地域の国際化と多文化共生
  - ・地球市民教育
4. 実践国際交流
  - ・国際文化交流と草の根交流
5. 国際交流活動の課題

### 【評価方法】

レポート及び平常点で評価する

### 【テキスト】

草の根の国際交流と国際協力（毛受敏浩編著 明石書店 2003年）

### 【参考文献・資料】

実践国際交流（国際交流基金・大阪国際交流センター編 1997年）

## 外国の言語と文化2（ドイツ）

藤井たぎる

### 【授業の概要】

ドイツ語の基礎を学び、初歩的な語学力を身につけ、ドイツ語への関心を高める。ヨーロッパの中でも独特なものを持つドイツの歴史・文化について学び、地理的な位置付けや風土を理解し、違いを共に生きる認識を深める。

### 【授業計画】

ドイツ・オーストリアの生活文化とその言語。現代のドイツ・オーストリア事情の一端を紹介しながら、ドイツ・オーストリアのいろいろな「顔」を発見してもらう。具体的には下記のような日常的なテーマをもとに、ドイツ・オーストリアの事情を日本のそれと比較しながら、両者の類似性と差異をみてゆく。また初歩的なドイツ語会話の練習もあわせておこなう。

- 1) ドイツ・オーストリアの風土
- 2) ドイツ・オーストリアの近現代史
- 3) ドイツ・オーストリアのマス・メディア
- 4) ドイツ・オーストリアの衣食住
- 5) ドイツ・オーストリアの消費生活
- 6) ドイツ・オーストリアの芸術文化

講義形式ではあるが、授業中にいろいろな意見を求め、各自の考えるところを発言してもらう。必要に応じてプリントを配布する。

### 【評価方法】

筆記試験。

### 【テキスト】

適宜、プリントを配布する。

## 外国の言語と文化3 (フランス)

清水ベアトリックス

### 【授業の概要】

ヨーロッパの文化や近代精神の発祥の地ともいわれるフランスの歴史や文化を学び、地理的な位置付けや風土を理解し、違いを共に生きる認識を深める。

### 【授業計画】

毎回、担当教員が指定したテキストの章について議論し、テレビや新聞で報道されたフランスに関する時事問題の中で特に学生の関心を引くようなものを選んで、解説したい。

### 【評価方法】

定期試験を重視するが、宿題（テキストや映画についての感想文）、出席率、受講態度なども考慮に入れる。

### 【テキスト】

変貌するフランス（西永良成 日本放送出版協会）

## 外国の言語と文化4 (ロシア)

丹邊文彦

### 【授業の概要】

ロシア語の基礎を学び、初歩的な語学力を身につけ、ロシア語への関心を高める。ヨーロッパとアジアにまたがるロシアの風土と文化について学び、その歴史や日本とのかかわりなども理解し、違いを共に生きる認識を深める。

### 【授業計画】

第1回～3回 文字と発音

以下1限に2課の割合で下記教科書を一応通読することを目標に授業をすすめる。1期終了・完結の授業で時間が限定されていることを考慮したものである。したがって練習問題（解答付）は自習に任せ、最小限の文法解説に止めて、本文中心に音読と文字への習熟に重点を注ぐことによって、運用力の土台を養成するのが眼目である。その際付属のCDを活用した予・復習は欠かせない。発音教材の補助としてロシア民謡も紹介し、ロシアの風土・歴史・文化への理解を深める。

### 【評価方法】

a.朗読 b.聴取り c.ペーパーテスト の総合

### 【テキスト】

エクспレス ロシア語（桑野隆著 白水社）

### 【参考文献・資料】

ロシア語のすすめ（講談社現代新書）

## 外国の言語と文化4 (ロシア)

杉本一直

### 【授業の概要】

ロシア語の基礎を学び、初歩的な語学力を身につけ、ロシア語への関心を高める。ヨーロッパとアジアにまたがるロシアの風土と文化について学び、その歴史や日本とのかかわりなども理解し、違いを共に生きる認識を深める。

### 【授業計画】

みなさん、知っていますか？日本の大学のなかでロシア語を学ぶことができるのは本当に少ないんですよ。ということは、「ロシア語がわかる人」は日本ではとても希少価値があるのです！「芸術の国ロシア」の言葉を今すぐ学んでみませんか？映画の鑑賞会もありますから、楽しみにしてくださいね。

初級のわかりやすい辞書を「テキスト」として授業を進めてきます。まず、例の不思議な形をしたキリル文字を覚え、発音を覚え、そのあとは辞書で遊び(?)ながら「使える単語」「使えるフレーズ」を集めていきます。たくさんたくさん集めたら、あれ、いつのまにかロシア語の達人！

辞書以外に補助教材として会話用プリントを配布します。学ぶ項目は以下のとおりです。

- キリル文字と発音
- 大きな声であいさつしよう
- 買い物に行ってみよう
- 乗り物に乗ろう
- おなかがいっぱいなら…
- 自分について話してみよう

### 【評価方法】

定期試験の成績による。

### 【テキスト】

ロシア語ミニ辞典（白水社）

## 外国の言語と文化5 (スペイン)

木下まりあ

### 【授業の概要】

スペイン語の基礎を学び、初歩的な語学力を身につけ、スペイン語への関心を高める。世界でも屈指の言語圏を持つスペインの歴史と文化的影響について学び、独特の風土について理解し、違いを共に生きる認識を深める。

### 【授業計画】

講義方式による。授業中、適宜プリントを配布する。

- スペイン語とスペイン語圏の世界
- スペインの歴史と文化の特色
- スペイン語のアルファベット、音節、アクセント
- 挨拶、自己紹介の仕方
- 名詞の性数、定冠詞と不定冠詞
- 形容詞（性数の一致）
- 人称代名詞、serとestar動詞
- 数詞と時刻の表現
- スペイン語の手紙の書き方
- 旅行に役立つスペイン語会話
- まとめ

### 【評価方法】

筆記試験またはレポートに出席状況を加味して評価。

### 【テキスト】

授業中に指示。

## 日本と外国の歴史1 (日本)

岩口和正

### 【授業の概要】

アジア世界の東辺に位置する日本の歴史は、もっぱら中国や朝鮮半島諸国との交渉の中で展開してきました。にもかかわらず、現代にいたってなお、このような点についての基礎的史実ですら、よく知られていないどころか、しばしば誤解されているのが現実です。そこで、主として、日本国家自身の世界認識と中国や朝鮮半島諸国側からの日本認識とを対比させつつ、東アジア史の一部としての日本史の特徴を考えます。

### 【授業計画】

- 1) 日本近代のアジア認識 <明治維新と征韓論>
- 2) 朝鮮通信使と朝鮮出兵
- 3) 日本中世における朝鮮半島の交渉
- 4) 蒙古襲来と日本朝廷
- 5) 日宋貿易と平氏政權
- 6) 蕃国としての新羅・渤海
- 7) 大唐皇帝と日本天皇
- 8) 遣隋使と遣唐使
- 9) 日本国家と列島内住民 <蝦夷・隼人>
- 10) 日本古代の世界像

### 【評価方法】

成績評価は学期末の試験でおこないます。

### 【テキスト】

使用しません

### 【参考文献・資料】

授業の中で別途に紹介いたします

## 日本と外国の歴史3 (東洋)

土屋 洋

### 【授業の概要】

東洋、特に中国を中心にした東アジア地域やその歴史を概説し、通史を学ぶ。日本は中国や朝鮮半島と歴史的・文化的に関係が深く、相互に影響を強く受けていることについても認識を深めたい。

### 【授業計画】

1. 期間計画指示・授業内容の説明
2. 歴史学とは何か? : 歴史リテラシーを身につけよう
3. アジアを考えるということ : 日本においてアジアの歴史を学ぶとは?
4. 東アジアの伝統秩序 : 中華帝国という世界
5. 中国近現代史への眼差し : 歴史観の諸相
6. 中国の近代 : 「近代」という時代をどう考えるか?
7. 中国の近代と日本 : 東アジアの近代を日本との関係から考える
8. 日中戦争を考える : 南京事件をめぐる歴史認識の溝
9. 新中国の誕生 : 共産党の政権奪取は日本のおかげ?!
10. 「文革」、「改革開放」、「六四」 : 東西冷戦構造の狭間で
11. 「台湾」という問題
12. 現代中国と日本 : 特に歴史認識をめぐって
13. 21世紀の日本、中国、東アジア

### 【評価方法】

学期末に課すレポートの内容、ならびに授業で随時課す感想・意見等の提出状況によって評価する。

### 【テキスト】

基本的に毎回レジュメを配布する。

### 【参考文献・資料】

授業中に提示する。

## 日本と外国の歴史2 (郷土)

秦達之

### 【授業の概要】

東海地方が戦国統一の舞台になったのは周知の事実だが、その後の歴史については意外に知られていない。東西の文化を巧みに吸収した近世・近代について、一見地味だが、重要な事件や人物を取上げ、受験時の暗記の歴史から脱皮し、考え、楽しみ、哀しみつつ、生きるための歴史を目指したい。

### 【授業計画】

一回一話の読み切り、いや、語り切りで、さまざまなテーマ・内容を取上げる。通史ではないので、時代の前後を往き来する。その時代を生きた人びとの鼓動が聞こえてくるようなものにしたいが、果してうまくいきますか、どうか?

内容は、「元禄名古屋の世相」「伊勢湾の漂流民たち」「江戸時代の農民運動」「名古屋とその周辺の山車(だし)」「渡辺華山とその周辺」「お札降りと「ええじゃないか」「高山における明治維新」「戦争と女性」「モルフィと廢娼運動」「新聞記者・市川房枝」「シーメンス事件と太田三次郎海軍大佐」その他。私自身の研究と共に、他の地道な研究成果も積極的に取上げたい。

こちらで一回毎の史料を用意し、それにもとづいて講義する。必要に応じてビデオ、スライドも使用。出席票に感想を書いて貰い、受講者の声を聞く工夫をしている(受講者もぜひご協力を)。

### 【評価方法】

出席状況(特に厳しいので注意!)と単位認定試験の成績などによるが、毎時間最後に感想を書いて貰い、参考にしている。

### 【参考文献・資料】

愛知県の百年(塩沢君夫・齋藤勇・近藤哲生共著 山川出版社)

愛知県の歴史(三鬼清一郎編 山川出版社)

東海・近代へのまなざし(都築亨・大嶋光義編 中部日本教育文化会)

## 日本と外国の歴史4 (西洋)

北村陽子

### 【授業の概要】

ヨーロッパ、アメリカ合衆国を中心にした西洋の歴史を概説する。近代以降の日本にも影響を与えた「国民国家」が形成される過程を追い、「国民意識」とは何かについて理解を深める。

### 【授業計画】

1. はじめに—国民国家とは何か
2. 近代国民アイデンティティ形成の前段階
  - (1) 「個人」の覚醒 : ルネサンス
  - (2) 「他者」の認識 : 大航海時代
  - (3) 普遍性の否定 : 宗教改革
3. イギリスの国民国家
  - (1) イギリス国教会の成立と絶対主義国家
  - (2) 二つの市民革命—「イングランド」から「イギリス」へ
  - (3) パクス・ブリタニカ—ジェントルマンが支える「大英帝国」の時代
4. アメリカ合衆国の国民国家
  - (1) 対イギリス独立革命
  - (2) フロンティア開拓時代の「他者」認識
  - (3) 奴隷制と南北戦争
5. フランスの国民国家
  - (1) ルイ14世治下における絶対主義の確立
  - (2) フランス革命とナポレオン
  - (3) 「国民」の創出—「単一にして不可分のフランス」成立
6. ドイツの国民国家
  - (1) 三十年戦争とプロイセン・オーストリアの絶対主義
  - (2) 対ナポレオン解放戦争と諸国民の春
  - (3) ビスマルクによる「ドイツ」統一
7. おわりに—20世紀のナショナリズムと国民国家

### 【評価方法】

成績評価は、出席と学期末テストにより総合的に行う。

### 【テキスト】

とくに定めない。

### 【参考文献・資料】

○国民国家とナショナリズム(谷川稔 山川出版社)

○国民国家を問う(歴史学研究会編 青木書店)

その他講義中に指示する。

## 地域コミュニティ論

安藤純子

### 【授業の概要】

現代社会は都市化が進み、地域社会と人々のかかわりが希薄になっている。人々の生活にとって地域社会の果す役割と問題点について具体例にふれて講義する。

### 【授業計画】

- 1 イントロダクション
- 2 地域社会の歴史と構造 1
- 3 地域社会の歴史と構造 2
- 4 コミュニティの概念
- 5 コミュニティの組織論
- 6 地方分権とコミュニティ
- 7 コミュニティとネットワーキング 1
- 8 コミュニティとネットワーキング 2
- 9 コミュニティ活動と実践例
- 10 環境・福祉とコミュニティ
- 12 少子・高齢化とコミュニティ
- 13 まとめ

### 【評価方法】

定期試験と出席率など総合的に評価する。

### 【テキスト】

特になし。

### 【参考文献・資料】

授業中に適宜紹介する。

## ビジネスの世界

伊藤義明

### 【授業の概要】

90年代の「バブルの崩壊」の後遺症である長期にわたる経済の低迷から脱するため日本の企業経営は政府の保護規制から離れ、市場競争をベースとするいわゆるFree, Fair, Globalな経営を構築する新たな時代に入った。

学生諸君が専門課程に進む前段階で理解しておくべき、「新しい市場環境」と「企業活動の実際」及び「社会から評価される企業経営」の基本的なスキームを講義する。

### 【授業計画】

- 第1講：Introduction；ビジネスモデルによる企業活動の概説
- 第2講：日本の国際競争力（IMDサーベイ他）
- 第3講：制度変革と企業活動  
Free, Fair, Global；規制緩和と市場競争；自己責任とリスク管理
- 第4講：企業をとりまく社会システムの変化——金融；IT；環境
- 第5講：企業の組織——会社とは何か？ビジネス（商行為）とは何か？（法的要件）
- 第6講：企業のマネジメント
- 第7講：主要産業の特色——どのように変化に対応してきたか。
- 第8講：マーケットの機能——金融、外国為替、株式の各市場について
- 第9講：経営品質について——社会に評価される企業経営とは？  
Malcolm Baldrige National Quality Program とISO及び日本経営品質賞
- 第10講：日本経営品質賞基準（その1）リーダーシップと社会的責任
- 第11講：日本経営品質賞基準（その2）市場と顧客の理解；戦略の構築と展開
- 第12講：日本経営品質賞基準（その3）人材；プロセス；情報
- 第13講：第9～12講の総括及びQ & A；テスト

### 【評価方法】

3回のテストの総合評価

### 【テキスト】

レジメ 使用

### 【参考文献・資料】

新聞の経済記事を読むこと

## 東アジアの生活と文化

楊衛平

### 【授業の概要】

日本は東アジアに位置し、歴史的にも東アジアの影響を強く受けている。日本と関係の深い近隣の国を中心にその生活や文化について講義する。

### 【授業計画】

1. 中国の少数民族の構成
2. 儒教、仏教と道教の相異
3. 中国の年中行事
4. 南北食文化の比較
5. 中医学と西洋医学
6. 気の文化と気功術
7. 飲茶の文化と歴史
8. 伝統武術と映画
9. 少数民族の音楽
10. 少数民族の服装
11. 中国人の姓の色々
12. 中国の名勝物語
13. 中国人と日本人の考え方の相異

### 【評価方法】

出席状況とレポートによって総合的に評価する。

### 【テキスト】

プリントを配布する。

### 【参考文献・資料】

中国人・文字・暮らし（李順然 東方書店）  
中国仏・道・儒教史話（劉克蘇 河北大学出版社）  
中国伝統文化導論（劉榮興 河北大学出版社）

## ビジネスの世界

小池弘道

### 【授業の概要】

現在、いわゆる日本型の雇用システムや商慣習は崩壊しつつあるが、ビジネスの世界には企業を維持・発展させるための企業の倫理や厳しい現実がある。企業の現実を具体例にふれて講義する。

### 【授業計画】

- ビジネス社会におけるビジネスの種類  
会社組織について  
仕事の遂行・・・リーダーシップ、創意と工夫、責任と権限、縦系・横系（指示命令系統、部署間の連携）  
日本のビジネス社会が現在抱えている問題点  
企業の業績不振、終身雇用・年功序列の崩壊、グローバル化  
世界経済が抱えている問題点  
ビジネス社会で役立つ個人の能力・知識

### 【評価方法】

単位認定試験の成績と出席状況を総合して評価する。

### 【テキスト】

使用しない（必要に応じ資料配布）

### 【参考文献・資料】

日本の常識は、どこまで通じるか  
（ジョリー・佐々木幸子・小池弘道 風媒社）

## 暮らしの経済

村上貴美子

### 【授業の概要】

生活に密着した経済学の基礎と入門を学ぶとともに、現在の経済社会はグローバル化しているため、国際経済の流れや経済用語についても講義する。

### 【授業計画】

1. 最近の経済状況と用語解説  
生活と経済の関わり
2. やさしい経済用語の説明
3. 消費者の権利と意思決定
4. 生活をとりまく環境変化
5. 本当の「豊かさ」とは何だろうか
6. 「労働」と「生活」
7. 余暇の為に働く「余暇とはなんだろう」
8. 国際化と生活  
毎回、最近の経済ニュースの紹介と解説を予定している。

### 【評価方法】

宿題のレポート・単位認定試験の成績によって総合的に評価する。

### 【テキスト】

テキストとしては使用しない。プリント配布

### 【参考文献・資料】

2004年版くらしの豆知識 (国民生活センター 編集・発行)

## 健康とくすり

永井慎一

### 【授業の概要】

現在の日本は飽食の時代といわれ、運動不足やストレス過多のため、薬品の助けがなければ健康の維持が難しい。病気と薬品について正しい知識を学び、薬品の効き方と副作用について理解を深める。

### 【授業計画】

- 第1回 受講生に「病気とくすりについて」アンケート調査後、創業の歴史から新薬開発まで、動物実験や治験の評価法も含めて解説
- 第2～3回 くすりの基礎知識として、くすりの投与方法と生体内運命、くすりの効くメカニズムと受容体、危険なくすりの飲み合わせと副作用など2回にわたり解説
- 第4回 くすりの正しい知識のすべてを、イラスト入りの質問形式でわかりやすく教える
- 第5～6回 近年発売されたビルなどの生活改善薬をはじめ、繁用される一般用医薬品 (OTC) 500種と医者が処方する医療用医薬品200種を薬効別に解説
- 第7回 頭痛、生理痛の原因と治療薬のメカニズム
- 第8回 アトピー性皮膚炎や花粉症の発症メカニズムとくすりの効き方
- 第9回 病気の早期発見に役立つ成人病検査値の見かたと最新の画像診断法を解説
- 第10～13回 検診で見つかる生活習慣病を中心に、高血圧、ガン、糖尿病、エイズなどの発症原因と最先端治療薬の作用機作

### 【評価方法】

配布したプリントからテーマを出題し、レポートの内容で成績評価する。

### 【テキスト】

プリントを毎回配布し講義する。なお、何時でも「病気とくすりに関する質問」をメールで受けつけ、プライバシーを守って返答する。

## 健康と医学

渡邊一功

### 【授業の概要】

日本はますます高齢化社会に入っているが、長生きするための健康は自分で管理し、自立自助が必要である。健康を保ち、命を守るためにどうすればよいか、医学の立場から講義する。

### 【授業計画】

- 1) 性感染症  
感染症とは 性感染症の現状と予防 後天性免疫不全症候群
- 2) 免疫とアレルギー  
免疫のメカニズム、アレルギー反応の分類  
アレルギー疾患
- 3) 嗜好品と健康  
アルコール タバコ 薬物依存
- 4) 生活習慣病の予防  
糖尿病 がん 高脂血症 高血圧
- 5) 生殖の医学  
性機能 避妊 妊娠 分娩
- 6) 胎児からの子育て  
母子相互作用 母と子の絆 小児虐待
- 7) 子どもの成長と発達  
身体的発育 生理機能の発達 精神的発達  
しつけ
- 8) 乳幼児期の主な病気  
一般的症状 主な病気 障害児  
染色体と遺伝子異常

### 【評価方法】

主に筆記試験による。

### 【テキスト】

健康と保健の科学 (坂口他著 日本小児医事出版社)

## メンタルヘルス

太田龍朗

### 【授業の概要】

今や子供から大人まで、多くの人々が心を病んでいるといわれている。心の病は少年期や青年期に特有のものから、時代や社会に要因のあるものもある。臨床的事例をふまえてメンタルヘルスを考える。

### 【授業計画】

- 概論：1. 心の病：その歴史  
2. 精神症状のとらえ方  
3. 精神障害の種類と分類  
4. ライフサイクルと心：性格、発達と加齢
- 各論：1. 青年期、思春期にはじまる統合失調症  
2. 感情の障害としての躁うつ病 (気分障害)  
3. ストレスとその反応：神経症と心身症  
4. やまらない、止まらない：薬物依存  
5. 眠りと食と性の偏り：睡眠、摂食、性障害  
6. 大人とは異なる児童・小児の障害  
7. 老人と高齢者の病：器質性障害
- 総論：1. 病を前にして：治療、面接、カウンセリング  
2. 心の健康に向けて：地域社会、制度と活動
- 終講：単位認定試験

### 【評価方法】

出席状況と単位認定試験の成績によって総合的に評価する。

### 【テキスト】

大学生のための精神医学 (高橋俊彦・近藤三男著 岩崎学術出版社)

### 【参考文献・資料】

精神を病むということ (秋元波留夫・上田敏著 医学書院)  
図解雑学 心の病と精神医学 (景山任佐著 ナツメ社)

## ライフサイクルと健康

松田秀子

### 【授業の概要】

人間は年齢に伴い体型も変化し、健康も善しやすくなる。ライフサイクルにあわせた運動と健康の維持について、身近な問題を取りあげて講義する。

### 【授業計画】

1. ライフサイクルと健康とは
2. 姿勢
3. プロポーション（理想と現実）
4. 肥満とやせ
5. 隠れ肥満
6. 骨密度・体脂肪測定
7. 自分のからだを判定しよう
8. 体脂肪を正しく落とす方法
9. 筋肉と運動神経
10. 健康づくりのための運動
11. Walking
12. 性への理解
13. 学生生活と健康

### 【評価方法】

出席状況・レポート・単位認定試験によって総合的に評価する。

### 【テキスト】

使用しない。

必要に応じて参考資料を配付する。

## スポーツ科学

杉山 和

### 【授業の概要】

スポーツの科学的理論と実技的能力を実践を通じて学ぶ。テニス、ゴルフ、バドミントンなどの各種スポーツをはじめ、ストレッチ体操・トレーニングなど、運動の基礎的技術を習得することに努める。

### 【授業計画】

- ・第1週目の授業は教室にてガイダンスを行います。
- ・天候によって種目を変更する場合があります。
- ・授業については、健康科学教育センターの掲示板を参照のこと。

〔テニス〕

1. ガイダンス
2. ラケットとボールに慣れる
3. ボールをコントロールする
4. サービスを練習する
5. ルールとマナーを身につける
- 6～8. ミニゲーム・スキルテスト

〔バドミントン〕

1. ガイダンス
2. ラケットとシャトルに慣れる
3. シャトルをコントロールする
4. ルールとマナーを身につける
- 5～8. ミニゲーム・スキルテスト

〔バレーボール〕

1. ガイダンス、競技の概略
2. パスワーク（オーバーハンド・アンダーハンド）
3. サープとレシーブ（サーブレシーブ・パスアタックレシーブ）
4. トス・アタック・ブロック（アタックカバー・ブロックフォロー）
- 5～7. ゲームと審判（ルール）、テスト（スキル）

### 【評価方法】

70点＝（欠席回数/授業実施回数×70点）＝出席点  
30点＝実技点・参加の態度・種目理解度等

## スポーツ科学

杉山 和 山本啓子 松田秀子 寺田邦昭 門間博

### 【授業の概要】

スポーツの科学的理論と実技的能力を実践を通じて学ぶ。テニス、ゴルフ、バドミントンなどの各種スポーツをはじめ、ストレッチ体操・トレーニングなど、運動の基礎的技術を習得することに努める。

### 【授業計画】

- ・第1週目の授業は教室にてガイダンスを行います。
- ・原則として、半期間に2種目を行います。（天候によって種目を変更する場合があります。）
- ・授業については、健康科学教育センターの掲示板を参照のこと。
- ・授業内容については、担当教官の欄を参照のこと。
- ・ゴルフについては、実習費（300円）を必要とします。

月曜日	2限	杉山	テニス・バドミントン
	3限	杉山	テニス・バドミントン
火曜日	2限	松田	テニス・ゴルフ
	3限	山本	卓球・バレーボール
	3限	松田	バドミントン・ゴルフ
	4限	山本	卓球・バレーボール
	4限	松田	バドミントン・ゴルフ
水曜日	1限	門間	テニス・バスケットボール
	2限	門間	テニス・バスケットボール
	3限	山本	バレーボール・卓球
	3限	門間	テニス・バドミントン
	4限	山本	バレーボール・卓球
	4限	門間	テニス・バドミントン
木曜日	1限	寺田	スキルトレーニング
	2限	寺田	スキルトレーニング
	3限	杉山	バドミントン・テニス
	3限	山本	卓球・バレーボール
	4限	山本	卓球・バレーボール
金曜日	2限	杉山	テニス・バドミントン
	3限	杉山	テニス・バレーボール
	4限	杉山	テニス・バレーボール

### 【評価方法】

70点＝（欠席回数/授業実施回数×70点）＝出席点  
30点＝実技点・参加の態度・種目理解度等

## スポーツ科学

山本啓子

### 【授業の概要】

スポーツの科学的理論と実技的能力を実践を通じて学ぶ。テニス、ゴルフ、バドミントンなどの各種スポーツをはじめ、ストレッチ体操・トレーニングなど、運動の基礎的技術を習得することに努める。

### 【授業計画】

- ・第1週目の授業は教室にてガイダンスを行います。
- ・授業については、健康科学教育センターの掲示板を参照のこと。

〔卓球〕

1. ガイダンス、競技の概略
2. ラケットのグリップと打法
3. フォアハンド・バックハンド  
(ロング・ショート・カット・スマッシュ)
4. サービスとレシーブ
5. シングルスゲーム（審判）
- 6～7. ダブルスゲーム（審判とスコア）、テスト（スキル）

〔バレーボール〕

1. ガイダンス、競技の概略
2. パスワーク（オーバーハンド・アンダーハンド）
3. サープとレシーブ（サーブレシーブ・パスアタックレシーブ）
4. トス・アタック・ブロック  
(アタックカバー・ブロックフォロー)
- 5～7. ゲームと審判（ルール）、テスト（スキル）

### 【評価方法】

70点＝（欠席回数/授業実施回数×70点）＝出席点  
30点＝実技点・参加の態度・種目理解度等

## スポーツ科学

松田秀子

### 【授業の概要】

スポーツの科学的理論と実技的能力を実践を通じて学ぶ。テニス、ゴルフ、バドミントンなどの各種スポーツをはじめ、ストレッチ体操・トレーニングなど、運動の基礎的技術を習得することに努める。

### 【授業計画】

- ・第1週目の授業は教室にてガイダンスを行います。
- ・天候によって種目を変更する場合があります。
- ・授業については、健康科学教育センターの掲示板を参照のこと。
- ・ゴルフについては、実習費(300円)を必要とします。

〔テニス〕

1. ガイダンス
2. ラケットとボールに慣れる
3. ボールをコントロールする
4. サービスを練習する
5. ルールとマナーを身につける
- 6～8. ミニゲーム・スキルテスト

〔ゴルフ〕

1. クラブに慣れる
2. フォーム作り(回転運動のイメージ作り)
- 3～6. スイングの基本を身につける
7. 学外の練習場にてスキルテスト

〔バドミントン〕

1. ガイダンス
2. ラケットとシャトルに慣れる
3. シャトルをコントロールする
4. ルールとマナーを身につける
- 5～8. ミニゲーム・スキルテスト

### 【評価方法】

70点＝(欠席回数/授業実施回数×70点)＝出席点  
30点＝実技点・参加の態度・種目理解度等

## スポーツ科学

門間博

### 【授業の概要】

スポーツの科学的理論と実技的能力を実践を通じて学ぶ。テニス、ゴルフ、バドミントンなどの各種スポーツをはじめ、ストレッチ体操・トレーニングなど、運動の基礎的技術を習得することに努める。

### 【授業計画】

- ・第1週目の授業は教室にてガイダンスを行います。
- ・天候によって種目を変更する場合があります。
- ・授業については、健康科学教育センターの掲示板を参照のこと。

〔テニス〕

1. ガイダンス、競技の概略
2. ラケットとボールに慣れる
3. ボールをコントロールする
4. サービスを練習する
5. ルールとマナーを身につける
- 6～8. ミニゲーム・スキルテスト

〔バスケットボール〕

1. ガイダンス、競技の概略
2. ボールに慣れる
3. 基本的な個人技能の確認
4. チームでの基本的な練習
5. ルールとマナーを身につける
- 6～8. ゲーム・スキルテスト

〔バドミントン〕

1. ガイダンス、競技の概略
2. ラケットとシャトルに慣れる
3. シャトルをコントロールする
4. ルールとマナーを身につける
- 5～8. ミニゲーム

### 【評価方法】

70点＝(欠席回数/授業実施回数×70点)＝出席点  
30点＝実技点・参加の態度・種目理解度等

## スポーツ科学

寺田邦昭

### 【授業の概要】

スポーツの科学的理論と実技的能力を実践を通じて学ぶ。テニス、ゴルフ、バドミントンなどの各種スポーツをはじめ、ストレッチ体操・トレーニングなど、運動の基礎的技術を習得することに努める。

### 【授業計画】

- ・第1週目の授業は教室にてガイダンスを行います。
- ・天候によって種目を変更する場合があります。
- ・授業については、健康科学教育センターの掲示板を参照のこと。

〔スキルトレーニング〕

オールラウンドプレーヤーを目指し、下記のスポーツスキルを週毎に種目を変えながら練習し、その基本的な動きのコツの獲得を目指す。

打つ技術の獲得

- バットイング(ソフトボールでの打つスキル)
- ショット(ゴルフ・バスケットボールでの打つスキル)
- ストローク(卓球・テニス・バドミントンでの打つスキル)
- スマッシュ(卓球・テニス・バドミントンでの打つスキル)
- アタック(バレーボールでの打つスキル)
- キック(サッカー・ラグビーでの蹴るスキル)

投げる・送る技術の獲得

- スローイング及びパス(ソフトボール・バレーボール・バスケットボール・フライングディスク・サッカー・ラグビーでの投げる・送るスキル)

捕る技術の獲得

- キャッチング(ソフトボール・バスケットボール・ラグビー・フライングディスクでの捕るスキル)

1. ガイダンス
- 2～7. 主にアウトドア種目を中心に実施する。
- 8～13. 主にインドア種目を中心に実施する。
- 14～15. テスト(各種スポーツにおけるスキルテスト)

### 【評価方法】

70点＝(欠席回数/授業実施回数×70点)＝出席点  
30点＝実技点・参加の態度・種目理解度等

## 健康と運動

杉山和 山本啓子 松田秀子 寺田邦昭 門間博

### 【授業の概要】

現代社会は、運動不足による体力の低下、過食による肥満など健康を阻害する要因が増加している。スポーツ種目の実践を通して、健康の保持増進への理解を深めることを目的とする。

### 【授業計画】

- ・第1週目の授業は教室にてガイダンスを行います。
- ・天候によって種目を変更する場合があります。
- ・授業については、健康科学教育センターの掲示板を参照のこと。
- ・授業内容については、担当教官の欄を参照のこと。
- ・ゴルフについては、実習費(600円)を必要とします。

月曜日	2限	杉山	ゴルフ
	3限	杉山	ゴルフ
火曜日	2限	松田	バドミントン
	3限	山本	バドミントン
	3限	松田	テニス
	4限	山本	バドミントン
	4限	松田	テニス
水曜日	1限	門間	バドミントン
	2限	門間	ソフトボール
	3限	山本	バドミントン
	3限	門間	サッカー
	4限	山本	バドミントン
	4限	門間	サッカー
木曜日	1限	寺田	ニュースポーツ
	2限	寺田	ニュースポーツ
	3限	杉山	ゴルフ
	3限	山本	バドミントン
	4限	山本	バドミントン
金曜日	2限	杉山	バレーボール
	3限	杉山	バドミントン
	4限	杉山	バドミントン

### 【評価方法】

70点＝(欠席回数/授業実施回数×70点)＝出席点  
30点＝実技点・参加の態度・種目理解度等

## 健康と運動

杉山 和

### 【授業の概要】

現代社会は、運動不足による体力の低下、過食による肥満など健康を阻害する要因が増加している。スポーツ種目の実践を通して、健康の保持増進への理解を深めることを目的とする。

### 【授業計画】

- ・第1週目の授業は教室にてガイダンスを行います。
- ・天候によって種目を変更する場合があります。
- ・授業については、健康科学教育センターの掲示板を参照のこと。
- ・ゴルフについては、実習費(600円)を必要とします。

[ゴルフ]

1. ガイダンス
2. グリップ、スタンス、アドレス
- 3～6. アイアン練習(ショート・ミドルアイアン)
- 7～8. ウッド練習(1、3ウッド)
9. 学外のゴルフ練習場にて練習
- 10～14. 総合練習
15. 学外のゴルフ練習場にて練習

[バレーボール]

1. ガイダンス
2. ボールに慣れる、構え、動きの基本姿勢
3. サーブの種類と打ち方
- 4～6. パス、トス、レシーブ、スパイク、ブロック
- 7～15. ゲームの進め方、ルール説明、ゲーム

[バドミントン]

1. ガイダンス
- 2～3. ラケットワーク
4. ストローク練習(アンダーハンドを中心に)
5. ストローク練習(サイドハンドを中心に)
6. ストローク練習(オーバーヘッドを中心に)
- 7～15. ゲームの進め方、ルール説明、ダブルスゲーム

### 【評価方法】

70点＝(欠席回数/授業実施回数×70点)＝出席点  
30点＝実技点・参加の態度・種目理解度等

## 健康と運動

松田秀子

### 【授業の概要】

現代社会は、運動不足による体力の低下、過食による肥満など健康を阻害する要因が増加している。スポーツ種目の実践を通して、健康の保持増進への理解を深めることを目的とする。

### 【授業計画】

- ・第1週目の授業は教室にてガイダンスを行います。
- ・天候によって種目を変更する場合があります。
- ・授業については、健康科学教育センターの掲示板を参照のこと。

[バドミントン]

1. ガイダンス
2. バドミントンの特徴・歴史的ゲームの追体験
3. ラケットワーク・フットワーク
- 4～6. 各ストローク練習(軸回転運動を中心に)
7. ゲームの進め方、ルールとマナー
8. ハーフコートでのミニゲーム
- 9～最終授業. ダブルスゲーム、スキルテスト

[テニス]

1. ガイダンス
2. ラケットとボールに慣れる(グリップ、スタンス)
3. グランドストローク(フォアハンドを中心に)
4. グランドストローク(バックハンドを中心に)
5. サーブ、レシーブ
6. ボレー、スマッシュ
7. ゲームの進め方、ルールとマナー
8. ダブルスゲーム(フォーメーションを中心に)
- 9～最終授業. ダブルスゲーム、スキルテスト

### 【評価方法】

70点＝(欠席回数/授業実施回数×70点)＝出席点  
30点＝実技点・参加の態度・種目理解度等

## 健康と運動

山本啓子

### 【授業の概要】

現代社会は、運動不足による体力の低下、過食による肥満など健康を阻害する要因が増加している。スポーツ種目の実践を通して、健康の保持増進への理解を深めることを目的とする。

### 【授業計画】

- ・第1週目の授業は教室にてガイダンスを行います。
- ・授業については、健康科学教育センターの掲示板を参照のこと。

[バドミントン]

1. ガイダンス
2. 歴史的ゲームの追体験(シングルスゲーム)
3. ラケットワーク
4. ストローク練習(アンダーハンドを中心に)
5. ストローク練習(サイドハンドを中心に)
6. ストローク練習(オーバーヘッドを中心に)
7. ゲームの進め方、ルール説明
8. ダブルスゲーム(フォーメーションを中心に)
- 9～15. ダブルスゲーム

### 【評価方法】

70点＝(欠席回数/授業実施回数×70点)＝出席点  
30点＝実技点・参加の態度・種目理解度等

## 健康と運動

寺田邦昭

### 【授業の概要】

現代社会は、運動不足による体力の低下、過食による肥満など健康を阻害する要因が増加している。スポーツ種目の実践を通して、健康の保持増進への理解を深めることを目的とする。

### 【授業計画】

- ・第1週目の授業は教室にてガイダンスを行います。
- ・毎週、40名の受講生を2グループに分け、2種目を交代で履修する。
- ・2～8週までのうち、雨天の場合には、9～12週に予定しているインドア種目に変更して実施する。
- ・授業については、健康科学教育センターの掲示板を参照のこと。

[ニュースポーツ]

1. ガイダンス
- 2～6. フライングディスク
- 7～8. ベタンク、ターゲット・バード・ゴルフ
- 9～10. インディアカ、ミニテニス
- 11～12. ダーツ、ソフトバレー
- 13～15. グループによる遊びの創作と発表会

### 【評価方法】

70点＝(欠席回数/授業実施回数×70点)＝出席点  
30点＝実技点・参加の態度・種目理解度等

## 健康と運動

門間 博

### 【授業の概要】

現代社会は、運動不足による体力の低下、過食による肥満など健康を阻害する要因が増加している。スポーツ種目の実践を通して、健康の保持増進への理解を深めることを目的とする。

### 【授業計画】

- ・第1週目の授業は教室にてガイダンスを行います。
- ・天候によって種目を変更する場合があります。
- ・授業については、健康科学教育センターの掲示板を参照のこと。

〔バドミントン〕

1. ガイダンス
- 2～3. ラケットワーク
4. ストローク練習（アンダーハンドを中心に）
5. ストローク練習（サイドハンドを中心に）
6. ストローク練習（オーバーヘッドを中心に）
- 7～15. ゲームの進め方、ルール説明、ダブルスゲーム

〔ソフトボール〕

1. ガイダンス
2. キャッチボールの基本、練習、ゲーム
- 3～5. バッティングの基本、練習、ゲーム
- 6～8. 守備の基本、練習、ゲーム
- 9～11. リーグ戦 1
- 12～15. リーグ戦 2、まとめ（記録整理・レポート）

〔サッカー〕

1. ガイダンス
2. 個人技能の確認
- 3～5. ボールコントロールの正確性、巧みに運ぶための基本技術、基本技術を生かしたミニゲーム
- 6～7. 個人技能をもとにチーム編成をし、ミニゲーム
- 8～10. ミニゲームのリーグ戦
- 11～15. リーグ戦、まとめ（記録整理・レポート）

### 【評価方法】

70点＝（欠席回数/授業実施回数×70点）＝出席点  
30点＝実技点・参加の態度・種目理解度等

## ボランティア論

矢島洋子

### 【授業の概要】

ボランティアは今や新しい時代を生きて行くための行動様式のひとつになっている。ボランティア先進国アメリカの実例にふれながら、ボランティアの成り立ち、その存在意義や方法論などについて講義する。

### 【授業計画】

1. ボランティアの思想
2. アメリカのボランティア活動（1）
3. アメリカのボランティア活動（2）
4. アメリカのボランティア活動（3）
5. ヨーロッパのボランティア活動
6. 日本のボランティアの変遷
7. 特定非営利活動促進法（NPO法）
8. 日本のボランティア活動（1）災害とボランティア
9. 日本のボランティア活動（2）高齢者とボランティア
10. 日本のボランティア活動（3）障害者とボランティア
11. 日本のボランティア活動（4）開発とボランティア
12. 日本のボランティア活動（5）難民とボランティア
13. ボランティアの課題

ビデオの活用や当事者による講義も予定している。ボランティアを具体的に理解できる授業を心がけたい。

### 【評価方法】

おもに期末試験により評価する。期中にレポートなどを提出させた場合は、これを成績評価に反映させる。なお、出席率は受験資格にはしない。

### 【テキスト】

使用しない。適宜、資料などを配布する。

### 【参考文献・資料】

- ボランティア学を学ぶ人のために（内海成治他編 世界思想社）
- フィランソロビーの思想：NPOとボランティア（林雄二郎他 日本経済評論社）他

## 現代社会と福祉

見平 隆

### 【授業の概要】

多くの人々が人間らしい生活を営むには、社会的な福祉は避けられない問題である。しかし、「福祉はいかにあるべきか」という課題と解決策は難しい問題でもある。現代社会の福祉について具体的事例にふれて講義する。

### 【授業計画】

1. 現在の生活から社会の現状を知る
2. 福祉とは何かを考える
3. ライフサイクルと福祉の関わりを考える
4. 日本と世界の福祉の現状を知る
5. 現代社会の福祉をめぐる問題を考える
6. これからの福祉の課題を考える

一つのテーマについて1回から数回講義するが、授業についての質問などを適宜書いてもらい、次の授業に反映したい。できるだけプリントを配布する。

### 【評価方法】

定期試験の結果および授業で指示した課題提出により評価する。出席率は受験資格にはしない。

### 【テキスト】

社会福祉キーワード 補訂版（平岡公一・平野隆之・副田あけみ著 有斐閣）

### 【参考文献・資料】

授業中に紹介する。

## 手話・点字

堀 正和

### 【授業の概要】

手話・点字について聴覚障害者や視覚障害者のコミュニケーションや文化におけるその役割や歴史と実践的技術・方法論を講義する。

### 【授業計画】

1. 視覚障害概要
2. 視覚障害者のコミュニケーション方法
3. 点字の概要
4. 点字演習
5. 聴覚障害概要
6. 聴覚障害者のコミュニケーション方法
7. 手話の概要
8. 手話演習

### 【評価方法】

点字や手話の読み取りや表現のテストにより行う。

### 【テキスト】

点訳のしおり・点字器付き（日本点字図書館）及び手話教室入門（全日本ろうあ連盟出版局）

## スポーツ文化論

勝部篤美

### 【授業の概要】

スポーツが文化であることを歴史的社会的事実から論証し、スポーツの生成、発展、衰退に関する諸要因について考え、現代社会における「人間性復権」について展望する。

### 【授業計画】

1. スポーツは遊びから出発し、技能を追求する。
2. スポーツは競争と協力の両面をもち、フェアプレイの精神によって成り立つ。
3. スポーツには富と閑暇が関係し、社会生活と関係が深い。
4. スポーツには教育、政治、科学が関係する。
5. スポーツは地理的環境に影響されることが大きい。
6. スポーツは「強いもの」から「弱いもの」へと対象を拡げつつある。
7. スポーツは「強いこと」から「美しいこと」へと対象を拡げつつある。
8. スポーツは今や人間性の復権へ向って進む。

### 【評価方法】

単位認定試験の成績と出席状況によって評価する。

### 【テキスト】

使用せず。参考図書は授業のとき指示する。

## 生き物の世界

石崎宏矩

### 【授業の概要】

地球上には多種・多様な動物や植物が生きているが、それぞれ進化しながら今日の生態系を成している。動物や植物の分類、分布、食性などの基礎知識を学ぶとともに、自然環境保護の視点を視野に入れながら、生き物の世界について講義する。

### 【授業計画】

次のような項目について講義する。○カイコはどうしてクワしか食べないのか○モンシロチョウの雄はどのようにして雌を見分けるか○生物がもっている時計（生物時計）とはどういうものか、時差ボケはどうして起こるか○モンシロチョウの蛹はどのようにして寒い冬をのりこえるか○アヒルのひなは生まれて初めて見た生き物を親として認識し、終生変わらない（刷り込み）。刷り込みの起こる機構は？○生命が地球上に生まれてから40億年、さまざまな生物はどのようにして進化してきたのか、DNAの性質、遺伝子の突然変異、自然淘汰とは。

他に、NHKスペシャル「生命-40億年はかな旅」他のVTRを放映し、解説を加える。

全体として、生物の進化、近未来における地球上の生命-人間を含めての危機について、正しく理解してもらえるようにつとめる。

### 【評価方法】

出欠、レポート、試験によって総合評価する。欠席した時は、友人のノートを見せてもらって、内容を理解しておくこと。試験問題が、たまたま欠席した日の授業内容だったからといって白紙であれば、特に区別はない。

### 【テキスト】

進化とはなんだろう（長谷川真理子著 岩波ジュニア新書）。これを読んで要約をレポートとして提出してもらうことを単位修得のための必須作業として課する。

### 【参考文献・資料】

随時、授業で指示する。図書館に備えつけてあるので、自主的に勉強してほしい。

## スポーツ文化論

松田秀子

### 【授業の概要】

スポーツが文化であることを歴史的社会的事実から論証し、スポーツの生成、発展、衰退に関する諸要因について考え、現代社会における「人間性復権」について展望する。

### 【授業計画】

1. スポーツは遊びから出発する
2. スポーツは技能を追求する
3. スポーツは競争と協力の両面をもつ
4. スポーツはフェアプレーの精神によって成り立つ
5. スポーツは自己実現を志向させる
6. スポーツは舞踊とともに祭りと結びついていた
7. スポーツには富と閑暇が関係する
8. スポーツは社会生活と関係が深い
9. スポーツには教育が関係する
10. スポーツには政治が関係する
11. スポーツには科学が関係する
12. スポーツには地理的環境に影響されることが大きい
13. スポーツには民族性が反映される
14. スポーツには商業主義がつきまとう
15. スポーツにはジャーナリズムがつきまとう
16. スポーツはガス抜き装置としての役割を果たす
17. スポーツのルールは法の体系に似た構造をもつ
18. スポーツは「強いもの」から「弱いもの」へと対象を拡げつつある
19. スポーツは「強いこと」から「美しいこと」へと対象を拡げつつある
20. スポーツは今や人間性の復権へ向って進む
21. スポーツの生成・発展・衰退の過程は、文化の場面と同じである

### 【評価方法】

出席状況・レポート・単位認定試験によって総合的に評価する。

### 【テキスト】

使用せず。  
必要に応じて参考資料を配付し、参考書籍を指示する。

## 生き物の世界

服部一三

### 【授業の概要】

地球上には多種・多様な動物や植物が生きているが、それぞれ進化しながら今日の生態系を成している。動物や植物の分類、分布、食性などの基礎知識を学ぶとともに、自然環境保護の視点を視野に入れながら、生き物の世界について講義する。

### 【授業計画】

- 第1回 1. 生物界の分類
2. 生物の進化
- 第2-6回 3. 植物と人の関わり
  - 1) 農耕の始まり
  - 2) 世界の農耕文化
  - 3) 日本農耕文化の起源と発展
4. 人が手を加えた植物-作物
  - 1) 作物とは?
  - 2) 世界の作物の起源
- 第7-8回 5. 作物改良の原理と方法
  - 1) 作物改良の原理
    - (1) メンデルの法則-遺伝学
    - (2) 遺伝の物質的基礎
  - 2) 作物の改良方法
- 第9回 6. バイオテクノロジー
- 第10回 1) バイオテクノロジーとは?
- 第11-12回 2) 作物の改良とバイオテクノロジー
  - (1) 細胞・組織培養
  - (2) 遺伝子操作
  - (3) バイオテクノロジーで得られた作物をいかに考えるか?
    - (1) 倫理
    - (2) 安全性

### 【評価方法】

受講資格についてはあえて問わないが、成績評価には出席点を重視し、単位認定試験の成績によって総合的に評価する。

### 【参考文献・資料】

下記の書籍を参考書籍として使用するが、テキストなどを作成して講義を進めるので、特に買い求める必要はない。

生物的自然と人間（平田豊著 開成出版）

## 人類と宇宙

安野志津子

### 【授業の概要】

宇宙観の始まり、星の生と死、地球の生成と進化など、日進月歩の宇宙の科学の課題をふまえつつ、人類にとっての宇宙についても考察する。

### 【授業計画】

—地球のまわり、太陽系、銀河系を知り、宇宙を身近に引き寄せるために—

1. 宇宙観の変遷
2. 宇宙を観測する手段
3. 太陽系を探る
4. 星の世界
5. 銀河から宇宙へ
6. 宇宙の始めと未来

毎回プリントを配布し、講義を主とするがその内容を中心としたOHP、ビデオ等も利用する。また、講義に関連した質問を出してもらい次回に解答する。なお、随時ホットな話題も取り入れたい。

### 【評価方法】

基本的には、期末テスト（配布プリント、ノート持ち込み可）によるが、出席状況も考慮して判定する。

### 【テキスト】

使用しない。

### 【参考文献・資料】

- (1) 宇宙論のすべて（池内了 新書館）
- (2) 星と宇宙の物理学読本（並木雅俊 丸善）
- (3) 見えてきた宇宙の神秘（野本陽代 草思社）
- (4) 太陽 —その素顔と地球環境との関わり—（ケネス.R.ラング著 渡辺 堯・桜井邦朋訳 シュブリンガー・フェアラク東京）

## 環境保護論

田部一史

### 【授業の概要】

現代は地球規模で自然の環境破壊が進んでいる。自然を守り環境を保護する立場から、生物とそれをとりまく外的環境の問題点を、身近な例をあげて講義する。

### 【授業計画】

- 第1講 序論：自然に学ぶ
- 第2講 森林破壊：森はいのちの母である
- 第3講 砂漠化：世界は水を失いつつある
- 第4講 地球温暖化と異常気象：人為による地球の異常
- 第5講 大気汚染と酸性雨：自然も文明も溶かし去る
- 第6講 フロンとオゾンホール：降りそそぐ有害紫外線
- 第7講 いのちのしくみ1：細胞レベル
- 第8講 いのちのしくみ2：個体レベル
- 第9講 環境汚染とがん：人工化学物質の氾濫
- 第10講 環境ホルモン：いのちのつながりを絶つ
- 第11講 生態系のバランス：人の手で壊される自然
- 第12講 生命の多様性：大量絶滅
- 第13講 環境保護：いのちと自然を守る

### 【評価方法】

出席状況、レポートおよび単位認定試験の成績によって総合的に評価する。

### 【テキスト】

使用せず。必要に応じてプリントを配布する。

### 【参考文献・資料】

授業中に指示する。

## 生命の科学

林博司

### 【授業の概要】

動物の生命の誕生、生体を構成する物質の生殖と遺伝の仕組み、生命の維持や変異するためのメカニズムと機能などについて講義する。

### 【授業計画】

1. 命の惑星地球
2. 命の理解に必要な物理と化学のエッセンス
3. 命を支える器官
4. 器官を作る細胞。
5. 細胞の仕組み
6. 分子機械としての生命
7. 分子機械の設計図：遺伝子
8. 遺伝子の働き
9. 遺伝子を操作する
10. 細胞を操作する
11. 器官を操作する
12. 遺伝子と環境のかかわり

以上12講を実験・映像資料も用いておこなう。

### 【評価方法】

出席点と小テストの得点で総合的に評価する

### 【テキスト】

指定しない

### 【参考文献・資料】

講義中に適宜触れる

## 食品の科学

千葉善根

### 【授業の概要】

基礎的な科学と食品の科学とのかかわり、食品の持つ機能や性質、貯蔵などを学び、食品と酵素の関係や科学物質としての理解を深め、多様化した食生活や加工食品の氾濫の中で生活に役立つ講義をする。

### 【授業計画】

1. 現代食生活の問題点  
食生活の変化と食糧資源について。
2. 糖質と食品  
デンプンの機能と利用、食物せんい、最近の甘味料について。
3. たんぱく質と食品  
変性と加工・調理との関係、加工食品と食物性たんぱく質の利用。
4. 脂質と食品  
脂肪の性質と脂肪酸、油脂の劣化、乳化と乳食品。
5. 無機質と食品  
骨粗鬆症等。
6. ビタミン  
食品加工・調理との関係、生物学的触媒としての働き。
7. 発酵食品  
食品と酵素・微生物との関係。

### 【評価方法】

定期試験にて評価。

### 【テキスト】

使用しない（プリント配布）。

## 暮らしの化学

八代 有

### 【授業の概要】

健康で豊かな生活を維持していくには、化学の知識と活用は必要不可欠からざるものである。身近な生活に拘わる化学的な要素について事例をあげて学ぶ。

### 【授業計画】

1. 栄養のバランスと健康増進を考える
2. 食品成分の化学と食品の安全性
3. ビタミンの化学的性質と疾病とのつながり
4. 生活習慣の改善と疾病予防
5. 薬についての正しい認識
6. 薬が生体に影響を与える因子
7. 尿・血液成分のしくみ
8. 暮らしのなかの酵素の働き
9. 話題となった環境公害
10. 生活のなかでの不思議

### 【評価方法】

テストおよび出席状況により総合的に判定する。

### 【テキスト】

テキスト使用せず、プリントを適宜配布する。

## 文学2 (中国)

寺尾 剛

### 【授業の概要】

中国の歴史と文化は古く、その影響は世界に与えているが、特に日本文学が受けたものは大きい。中国の代表的な古典を中心に紹介し、鑑賞するとともに、中国文学への興味と関心を高めたい。

### 【授業計画】

毎回、一つのテーマを取り上げ、それにまつわる文学作品を鑑賞していく。

1. 男装の麗人・木蘭の物語
2. 和蕃公主・王昭君の物語
3. 亡国の美女・西施の物語
4. 万里の長城秘話・孟姜女の物語
5. 詩仙李白と酒の歌
6. 詩聖杜甫とそのヒューマニズム
7. 南宋の詩人・陸游～その愛の悲劇
8. 中国の詩人とその妻～悼亡詩の系譜
9. 『封神演義』～中国小説の世界
10. 中国の笑い話～下ネタは下品か?
11. 『論語』の世界～孔子、人生を語る

などを予定している。

### 【評価方法】

出席、平常点と試験。

### 【テキスト】

プリント

### 【参考文献・資料】

教場で指示する。

## 文学1 (日本)

堀尾幸平

### 【授業の概要】

日本の文学史について概説し、日本文学の特徴や外国文学の影響などについてもふれる。古典から近・現代までの著名な作品や名作も鑑賞し、日本文学への興味と関心を高める。

### 【授業計画】

1. 文学とは何か
2. 明治期の文学
3. 坪内逍遙. 二葉亭四迷
4. 三輪弘忠. 巖谷小波
5. 大正期の文学
6. 小川未明. 鈴木三重吉
7. 千葉省三. 浜田廣介
8. 少年詩. 童謡. 金子みすゞ
9. 昭和期の文学
10. 佐藤紅緑. 江戸川乱歩
11. 宮澤賢治
12. 新美南吉. 坪田謙治
13. 平成期の文学
14. 創作方法理論
15. 試験

### 【評価方法】

定期試験、レポート、出席状況等によって総合的に評価する。

### 【テキスト】

新日本児童文学論 (堀尾幸平著 中日文化 2,200円)

### 【参考文献・資料】

授業中に適宜紹介する。

## 文学3 (欧米)

小野迪雄

### 【授業の概要】

西洋の文学史や文学思潮を概説し、特にイギリス文学・アメリカ文学を中心に代表的な作品について紹介し、鑑賞して、外国の文学への興味と関心を高める。

### 【授業計画】

本年度はアメリカ文学を中心に講義をする。アメリカは移民の国として、先進国の中では非常に遅い出発をした国であるが、それだけに歴史の古い国にみられる伝統に欠ける面があるものの、他の先進国にみられない文学の活力や著しい特徴がある。アメリカの文学作品には、どんな特質や問題があるのか考えていく。時間の制約上、個々の作品を細かく扱うことが難かしいので、中心は作品を生みだした社会的背景や文学思潮におく。話の展開の中でイギリス文学や日本文学にもふれる。

### 【評価方法】

レポートや受講態度を加味するが、評価の中心は定期試験による。

### 【テキスト】

未定。必要に応じてプリントを配布する。

### 【参考文献・資料】

授業時に紹介する。

## 現代の芸術 1 (書道)

森美恵子

### 【授業の概要】

現代の芸術としての書道の意味と意義について概説し、中国や日本の名筆についても鑑賞する。書写は楷書・行書・草書などを書き、技法の向上をはかり、書道への関心を高める。

### 【授業計画】

楷書・行書・草書の古法帖を拡大臨書コピーし、その手本に基づき書写した清書作品を提出する。

書写中心であるが、中国の書論に則り、古法帖の概略等も講ずる。

### 【評価方法】

授業内で提出する平素の成績物及び出席状況等にて総合的に評価する。

### 【テキスト】

書の鑑賞と学び方 (上田桑鳩 教育図書研究会)

## 現代の芸術 1 (書道)

小川晃治

### 【授業の概要】

現代の芸術としての書道の意味と意義について概説し、中国や日本の名筆についても鑑賞する。書写は楷書・行書・草書などを書き、技法の向上をはかり、書道への関心を高める。

### 【授業計画】

講義、実技を一日の時間内に進める。前後期共通の為、各時代の書美、他の美術、文学の対比についての講義は概論とする。現代社会に於ける書美と、日本人の美意識を探究することを基準として進める。

### 【評価方法】

レポート三種、実技作品、学習態度、出欠状況などによる。

### 【テキスト】

担当者の小文、古典法帖。

## 現代の芸術 2 (音楽)

志水博子

### 【授業の概要】

現代芸術としての音楽の意味と意義について概説し、洋楽・邦楽の名曲についても鑑賞する。音楽に関する基礎や知識を学び、歌唱力や鑑賞力の向上をはかり、音楽への関心を高める。

### 【授業計画】

- 第1回 名演奏家によるオペラのビデオ鑑賞
- 第2回 声の出るしくみを知る
- 第3回 腹式呼吸と身体のつかい方の練習
- 第4回 ビデオ鑑賞
- 第5回 発声練習と歌唱
- 第6回 ビデオ鑑賞
- 第7・8回 ピクニックや集会でのやさしいハーモニーの楽しみ方練習
- 第9～12回 各自の課題による実技発表とアドバイス

### 【評価方法】

授業内での実技演奏 (各自の得意とする歌唱又は楽器の演奏、アンサンブル可) と出席状況

### 【テキスト】

楽譜プリントは配布

## 現代の芸術 2 (音楽)

浅田まり子

### 【授業の概要】

現代芸術としての音楽の意味と意義について概説し、洋楽・邦楽の名曲についても鑑賞する。音楽に関する基礎や知識を学び、歌唱力や鑑賞力の向上をはかり、音楽への関心を高める。

### 【授業計画】

- 第1講 音楽について
- 第2講 発声のしくみ
- 第3講 ヴォイストレーニング1 (自然体)
- 第4講 音楽療法 1 (歴史と機能)
- 第5講 ヴォイストレーニング2 (呼吸法)
- 第6講 サウンドスケープ (音の風景)
- 第7講 音楽療法 2 (受容性)
- 第8講 音のしくみ1 (メロディーとリズム)
- 第9講 ヴォイストレーニング (楽器の確保)
- 第10講 音のしくみ2 (コードなど)
- 第11講 音楽と旅
- 第12講～発表

\*音楽の機能を健康的に活かし、自己満足的な音楽ではなく、人とコミュニケーションができる音楽を目指します。

\*発表は、個人・またはグループでジャンルを問わない演奏の発表。  
(歌・ギター・ピアノ・コンピューターミュージックなど)

### 【評価方法】

実技・感想・出席状況・授業態度

### 【テキスト】

授業中に指示

## 現代の芸術 3 (美術)

横山萬里

### 【授業の概要】

現代芸術としての美術の意味と意義や東西の流派を概説し、西洋や日本の名画についても鑑賞する。美術や絵画への興味と関心を高める。

### 【授業計画】

国宝に指定されている古い絵画あるいは日本の伝統的な絵巻のなかから鳥獣人物戯画を取りあげて日本画の表現、色彩方法を講義する。他、筆ペンにて墨線の模写をしてみる。

また、授業の中で名古屋市内の美術館を訪問し、古画現代画にふれる。

- ・日本画の特徴
- ・鳥獣人物戯画の説明
- ・鳥獣人物戯画における線の強弱と動き
- ・日本画の模写について
- ・日本画の鑑賞

美術館入場料 500円程

筆ペン 500円

費用計 1,000円

### 【評価方法】

出席状況と感想文レポート（2回提出）線描の模写10種を総合的に評価。

### 【テキスト】

日本の絵巻6「鳥獣人物戯画」

コピーした図を見る。

### 【参考文献・資料】

無料、用意有

## 現代の芸術 4 (映画)

HIGH, Peter B.

### 【授業の概要】

映画の意味と意義を概説し、映画の歴史についてもふれ、名作を鑑賞する。アメリカ映画を題材として使って、映画芸術とは何かを考察

### 【授業計画】

授業のやり方としては、映画（全体又は部分）を見終わってから教室で、ディスカッションを行った後、各自、次の授業までに自分の分析を短い文章（原稿用紙2・3枚程度）にまとめて提出する。

課題：「古典ハリウッド映画」の表現手法

今学期、四つの映画を分析対象とする：

- 1) 「駅馬車」(STAGECOACH, 1939年作品、監督：John Ford)
- 2) 「マルタの鷹」(MALTESE FALCON, 1941年作品、監督：John Huston)
- 3) 「市民ケーン」(CITIZEN KANE, 1941年作品、監督：Orson Welles)
- 4) 「第三の男」(THE THIRD MAN, 1949年作品、監督：Carol Reed)

現代の芸術 4 (映画) の学期末評価は3つの宿題に基づく(学期末試験はなし)：

- 宿題1：「マルタの鷹」の対極的分析の図(文章化する必要はない)
- 宿題2：「市民ケーン」の対極的分析(原稿用紙3-4枚の文章)
- 宿題3：「第三の男」の対極的分析(原稿用紙3-4枚の文章)：この三つの宿題は学期末試験として扱われる

\*今学期学ぶこと：

- 1) 映画分析のための技術：
  - a. セグメンテーション (SEGMENTATION=映画を見ながら、ノーツの取り方)
  - b. 対極的分析法(映画ドラマにおける対立。競争、衝突などに焦点を絞って、ドラマの構造を分析すること)
- 2) 典型的なハリウッド映画(1930年代から現在の「スター・ウォーズ」や「ターミネーターIII」等にいたるまで)のスタイルとストーリーの語り方：
  - a. 「因果的關係」とドラマの盛り上げ方
  - b. FABULA (ファビュラ)=観客が頭の中で作る「映画のストーリーの世界」対SUZHET (シュゼット、つまり「プロット」)=画面から与えられた「映画のストーリーの世界」を作るための「材料」「やヒント
  - c. ハリウッド映画はどうやって「リアリズム」の感覚を作り上げるのか
  - d. ハリウッド映画を見ている時に、どうして観客は「自分が映画を見てるんだ」ということを忘れるのか
- 3) ハリウッド映画におけるGENRE (ジャンル) の役割

### 【評価方法】

出席と宿題によって、評価される

### 【テキスト】

テキストはありません。教材は適時配布します。

## 現代の芸術 4 (映画)

吉村英夫

### 【授業の概要】

現代芸術としての映画の意味と意義を概説し、映画の歴史についてもふれ、名作を鑑賞する。ヨーロッパやアメリカ映画などとの比較の視点から日本映画の特徴などを講義し、映画への興味と関心を高める。

### 【授業計画】

映画の楽しさを知ろう! セミ・クラシック映画の魅力を考える。モノクロ映画は見えない学生もいる。黒澤明は誰もが知っているが、彼のダイナミックな映像を見えない学生が意外に多い。欧米、日本を通じて、かつて素晴らしい映画が生まれ、その伝統の上に現代映画が出来上がったことを知りたい。現在の大学生が生まれる以前の映画をセミ・クラシックと考え、優れた映画を参考上映し、その魅力を満喫しながら、映画芸術への理解を深める。古い映画がすばらしいことを知る入門講座としての役割を果たしたい。

参考上映する作品として検討中のもの(予定)

- \* 世界最初の映画、無声映画とチャップリン映画
- \* 『用心棒』(『七人の侍』) 黒澤明監督作品
- \* 『砂の器』 野村芳太郎
- \* 『幸福の黄色いハンカチ』(『男はつらいよ』) 山田洋次
- \* 『生れてはみたけれど』 小津安二郎
- \* 『十二人の怒れる男』シドニー・ルメット
- \* 『シェーン』ジョージ・スティーヴンス
- \* 『OK牧場の決闘』ジョン・スタージェス
- \* 『北北西に進路を取れ』アルフレッド・ヒッチコック
- \* 『ウエスト・サイド物語』ロバート・ワイズ
- \* 『ダーティ・ハリー』ドン・シーゲル
- \* 『ロッキー』ジョン・G・アビルドセン
- \* その他

### 【評価方法】

\*学期末のテスト \*随時提出のレポート \*出席 \*テキストは使用しない

## 現代の芸術 5 (演劇)

海上宏美

### 【授業の概要】

現代芸術としての演劇の意味と意義について概説し、ヨーロッパや日本の演劇の歴史についてもふれる。内外の代表的な演劇について解説し、演劇への興味と関心を高める。

### 【授業計画】

1. 現代芸術としての演劇は多様であるため、演劇を軸としながら国内外のダンス、パフォーマンス、アートを重要な参照項として見ていく。
2. 身体を用いる表現であるため現代の思想やジェンダーとも切り離して考えることはできないので、その関わりを探っていく。
3. 戯曲=テキストの存在が演劇にとって大きな要素なので、演劇における戯曲=テキストの位置の変遷を概説する。
4. 演劇が行われる「劇場」というものがどのような時代思潮を具現しているものなのかを、ヨーロッパと日本の劇場を比較しつつ検討する。
5. 演技というものを身体と言語の関係から見直し、演技というものの在り方を歴史的視点から批評的に見ていく。

授業は上演ビデオや参考スライドを鑑賞しながら進めていく。

### 【評価方法】

レポートの提出と出席状況で評価する。また、実際に劇場等で上演される現代の上演芸術(演劇に限定しない)を見ることを求める。

### 【テキスト】

テキストは使用しない。

### 【参考文献・資料】

授業内で適宜指示する。

## 伝統芸能

林 和利

### 【授業の概要】

国際化が進み、さまざまな異文化にふれる機会も多くなったが、日本の伝統文化にも目を向けることが大切だ。伝統文化の中でも芸能・演劇を中心に講義する。舞楽・能・狂言・歌舞伎・文楽など、実際の舞台をビデオ等で確認しつつ、その歴史や演技・作品などについて講じる。

### 【授業計画】

1. 授業の目的と方針を提示。
2. 日本芸能演劇史概説
3. 芸能の発生について
4. 神楽について
5. 伎楽・舞楽・散楽について
6. 田楽について
7. 猿楽について
8. 能について
9. 狂言について
10. 歌舞伎について
11. 文楽について

また、学外の舞台芸術を有料で鑑賞することもありうる。

### 【評価方法】

出席状況と単位認定試験により総合的に評価する。

### 【テキスト】

日本文化論序説（林和利著 青山社）

## 文章表現

青木 健

### 【授業の概要】

マルチメディアの発達で文章を書く機会が少なくなっているため、自らの意思を文章で表現することが苦手な人も増えている。文章を作り、書くために必要な基礎知識や構成について具体例を示しながら講義する。

### 【授業計画】

- 第1回 人は言葉の織物である。（伝達と表現1）
- 第2回 現代の口語表現について。（伝達と表現2）
- 第3回～9回  
例文をテキストに、文章の構成、話法、リズム、形容修辭法など具体的に講義。
- 第10回～12回  
課題を3回提出し、短文（2～5枚、400字詰）を書かせ、そこから文章表現についての共通の問題点を抽出する。

### 【評価方法】

出席状況、3回の提出原稿などを基準として評価する。

### 【テキスト】

当方にて用意します。参考書籍は授業中に数冊指示します。

## 現代マナー論

近藤乃美子

### 【授業の概要】

人間関係の円滑な親和を保つために必要な基本的マナーを学ぶ。身近な実例をとりあげて講義する。

### 【授業計画】

講義方式による。授業中、適宜プリントを配布する。

1. マナーの基本
2. 会話と傾聴
3. 身だしなみとおしゃれ
4. 服装 フォーマルとカジュアル
5. 訪問と応接 和風
6. " " 洋風
7. 茶菓のマナー
8. 贈答のマナー
9. 冠婚のマナー
10. 葬祭のマナー
11. 食事のマナー
12. パブリックマナー

### 【評価方法】

出席状況、授業態度、期末試験等により総合的に評価する。

### 【テキスト】

テキストとしては使用しない。

### 【参考文献・資料】

参考文献・資料はなし。

## 言語表現

三久保角男

### 【授業の概要】

マルチメディアの発達で人と人が直接的な会話をするのが少なくなり、話すことが苦手な人が増えている。人前で話すことや自分の意志を言葉で伝えるための基礎的な技術を身につける講義をする。

### 【授業計画】

1. 話し言葉概論  
ことばの機能 話し言葉の特徴 共通語と方言
2. 日本語の音声 1（発声）  
呼吸法 音声器官 発声法
3. 日本語の音声 2（発音）  
音素 子音 母音 アクセント
4. 話し言葉の表現  
スピード ポーズ イントネーション プロミネンス
5. 話し言葉の実践  
敬語 スピーチ ディベート
6. 朗読

講義が中心になるが、可能な限りの実践を伴う授業にする。

### 【評価方法】

レポート。

### 【テキスト】

必要に応じてプリントを配布する。

### 【参考文献・資料】

授業中に紹介する。

## メディア表現

鎌田基子

### 【授業の概要】

情報化社会の発達と技術の進歩で、さまざまなメディアが新しい表現を生み、文化を形成している。現在あるメディアの構造と伝達の仕組みやかかわりについて、講義と実践をまじえながら考察する。

### 【授業計画】

1. どこからどこまでがメディアなのか
2. 「編集」がもつ創造力
3. 「伝える」と変化する
4. 人を動かす力
5. 自分との対話
6. 「コンセプト」の功罪
7. 共感する/させる
8. 心を開かなければならないとき

ほぼ毎回WORK SHOPを行なう。一項目に関する講義が複数回にわたる場合もあるので、極力遅刻、欠席のないよう注意してもらいたい。状況により、可能であればゲストを招いての授業も計画する。

### 【評価方法】

レポートによる。

### 【テキスト】

テキストは使用せず、資料を配布する。

## 生涯学習論

五島敦子

### 【授業の概要】

現代は生涯学習の必要性和重要性が強く説かれている。社会の構造が複雑になるとともに高齢化社会も進む中で、生涯学習の意義と学び方について、身近な事例をふまえて講義する。

### 【授業計画】

1. 生涯学習とは何か
  - (1) 生涯学習の提唱
  - (2) 生涯学習の理念
2. 生涯学習の機会
  - (1) ライフサイクルと生涯学習
  - (2) 社会教育施設の意義
  - (3) 高等教育機関の役割
  - (4) 地域づくりへの参加
  - (5) 子どもの生活と生涯学習
  - (6) 高齢者の学習機会
  - (7) 職場における学習機会
  - (8) 情報化社会における学習情報
3. 現代生涯学習の課題
  - (1) 生涯学習政策の動向
  - (2) 教育改革と生涯学習体系化への移行

### 【評価方法】

レポート、授業内小テスト、出席状況による総合評価

### 【テキスト】

テキストとしては使用しない

### 【参考文献・資料】

生涯学習と社会参加—おとなが学ぶことの意味  
(佐藤一子 東京大学出版会 1998年)  
社会教育と学校シリーズ・生涯学習社会における社会教育  
(鈴木 真理・佐々木 英和 学文社 2003年)

## 職業と人生

伊藤義明 江原昭善 中村 薫 都築久義 山脇正雄 伊藤義尚  
渡邊一正 高平ゆかり 神谷利徳 石田好江 伊藤健治

### 【授業の概要】

将来の職業選択に当たっての必要事項や現代の企業社会の実態、企業へ就職するための基礎知識などをガイダンスする。

### 【授業計画】

5年～10年先の社会発展を展望したとき、学生に求められる資質、即ち「職業人としての心構え」「学識」「専門的スキル」などを社会の第一線で活躍中の学識経験者とプロフェッショナルによるオムニバス形式の連続講演により、具体的に語ってもらいます。

第1講：動物の社会と人間の社会 講師：江原昭善 京都大学名誉教授 日本福祉大学コミュニティスクール校長	4月14日
第2講：仕事をすること（勤労の意味を考える） 講師：中村 薫 文学博士 同朋大学大学院教授	21日
第3講：趣味と仕事 講師：都築久義 愛知淑徳大学教授	28日
第4講：この道一筋（職人の生き方—ものづくりのための人づくり） 講師：山脇正雄 岐阜大学客員教授 前デンソー工業技術研修センター 所長（技能オリンピック金メダル選手の指導者）	5月12日
第5講：自己発見の試み （自分の思考傾向を知り、他者とのコミュニケーション技法を学ぶ） 講師：伊藤義尚 プランディングコンサルタント G-Tech.Resource代表	19日
第6講：多様な働き方（リクルートの専門家が語る） 講師：渡邊一正 リクルート メディアプロデューサー 編集長	26日
第7講：専門性を身に着ける（文科系のスキル—女性プロが専門性を身につけるための経験や社会で活躍する人の行動パターンを熟っぽく語る） 講師：高平ゆかり 株式会社メイホールディング事業本部副本部長	6月2日
第8講：専門性を身に着ける（その2—プロフェッショナルの世界） 講師：神谷利徳 住空間デザイナー 有限会社神谷デザイン事務所所長 （全国的に著名なフードサービスデザイナーに聞く）	9日
第9講：生涯教育と働く環境 講師：渡邊一正 リクルート メディアプロデューサー 編集長	16日
第10講：男女共同参画社会の展望 講師：石田好江 本学現代社会学部教授 本学ジェンダー・女性学研究所所長	23日
第11講：国際化と職業選択（外資系企業の特長） 講師：伊藤義明 ACCJ在日米商工会議所中部支部ディレクター	30日
第12講：インターンシップ 講師：伊藤健治 日本碍子株式会社人事部採用研修マネージャー	7月7日
第13講：総括（学生との対話）	14日

### 【評価方法】

最後に簡単なレポートを提出

### 【テキスト】

原則使用しない一人によりレジメまたはパワーポイント使用

## 一般心理学

青柳真紀子

### 【授業の概要】

心理学の研究対象と研究方法を明らかにし、行動科学としての心理学を展望する。心理学の一般的方法論や心理学の各領域における基礎的知識を概説する。

### 【授業計画】

1. 無意識の世界
2. 動機づけ
3. ストレスとタイプA性格
4. 錯視の不思議
5. 学習
6. 記憶
7. パーソナリティ
8. 対人関係
9. 態度変容
10. 集団の心理

### 【評価方法】

試験の成績、レポート、出席状況などから総合的に評価する。

### 【テキスト】

随時資料を配布する。

## 一般心理学

加藤智宏

### 【授業の概要】

心理学の研究対象と研究方法を明らかにし、行動科学としての心理学を展望する。心理学の一般的方法論や心理学の各領域における基礎的知識を概説する。

### 【授業計画】

- a. 知覚と感覚
- b. ノンバーバルコミュニケーション
- c. 愛着
- d. アイデンティティ
- e. 学習と記憶
- f. 忘却と変容
- g. 防衛機制と無意識
- h. 心理療法
- i. 心理テスト
- j. 個人・社会・環境

以上について、それぞれ1～2回の講義を予定しています。

また応用分野として、環境心理学や犯罪心理学についても紹介していく予定です。

### 【評価方法】

出席状況と試験の成績によって総合的に評価します。

### 【テキスト】

使用しません。授業中に資料を配付します。

## 法律学

大嶽 浩

### 【授業の概要】

社会生活は「法」という社会規範の中で営まれている。「法」は憲法をはじめ、各種さまざまな領域にわたって制定している。法とは何かという問題を中心に各種の法について概説し、日常生活に関連する法についてもふれる。

### 【授業計画】

1. 法学の入門書と文学作品
2. 法学学習と文学作品
3. 法学学習の方法
4. 法学と政治と文学
5. 法学と活字
6. 法学と批評

### 【評価方法】

試験とレポートによる評価。

### 【テキスト】

使用せず。プリントを配布。

### 【参考文献・資料】

授業の中で紹介する。

## 一般社会学

長濱一夫

### 【授業の概要】

社会学は人間同士の関係に視座を置いて、個人・社会集団、社会事象について研究する学問である。社会学の領域と一般的研究方法や基礎的知識について概説する。

### 【授業計画】

以下のそれぞれのテーマを主たる切り口とし（順序は入れ替わることがあります）、私たちの社会生活について考えを深めていきたい。

- (1) 社会学とはどんな学問か—個人と社会—
- (2) 都市と農村—地域社会の変容—
- (3) 都市化の進展—その光と陰—
- (4) 人々の暮らし—「出稼ぎ」という暮らし方—
- (5) 現代社会における「豊かさ」と「貧困」  
—国際社会を視野に—
- (6) 高齢化社会と家族

授業は講義形式で行いますが、VTRなども随時、利用していきます。また、人数によっては、意見・感想を求めたり、ディスカッションしてもらうこともあります。

### 【評価方法】

試験（レポート or 筆記）および出席状況、平常点によって評価します。

### 【テキスト】

使用しません。

## 政治学

西尾林太郎

### 【授業の概要】

政治体制や政治制度について概括的に学びながら、現実の政治の動態を日本と諸外国と比較しながら学習する。時事問題や日常的な話題にもふれつつ講義を進める。

### 【授業計画】

1. 国内政治と国際政治
  - a 国際社会とは？
  - b 国民国家、ナショナリズム、外国為替
  - c トランス・ナショナル現象、相互依存性の増大
  - d イスラム原理主義とグローバルスタンダード
2. 古典的デモクラシーとマス・デモクラシー
  - a 市民社会と大衆社会
  - b 立法国家と行政国家
3. 現代の政治過程
  - a 政治と利益団体、NPO
  - b 選挙、官僚、議会
  - c マスメディアとマスコミュニケーション
4. 政治権力とは何か
  - a 人間はどうして支配を受けられるか？
  - b リーダー・シップ、エリート
  - c 支配、被支配の心理
5. 戦後国際社会と日本の政治
  - a 冷戦構造と55年体制
  - b 利権の構造

### 【評価方法】

試験（配布資料と自筆ノートのみ持込可）と出席状況による。

### 【テキスト】

暮らしから考える政治（姜尚中著 岩波ブックレットNo.564）

## 経済学

細野義晴

### 【授業の概要】

経済の仕組みと役割について、マクロ経済とミクロ経済の双方の視点から基礎的知識を学ぶ。日常生活や時事問題としての経済的事象についてもふれ、経済学を身近なものにする。

### 【授業計画】

1. 経済のしくみの全体像  
マクロの経済とミクロの経済、GDP統計のしくみ、など。
2. 日本の経済と景気  
日本経済の発展と構造変化、日本の景気変動、など。
3. 個人のくらしと経済  
個人の消費行動、消費と貯蓄、など。
4. 企業の経済活動  
企業の投資活動、モノの値段とインフレ・デフレ、など。
5. 政府の経済活動  
財政のしくみと役割、財政事情の悪化と財政再建、など。
6. 金融のしくみと経済  
お金と金融機関の役割、中央銀行の役割と金融政策、金融のビッグバン、など。
7. 日本と世界の経済  
経済のグローバル化と国際収支、外国為替市場と外国為替相場の変動、国際機関の役割、欧州の通貨統合、など。

### 【評価方法】

単位認定試験の成績に出席状況を加味して評価する。

### 【テキスト】

使用しない

### 【参考文献・資料】

- (1) 入門の入門 経済のしくみ (大和総研著 日本実業出版社)
- (2) 図解雑学 マクロ経済学 (井堀利宏著 ナツメ社)

## 物理学

坂井貞彦

### 【授業の概要】

人間の生命に関する分野を除く、自然現象を、数量的、法則的に把握し、普遍的法則や原理を見つけ出すという物理学の基礎を学ぶ。身近な現象の中から物理学的な観察や視野を持てる力を涵養する。

### 【授業計画】

講義方式による。実験は行わない。テキスト及び授業中に配布するプリントの記述のうち基本的なものを説明し、物理学への関心を高める。

- 1 はじめに
- 2 運動と力
- 3 振動と波動
- 4 光と電磁波
- 5 かたちと流れ
- 6 熱とエネルギー
- 7 電気と磁気
- 8 相対性理論
- 9 量子力学
- 10 素粒子

### 【評価方法】

おもに期末試験(筆記)による。(毎回欠席を調査する。欠席回数が多い場合は受験資格を失う。)期中にレポートを提出させた場合は、成績評価に反映させる。

### 【テキスト】

入門ビジュアルサイエンス・物理のしくみ (小暮陽三 日本実業出版社)

## 数学

岡田克彦

### 【授業の概要】

数学は膨大な体系を持つ学問体系であるが、主要な分野の入門的、基礎的な事項を解説する。日常生活はさまざまな数学の恩恵を受けて成り立っているので、暮らしの中の数学といったことにもふれてみたい。

### 【授業計画】

以下の各項目について説明し、演習を行う。

- 1 確率
- 2 統計、偏差値
- 3 ベクトル
- 4 微分
- 5 積分
- 6 物理学への応用

### 【評価方法】

課題及び試験で評価する。

### 【テキスト】

特に使用しない。随時プリントを配布する。

## 統計学

鈴木有美

### 【授業の概要】

さまざまな情報が氾濫している現代社会は、情報処理の手段として統計学は不可欠である。統計学の基本的な概念と手法を講義し、社会統計が現代社会にどのようにかかわっているか、いかに必要かを講義する。

1. 変数の性質
2. 度数分布
3. 基礎統計量—代表値・散布度・尖度・歪度
4. 正規分布
5. 2変量の関係—相関・回帰・連関
6. 母集団と標本
7. 統計的推定—点推定・区間推定
8. 統計的検定—母平均検定・母分散検定
9. 平均値の差の検定—t検定・分散分析
10. ノンパラメトリック検定

### 【授業計画】

講義の内容については、基本的に上記の順に進めるが、受講者の理解・興味に応じて構成していく予定である。また、講義で学んだことについて理解を深めるための課題を随時設ける。

### 【評価方法】

課題の提出とその結果、および定期試験の結果をあわせて評価する。

### 【テキスト】

本当にわかりやすいすぐ大切なことが書いてあるごく初歩の統計の本 (吉田寿夫著 北大路書房)

### 【参考文献・資料】

授業中に紹介する。

下記の科目は、本年度開講しません。

## 生物学

### 【授業の概要】

生物の発生、生命、形態、生態、生理、分類など、生物学の各分野の基礎を概説する。身近な生物学的諸問題についてもふれ、生活に役立つ生物学を講義する。

## 英語コミュニケーション1 (TOEIC I)

山田久美子 NORRIS, Harry T. 他

### 【授業の概要】

就職などでも考慮されることが多い国際コミュニケーション英語能力テストTOEICに向けての基礎的な能力を、文法や語彙など基本事項に重点を置いて身につける。

### 【授業計画】

英語運用能力育成を目指す全学共通科目の一つとして、文法や語彙などの基本事項の整理を行うのがこの授業の目標である。この目標を達成するために、この授業では、本学に導入しているコンピュータを利用した英語学習システムALC NetAcademy (アルクネットアカデミー) の「初級・中級コース」を活用して、文法や語彙などの基本事項を再確認し、その定着を図る。具体的には、以下のよう

- に授業を進める。
1. 受講生による演習問題への解答
  2. 授業担当者による問題解説
  3. 演習問題を利用したディクテーション、シャドーイング、ペア・プラクティスなど
  4. Speed ListeningとSpeed Reading機能を活用した速聴・速読練習
  5. 確認テストの実施
- 「初級・中級コース」のうち、「TOEICテスト演習コース」(10ユニット)と「TOEICテストパート演習コースpart V」(20ユニット)の合計30ユニットを修了させることが目標である。

なお、担当教員や使用テキストなどにより、若干の変更が生じる場合がある。授業の計画や進度についての詳細は、1回目の授業で担当教員から説明される。

### 【評価方法】

出席25%、宿題25%、授業への積極的参加・授業内活動・テスト50%

### 【テキスト】

〈長久手キャンパス〉

- 13 Grammatical Keys to the TOEIC Test: TOEICテスト頻出文法13ポイント (西谷敦子著 朝日出版社)  
TOEIC Test: Grammatical Trainer (大学生のためのTOEICテスト英文法) (高山芳樹著 南雲堂)  
以下未定

〈星が丘キャンパス〉

掲示・配布物にて指示する。

## 英語コミュニケーション3 (Listening II)

石橋千鶴子 NORRIS, Harry T. 他

### 【授業の概要】

英語をより正確に聞き取り、パラグラフや会話文の要点を把握できるようになるための発展的な能力を、LL教材等を用いて演習形式で身につける。

### 【授業計画】

英語運用能力育成を目指す全学共通科目の一つとして、会話文・説明文などの内容を正確に把握できるリスニング力を養成することがこの授業の目標である。この目標を達成するために、さまざまな音声教材、CALLシステムなどを活用し、以下の内容で授業を進める。

1. 英語のリズムとイントネーションの習得
2. 連結・脱落・同化などの聞き取り
3. 数字・地名の聞き取りと、日本人英語学習者が発音・聞き取りを不得手としている音の練習
4. ディクテーション
5. シャドーイング
6. 短文・長文の暗唱
7. ペア・プラクティス

授業で取り上げた教材を、何度も繰り返し声に出して発音する練習を通じて、英語らしいリズムとイントネーションの習得とともに、語彙力と表現力も身につける。英語を頭の中で日本語に置き換えるのではなく、英語を英語として聞き理解できるようにするために、大量・高速の英語を聞く。

なお、担当教員や使用テキストなどにより、若干の変更が生じる場合がある。授業の計画や進度についての詳細は、1回目の授業で担当教員から説明される。

### 【評価方法】

出席25%、宿題25%、授業への積極的参加・授業内活動・テスト50%

### 【テキスト】

掲示・配布物にて指示する。

## 英語コミュニケーション2 (Listening I)

山田久美子 NORRIS, Harry T. 他

### 【授業の概要】

短いフレーズを中心とした英語を正確に聞き取れるようになるための基礎的な能力を、LL教材を用いて演習形式で身につける。

### 【授業計画】

英語運用能力育成を目指す全学共通科目の一つとして、基礎的なリスニング力を養成することがこの授業の目標である。この目標を達成するために、音声教材、CALLシステムなどを活用し、以下の内容で授業を進める。

1. 英語のリズムとイントネーションの習得
2. 連結・脱落・同化などの聞き取り
3. ディクテーション
4. シャドーイング
5. 短文・長文の暗唱
6. ペア・プラクティス

様々な場面における対話や応答、状況説明などの聞き取りを通じて、語彙の増強と基本的な英語表現の習得も図る。

なお、担当教員や使用テキストなどにより、若干の変更が生じる場合がある。授業の計画や進度についての詳細は、1回目の授業で担当教員から説明される。

### 【評価方法】

出席25%、宿題25%、授業への積極的参加・授業内活動・テスト50%

### 【テキスト】

〈長久手キャンパス〉

- A New Approach to Natural English:  
ShadowingによるTOEIC, TOEFL制覇 (矢作三蔵著 開文社出版)  
リスニング・トレーナー: TOEIC対応レベル別練習 (千田潤一著 朝日出版社)  
Work Sheets for Compact English Listening:  
ワークシート方式リスニングの基本演習 (船田秀佳著 北星堂書店)  
以下未定

〈星が丘キャンパス〉

掲示・配布物にて指示する。

## 英語コミュニケーション4 (Reading I)

横関美津紀 DYCUS, David C. 他

### 【授業の概要】

英文の内容を早く、正確に読みとれる能力を身につけるために、さまざまなタイプの英文を多読・速読する。

### 【授業計画】

英語運用能力育成を目指す全学共通科目の一つとして、英文の内容を早く、正確に読みとれるようになることがこの授業の目標である。具体的には、1分あたり150語以上のスピードで英文を読み、英語を日本語に訳すのではなく、英語を英語として読み、分からない単語があっても前後の文脈から意味を推測し、パラグラフごとの要点を把握するための訓練を行う。速読の訓練には、本学に導入しているコンピュータを利用した英語学習システムALC NetAcademy (アルクネットアカデミー) のSpeed Reading機能も活用する。授業は以下の内容で進める。

1. 社会・経済、世界の情報、自然科学、文化、広告文などの実用的な英文などさまざまな分野の英文の読解
2. 語彙力の増強
3. 文法事項の整理
4. 練習問題・確認テストなど

なお、担当教員や使用テキストなどにより、若干の変更が生じる場合がある。授業の計画や進度についての詳細は、1回目の授業で担当教員から説明される。

### 【評価方法】

出席25%、宿題25%、授業への積極的参加・授業内活動・テスト50%

### 【テキスト】

〈長久手キャンパス〉

- Exploring Cultural Issues: Practice in the TOEIC Test Format (異文化で学ぶTOEICテスト総合演習) (清水義和他著 成美堂)  
5-Minute Quizzes for TOEIC: Reading (TOEICのリーディング対策) (木村恒夫他著 マクミラン ランゲージハウス)  
以下未定

〈星が丘キャンパス〉

掲示・配布物にて指示する。

## 英語コミュニケーション5 (TOEIC II)

松本一喜 DYCUS, David C. 他

### 【授業の概要】

就職などでも考慮されることが多い国際コミュニケーション英語能力テストTOEICに向けての発展的な能力を身につけ、英語の総合力を高めることを目標とする。

### 【授業計画】

英語運用能力育成を目指す全学共通科目の一つとして、リスニング力とリーディング力を総合的に向上させることがこの授業の目標である。この目標を達成するために、この授業では、本学に導入しているコンピュータを利用した英語学習システム ALC NetAcademy (アルクネットアカデミー) の「スタンダードコース」を活用して、英語コミュニケーション能力の向上を目指す。具体的には、以下のように授業を進める。

1. 「スタンダードコース」の「レベル診断テスト」の受験 (学生の習熟度にきめ細かく対応するため)
2. 受講生による演習問題への解答
3. 授業担当者による問題解説
4. 演習問題を利用したディクテーション、シャドーイング、ペア・プラクティスなど
5. 確認テストの実施

「スタンダードコース」のうち、「リスニング力強化コース」(50ユニット)と「リーディング力強化コース」(50ユニット)の全100ユニットを修了させることが目標である。

なお、担当教員や使用テキストなどにより、若干の変更が生じる場合がある。授業の計画や進捗についての詳細は、1回目の授業で担当教員から説明される。

### 【評価方法】

出席25%、宿題25%、授業への積極的参加・授業内活動・テスト50%

### 【テキスト】

掲示・配布物にて指示する。

## 英語コミュニケーション7 (Oral Communicaton II)

LONG, Jonathan E.B. 他

### 【Course Content】

ネイティブ・スピーカーの教員によって、実用英会話の応用的な力を身に付ける。

This pre-intermediate course, aims to further develop students' English proficiency by focusing on the practical English skills that will enable them to communicate their needs, views and ideas. Topics commonly included in TOEIC tests will be used as themes for these oral encounters.

Reading, Writing and Listening tasks will be used only as preparation for oral activities. For example, dialogues and roll plays may be used to set the scene for further discussion. The dialogues may be text based or student designed (i.e. homework).

### 【Schedule】

Topics will include such things as: Leisure and Recreation, The Weather, Advertising, Commuting and Transportation, Banking and Shopping.

### 【Assessment】

- 25% Attendance
- 25% Homework
- 50% Class-work/Participation/Tests

### 【Textbooks】

To be announced

## 英語コミュニケーション6 (Oral Communicaton I)

WILLIAMS, Allen D. 他

### 【Course Content】

ネイティブ・スピーカーの教員によって、実用英会話の基礎的な力を身に付ける。

This course aims to develop students' basic English proficiency by focusing on the practical English skills that will enable them to communicate their needs, views and ideas. Topics commonly included in TOEIC tests will be used as themes for these oral encounters.

Reading, Writing and Listening tasks will be used only as preparation for oral activities. For example, dialogues and roll plays may be used to set the scene for further discussion. The dialogues may be text based or student designed (i.e. homework).

### 【Schedule】

Topics will include such things as: Office Conversations, Travel Situations, Talking about Occupations, On the Telephone, Eating out and other TOEIC type situational conversations.

### 【Assessment】

- 25% Attendance
- 25% Homework
- 50% Class-work/Participation/Tests

### 【Textbooks】

To be announced

## 英語コミュニケーション8 (Reading II)

石橋千鶴子 DYCUS, David C. 他

### 【授業の概要】

さまざまなタイプの英文の内容を正しく把握できるように、英文精読のトレーニングを行う。

### 【授業計画】

英語運用能力育成を目指す全学共通科目の一つとして、目的に応じた英文の読み方があることを知り、ある程度のまとまった長さの英文を読みとれるようになることがこの授業の目標である。長い文章は、全体のテーマに行き着くまでに、いくつかのパラグラフが組み合わせられてできている。このため、英文の内容を正しく把握するためには、パラグラフごとの要点を把握し、異なるパラグラフが論理的にどのような関係にあるのか、筆者の主張・論点・メッセージは何かを理解する必要がある。授業は以下の内容で進める。

1. 長文の大意把握
2. 語彙力の増強
3. 文法事項の整理
4. 練習問題・確認テストなど

なお、担当教員や使用テキストなどにより、若干の変更が生じる場合がある。授業の計画や進捗についての詳細は、1回目の授業で担当教員から説明される。

### 【評価方法】

出席25%、宿題25%、授業への積極的参加・授業内活動・テスト50%

### 【テキスト】

掲示・配布物にて指示する。

## ASU TOEIC I E

天野純子 太田晶子

### 【授業の概要】

TOEICスコア470点以上の学習者を対象とする全学向けのTOEIC対策講座。日本人教員担当の「ASU TOEIC I」、ネイティブスピーカー担当の「ASU TOEIC II」から成る。最高期に2コマ（I、IIの両科目を受講した場合）、4年間続けて履修できる。週1回に2単位とする。学期末のTOEIC受験およびその得点アップが期待される。各自、到達度・進捗度を確認することが望ましい。毎回、授業外での読解演習（60分×7日×13回）とリスニング演習（60分×7日×13回）（それぞれ91時間相当）が課せられる。課題は毎回チェックされる。授業中に演習に取り組む態度、出席、課題などにより総合的な評価を行う。

### 【授業計画】

第1回 オリエンテーションおよび模擬演習

第2回～第14回 演習・解説、Vocabularyテスト

- ・1週間の宿題の範囲からVocabularyの小テスト・採点・解説（15分）
- ・前回の宿題で間違いが多かった点の解説（15分）
- ・演習（文法問題・Reading・リスニング）（30分）
- ・問題解説（25分）

第15回 模擬テスト

- \*宿題 読解演習・文法問題（60分×7日）＝毎回7時間相当分  
（合計 7時間×13回＝91時間）
- リスニング演習（60分×7日）＝毎回7時間相当分  
（合計 7時間×13回＝91時間）

### 【評価方法】

出席・演習に取り組む態度・宿題の遂行度合いなどにより総合的に評価する。

### 【テキスト】

掲示（外国語教育センターの掲示板）を参照のこと。

## ASU TOEIC II E

STEPHENSON, Brett DUNKLEY, Daniel

### 【授業の概要】

TOEICスコア470点以上の学習者を対象とする全学向けのTOEIC対策講座。日本人教員担当の「ASU TOEIC I」、ネイティブスピーカー担当の「ASU TOEIC II」から成る。半期に2コマ（I、IIの両科目を受講した場合）、4年間続けて履修できる。週1回に2単位とする。学期末のTOEIC受験およびその得点アップが期待される。各自、到達度・進捗度を確認することが望ましい。毎回、授業外での読解演習（60分×7日×13回）とリスニング演習（60分×7日×13回）（それぞれ91時間相当）が課せられる。課題は毎回チェックされる。授業中に演習に取り組む態度、出席、課題などにより総合的な評価を行う。

### 【授業計画】

第1回 オリエンテーションおよび模擬演習

第2回～第14回 演習・解説、Vocabularyテスト

- ・1週間の宿題の範囲からVocabularyの小テスト・採点・解説（15分）
- ・前回の宿題で間違いが多かった点の解説（15分）
- ・演習（リスニング・Reading）（30分）
- ・問題解説（25分）

第15回 模擬テスト

- \*宿題 読解演習・文法問題（60分×7日）＝毎回7時間相当分  
（合計 7時間×13回＝91時間）
- リスニング演習（60分×7日）＝毎回7時間相当分  
（合計 7時間×13回＝91時間）

### 【評価方法】

出席・演習に取り組む態度・宿題の遂行度合いなどにより総合的に評価する。

### 【テキスト】

掲示（外国語教育センターの掲示板）を参照のこと。

## ASU TOEIC I F

天野純子 太田晶子

### 【授業の概要】

TOEICスコア470点以上の学習者を対象とする全学向けのTOEIC対策講座。日本人教員担当の「ASU TOEIC I」、ネイティブスピーカー担当の「ASU TOEIC II」から成る。最高期に2コマ（I、IIの両科目を受講した場合）、4年間続けて履修できる。週1回に2単位とする。学期末のTOEIC受験およびその得点アップが期待される。各自、到達度・進捗度を確認することが望ましい。毎回、授業外での読解演習（60分×7日×13回）とリスニング演習（60分×7日×13回）（それぞれ91時間相当）が課せられる。課題は毎回チェックされる。授業中に演習に取り組む態度、出席、課題などにより総合的な評価を行う。

### 【授業計画】

第1回 オリエンテーションおよび模擬演習

第2回～第14回 演習・解説、Vocabularyテスト

- ・1週間の宿題の範囲からVocabularyの小テスト・採点・解説（15分）
- ・前回の宿題で間違いが多かった点の解説（15分）
- ・演習（文法問題・Reading・リスニング）（30分）
- ・問題解説（25分）

第15回 模擬テスト

- \*宿題 読解演習・文法問題（60分×7日）＝毎回7時間相当分  
（合計 7時間×13回＝91時間）
- リスニング演習（60分×7日）＝毎回7時間相当分  
（合計 7時間×13回＝91時間）

### 【評価方法】

出席・演習に取り組む態度・宿題の遂行度合いなどにより総合的に評価する。

### 【テキスト】

掲示（外国語教育センターの掲示板）を参照のこと。

## ASU TOEIC II F

STEPHENSON, Brett DUNKLEY, Daniel

### 【授業の概要】

TOEICスコア470点以上の学習者を対象とする全学向けのTOEIC対策講座。日本人教員担当の「ASU TOEIC I」、ネイティブスピーカー担当の「ASU TOEIC II」から成る。半期に2コマ（I、IIの両科目を受講した場合）、4年間続けて履修できる。週1回に2単位とする。学期末のTOEIC受験およびその得点アップが期待される。各自、到達度・進捗度を確認することが望ましい。毎回、授業外での読解演習（60分×7日×13回）とリスニング演習（60分×7日×13回）（それぞれ91時間相当）が課せられる。課題は毎回チェックされる。授業中に演習に取り組む態度、出席、課題などにより総合的な評価を行う。

### 【授業計画】

第1回 オリエンテーションおよび模擬演習

第2回～第14回 演習・解説、Vocabularyテスト

- ・1週間の宿題の範囲からVocabularyの小テスト・採点・解説（15分）
- ・前回の宿題で間違いが多かった点の解説（15分）
- ・演習（リスニング・Reading）（30分）
- ・問題解説（25分）

第15回 模擬テスト

- \*宿題 読解演習・文法問題（60分×7日）＝毎回7時間相当分  
（合計 7時間×13回＝91時間）
- リスニング演習（60分×7日）＝毎回7時間相当分  
（合計 7時間×13回＝91時間）

### 【評価方法】

出席・演習に取り組む態度・宿題の遂行度合いなどにより総合的に評価する。

### 【テキスト】

掲示（外国語教育センターの掲示板）を参照のこと。

## 上級英語セミナー 2004A

WRINGER, Paul

### 【Course Content】

週2日の授業で1セット(4単位)を基本とする全学対象の上級英語科目。TOEICスコアで選抜を行い、少人数クラスを編成する。多様な授業活動を通して語彙力を増強し、総合的英語運用能力の強化を目指す。学期末のTOEIC受験およびその得点アップが期待される。各自、到達度・進捗度を確認することが望ましい。総合的な評価を行う。

4年間続けて履修できる。(1年生・編入生は1年目の前期は受講できない。)

### 【Schedule】

Topics will be covered over a two to three week period and will include a variety of interesting and motivating themes selected mostly by the teacher.

First semester (AESa)  
Personal information  
Travel & vacations  
Strange phenomena  
Entertainment  
Crime & capital punishment  
Controversy

### 【Assessment】

Assessment will be continual and based on the following criteria:

ATTENDANCE  
CLASS PARTICIPATION / EFFORT  
HOMEWORK AND ASSIGNMENTS  
END OF SEMESTER REPORTS  
TOEIC SCORES

### 【Textbooks】

To be announced.

「上級英語セミナー2004A」は、週2回コースの授業で4単位の科目である。WRINGER, Paul先生(木曜日1限)、CURRAN, Beverley先生(金曜日5限)の両方の授業に出席し、それぞれの評価の平均を、この科目の評価とする。

## 上級英語セミナー 2004B

WRINGER, Paul

### 【Course Content】

週2日の授業で1セット(4単位)を基本とする全学対象の上級英語科目。TOEICスコアで選抜を行い、少人数クラスを編成する。多様な授業活動を通して語彙力を増強し、総合的英語運用能力の強化を目指す。学期末のTOEIC受験およびその得点アップが期待される。各自、到達度・進捗度を確認することが望ましい。総合的な評価を行う。

4年間続けて履修できる。(1年生・編入生は1年目の前期は受講できない。)

### 【Schedule】

Topics will be covered over a two to three week period and will include a variety of interesting and motivating themes selected mostly by the teacher.

Second semester (AESb)  
The past  
Current events in the news  
Relationships  
Food & Health  
Fashion  
The world of work

### 【Assessment】

Assessment will be continual and based on the following criteria:

ATTENDANCE  
CLASS PARTICIPATION / EFFORT  
HOMEWORK AND ASSIGNMENTS  
END OF SEMESTER REPORTS  
TOEIC SCORES

### 【Textbooks】

To be announced.

「上級英語セミナー2004B」は、週2回コースの授業で4単位の科目である。WRINGER, Paul先生(木曜日1限)、CURRAN, Beverley先生(金曜日5限)の両方の授業に出席し、それぞれの評価の平均を、この科目の評価とする。

## 上級英語セミナー 2004A

CURRAN, Beverley

### 【Course Content】

週2日の授業で1セット(4単位)を基本とする全学対象の上級英語科目。TOEICスコアで選抜を行い、少人数クラスを編成する。多様な授業活動を通して語彙力を増強し、総合的英語運用能力の強化を目指す。学期末のTOEIC受験およびその得点アップが期待される。各自、到達度・進捗度を確認することが望ましい。総合的な評価を行う。

4年間続けて履修できる。(1年生・編入生は1年目の前期は受講できない。)

### 【Schedule】

Each week, in my class, a different student will be responsible for selecting a topic and introducing a discussion about it in English. The other students will listen with attention and then continue the discussion through their own questions and comments. The goal in each class is to engage in animated discussion for 90 minutes, giving each student an opportunity to grow more comfortable and confident in initiating and continuing a conversation or discussion in English. Special guests will also be invited to the class to talk about themselves with the students in a relaxed and supportive atmosphere.

### 【Assessment】

Assessment will be based on participation and effort.

### 【Textbooks】

No text required.

「上級英語セミナー2004A」は、週2回コースの授業で4単位の科目である。WRINGER, Paul先生(木曜日1限)、CURRAN, Beverley先生(金曜日5限)の両方の授業に出席し、それぞれの評価の平均を、この科目の評価とする。

## 上級英語セミナー 2004B

CURRAN, Beverley

### 【Course Content】

週2日の授業で1セット(4単位)を基本とする全学対象の上級英語科目。TOEICスコアで選抜を行い、少人数クラスを編成する。多様な授業活動を通して語彙力を増強し、総合的英語運用能力の強化を目指す。学期末のTOEIC受験およびその得点アップが期待される。各自、到達度・進捗度を確認することが望ましい。総合的な評価を行う。

4年間続けて履修できる。(1年生・編入生は1年目の前期は受講できない。)

### 【Schedule】

In the second semester, discussions will continue, and students will be encouraged to take more responsibility for engaging in discussion and offering support to the speaker through a thoughtful consideration of the topic. Each week will be a chance to grow closer as a group of engaged language learners whose communal energy will motivate individual student growth in English ability and self-confidence. Special guests will also be invited to the class to talk to the students in English in a relaxed but lively atmosphere.

### 【Assessment】

Assessment will be based on participation and effort.

### 【Textbooks】

No text required.

「上級英語セミナー2004B」は、週2回コースの授業で4単位の科目である。WRINGER, Paul先生(木曜日1限)、CURRAN, Beverley先生(金曜日5限)の両方の授業に出席し、それぞれの評価の平均を、この科目の評価とする。

## 上級英語セミナー 2004C

横山綾子

### 【授業の概要】

週2日の授業で1セット(4単位)を基本とする全学対象の上級英語科目。TOEICスコアで選抜を行い、少人数クラスを編成する。多様な授業活動を通して語彙力を増強し、総合的英語運用能力の強化を目指す。学期末のTOEIC受験およびその得点アップが期待される。各自、到達度・進捗度を確認することが望ましい。総合的な評価を行う。

4年間続けて履修できる。(1年生・編入生は1年目の前期は受講できない。)

習得した英語を使い、さらに通訳になるための訓練に進むと、今までの学習内容とは異なったものも要求される事に気がつくでしょう。それは言語の知識、訳出技術に加え論理的思考や外国人と心のcommunicationをしたいと思うか、未知の事柄や社会の問題を知りたいと思う好奇心があるか…等です。

さらに人に頼らず判断し、自分の考えを表現する自主性も大切です。このクラスではニュース記事とテープを使い、時事英語の知識と通訳に欠かせぬFIFO(First in First out)の技術を体得します。さらに自然で美しい日本語への訳し方、学習した時事問題を分かりやすい英語で話す練習もします。

Memoを取りspeedyな訳出も出来るようになって欲しいと思います。最終的には国際的な場面で社会の問題を話し合える知識と技術を身に付ける、そして国際交流に貢献をして欲しいと希望します。

### 【授業計画】

第一回

通訳一般概論 Sight translation

第二～十回

The Student Timesからの記事使用(テープ)

Shadowing Sight translation メモ取り

逐次通訳演習

同時通訳入門

### 【評価方法】

出席状況 平常の実技評価 Translation test

### 【テキスト】

The Student Times その他

「上級英語セミナー2004C」は、週2回コースの授業で4単位の科目である。横山先生(水曜日3限)、Long, Jonathan E.B.先生(木曜日3限)の両方の授業に出席し、それぞれの評価の平均を、この科目の評価とする。

## 上級英語セミナー 2004D

横山綾子

### 【授業の概要】

週2日の授業で1セット(4単位)を基本とする全学対象の上級英語科目。TOEICスコアで選抜を行い、少人数クラスを編成する。多様な授業活動を通して語彙力を増強し、総合的英語運用能力の強化を目指す。学期末のTOEIC受験およびその得点アップが期待される。各自、到達度・進捗度を確認することが望ましい。総合的な評価を行う。

4年間続けて履修できる。(1年生・編入生は1年目の前期は受講できない。)

習得した英語を使い、さらに通訳になるための訓練に進むと、今までの学習内容とは異なったものも要求される事に気がつくでしょう。それは言語の知識、訳出技術に加え論理的思考や外国人と心のcommunicationをしたいと思うか、未知の事柄や社会の問題を知りたいと思う好奇心があるか…等です。

さらに人に頼らず判断し、自分の考えを表現する自主性も大切です。このクラスではニュース記事とテープを使い、時事英語の知識と通訳に欠かせぬFIFO(First in First out)の技術を体得します。さらに自然で美しい日本語への訳し方、学習した時事問題を分かりやすい英語で話す練習もします。

Memoを取りspeedyな訳出も出来るようになって欲しいと思います。最終的には国際的な場面で社会の問題を話し合える知識と技術を身に付ける、そして国際交流に貢献をして欲しいと希望します。

### 【授業計画】

第一回

通訳一般概論 Sight translation

第二～十回

The Student Timesからの記事使用(テープ)

Shadowing Sight translation メモ取り

逐次通訳演習

同時通訳入門

### 【評価方法】

出席状況 平常の実技評価 Translation test

### 【テキスト】

The Student Times その他

「上級英語セミナー2004D」は、週2回コースの授業で4単位の科目である。横山先生(水曜日3限)、Long, Jonathan E.B.先生(木曜日3限)の両方の授業に出席し、それぞれの評価の平均を、この科目の評価とする。

## 上級英語セミナー 2004C

LONG, Jonathan E.B.

### 【Course Content】

週2日の授業で1セット(4単位)を基本とする全学対象の上級英語科目。TOEICスコアで選抜を行い、少人数クラスを編成する。多様な授業活動を通して語彙力を増強し、総合的英語運用能力の強化を目指す。学期末のTOEIC受験およびその得点アップが期待される。各自、到達度・進捗度を確認することが望ましい。総合的な評価を行う。

4年間続けて履修できる。(1年生・編入生は1年目の前期は受講できない。)

In this course the students will use all four language skills to explore the similarities and differences between Japanese and North American cultures. The class activities will include some TOEFL test preparation.

### 【Schedule】

Not yet determined.

### 【Assessment】

This will be a combination of attendance, class participation and homework.

### 【Textbooks】

To be announced.

### 【Reference】

To be announced.

「上級英語セミナー2004C」は、週2回コースの授業で4単位の科目である。横山先生(水曜日3限)、Long, Jonathan E.B.先生(木曜日3限)の両方の授業に出席し、それぞれの評価の平均を、この科目の評価とする。

## 上級英語セミナー 2004D

LONG, Jonathan E.B.

### 【Course Content】

週2日の授業で1セット(4単位)を基本とする全学対象の上級英語科目。TOEICスコアで選抜を行い、少人数クラスを編成する。多様な授業活動を通して語彙力を増強し、総合的英語運用能力の強化を目指す。学期末のTOEIC受験およびその得点アップが期待される。各自、到達度・進捗度を確認することが望ましい。総合的な評価を行う。

4年間続けて履修できる。(1年生・編入生は1年目の前期は受講できない。)

In this course the students will use all four language skills to explore the similarities and differences between Japanese and North American cultures. The class activities will include some TOEFL test preparation.

### 【Schedule】

Not yet determined.

### 【Assessment】

This will be a combination of attendance, class participation and homework.

### 【Textbooks】

To be announced.

### 【Reference】

To be announced.

「上級英語セミナー2004D」は、週2回コースの授業で4単位の科目である。横山先生(水曜日3限)、Long, Jonathan E.B.先生(木曜日3限)の両方の授業に出席し、それぞれの評価の平均を、この科目の評価とする。

## 上級英語セミナー 2004E

WOODMAN, Jo-Anne

### 【Course Content】

週2日の授業で1セット(4単位)を基本とする全学対象の上級英語科目。TOEICスコアで選抜を行い、少人数クラスを編成する。多様な授業活動を通して語彙力を増強し、総合的英語運用能力の強化を目指す。学期末のTOEIC受験およびその得点アップが期待される。各自、到達度・進捗度を確認することが望ましい。総合的な評価を行う。

4年間続けて履修できる。(1年生・編入生は1年目の前期は受講できない。)

Good translation / interpretation / communication requires, among other things, an extensive knowledge of vocabulary, so this course will require students to demonstrate a vast improvement in their vocabulary - in both written and spoken forms.

Vocabulary lists / tests will be generated from:

- teacher presented materials (ie. CNN and BBC news broadcasts, as well as a wide gamut of newspaper articles)
- student research (students will be required to prepare one newspaper article for class discussion each week - this will include preparing an extensive vocabulary list as well as brief background and contextual information about the article)
- TOEIC vocabulary text / materials

The course will deal with contemporary issues throughout the world, so emphasis will be placed on encouraging the students to improve their general knowledge of world affairs.

Inherent in this course will be the need for the students to "think on their feet", that is to say they will have to glean as much information as they can from class presentations and then ask questions and participate in discussions.

### 【Schedule】

The aim of this course is to discuss up-to-date issues, so the schedule will be determined by the current events of the week. However, students should expect to address social, economic, political, religious, environmental, medical and other such issues.

### 【Assessment】

Assessment will include the following components:

- Vocabulary tests - 3 types
- Preparation for (and participation in) class discussions
- Listening comprehension activities
- Attendance

「上級英語セミナー2004E」は、週2回コースの授業で4単位の科目である。WOODMAN, Jo-Anne先生(水曜日4限)、横山先生(火曜日3限)の両方の授業に出席し、それぞれの評価の平均を、この科目の評価とする。

## 上級英語セミナー 2004F

WOODMAN, Jo-Anne

### 【Course Content】

週2日の授業で1セット(4単位)を基本とする全学対象の上級英語科目。TOEICスコアで選抜を行い、少人数クラスを編成する。多様な授業活動を通して語彙力を増強し、総合的英語運用能力の強化を目指す。学期末のTOEIC受験およびその得点アップが期待される。各自、到達度・進捗度を確認することが望ましい。総合的な評価を行う。

4年間続けて履修できる。(1年生・編入生は1年目の前期は受講できない。)

Good translation / interpretation / communication requires, among other things, an extensive knowledge of vocabulary, so this course will require students to demonstrate a vast improvement in their vocabulary - in both written and spoken forms.

Vocabulary lists / tests will be generated from:

- teacher presented materials (ie. CNN and BBC news broadcasts, as well as a wide gamut of newspaper articles)
- student research (students will be required to prepare one newspaper article for class discussion each week - this will include preparing an extensive vocabulary list as well as brief background and contextual information about the article)
- TOEIC vocabulary text / materials

The course will deal with contemporary issues throughout the world, so emphasis will be placed on encouraging the students to improve their general knowledge of world affairs.

Inherent in this course will be the need for the students to "think on their feet", that is to say they will have to glean as much information as they can from class presentations and then ask questions and participate in discussions.

### 【Schedule】

The aim of this course is to discuss up-to-date issues, so the schedule will be determined by the current events of the week. However, students should expect to address social, economic, political, religious, environmental, medical and other such issues.

### 【Assessment】

Assessment will include the following components:

- Vocabulary tests - 3 types
- Preparation for (and participation in) class discussions
- Listening comprehension activities
- Attendance

「上級英語セミナー2004F」は、週2回コースの授業で4単位の科目である。WOODMAN, Jo-Anne先生(水曜日4限)、横山先生(火曜日3限)の両方の授業に出席し、それぞれの評価の平均を、この科目の評価とする。

## 上級英語セミナー 2004E

横山綾子

### 【授業の概要】

週2日の授業で1セット(4単位)を基本とする全学対象の上級英語科目。TOEICスコアで選抜を行い、少人数クラスを編成する。多様な授業活動を通して語彙力を増強し、総合的英語運用能力の強化を目指す。学期末のTOEIC受験およびその得点アップが期待される。各自、到達度・進捗度を確認することが望ましい。総合的な評価を行う。

4年間続けて履修できる。(1年生・編入生は1年目の前期は受講できない。)

習得した英語を使い、さらに通訳になるための訓練に進むと、今までの学習内容とは異なったものも要求される事に気がつくでしょう。それは言語の知識、訳出技術に加え論理的思考や外国人と心のcommunicationをしたいと思うか、未知の事柄や社会の問題を知りたいと思う好奇心があるか...等です。

さらに人に頼らず判断し、自分の考えを表現する自主性も大切です。このクラスではニュース記事とテープを使い、時事英語の知識と通訳に欠かせぬFIPO (First in First out) の技術を体得します。さらに自然で美しい日本語への訳し方、学習した時事問題を分かりやすい英語で話す練習もします。

Memoを取りspeedyな訳出も出来るようになって欲しいと思います。最終的には国際的な場面で社会の問題を話し合える知識と技術を身に付ける、そして国際交流に貢献をして欲しいと希望します。

### 【授業計画】

第一回

通訳一般概論 Sight translation

第二～十回

The Student Timesからの記事使用(テープ)

Shadowing Sight translation メモ取り

逐次通訳演習

同時通訳入門

### 【評価方法】

出席状況 平常の実技評価 Translation test

### 【テキスト】

The Student Times その他

「上級英語セミナー2004E」は、週2回コースの授業で4単位の科目である。横山先生(火曜日3限)、WOODMAN, Jo-Anne先生(水曜日4限)の両方の授業に出席し、それぞれの評価の平均を、この科目の評価とする。

## 上級英語セミナー 2004F

横山綾子

### 【授業の概要】

週2日の授業で1セット(4単位)を基本とする全学対象の上級英語科目。TOEICスコアで選抜を行い、少人数クラスを編成する。多様な授業活動を通して語彙力を増強し、総合的英語運用能力の強化を目指す。学期末のTOEIC受験およびその得点アップが期待される。各自、到達度・進捗度を確認することが望ましい。総合的な評価を行う。

4年間続けて履修できる。(1年生・編入生は1年目の前期は受講できない。)

習得した英語を使い、さらに通訳になるための訓練に進むと、今までの学習内容とは異なったものも要求される事に気がつくでしょう。それは言語の知識、訳出技術に加え論理的思考や外国人と心のcommunicationをしたいと思うか、未知の事柄や社会の問題を知りたいと思う好奇心があるか...等です。

さらに人に頼らず判断し、自分の考えを表現する自主性も大切です。このクラスではニュース記事とテープを使い、時事英語の知識と通訳に欠かせぬFIPO (First in First out) の技術を体得します。さらに自然で美しい日本語への訳し方、学習した時事問題を分かりやすい英語で話す練習もします。

Memoを取りspeedyな訳出も出来るようになって欲しいと思います。最終的には国際的な場面で社会の問題を話し合える知識と技術を身に付ける、そして国際交流に貢献をして欲しいと希望します。

### 【授業計画】

第一回

通訳一般概論 Sight translation

第二～十回

The Student Timesからの記事使用(テープ)

Shadowing Sight translation メモ取り

逐次通訳演習

同時通訳入門

### 【評価方法】

出席状況 平常の実技評価 Translation test

### 【テキスト】

The Student Times その他

「上級英語セミナー2004F」は、週2回コースの授業で4単位の科目である。横山先生(火曜日3限)、WOODMAN, Jo-Anne先生(水曜日4限)の両方の授業に出席し、それぞれの評価の平均を、この科目の評価とする。

## 中国語読解 1 A

大森信徳 河井昭乃 曹志偉

### 【授業の概要】

身近な実用読解文を多くとりあげた教材を通じて中国語の初級段階を総合的に学習し、中国語の文法面・表現面における全体像がつかめるような基礎的能力を養成する。さらに、HSK基礎試験の2級に受かることを目標に定め、〈中国漢語水平考試大綱〉に規定された400～900前後の語彙力と70項目の文法力を身につける。このことで、中国語の平易な文面の読解が可能になると同時に、履修翌学期からHSK試験対策コースである〈HSK基礎コースA〉〈HSK基礎コースB〉の履修が可能になる。

### 【授業計画】

- 1、オリエンテーション
- 2、母音、数字、挨拶
- 3、疑問文、形容詞述語文
- 4、子音、声調、曜日表現、
- 5、省略疑問文、疑問詞疑問文
- 6、音節、勧誘表現
- 7、動詞述語文、指示代名詞
- 8、我姓松本。自己紹介
- 9、介詞“和”、副詞“也”“都”
- 10、我的家庭。所有・存在の“有”、名詞述語文
- 11、部分否定文、感嘆表現、変調と軽声
- 12、我們的大学。介詞“給”“在”
- 13、名詞の修飾表現
- 14、我的一天。時の表現、方向補語
- 15、まとめ

### 【評価方法】

出席、平常点、期末試験。

## 中国語会話 1 A

大森信徳 河井昭乃 曹志偉

### 【授業の概要】

分かりやすい実用会話文を多くとりあげた教材を通じて中国語の初級段階を総合的に学習し、中国語の音声面・表現面における全体像がつかめるような基礎的能力を養成する。さらに、HSK基礎試験の2級に受かることを目標に定め、HSK試験センターより出された〈中国漢語水平考試大綱〉に規定された400～900前後の語彙力と70項目の文法力を身につける。このことで、一般的な挨拶・自己紹介などが可能になると同時に、履修翌学期からHSK試験対策コースである〈HSK基礎コースA〉〈HSK基礎コースB〉の履修が可能になる。

### 【授業計画】

初めて中国語を学ぶ学生を対象に日常会話表現の習得を目指す。

- |      |          |
|------|----------|
| 第一課  | 発音 (1)   |
| 第二課  | 発音 (2)   |
| 第三課  | 発音 (3)   |
| 第四課  | 発音 (4)   |
| 第五課  | あいさつ表現   |
| 第六課  | 時間の表し方   |
| 第七課  | 年齢を言う    |
| 第八課  | 家庭を語る    |
| 第九課  | 自分の家を語る  |
| 第十課  | 学校について語る |
| 第十一課 | 趣味について語る |
| 第十二課 | 中国へ行く    |

### 【評価方法】

出席、平常点、期末試験。

### 【テキスト】

愛知淑徳大学生のための中国語会話 1 A・2 (中国語教育委員会編)

### 【参考文献・資料】

教場で指示する。

## 中国語読解 1 B

大森信徳 河井昭乃 曹志偉

### 【授業の概要】

講義の内容等とカリキュラム上の位置づけは〈中国語読解 1 A〉と大同小異であるが、中国語学習に対して特別に関心を示す学生に対して週2回の受講を可能にするため設定された講義である。ただし、文法項目の順序と用例、そして練習問題などの設定が〈中国語読解 1 A〉と異なっている教材を使用する。このことで、習得した文法事項が確実に身に付くこと、同じ文法項目をちがった角度から見ることで理解の幅を広めること、多面にわたる練習問題を多く解くことでHSKの合格をより確実なものにするを図る。

### 【授業計画】

読解に必要な、基礎的な表現や文法事項を、特に日本人の苦手な部分に重点を置いて、半期にわたって講義する。

- |      |              |
|------|--------------|
| 第一課  | 発音 (1)       |
| 第二課  | 発音 (2)       |
| 第三課  | 発音 (3)       |
| 第四課  | 発音 (4)       |
| 第五課  | 人称代名詞・“是”    |
| 第六課  | 指示代名詞・数詞・量詞  |
| 第七課  | 形容詞と形容詞述語文   |
| 第八課  | 動詞述語文        |
| 第九課  | “有”・年月日      |
| 第十課  | 場所・時間・数量     |
| 第十一課 | 前置詞 (介詞)・“了” |
| 第十二課 | 能願動詞         |

### 【評価方法】

出席、平常点、期末試験。

### 【テキスト】

愛知淑徳大学生のための中国語読解 1 B (中国語教育委員会編)

### 【参考文献・資料】

教場で指示する。

## 中国語会話 1 B

大森信徳 河井昭乃 曹志偉

### 【授業の概要】

設定する目標、扱う語彙量と文法ポイントなどを含めた講義内容と位置づけは〈中国語会話 1 A〉と大同小異であるが、中国語学習に対して特別に関心を示す学生に対して週2回の受講を可能にするため設定された講義である。ただし、文法項目の順序と用例、そして練習問題などの設定などが〈中国語会話 1 A〉と異なっている教材を使用する。このことで、習得した文法事項が確実に身に付くこと、同じ文法項目をちがった角度から見ることで理解の幅を広めること、多面にわたる練習問題を多く解くことでHSKの合格をより確実なものにするを図る。

### 【授業計画】

- 1、オリエンテーション
- 2、今天星期幾？ 曜日と疑問詞利用の疑問文
- 3、我很高興。省略疑問文、形容詞述語文
- 4、我學習中文專業。能願動詞“能”
- 5、現在幾點？ 時間表現、語氣助詞“了”
- 6、我的家庭。介詞“在”
- 7、談天氣。天氣表現、選択疑問文、感嘆文、
- 8、邀請。假定文、反復疑問文、部分否定文
- 9、中間テスト
- 10、我的大学。伝聞の表現
- 11、找手機。目的語位置換えの“把”、結果補語“到”
- 12、喜歡甚麼？ 過去の経験表現「V+“過”」  
結果や程度表現「V+“得”」
- 13、幫我。能願動詞“會”
- 14、假期做甚麼？ 結果補語“好”
- 15、まとめ

### 【評価方法】

出席、平常点、期末試験。

## 中国語読解 2

大森信徳 河井昭乃 曹志偉

### 【授業の概要】

読解学習を通じて中国語の全体像がつかめる基礎的能力を養成する。さらに、HSK基礎試験の3級に受かることを目標に定め、〈中国漢語水平考試大綱〉に規定された900～1500前後の語彙量と140項目の文法力を身につける。HSK試験対策のためには〈HSK基礎コースA〉か、〈HSK基礎コースB〉と並行した履修が望ましく、基礎能力の深度を深めるためには〈中国語会話2〉と並行した履修が望ましい。

### 【授業計画】

1. 就要放暑假了。語気助詞“了”、介詞“和”
2. 伝聞の表現、能願動詞“想”“要”
3. 暑假回家的一天。完了の表現、結果補語“到”
4. 使役の表現“讓”
5. 鈴木一家。能願動詞“会”“能”
6. 過去の経験表現「V+“過”」
7. 我家的照片。動作の進行・状態の持続などの表現「V+“着”」
8. 介詞“離”、連動文
9. 終於習慣了。感嘆表現2
10. 自己の意見表示
11. 我做了一個夢。動作の進行表現の「“在”+V」、程度補語と可能補語
12. 副詞用法の“地”
13. 我太幸福了。目的語位置換えの“把”、比較の表現、受身文
14. 春暇の計画。未完了の表現、許諾の表現
15. まとめ

### 【評価方法】

出席、平常点、期末試験。

## HSK 基礎コース A ※聴解中心

大森信徳 河井昭乃 曹志偉

### 【授業の概要】

履修後、HSK基礎試験の2級か3級に受かることを目標に定めた授業である。ねらいの試験で要求される400～1500前後の語彙量とその語彙量に相応する文法力を身につける。

### 【授業計画】

12課編成で授業を進める予定である。まず文法の説明から入り、そのあと、練習問題を解いて、練習問題について解説する。各課の文法のポイントは下記の通りである。

1. “了”や“过”の使い方など
  2. “时点”の言い方や“时段”の言い方など
  3. “小时”や“钟头”の使い方など
  4. “方位词表”について
  5. “多会儿”や“哪会儿”の使い方など
  6. “该”や“应该”の使い方など
  7. 介詞の“朝”、“向”と“往”の使い方
  8. 比較表現について
  9. “是字句”について
  10. “愿意”や“想”の使い方など
  11. “趋向补语”について
  12. “复合趋向补语”である“下来”や“下去”などの意味について
- 授業の予習としてホームページを利用することができる。

### 【評価方法】

出席、平常点、期末試験。

### 【テキスト】

HSK基礎A

## 中国語会話 2

大森信徳 河井昭乃 曹志偉

### 【授業の概要】

主として、身近で分かりやすい実用例文を多くとりあげた会話学習を通じて、中国語の音声面・文法面・表現面における全体像がつかめるような基礎的能力を養成する。さらに、HSK基礎試験の3級に受かることを目標に定め、HSK試験センターより出された〈中国漢語水平考試大綱〉に規定された900～1500前後の語彙量と140項目の文法力を身につける。履修後は、旅先での中国語による買い物などが可能になる。

### 【授業計画】

中国語会話1をクリアした学生が、さらに深く生きた中国語を話せるようになることを目指す。学生が、中国に留学している気分で学習できるように配慮した。

- |      |           |
|------|-----------|
| 第一課  | 部屋を借りる    |
| 第二課  | 換金する      |
| 第三課  | 道を尋ねる     |
| 第四課  | 交通機関を利用する |
| 第五課  | 市場での買い物   |
| 第六課  | デパート      |
| 第七課  | ホテル       |
| 第八課  | 郵便局       |
| 第九課  | 電話        |
| 第十課  | 中国人宅に訪問する |
| 第十一課 | レストラン     |
| 第十二課 | スピーチの仕方   |

### 【評価方法】

出席、平常点、期末試験。

### 【テキスト】

愛知淑徳大学生のための中国語会話1A・2（中国語教育委員会編）

### 【参考文献・資料】

教場で指示する

## HSK 基礎コース B ※読解中心

大森信徳 河井昭乃 曹志偉

### 【授業の概要】

設定する目標、扱う語彙量と文法ポイントなどを含めた講義内容と位置づけは〈HSK基礎コースA〉と大同小異であるが、HSKの資格取得に対して特別に関心を示す学生に週2回のHSK対策コースの受講可能を図るため設定された講義である。文法項目の順序と用例、そして練習問題などの設定が〈HSK基礎コースA〉で用いる教材と異なっている教材を使用し、習得した文法事項が確実に身に付くこと、同じ文法項目をちがった角度から見ることで理解の幅を広めること、多面にわたる練習問題を多く解くことでHSKの合格をより確実なものにしていく。

### 【授業計画】

12課編成で授業を進める予定である。まず文法の説明から入り、そのあと、練習問題を解いて、練習問題について解説する。各課の文法のポイントは下記の通りである。

1. “我”と“你”；“左右”と“前后”など
2. “是”；“语气助词”の“吗”と“呢”など
3. “了”；“形容词谓语句”など
4. “动词+过”と“形容词+过”；“在”など
5. “数量补语”；“头”と“面”など
6. “有字句”；结构助词“地”など
7. “量词的重叠”；“把字句”など
8. “从”と“离”；“一边～一边～”など
9. “都”と“一共”；“程度补语”など
10. “被字句”；“在・正・正在”など
11. “趋向补语”；“多么”など
12. “复合趋向补语”；“是～还是～”など

授業の予習としてホームページを利用することができる。

### 【評価方法】

出席、平常点、期末試験。

### 【テキスト】

HSK基礎B

下記の科目は、本年度開講しません。

## 中国語読解 3

### 【授業の概要】

読解中心のテキストを用い、更なる意欲で中国語の表現の学習に励み中国語文の読解力と理解力を一層高めていくための講義である。さらに、HSK初等試験の4級に受かることにねらいを定め、1500～2000前後の語彙量とそれに相応する文法項目をマスターしていく。HSK試験対策のためには<HSK初等コースA>か、<HSK初等コースB>と並行した履修が、中国語コミュニケーションの深度を深めるためには<中国語会話3>と並行した履修が望ましい。

## HSK 初等コースA ※聴解中心

### 【授業の概要】

履修後、HSK初等試験の4級に受かることを目標に定めた授業である。ねらいの試験で要求される1500～2000前後の語彙量とそれに相応する文法力をマスターしていく。

## 中国語読解 4

### 【授業の概要】

読解中心のテキストを用い、更なる意欲で中国語の表現の学習に励み、中国語の読解力と理解力を一層高めていくための講義である。さらに、HSK初・中等試験の5級に受かることにねらいを定め、2000～2500前後の語彙量とそれに相応する文法力を身につける。HSK試験対策のためには<HSK中等上級コースA>か、<HSK中等上級コースB>と並行した履修が、中国語コミュニケーションの深度を深めるためには<中国語会話4>と並行した履修が望ましい。

## HSK 中等上級コースA ※聴解中心

### 【授業の概要】

履修後、HSK初・中等試験の5級に受かることを目標に定めた授業である。ねらいの試験で要求される2000～2500前後の語彙量とそれに相応する文法力をマスターしていく。

## 中国語会話 3

### 【授業の概要】

第二外国語として一年間ほど中国語を学んできた学習者が、生活において日常的に取り上げられる話題を中心に構成された会話のテキストを用い更なる意欲で中国語の表現の学習に励み、中国語によるコミュニケーション能力を一層高めていくための講義である。さらに、HSK初等試験の4級に受かることにねらいを定め、1500～2000前後の語彙量とそれに相応する文法項目をマスターしていく。履修後は家族生活・大学生活などについて語るができる。

## HSK 初等コースB ※読解中心

### 【授業の概要】

設定する目標、扱う語彙量と文法ポイントなどを含めた講義内容と位置づけは<HSK初等コースA>と大同小異であるが、HSKの資格取得に対して特別に関心を示す学生に週2回のHSK対策コースの受講可能を図るため設定された講義である。文法項目の順序と用例、そして練習問題などの設定が<HSK初等コースA>で用いる教材と異なる教材を使用し、習得した文法事項が確実に身に付くこと、同じ文法項目をちがった角度から見ることで理解の幅を広めること、多面にわたる練習問題を多く解くことでHSKの合格をより確実なものにしていく。

## 中国語会話 4

### 【授業の概要】

1. 5年間ほど中国語を学んできた学習者が、生活において日常的に取り上げられる話題を中心に構成された会話のテキストを用い更なる意欲で中国語の表現の学習に励み、中国語によるコミュニケーション能力を一層高めていくための講義である。さらに、HSK初・中等試験の5級に受かることにねらいを定め、2000～2500前後の語彙量とそれに相応する文法力を身につける。履修後は趣味生活・地域社会などについて語るができる。

## HSK 中等上級コースB ※読解中心

### 【授業の概要】

設定する目標、扱う語彙量と文法ポイントなどを含めた講義内容と位置づけは<HSK中等上級コースA>と大同小異であるが、HSKの資格取得に対して特別に関心を示す学生に週2回のHSK対策コースの受講可能を図るため設定された講義である。文法項目の順序と用例、そして練習問題などの設定が<HSK初等コースA>で用いる教材と異なる教材を使用し、習得した文法事項が確実に身に付くこと、同じ文法項目をちがった角度から見ることで理解の幅を広めること、多面にわたる練習問題を多く解くことでHSKの合格をより確実なものにしていく。

## 中国語作文1

### 【授業の概要】

第二外国語として2年間ほど中国語を学んできた学習者が、その間会話と読解を中心に習得してきた中国語の表現力と理解力を活用し、みずから平易な中国語文章が書けることにねらいをさだめる。さらに、HSK中等試験の6級または7級に受かることを目標にし、2500~3500前後の語彙量とそれに相応する文法項目をマスターしていく。

## HSK 中等高級コース1 B ※読解中心

### 【授業の概要】

設定する目標、扱う語彙量と文法ポイントなどを含めた講義内容と位置づけは<HSK中等高級コース1 A>と大同小異であるが、HSKの資格取得に対して特別に関心を示す学生に週2回のHSK対策コースの受講可能を図るため設定された講義である。文法項目の順序と用例、そして練習問題などの設定が<HSK中等高級コース1 A>で用いる教材と異なる教材を使用し、習得した文法事項が確実に身に付くこと、同じ文法項目をちがった角度から見ることで理解の幅を広めること、多面にわたる練習問題を多く解くことでHSKの合格をより確実なものにしていく。

## 中国語作文2

### 【授業の概要】

2. 5年間ほど中国語を学んできた学習者が、その間会話と読解を中心に習得してきた中国語の表現力と理解力を活用し、中国語の一般的な文章が書けることにねらいを定める。さらに、HSK中等試験の7級または8級に受かることを目標にし、3500~4000前後の語彙量とそれに相応する文法項目を身につける。履修後は、友人・知人への略式手紙、中国官公署向けの書類作成、中国語による日記・メモの作成などが可能になる。

## HSK 中等高級コース2 B ※読解中心

### 【授業の概要】

設定する目標、扱う語彙量と文法ポイントなどを含めた講義内容と位置づけは<HSK中等高級コース2 A>と大同小異であるが、HSKの資格取得に対して特別に関心を示す学生に週2回のHSK対策コースの受講可能を図るため設定された講義である。文法項目の順序と用例、そして練習問題などの設定が<HSK中等高級コース2 A>で用いる教材と異なる教材を使用し、習得した文法事項が確実に身に付くこと、同じ文法項目をちがった角度から見ることで理解の幅を広めること、多面にわたる練習問題を多く解くことでHSKの合格をより確実なものにしていく。

## HSK 中等高級コース1 A ※聴解中心

### 【授業の概要】

履修後、HSK中等試験の6級または7級に受かることを目標に定めた授業である。ねらいの試験で要求される2500~3500前後の語彙量とそれに相応する文法力をマスターしていく。

## 同時通訳入門1

### 【授業の概要】

第二外国語として2年間ほど中国語を学んできた学習者が、その間会話と読解を中心に習得してきた中国語の表現力と理解力を活用し、初歩的な同時通訳ができる実力を養成する。ねらいは、高度な中国語の運用能力を身につけ、実社会で中国語を使った仕事ができることに定める。さらに、HSK中等試験の6級または7級に受かることを目標にし、2500~3500前後の語彙量とそれに相応する文法項目をマスターしていく。

## HSK 中等高級コース2 A ※聴解中心

### 【授業の概要】

履修後、HSK中等試験の7級または8級に受かることを目標に定めた授業である。ねらいの試験で要求される3500~4000前後の語彙量とそれに相応する文法力をマスターしていく。

## 同時通訳入門2

### 【授業の概要】

2. 5年間ほど中国語を学んできた学習者が、その間会話と読解を中心に習得してきた中国語の表現力と理解力を活用し、平易な同時通訳ができる実力を養成する。ねらいは、高度な中国語の運用能力を身につけ、実社会で中国語を使った仕事ができることに定める。さらに、HSK中等試験の7級または8級に受かることを目標にし、3500~4000前後の語彙量とそれに相応する文法項目を身につける。HSK試験対策のためには<HSK中等高級コース2 A>か、<HSK中等高級コース2 B>と並行した履修が、中国語表現の深度を深めるためには<中国語作文2>と並行した履修が望ましい。

## 情報技術基礎Ⅰ

西荒井学 他

### 【授業の概要】

情報技術に関する基礎的かつ実践的な知識ならびに技法を習得する。このため、基本的なハードウェア構成および各周辺機器の機能や特徴をはじめ、ソフトウェアの役割、情報社会の特質や問題点にも触れながら、一般的な情報関連知識ならびに情報倫理観を育てる。特に、情報技術の基礎として不可欠なネットワーク利用技術ならびにデータ処理操作技術について、コンピュータ実習を通じて学習する。

### 【授業計画】

1. コンピュータの歴史、原理
2. 情報の表現（2進数、16進数）
3. ハードウェアの仕組みとソフトウェアの役割
4. 情報社会と情報倫理1（ネットワーク犯罪）
5. 情報社会と情報倫理2（情報セキュリティ、知的所有権）
6. 情報収集と分析
7. 情報ツールとマナー
8. インターネット基本操作1（電子メール）実習
9. インターネット基本操作2（WWW）実習
10. EXCEL基本操作1 実習
11. EXCEL基本操作2 実習
12. EXCEL基本操作3 実習
13. EXCEL基本操作4 実習

当該科目については、科目履修前に情報技術に関するテストを実施し、受講者を初級クラスと上級クラスに分け、授業を実施していく。また、講義とコンピュータ実習とを約半々の割合で授業を進行していく。コンピュータ実習を伴うため、授業への出席は不可欠な要素である。また、実習の際にはフロッピー・ディスク（またはMO）を必ず持参すること。

### 【評価方法】

出席状況、学期末試験ならびに各コンピュータ実習課題提出内容によって評価する。

### 【テキスト】

未定

## 情報技術基礎Ⅲ

梅田敏文 他

### 【授業の概要】

情報技術基礎Ⅰ、情報技術基礎Ⅱを踏まえ、Windowsの高度操作、WORD、EXCELの高度操作、ACCESSの基本操作を学び、より高度で広範囲な情報技術の知識とスキルを習得する。当授業では、レポートや論文作成、ビジネス文書や表作成などを想定して、実践的なノウハウをコンピュータ実習によって学習する。

### 【授業計画】

1. デスクトップの高度操作
2. ファイルの高度操作
3. ネットワークの操作
4. 学術文書、ビジネス文書の操作（WORD）
5. ビジネス情報処理（EXCEL）
6. マクロ操作（1）
7. マクロ操作（2）
8. ACCESSの概要
9. ACCESSの基本操作（1）
10. ACCESSの基本操作（2）
11. ACCESS総合演習（1）
12. ACCESS総合演習（2）
13. まとめ

### 【評価方法】

コンピュータ実習を中心に授業を進行する。授業を欠席すると実習内容が理解できなくなるので出席が不可欠である。出席状況、学期末試験、課題内容によって評価する。

### 【テキスト】

未定

## 情報技術基礎Ⅱ

西荒井学 他

### 【授業の概要】

情報技術の基礎となる基本ソフトウェアならびに応用ソフトに関する知識ならびに技法を習得する。また、情報の処理能力や創造力を培うだけでなく、情報の表現方法や表現手段について、コンピュータ実習授業を通して学習していく。このため、基本的な文書書式、文書表現の方法や特徴をはじめ、実際にプレゼンテーション・ツールを利用した発表の手段や方法についても学習する。情報技術基礎Ⅰと同様、今後のより専門的な情報技術に関する知識ならびに技能習得に向けての礎を築く、基盤となる授業科目である。

### 【授業計画】

1. Windows基本操作1（キー・タイピングを含む）実習
2. Windows基本操作2 実習
3. WORD基本操作1 実習
4. WORD基本操作2 実習
5. WORD基本操作3 実習
6. WORD基本操作4 実習
7. プレゼンテーションの概要
8. POWERPOINT基本操作1 実習
9. POWERPOINT基本操作2 実習
10. POWERPOINT基本操作3 実習
11. 総合課題（プレゼンテーション資料作成1）実習
12. 総合課題（プレゼンテーション資料作成2）実習
13. 情報発信の管理と運用

当該科目については、情報技術基礎Ⅰと同じく、受講者を初級クラスと上級クラスに分け、授業を実施していく。また講義とコンピュータ実習とを約半々の割合で授業を進行していく。コンピュータ実習を伴うため、授業への出席は不可欠な要素である。また、実習の際にはフロッピー・ディスク（またはMO）を必ず持参すること。

### 【評価方法】

出席状況、学期末試験ならびに各コンピュータ実習課題提出内容によって評価する。

### 【テキスト】

未定

## ネットワーク技術入門

三和義秀 他

### 【授業の概要】

ネットワーク（network）という言葉は、人間を中心とする情報交換の仕組みとして使われたり、コンピュータを中心とする情報通信の仕組みにおいて使われたりしているが、両者には「情報のやり取り」という一義的な目的が存在し、ネットワークを流れるデータは人間の行動を左右する必要不可欠な情報となっている。本授業では、コンピュータネットワークに関する理論と技術の両側面における基礎知識を習得し、ホームページの作成、およびCGIプログラミングの実習によって、ネットワークの基本的な考え方、意義、活用方法、有効性を体得する。

### 【授業計画】

1. ネットワーク理論の基礎知識（1）：ネットワークの仕組みとその意義
2. ネットワーク理論の基礎知識（2）：情報量と通信速度、プロトコル
3. ネットワーク技術の基礎知識（1）：LANの仕組み
4. ネットワーク技術の基礎知識（2）：サーバの種類と仕組み
5. ネットワーク技術の基礎知識（3）：IPアドレスとファイアウォール
6. HTMLとホームページ（1）：HTMLの仕組み
7. HTMLとホームページ（2）：基本タグの設定、ハイパーリンクの設定、画像の表示
8. HTMLとホームページ（3）：サウンドの再生と動画の再生、ファイルの管理方法
9. CGIプログラミング（1）：CGIの仕組みとPerlプログラミングの基礎知識
10. CGIプログラミング（2）：エディタとFTP、パーミッションの設定
11. CGIプログラミング（3）：formタグによるデータ入力フォームの作成
12. CGIプログラミング（4）：環境変数、関数、文字列変換
13. セキュリティと情報倫理：セキュリティ対策と情報倫理の意味と必要性

### 【評価方法】

出席回数、課題提出、期末試験によって総合評価を行う。

### 【テキスト】

ネットワークリテラシー ― ユビキタス社会におけるネットワーク活用のテクニック―  
（三和義秀著 共立出版）

## 情報処理技術特殊 I

中野雅晴

### 【授業の概要】

基本情報技術者試験合格のための教育科目である。

情報技術全般の基礎知識を活用し、情報システム開発においてプログラムの設計・開発を行うとともに、将来高度な技術者を目指す者として、以下の知識・能力を身につける。

- 1) 情報技術全般に関する基本的な用語・内容の知識
- 2) 上位技術者の指導のもとにプログラム設計書を作成する能力
- 3) プログラミングに必要な論理的思考能力
- 4) プログラムのテスト手法を理解し実施する能力

### 【授業計画】

- ステップ1 コンピュータ科学基礎
- ステップ2 データベース技術
- ステップ3 コンピュータシステムの開発と運用
- ステップ4 ネットワーク技術
- ステップ5 情報と経営
- ステップ6 セキュリティと標準化

### 【評価方法】

出席状況・小テストなどで評価する。

### 【テキスト】

授業中に指示する。

## 情報処理技術特殊 II

中野雅晴

### 【授業の概要】

ソフトウェア開発技術者試験合格のための教育科目である。

情報システム開発のソフトウェア開発技術者として、外部仕様に基づいて内部設計・プログラム設計・プログラム開発を行い、高品質なソフトウェアを開発するための、以下の知識・能力を身につける。

- 1) ネットワーク、データベース、システム構成などの情報技術に関する一般的な知識と、上位技術者の指導のもとに情報システムの設計ができる能力
- 2) 内部設計書・プログラム設計書の作成能力
- 3) プログラミングに必要な高度の論理的思考能力
- 4) ネットワーク、データベースなどに関する実装技術と知識
- 5) プログラムのテスト手法を熟知し、単体テスト・結合テストの計画と管理が行え、テストの実施についてはプログラム開発要員を指導できる能力

### 【授業計画】

- ステップ1 コンピュータ科学基礎上級
- ステップ2 コンピュータシステム上級
- ステップ3 システムの開発と運用
- ステップ4 ネットワーク技術
- ステップ5 データベース技術
- ステップ6 セキュリティと標準化

### 【評価方法】

出席状況・小テストなどで評価する。

### 【テキスト】

授業中に指示する。

## 情報処理技術特殊 III

黒部晃一

### 【授業の概要】

「画像情報技能検定試験CG部門 (CG検定)」の2級合格を目標として、その対策を会得する。2級問題は、3級レベルのCGに関する総合的な知識の他に、厳密な理論的知識をも要求されるので、VCによるCGプログラミングのサンプルを解説することでそれを理解する。

### 【授業計画】

配布するサブテキストに基づいて、講義方式で行う。

1. CG概論、CG検定試験2級対策
2. 各種CGツールの紹介、そのデモンストレーションと作例紹介
3. VisualC++によるGUIプログラミング
4. VisualC++によるインターフェースの設計
5. 平成15年度前期CG検定2級試験問題の検証と分析
6. 平成15年度前期CG検定2級試験問題の検証と分析
7. 平成15年度後期CG検定2級試験問題の検証と分析
8. 平成15年度後期CG検定2級試験問題の検証と分析
9. 平成14年度前期CG検定2級試験問題の検証と分析
10. 平成14年度後期CG検定2級試験問題の検証と分析
11. 演習
12. まとめ

### 【評価方法】

出席状況で評価

### 【テキスト】

技術編 CG標準テキストブック (画像情報教育振興協会)  
平成16年度版 CG検定2級問題集 (画像情報教育振興協会)

### 【参考文献・資料】

- 入門コンピュータグラフィックス (画像情報教育振興協会)
- 基礎から学ぶVisualC++プログラミング (山岡祥 CQ出版社)

## 情報処理技術特殊 IV

黒部晃一

### 【授業の概要】

「画像情報技能検定試験CG部門 (CG検定)」の1級合格を目標として、その対策を会得する。1級問題は、CGプログラミングのスキルを要求されるので、自ら発案するテーマに基づいたプログラミングの実習を行う。

### 【授業計画】

前半は講義方式で、後半は主に実習形式で行う。

1. CG検定試験1級の概要と対策
2. VisualC++によるGUIプログラミング
3. 平成15年度CG検定1級試験問題 (マークシート) の検証と分析
4. 平成15年度CG検定1級試験問題 (記述式) の検証と分析
5. 平成15年度CG検定1級試験問題 (二次試験) の検証と分析
6. 平成15年度CG検定1級試験問題 (二次試験) の検証と分析
7. 平成15年度CG検定1級試験問題 (三次試験) の検証と分析
8. 平成15年度CG検定1級試験問題 (三次試験) の検証と分析
9. 自ら提議したテーマに基づいたプログラミング実習
10. 自ら提議したテーマに基づいたプログラミング実習
11. 自ら提議したテーマに基づいたプログラミング実習
12. 自ら提議したテーマに基づいたプログラミング実習、まとめ

### 【評価方法】

出席状況で評価

### 【テキスト】

技術編 CG標準テキストブック (画像情報教育振興協会)  
平成16年度版 CG検定1級問題集 (画像情報教育振興協会)

### 【参考文献・資料】

- コンピュータグラフィックス理論と実践  
(J.D.Foley, A.v.Dam, S.K.Feiner F.Hughes オーム社)
- 基礎から学ぶVisualC++プログラミング (山岡祥 CQ出版社)

下記の科目は、本年度開講しません。

## プログラミング入門

### 【授業の概要】

システム開発における基本技術であるプログラミング技術について、その基礎知識を習得する。このため、プログラミング言語が持つ特徴ならびに機能の学習からはじめ、データ処理におけるアルゴリズムについての考え方、ならびに最終的なコーディング作業に至るまでの一連のプログラミング工程について学習する。なお、プログラミングに関する理解は、実際のプログラミング作業を経験していくことが不可欠であることから、コンピュータ実習を並行して行う。

## 情報数学入門

### 【授業の概要】

情報の整理、分析、加工といった処理には、基本的な数学的技術の習得が不可欠である。この講義では、高等学校での数学の復習から始めて、情報処理プログラミングに必要な論理数学、情報量と計算量評価、グラフィック処理で必要となる代数幾何の基礎を学ぶ。

## CG 入門

### 【授業の概要】

コンピュータグラフィックス (CG) に関する基礎知識と基礎技術を習得する。CGを効果的に使用した画像・映像は、産業、科学、映画、ゲーム、芸術、教育など多くの分野にみられる。各分野での応用例を紹介した上で、画像・映像についての知識を身につけ、モデリング・レンダリングについての技術を学び、最後にCG作成に必要なハード/ソフトについて概説する。

## 人工知能入門

### 【授業の概要】

人工知能とは何か、その基本的な考え方ならびに基本技術および情報処理について、その基礎知識を習得する。知識工学という言葉から類推されるように、工学的色彩が高い分野であることから、最も基礎的な内容に範囲を絞り、出来る限り理解しやすい形で授業を進行していく。そのため、システム事例や技術応用例に触れていくと共に、今後の技術展開や今後の応用分野についても触れていくこととする。

## 簿記 I

浅野敬志

### 【授業の概要】

企業の経済活動を貨幣額によって記録・計算・整理して、その結果を明らかにするための技術である複式簿記の基礎理論を学ぶとともに、取引の仕訳・勘定記入といった基礎的な記帳技術を習得する。

### 【授業計画】

1. 簿記の目的と役割
2. 貸借対照表と損益計算書
3. 取引と勘定
4. 仕訳帳と元帳
5. 現金・預金取引 (1)
6. 現金・預金取引 (2)
7. 商品売買取引 (1)
8. 商品売買取引 (2)
9. 掛取引と貸倒れ (1)
10. 掛取引と貸倒れ (2)
11. 手形取引 (1)
12. 手形取引 (2)
13. その他の債権・債務取引 (1)
14. その他の債権・債務取引 (2)
15. 有価証券・固定資産取引 (1)
16. 有価証券・固定資産取引 (2)
17. 伝票と訂正仕訳 (1)
18. 伝票と訂正仕訳 (2)
19. 決算手続き (1)
20. 決算手続き (2)
21. 8桁精算表の作成 (1)
22. 8桁精算表の作成 (2)
23. 総合問題 (1)
24. 総合問題 (2)
25. 総合問題 (3)
26. 総合問題 (4)

### 【評価方法】

出席状況と単位認定試験の成績によって総合的に評価する。

### 【テキスト】

新検定簿記講義 3級商業簿記 (平成16年版)  
(加古宜士・渡辺裕巨編著 中央経済社)  
新検定簿記ワークブック 3級商業簿記  
(加古宜士・渡辺裕巨編著 中央経済社)

## 簿記 II

浅野敬志

### 【授業の概要】

日々の取引記録から財務諸表の作成までの複式簿記の一連の手続についての理解を深めるとともに、現実の経済社会における営利組織の中心である株式会社を念頭に、株式会社に関する簿記処理に焦点を当てる。

### 【授業計画】

1. 現金預金一日商簿記2級の範囲 (1)
2. 現金預金一日商簿記2級の範囲 (2)
3. 有価証券一日商簿記2級の範囲 (1)
4. 有価証券一日商簿記2級の範囲 (2)
5. その他の債権・債務取引一日商簿記2級の範囲 (1)
6. その他の債権・債務取引一日商簿記2級の範囲 (2)
7. 手形取引一日商簿記2級の範囲 (1)
8. 手形取引一日商簿記2級の範囲 (2)
9. 商品売買取引 (1)
10. 商品売買取引 (2)
11. 未着品売買 (1)
12. 未着品売買 (2)
13. 委託販売 (1)
14. 委託販売 (2)
15. 受託売買 (1)
16. 受託売買 (2)
17. 割賦販売 (1)
18. 割賦販売 (2)
19. 試用販売 (1)
20. 試用販売 (2)
21. 予約販売 (1)
22. 予約販売 (2)
23. 固定資産
24. 棚卸表の作成と決算整理 (1)
25. 棚卸表の作成と決算整理 (2)
26. 株式会社の資本

### 【評価方法】

出席状況と単位認定試験の成績によって総合的に評価する。

### 【テキスト】

新検定簿記講義 2級商業簿記 (平成16年版)  
(加古宜士・渡辺裕巨編著 中央経済社)  
新検定簿記ワークブック 2級商業簿記  
(加古宜士・渡辺裕巨編著 中央経済社)

## 簿記 I

石川雅之

### 【授業の概要】

企業の経済活動を貨幣額によって記録・計算・整理して、その結果を明らかにするための技術である複式簿記の基礎理論を学ぶとともに、取引の仕訳・勘定記入といった基礎的な記帳技術を習得する。

### 【授業計画】

- 第1回 簿記の目的と役割
- 第2回 貸借対照表と損益計算書
- 第3回 取引と勘定
- 第4回 仕訳帳と元帳
- 第5回 現金・預金取引 (1)
- 第6回 現金・預金取引 (2)
- 第7回 商品売買取引 (1)
- 第8回 商品売買取引 (2)
- 第9回 掛取引と貸倒れ (1)
- 第10回 掛取引と貸倒れ (2)
- 第11回 手形取引 (1)
- 第12回 手形取引 (2)
- 第13回 その他の債権・債務取引 (1)
- 第14回 その他の債権・債務取引 (2)
- 第15回 有価証券・固定資産取引 (1)
- 第16回 有価証券・固定資産取引 (2)
- 第17回 伝票と訂正仕訳 (1)
- 第18回 伝票と訂正仕訳 (2)
- 第19回 決算手続き (1)
- 第20回 決算手続き (2)
- 第21回 8桁精算表の作成 (1)
- 第22回 8桁精算表の作成 (2)
- 第23回 総合問題 (1)
- 第24回 総合問題 (2)
- 第25回 総合問題 (3)
- 第26回 総合問題 (4)
- 第27回 現金預金一日商簿記2級の範囲 (1)
- 第28回 現金預金一日商簿記2級の範囲 (2)
- 第29回 有価証券一日商簿記2級の範囲 (1)
- 第30回 有価証券一日商簿記2級の範囲 (2)

### 【評価方法】

試験によって行う

### 【テキスト】

現代簿記 (中村忠 白桃書房)

## 簿記 II

石川雅之

### 【授業の概要】

日々の取引記録から財務諸表の作成までの複式簿記の一連の手続についての理解を深めるとともに、現実の経済社会における営利組織の中心である株式会社を念頭に、株式会社に関する簿記処理に焦点を当てる。

### 【授業計画】

- 第1回 その他の債権・債務取引一日商簿記2級の範囲 (1)
- 第2回 その他の債権・債務取引一日商簿記2級の範囲 (2)
- 第3回 手形取引一日商簿記2級の範囲 (1)
- 第4回 手形取引一日商簿記2級の範囲 (2)
- 第5回 商品売買取引 (1)
- 第6回 商品売買取引 (2)
- 第7回 未着品売買 (1)
- 第8回 未着品売買 (2)
- 第9回 委託販売 (1)
- 第10回 委託販売 (2)
- 第11回 受託売買 (1)
- 第12回 受託売買 (2)
- 第13回 割賦販売 (1)
- 第14回 割賦販売 (2)
- 第15回 試用販売 (1)
- 第16回 試用販売 (2)
- 第17回 予約販売 (1)
- 第18回 予約販売 (2)
- 第19回 固定資産
- 第20回 税金
- 第21回 棚卸表の作成と決算整理 (1)
- 第22回 棚卸表の作成と決算整理 (2)
- 第23回 株式会社の資本 (1)
- 第24回 株式会社の資本 (2)
- 第25回 利益の処分及び損失の処理 (1)
- 第26回 利益の処分及び損失の処理 (2)
- 第27回 社債 (1)
- 第28回 社債 (2)
- 第29回 株式会社の決算 (1)
- 第30回 株式会社の決算 (2)

### 【評価方法】

試験によって行う

### 【テキスト】

現代簿記 (中村忠 白桃書房)

## 会計実務Ⅰ

遠藤秀紀

### 【授業の概要】

会計実務上のさまざまな知識や技能を修得することを目的とする。具体的には企業の経理を行う上で必要な帳簿の作成や伝票の処理などの実践的な知識や技能のほか、関係法令の知識を学ぶ。

### 【授業計画】

1. 資産・負債・資本と貸借対照表
2. 収益・費用と損益計算書
3. 取引と勘定記入
4. 仕訳と転記
5. 仕訳帳と総勘定元帳
6. 現金・預金の取引（現金出納帳・当座預金出納帳・小口現金出納帳）
7. 商品売買の取引（仕入帳・売上帳・商品有高帳）
8. 売掛金と買掛金（売掛金元帳・買掛金元帳）
9. 売買目的有価証券
10. 手形の取引（受取手形記入帳・支払手形記入帳）
11. その他の営業取引
12. 伝票

### 【評価方法】

定期試験（70%）、小テストまたはレポート提出（20%）および出席状況（10%）を総合して評価する。

### 【テキスト】

段階式 日商簿記ワークブック3級  
（加古宣士・穂山幹夫監修 税務経理協会）

### 【参考文献・資料】

必要に応じて指示する。

## 経済学概論

石坂綾子

### 【授業の概要】

最初に「経済学とは何か」について述べ、次に「資本主義経済システムの特徴」と「市場経済と政府の役割」について経済学の基礎的知識を与え、さらに「資本主義経済システムの成立と展開」について歴史的視点から考察する。

### 【授業計画】

1. ガイダンス
2. 市場経済システム
3. マーケットメカニズム  
(1) 需要と供給  
(2) 規制と保護による損失
4. 社会主義の失敗
5. 金融仲介機能
6. 株式会社
7. 競争社会の光と影
8. 所得の決定
9. 市場の失敗
10. 大不況を克服する方法
11. グローバルエコノミー
12. 貿易黒字の発生
13. 日本型システムの崩壊

### 【評価方法】

単位認定試験の成績によって評価する。

### 【テキスト】

特に指定しない。第1回目の授業において資料を配布する。

### 【参考文献・資料】

痛快!経済学（中谷 巖著 集英社インターナショナル/集英社文庫）

## 会計実務Ⅱ

遠藤秀紀

### 【授業の概要】

会計実務上のさまざまな知識や技能を修得することを目的とする。具体的には企業の経理を行う上で必要な財務諸表の作成やその他法令で必要とされる書類の作成に係る知識や技能を学ぶ。

### 【授業計画】

1. 特殊売買
2. 長期的に利用する資産の取引
3. 法律上の権利と営業権
4. 投資活動などの取引
5. 繰延資産
6. 社債の発行
7. 株式の発行
8. 損益計算
9. 株式会社の決算
10. 総合演習 証券取引法と商法に基づく財務諸表の作成

### 【評価方法】

定期試験（70%）、小テストまたはレポート提出（20%）および出席状況（10%）を総合して評価する。

### 【テキスト】

履修者と相談のうえ指示する。

### 【参考文献・資料】

必要に応じて指示する。

## マクロ経済学

村上敬進

### 【授業の概要】

消費、投資、物価、所得などのマクロ経済変数の分析を通じて、景気や経済全体の動きを理論的に考察する。

### 【授業計画】

- 1 マクロ経済学はどんな学問でしょうか？
- 2 マクロ経済学と日本経済
- 3 GDP
- 4 消費と貯蓄
- 5 企業の投資
- 6 政府の支出
- 7 総需要の経済学

### 【評価方法】

成績評価は定期試験で行う。

### 【テキスト】

基礎からわかるマクロ経済学（家森信善著 中央経済社）

### 【参考文献・資料】

基礎からわかるミクロ経済学（家森信善・小川光著 中央経済社）

## 金融論

藤井正志

### 【授業の概要】

資金循環勘定と企業の資金調達、直接金融・間接金融に係る金融仲介機関の機能、金融市場と金利等、金融の役割・仕組みについて論ずる。

### 【授業計画】

- 第1講 マクロ経済・金融の基礎知識
- 第2講 デフレ経済の問題点
- 第3講 日本の金融の問題点
- 第4講 マクロ金融政策の課題
- 第5講 金融政策 (IS-LM分析)
- 第6講 金融政策まとめ・ミニテスト
- 第7講 金融仲介機関の役割
- 第8講 金利の基本概念
- 第9講 金融商品
- 第10講 金融市場
- 第11講 金融機関・金融市場まとめ・ミニテスト
- 第12講 プルーデンス政策
- 第13講 金融ビッグバンと金融システム不安
- 第14講 今後の金融監督手法の展望

### 【評価方法】

期末試験、ミニテストなどにより総合的に評価する。

### 【テキスト】

金融入門 (拙著 マナハウス) を使用する。

## ファイナンシャルプランニング I

島田舒一

### 【授業の概要】

ライフスタイルの多様化、少子高齢化社会の到来に伴い、人々のライフプランニングや老後の生活設計に対する関心が高まってきている。I では、学習する6分野のうち、金融資産の運用、保険とリスク管理、ライフプランニングと年金などを取り上げて考察するほか、問題練習を通じて理解を深める。

### 【授業計画】

1. ライフプランニングの重要性
2. 社会保険
3. 公的年金
4. ライフプランの策定と計画
5. リスクマネージメントと保険
6. 生命保険
7. 損害保険
8. 第3分野の保険
9. 金融マーケットと金融商品
10. 債券投資
11. 株式投資
12. 資産運用の考え方

### 【評価方法】

出席状況と単位認定試験の成績によって総合的に評価する。

### 【テキスト】

パーフェクトFP技能士入門 (3級用) (きんざいFP技能研究会編 きんざい)

### 【参考文献・資料】

パーフェクトFP技能士3級対策問題集・学科編 (きんざいFP技能研究会編 きんざい)  
パーフェクトFP技能士3級対策問題集・実技編 (個人資産相談業務) (きんざいFP技能研究会編 きんざい)

## 情報処理概論 I

三浦信宏

### 【授業の概要】

コンピュータのハードウェア、ソフトウェアの知識、およびプログラミングのアルゴリズム、計測・制御など情報処理の基本機能を実習を通して学習する。

### 【授業計画】

- 第1回 ガイダンス
- 第2回 コンピュータの基礎知識
- 第3回 エンドユーザーコンピューティングとは
- 第4回 コンピュータの5大装置
- 第5回 コンピュータの情報表現
- 第6回 論理演算と論理回路
- 第7回 コンピュータの基礎知識のまとめ
- 第8回 ハードウェアの基礎
- 第9回 補助記憶装置
- 第10回 入出力装置
- 第11回 ソフトウェアの基礎
- 第12回 オペレーティング・システムの役割
- 第13回 データ管理と記憶管理
- 第14回 まとめ
- 第15回 テスト  
(毎回、授業中にパソコン演習を含む)

### 【評価方法】

出席状況、授業中の課題、ミニテスト等の成績により総合的に評価する。

### 【テキスト】

エンドユーザーコンピューティング (ウイネット)

### 【参考文献・資料】

授業の途中に適宜、資料を配布する。

## 情報処理概論 II

三浦信宏

### 【授業の概要】

情報処理システムの各種インターフェース、システム開発、テスト方法、システム的环境整備、運用と管理などについて実習を通して学習する。

### 【授業計画】

1. システム開発技法
2. ヒューマンインターフェースの設計
3. テスト技法
4. システムの運用と管理
5. プログラム言語と言語処理系
6. CPUの性能計算
7. ネットワークの性能計算
8. システムの構成と評価
9. システムの信頼性
10. コンピュータウイルスとワクチンソフト
11. セキュリティ対策
12. 開発と取引の標準化
13. まとめ

### 【評価方法】

出席状況、レポートおよび試験の成績により総合的に評価する。

### 【テキスト】

システムの運用と管理 (ウイネット)

### 【参考文献・資料】

授業の途中に適宜、資料を配布する。

## ネットワーク技術入門

原 伸之 小林久恵

### 【授業の概要】

ネットワーク (network) という言葉は、人間を中心とする情報交換の仕組みとして使われたり、コンピュータを中心とする情報通信の仕組みにおいて使われたりしているが、両者には「情報のやり取り」という一義的な目的が存在し、ネットワークを流れるデータは人間の行動を左右する必要不可欠な情報となっている。本授業では、コンピュータネットワークに関する理論と技術の両側面における基礎知識を習得し、ホームページの作成、および CGI プログラミングの実習によって、ネットワークの基本的な考え方、意義、活用方法、有効性を体得する。

### 【授業計画】

1. ネットワーク理論の基礎知識 (1): ネットワークの仕組みとその意義
2. ネットワーク理論の基礎知識 (2): 情報量と通信速度、プロトコル
3. ネットワーク技術の基礎知識 (1): LAN の仕組み
4. ネットワーク技術の基礎知識 (2): サーバの種類と仕組み
5. ネットワーク技術の基礎知識 (3): IP アドレスとファイアウォール
6. HTML とホームページ (1): HTML の仕組み
7. HTML とホームページ (2): 基本タグの設定、ハイパーリンクの設定、画像の表示
8. HTML とホームページ (3): サウンドの再生と動画の再生、ファイルの管理方法
9. CGI プログラミング (1): CGI の仕組みと Perl プログラミングの基礎知識
10. CGI プログラミング (2): エディタと FTP、パーミッションの設定
11. CGI プログラミング (3): form タグによるデータ入力フォームの作成
12. CGI プログラミング (4): 環境変数、関数、文字列変換
13. セキュリティと情報倫理: セキュリティ対策と情報倫理の意味と必要性

### 【評価方法】

出席回数、課題提出、期末試験によって総合評価を行う。

### 【テキスト】

ネットワーククリテラシ ―ユビキタス社会におけるネットワーク活用のテクニク―  
(三和義秀著 共立出版)

## エンドユーザーコンピューティング II

三浦信宏

### 【授業の概要】

エンドユーザーコンピューティングの推進活動に必要なシステム開発、運用管理、情報分析と活用の基本知識を体系的に学習する。

### 【授業計画】

1. 演習 I (仕事とコンピュータ)
2. 演習 I (コンピュータシステムの基礎知識)
3. 演習 II (データの分析と整理の技法)
4. 演習 III (システムの開発と運用)
5. 演習 IV (テストおよび検収)
6. 演習 V (EUC におけるハードウェアの役割)
7. 演習 V (EUC におけるソフトウェアの役割)
8. 演習 V (表計算とデータベース)
9. 演習 V (ネットワークの役割と利用形態)
10. 演習 VI (システム環境整備と運用管理)
11. 総合演習 (1)
12. 総合演習 (2)
13. 総合演習 (3)
14. 総合演習 (4)

### 【評価方法】

各回毎の課題を総合して評価する。

### 【テキスト】

未定

### 【参考文献・資料】

授業の途中に適宜、資料を配布する。

## エンドユーザーコンピューティング I

三浦信宏

### 【授業の概要】

エンドユーザーコンピューティングの推進活動に必要なハードウェア、ソフトウェア、ネットワーク、データベースの基本知識を体系的に学習する。

### 【授業計画】

1. ネットワークの基礎知識
2. LAN の基礎知識
3. インターネットの基礎知識
4. 入出力インターフェース
5. 情報戦略 (経営管理と情報システム)
6. 経営工学 (品質管理、OR、確立と統計)
7. 企業会計 (財務、管理会計)
8. 関連法規 I (知的財産権)
9. 関連法規 II (労働、取引、安全などに関する法規)
10. 表計算ソフトの利用
11. データベースの基礎知識
12. SQL の利用
13. まとめ

### 【評価方法】

出席状況、レポートおよび試験の成績により総合的に評価する。

### 【テキスト】

1. エンドユーザーコンピューティング (ウイネット)
2. 情報の分析と活用 (ウイネット)

### 【参考文献・資料】

授業の途中に適宜、資料を配布する。

## ビジネスとコミュニケーション

小池弘道

### 【授業の概要】

コミュニケーション不足で起きたトラブルの事例を踏まえ、コミュニケーションの必要性和限界について説明する。続いて、国際ビジネス社会で働く場合に必要能力 (ディベート、ネゴシエーション、QC 手法、問題解決手法など) 及び知識 (法律知識、経理知識、品質知識など) について具体的に解説する。更に、最近の動向 (グローバル化、コーポレートガバナンスなど) について講義する。そして、日本のユニークな生産方式を海外に移植したケースの説明を踏まえ、仕事に対するアプローチの仕方について、欧米と日本の違いとその対応の仕方を解説する。

### 【授業計画】

コミュニケーションの不足で起きるトラブル、コミュニケーションの取り方  
コミュニケーションの限界

国際社会で仕事をするにあたって必要なこと

必要な能力……ディベート、ネゴシエーション、QC 手法、問題解決手法など

必要な知識……法律知識、経理知識、品質知識など

国際社会でのビジネスについて……企業行動、労働市場、グローバル化の波など

国際社会でのチャレンジの仕方……郷に入って郷に従う。郷に入って郷に従わず、バリアを乗り越える。日本のユニークな生産方式の移植例など

### 【評価方法】

単位認定試験の成績と出席状況を総合して評価する。

### 【テキスト】

使用しない (必要に応じ資料配布)

### 【参考文献・資料】

日本の常識は、どこまで通じるか (ジョリー佐々木幸子・小池弘道 風媒社)

## ビジネスとコミュニケーション

大塚英揮

### 【授業の概要】

コミュニケーション不足で起きたトラブルの事例を踏まえ、コミュニケーションの必要性和限界について説明する。続いて、国際ビジネス社会で働く場合に必要な能力及び知識について具体的に解説する。更に、最近の動向について講義する。当授業ではこれらのトピックスについて、組織内、組織間、対消費者というコミュニケーションの3側面からアプローチしていきたい。

### 【授業計画】

1. 3つのコミュニケーション—組織内、組織間、対消費者
2. なぜ組織が必要なのか
3. 組織におけるコミュニケーションの必要性
4. 組織においてコミュニケーションはどんな機能を果たすか
5. 組織におけるコミュニケーションの阻害要因と対策
6. 企業間コミュニケーションとは何か
7. ケース：流通における企業間コミュニケーション
8. 企業間コミュニケーションと情報化
9. ケース：グローバル企業とコミュニケーション
10. 企業対消費者のコミュニケーション
11. ケース：口コミで商品をヒットさせよう
12. 消費者との双方向コミュニケーション
13. ケース：サイバー・マーケティング
14. ビジネスとコミュニケーション
15. まとめ

### 【評価方法】

通常の小テスト(40%)と期末テスト(60%)にて評価します。

### 【テキスト】

使用しない。随時必要ときにプリントを配布します。

### 【参考文献・資料】

授業中に随時参考文献については指示します。

## ビジネスとジェンダーII

北仲千里

### 【授業の概要】

産業社会におけるビジネス行為はジェンダー：社会・文化的性によってその役割、評価、影響などが異なる場合がある。特に日本社会においては女性の経済的地位はまだ脆弱であり、雇用機会均等法の実施も不十分である。近年の経済のグローバル化のなかで職域、職階、賃金のジェンダー格差にどのような変化が見られるかについて統計データから考察する。また、産業界における人間関係についてジェンダーに敏感な視点をもって考察する。さらに職場の人間関係における問題、賃金格差、地位格差、セクシュアルハラスメント訴訟などについて、その内容について詳細に検討し、今後を展望する。

### 【授業計画】

現代でも女性の平均賃金は男性の約6割でしかありませんし、性別(ジェンダー)は、私たちの人生設計や職業選択などにも大きな影響を与え続けています。この講義では、「働くこと」「職場」「男と女」というテーマを、社会学的な方法で考えていきます。

講義を通じて、社会学的な見方を身につけること、統計データの読み方を身につけることも目指します。

1. 統計データから見る仕事とジェンダー
2. 職業分類の基礎知識
3. 出世すること、お金持ちになることの意味
4. 「差別」と「区別」を考える～その1 頭の体操 編
5. 「差別」と「区別」を考える～その2 法律と裁判からみる
6. 男女雇用機会均等法と就職の現状
7. 職場でのセクシュアル・ハラスメント
8. 社会が変わる、会社が変わる

これらのテーマを1～2週ずつ取り上げていきます。

### 【評価方法】

毎回ではありませんが、講義の中でミニレポートを書いてもらったり、宿題を課す場合があります。評価はそのミニレポートの提出回数と最後の試験の点数の総合点で行います。

### 【テキスト】

特に指定しません。講義時に毎回プリントを配布します。

### 【参考文献・資料】

女性学・男性学(伊藤公雄・樹村みのり・國信潤子 有斐閣アルマ)  
日本の社会政策とジェンダー(塩田咲子 日本評論社)

## ビジネスとジェンダーI

國信潤子

### 【授業の概要】

主に、産業社会学と開発社会学の視点からビジネス関係におけるジェンダー(社会・文化的性)区分の実態を国内外の男女別統計データなどから検討し、雇用機会均等法、男女共同参画社会基本法などの法制整備がどのように変化しているかについて講じる。家族、地域、就労の3領域におけるジェンダー・バランスについて各種データなどから現状を理解する。また開発社会学の視点から経済活動におけるジェンダー関係を国際比較する。アジア諸国の社会・文化状況について紹介し、日本との開発支援関係を考察する。

### 【授業計画】

まずジェンダーという概念が形成されてきた社会背景を紹介する。次に国内外のジェンダー関係の統計データを紹介しながら、男女賃金格差、地位格差、職域区分などを解説する。次いで雇用機会均等法、男女共同参画社会基本法、さらにセクシュアル・ハラスメント防止のための施策、配偶者間暴力防止法などについて紹介する。日本の企業社会におけるジェンダー関係の近年の変容と、男女がともに有償労働・無償労働を均等に分担しつつ社会をささえるためには今どのような新たな政策が推進されているかを検討する。さらに開発社会学の紹介をしつつ、開発途上国の日本との関係についても紹介する。

### 【評価方法】

履修態度、出席状況、期末レポート、履修者数によっては少人数討議を行い、そこでの貢献度など、総合評価による。

### 【テキスト】

特になし、随時資料配布

### 【参考文献・資料】

授業時に随時紹介

## TOEFL (Writing)

JOLLY, James A.

### 【Course Content】

本講義はTOEFLテストのwritingのセクションのための基本的技能を培うことを目的とする。TOEFLテストに含まれるエッセイ・ライティングの問題に関し、書き方の方法と技術を一步一步学んでいくものである。実際のテストに類似した練習問題が、TOEFLテストの中で期待される質問に慣れるために使われる。英語の総合運用能力を強化し、英語能力測定試験スコアの向上を目指すものである。

### 【Schedule】

A detailed schedule of the lessons and assignments for each class will be provided at the second meeting of the class. The topics to be covered in this course include:

1. Understanding what you are to write about
2. Planning what you will write about (notes and outline)
3. Developing sentences and paragraphs to express your ideas
4. Improving your expressions and writing style
5. Checking and editing your essay

### 【Assessment】

Assessment will be based on class attendance and participation, completion of homework assignments, and demonstrated improvement in skill in practice tests.

### 【Textbooks】

The textbook to be used for this course will be announced at the first class session. Supplementary instruction materials and practice exercises will be provided as necessary. Most importantly, each student is expected to have, bring to class, and actively use his or her own personal Japanese/English dictionary (book or electronic machine).

### 【Reference】

To be recommended individually as need arises.

## ビジネス概論 I

浅井敬一郎

### 【授業の概要】

我々の生活は企業無しではもはや成り立たない程、企業と深い関係がある。本講義では、ビジネスの中心である企業および企業が抱える問題の全体像を理解することを目的とする。まず企業はどのようなもので、どのような活動をしており、各々の企業が、どのような構造・形態をしてるのかを取り上げる。次に企業は誰のため、何のためにあるのかという、コーポレートガバナンス（企業統治）の視点から企業を分析した上で、企業の社会的責任や社会貢献の問題についても取り上げる。

### 【授業計画】

- 第1回 ガイダンス
- 第2回 企業とは何か
- 第3～4回 企業の諸形態
- 第5～6回 株式会社の経営機構
- 第7～8回 日本型株式会社制度の構造と実態
- 第9～10回 会社分割・持株会社制度
- 第11～13回 企業の社会的責任
- 第14回 まとめ

### 【評価方法】

レポートおよび定期試験によって評価する

### 【テキスト】

未定

### 【参考文献・資料】

- 企業論（三戸浩他著 有斐閣アルマ）
- 経営のしくみ（青木三十一著 日本実業出版社）
- 株式会社のしくみがよくわかる本（北條恒一著 PHP）
- 有力企業の社会貢献度2003（朝日新聞文化財団編 PHP）

## マーケティングベーシック

大塚英揮

### 【授業の概要】

『移り気な消費者が求めるものをいかに見出し、いかに売り込むか。』マーケティング戦略の究極の目標はまさにこの一点にある。激しい販売競争を勝ち抜くために、マーケティング戦略の成功には不可欠であり、そのためには消費者の需要、ライバルとの競争関係といった環境要因を分析し、適切な意思決定を行う能力が求められる。本講義では、先ず現実の企業が行っているマーケティング戦略を紹介し、マーケティングの面白さとは何かについて学習する。そしてケースを随時交えながらマーケティングの「基本的知識」を学習する。

### 【授業計画】

1. マーケティングとは何か
2. 買い物行動を振り返る（1）
3. 買い物行動を振り返る（2）
4. CMについて考える（1）
5. CMについて考える（2）
6. モノの値段について考える（1）
7. モノの値段について考える（2）
8. 売り場をめぐる闘い（1）
9. 売り場をめぐる闘い（2）
10. 新しい製品を「創る」（1）
11. 新しい製品を「創る」（2）
12. ブランドを「創る」
13. ブランドを「守る」
14. マーケティングミックスー最適な組み合わせを探せ
15. マーケティング戦略ケース分析

### 【評価方法】

毎回の小テスト（30%）と期末テスト（70%）の合計で評価します。小テスト以外の出席点はありませんが、連続物の講義なので、休まないで出席してください。

### 【テキスト】

使用しません。毎回プリントを配布します。

### 【参考文献・資料】

- わかりやすいマーケティング戦略（沼上幹 有斐閣アルマ 1800円）
- 日経マーケティングジャーナル（旧流通新聞）を時々読んでみることもおすすめします。

## ビジネス概論 II

浅井敬一郎

### 【授業の概要】

ビジネスは変化する経営環境の中で生存するべく、様々なマネジメント活動を行っている。その中でとくに（1）成長戦略、競争戦略といった経営戦略を立案し、（2）いかに分業し調整するという組織構造、組織形態の選択、（3）インセンティブシステムを確立し、いかに人を動かす仕組みを作り上げるかについての決定がなされなければならない。本講義では、これら3つのについての概論を具体的な事例を取り上げながら体系的に講義していく。

### 【授業計画】

- 第1回 ガイダンス
- 第2～7回 企業の経営戦略
  - ・経営戦略の体系
  - ・戦略の策定
  - ・成長戦略
  - ・PPM
  - ・競争戦略
  - ・ケーススタディ
- 第8～11回 企業の組織形態
- 第12～13回 企業のインセンティブシステム
- 第14回 まとめ

### 【評価方法】

レポートおよび定期試験によって評価する

### 【テキスト】

未定

### 【参考文献・資料】

- 経営戦略（大滝精一他著 有斐閣アルマ）
- 新しい人事労務管理（佐藤博樹他著 有斐閣アルマ）
- 経営管理（塩次喜代明他著 有斐閣アルマ）

## 民法入門

西山一博

### 【授業の概要】

私法の一般法である民法は私的な生活関係を秩序づけている基礎法である。日常生活と関わり深い民法のうち、まず総則と親族法を中心に取り上げ、権利や法律行為についての理解を深める。事例式で行い、実務的・実際の解決や考え方を意識したい。また、法令用語や基礎的な事項についても解説し、必要な限りで民法に限らず法学全般の基本的な事項に言及する。

### 【授業計画】

- 第1回 民法の原則～私的自治の原則とは。
- 第2回 契約の成立・意思表示～未成年者の法律行為は取り消せる。
- 第3回 代理・表見代理～他人が勝手に自分名義で契約を結んだ場合はどうなるか？
- 第4回 不法行為に基づく損害賠償請求～交通事故でけがをしたら、どんな請求ができるのか？
- 第5回 債権と物権の違い・物権～担保とは。
- 第6回 債権総論～保証人はどんな責任を負うのか？
- 第7回 債権各論～契約の種類。賃貸借契約を中心に。
- 第8回 契約の効力・拘束力～自己都合で契約を解除したら、どんな請求を受けるのか？
- 第9回 時効～10年住み続けたら、他人の家が自分のものになるということが本当にあるのか？
- 第10回 親族法～離婚に伴う金銭問題はどうか？
- 第11回 相続法1～相続人と相続分。遺言。
- 第12回 相続法2～自分だけが故人の面倒をみてきたのに相続分は同じか？
- 第13回 民法の周辺法規～消費者契約法、破産法等。
- 第14回 法律事務所における弁護士業務・事務員業務～法律事務所における実務の運用と法律の扱われ方。
- 第15回 試験

### 【評価方法】

出席状況と単位認定試験により総合的に評価する。

### 【テキスト】

追って指定する。

## モジュールⅠ・Ⅱ

浅井敬一郎 石川雅之 石坂綾子 上原 衛 梅田敏文 大塚英揮  
真田幸光 ジョリー佐々木幸子 杉本典之 福本明子 藤井正志 森下允之

### 【授業の概要】

ビジネスに関する基本概念、仕組を学習し、受講者相互のコミュニケーションを通して、自己の考えを自発的、創造的にまとめ、効果的に発表する態度を育成する。

### 【授業計画】

経済・金融・会計を含むビジネスの幅広い分野についての全体的な理解を得られるように、担当教員が基本的なことがらを説明する。

### 【評価方法】

出席状況による。

### 【テキスト】

必要に応じてプリントを配布する。

## モジュールⅢ・Ⅳ

浅井敬一郎 石川雅之 石坂綾子 上原 衛 梅田敏文 大塚英揮  
真田幸光 ジョリー佐々木幸子 杉本典之 福本明子 藤井正志 森下允之

### 【授業の概要】

モジュールⅠⅡを踏まえて、ビジネス分野の基本知識習得をさらに高め、意欲的に、自ら進んで課題に取り組む態度を育成する。

### 【授業計画】

経済・金融・会計を含むビジネスの幅広い分野について担当教員がそれぞれの視点からさまざまなテーマを取り上げる。

### 【評価方法】

出席状況による。

### 【テキスト】

必要に応じてプリントを配布する。

下記の科目は、本年度開講しません。

## 工業簿記

林 慶雲

### 【授業の概要】

製造業における製造過程を貨幣額によって記録・計算・整理する簿記が工業簿記であり、その中心は原価の算定にある。工業簿記の基本的仕組みを理解し、記帳技術を習得する。

## 会計学概論

森 恒夫

### 【授業の概要】

取引の記録から財務諸表の作成に至る一連の手続についての理解を深め、現代の企業会計の基本的な考え方を学習する。そして、現代の会計制度がどのような考え方に基づいて形成されているのか、また現実の経済社会においてどのような役割を果たしているのかを学習する。

## 財務会計

森 恒夫

### 【授業の概要】

企業が財務諸表を作成するうえで従わなくてはならない会計処理上の諸規則について、まずその基本的な考え方を学習するとともに、なぜそうした規則が必要であるのか、どのような課題もしくは問題点があるのかを理解する。次に財務諸表の作成・表示に係る諸規則を学習し、現代会計制度についての理解を深める。

## 原価計算

林 慶雲

### 【授業の概要】

製造業において製造された製品が1個いくらであるかを知ることはそれほど容易ではない。製品の製造過程において生じた原価を集計する手続きが原価計算であるが、原価の発生をどのように認識・記録するか、そしてそれをどのように集計するのかについて考察する。

## 管理会計 I

吉村文雄

### 【授業の概要】

企業は資源の効果的・効率的な運用を図るため、貨幣額によってこれを測定・評価し、そのデータをもとにさまざまな意思決定を行わなければならない。しかも、企業経営には実績情報だけでなく予測情報も必要不可欠である。こうした情報を適切に把握し、分析するための基本的な考え方を学習する。

## 管理会計 II

吉村文雄

### 【授業の概要】

企業や組織の計画と管理に役立つ有用な会計情報を提供するための仕組みを理解するとともに、会計データを事業活動の業績評価、さらにこれからの事業計画の策定に活用するための合理的な方法がどのようなものであるのか、またどのように会計情報システムを設計すべきかを検討する。

## 国際会計

山川 勝

### 【授業の概要】

財務諸表を理解するためには、その財務諸表がどのような会計基準に基づいて作成されているのかを知らなければならない。今日、国際的に用いられる会計基準は、国際会計基準または米国会計基準である。本講義では、英文財務諸表を中心とする財務会計の諸領域を取り上げ、日米をはじめとする各国の会計基準の相違について学習する。

## 監査論 I

前川三喜男

### 【授業の概要】

現代の株式会社制度を支える一つの制度として、専門的な能力を有する独立の第三者による財務諸表の検証とその結果報告が求められている。それが会計監査である。本講義では、公認会計士による財務諸表監査の目的や制度についての基本的な知識を学習する。

## 監査論Ⅱ

前川三喜男

### 【授業の概要】

財務諸表の適正性を判断するためにどのような手続きが必要とされるのかについて、監査基準を中心として学習する。また、会計士監査における課題や問題点を取り上げ、監査の本質についての理解を深める。

## 経営分析Ⅱ

浅野敬志

### 【授業の概要】

会計情報による経営分析の基本的な手法についての理解を深め、実際に企業が公表している会計情報をもとに経営分析を行い、企業の安全性・成長性・収益性などを把握するための方法を習得する。

## 会計学特論Ⅱ

杉本典之

### 【授業の概要】

企業活動が多様化しグローバル化する中で、より迅速なディスクロージャー、企業グループ全体についての会計情報、資金に関する情報、企業の現在価値に関する情報など、企業に求められる会計情報の内容や質も多様化している。本講義では企業会計に求められる課題や制度上の最近の動向を取り上げる。

## 英文会計

白木俊彦

### 【授業の概要】

基本的な英文会計の用語について解説するとともに、国際会計基準および米国 FASB の会計基準による財務諸表の用語・様式について講義する。また、必要な範囲で国際会計基準の条文自体も取り上げるほか、実際の英文による財務諸表と国内基準による財務諸表との比較も行う。

## 経営分析Ⅰ

浅野敬志

### 【授業の概要】

企業が公表する財務諸表を中心とする会計情報は企業についての重要な情報の一つである。会計情報から企業の成績を把握するために必要な基本的な技法を学習する。

## 会計学特論Ⅰ

杉本典之

### 【授業の概要】

現代の企業に求められる会計情報ないし会計ディスクロージャーの範囲はかなり広い。そうしたニーズに応えるためには従来の企業会計原則や商法だけでは対応しきれない。そのため、制度上もさまざまな会計基準が設けられている。本講義では、そうした会計基準を中心に解説し、現代会計制度に対する理解をより深いものとする。

## 税務会計

森 恒夫

### 【授業の概要】

税務会計といってもその範囲はかならずしも明確ではない。本講義では、範囲を法人税法および所得税法に絞り、その基本的な考え方や重要な概念・項目などについての解説を行う。

## ミクロ経済学

村上敬進

### 【授業の概要】

この講義では、消費者や企業の行動原理および市場における価格決定原理等を分かりやすくかつ丁寧に解説していく。このために、身近な応用例を取り上げながら、ミクロ経済学の基本的な分析ツールがどのようなものであり、それをを用いてどのように考えていけばよいのかを理解できるように講義をしていく。さらに、ミクロ経済学のより深い理解のために、適宜、必要な経済数学について併せて講義をしていくので、ミクロ経済学を数学的側面から理解していくことも、同時に可能となる。

## ビジネスとファイナンス

島田舒一

### 【授業の概要】

経済のグローバル化と企業の海外進出、金融システム改革に伴い、資金の調達方法は多様化し、また、企業の財務戦略もバランスシートの管理、資金の運用、リスク管理と範囲が広がってきている。このような変化の中における企業のファイナンスの動きと内容をビジネスと関連づけて考察する。

## 国際金融論

藤井正志

### 【授業の概要】

国際金融市場の生成と発展、累積債務問題の発生と国際金融に従事する銀行や投資家のリスクについて考察し、リスク管理の一手法としてのデリバティブの活用法など、基礎と現実の動きを幅広く考察し今後の課題についても検討する。

## ファイナンス概論

### 【授業の概要】

この講義ではファイナンスの入門としてファイナンス各論についての基礎の解説を行う。具体的には、確実性下（現在価値概念の導入）及び不確実性下（効用概念の導入）における評価方法の紹介、ポートフォリオ選択の考え方とそれに基づく資本資産評価モデル（CAPM）の紹介、オプション、スワップ、先物の各取引を含むデリバティブについての基本的な概念の紹介、その他、企業の財務計画、資金調達と配当問題、資本構成と企業評価について最新の動向を交えながら紹介する。

## 数理ファイナンス

### 【授業の概要】

この講義ではファイナンスの入門としてファイナンス各論についての基礎の解説を行う。具体的には、確実性下（現在価値概念の導入）及び不確実性下（効用概念の導入）における評価方法の紹介、ポートフォリオ選択の考え方とそれに基づく資本資産評価モデル（CAPM）の紹介、オプション、スワップ、先物の各取引を含むデリバティブについての基本的な概念の紹介、その他、企業の財務計画、資金調達と配当問題、資本構成と企業評価について最新の動向を交えながら紹介する。

## 現代ビジネス事情 I

森下允之

### 【授業の概要】

世界に独立国（independent）はなく、みな相互依存国（interdependent）である。国内ですべての取引が完結し、海外との接点が全くない、あるいは影響を受けないビジネスはない。現代のビジネスにとり国境の壁は低くなっており、企業は全世界で調達生産・販売している。この実態を企業の海外拡張の側面を有する海外直接投資の視点から分析し、主要投資先国のビジネス環境を紹介し、空洞化問題など、国内産業に与える影響を論ずる。

## 現代ビジネス事情 II

石坂綾子

### 【授業の概要】

ヨーロッパ諸国の金融業を中心に、その基本的特徴を具体的事例を挙げて考察する。

## 銀行ビジネス論

森下允之

### 【授業の概要】

現在、日本の銀行界は未曾有の危機、再編の渦中にあり、日本経済不振の元凶とも非難されている。しかしながら、実際には銀行は加害者でもあり、被害者でもある。金融機関その代表である銀行が再び十分な利益をあげ、日本経済に貢献する方法を論ずる。

## 証券ビジネス論

島田舒一

### 【授業の概要】

日本版ビッグバン後、証券市場、証券会社、証券行政などいずれも変革が進みつつあり、また、グローバル化の中で証券ビジネスは質量とも変わってきている。そこで広範囲にわたる証券ビジネスを具体的に論ずるとともに、金融システムや市場の変化の中でどう変わっていくか、その背景と方向性についても考察する。

## 保険ビジネス論

跡部浩一

### 【授業の概要】

保険業法の基本事項を学習し、現代の企業経営にとって不可欠な各種保険の意義と役割についての理解を深める。特に保険業法の法的解釈論よりも、日常の経済活動を通じての保険実務とその意義を中心のテーマに、その法的根拠としての保険業法の基本を解説する。

## 外国為替論

森下允之

### 【授業の概要】

「国際金融」のExchange（交換、為替）の側面。基礎的な概念・理論から今日の制度・為替政策、さらに経済への影響まで触れる。経済的なできごと、変化が外国為替相場にどう影響するか理解できるようにしたい。

## 金融工学

渡辺泰明

### 【授業の概要】

この講義を受講するにあたり、数理ファイナンスを履修済みか同等以上の能力があることが前提となる。まず、株式投資についての基礎知識を身に付けた後、アセット・アロケーション、国際分散投資、及び、パフォーマンス評価等についての理解を深める。又、先物取引とオプション取引の概要並びにその仕組みを数式を通して本質的な部分を十分に理解できるように努める。授業では、マイクロソフト社のEXCELを用いて例題や演習の問題を解くことにより実際のヒストリカル・データに基づく実証分析を実践し、個別の概念の理解をより確実なものとするを目標とする。

## プログラミング入門

### 【授業の概要】

システム開発における基本技術であるプログラミング技術について、その基礎知識を習得する。このため、プログラミング言語が持つ特徴ならびに機能の学習からはじめ、データ処理におけるアルゴリズムについての考え方、ならびに最終的なコーディング作業に至るまでの一連のプログラミング工程について学習する。なお、プログラミングに関する理解は、実際のプログラミング作業を経験していくことが不可欠であることから、コンピュータ実習を並行して行う。

## ファイナンス特論

細野義晴

### 【授業の概要】

企業経営資金の需要者と供給者との間には、現在多種多様な金融機関が存在している。これらの金融構造を学習し、現在の各種金融機関の特色とその役割を理解する。

## 金融システム論

石坂綾子

### 【授業の概要】

中央銀行と金融政策、銀行と証券市場、国際的金融制度など金融システムについての基本的特徴をその機能と歴史的背景から考察する。

## ファイナンシャルプランニングⅡ

島田舒一

### 【授業の概要】

ライフスタイルの多様化、少子高齢化社会の到来に伴い、人々のライフプランニングや老後の生活設計に対する関心が高まってきている。Ⅱでは、Ⅰで学習した3分野以外のタックスプランニング、不動産、相続・承継などを取り上げて考察するほか、問題練習を通じて理解を深める。

## プログラミング応用

石橋善弘

### 【授業の概要】

情報化社会においては、問題解決のためにコンピュータを活用できることは必須要件である。本科目は、プログラムの設計開発に際して要求される論理的思考能力の養成を目的とする。講義においては、プログラミングの基本的な考え方、手法を解説し、Excel、Visual Basicを用いて日常生活、社会活動、研究活動等において有用な諸プログラムを作成する能力を養成する。

## ビジネスプレゼンテーション

三浦信宏

### 【授業の概要】

ビジネスの場面における情報メディアと自己表現の効果的な技法を理論面、実践面から学習する。また、プレゼンテーションツール、マルチメディアを活用し実践することにより、プレゼンテーションスキルを習得する。

## 情報倫理

梅田敏文

### 【授業の概要】

情報化社会の特徴、ITが社会に及ぼす影響などを考察するとともに、知的財産権、プライバシー、コンピュータ犯罪などを検討し、情報倫理の必要性を理解する。

## 情報システム論 I

三浦信宏

### 【授業の概要】

データベースシステムの設計、運用、管理、及び情報検索に関する知識・技能を習得し、関係データベースを利用することによって実践的なスキルを養う。

## 情報システム論 II

伊東俊彦

### 【授業の概要】

情報システムは情報の入手・処理・活用を行うためのシステムである。近年とみに企業環境の変化の激しさから情報システムの構築がビジネスのニーズに追いつかない面が顕著に現れている。そのため、いままで企業独自に開発してきた情報システムを捨てて統合的なソフト・パッケージを採用した情報システムへの移行も進んでいる。本情報システム論では、はじめにアプリケーションシステムの設計・開発の過程を学習する。その後、簡単な会計システムのプログラミングを行う。具体的なプログラミングをとおして会計システムの機能設計（概要設計を含む）や運用設計の基本も学ぶ。全体を通して、実際の業務とアプリケーションシステムの整合性をどのようにとりシステムを構築・管理をすればよいかの基本を理解することを目標にしている。

## 情報通信ネットワーク論

伊東俊彦

### 【授業の概要】

「情報通信」とは、情報を相手に知らせることであり、そのために使われるしくみの中心がネットワークである。現在はインターネットというグローバルなネットワークから個別に構築された個別ネットワークまで大小さまざまなネットワークがビジネスで活用されている。その中で代表的なネットワークについて理解することが企業ビジネスにおいて重要である。

当講義では情報通信ネットワークを情報通信とネットワークの2つの概念の基に取り扱う。情報通信では、「情報とはなにか」から始まり、情報通信の基本である通信回線の種類や伝送方式について学習する。ネットワークでは、LANやインターネットのしくみについて学習する。さらにネットワーク構築の際の運用や管理の知識について学び、最近特に注目されているネットワーク・セキュリティについても学習する。全体を通して情報をいかにうまくビジネスに活用するか、という観点からそのしくみである情報通信ネットワークの役割を理解することを目標にしている。

## システムリスク管理論

上原 衛

### 【授業の概要】

インターネットを中心とする情報通信ネットワークを活用したeビジネスの進展とともに、企業や金融機関は、ビジネスリスクや通信ネットワークのリスクにさらされるようになった。

本科目では、これらのリスクをシステムリスクとして概観し、とくにネットワークの構築や運用時のリスクと、ネットワーク上でのコミュニケーション時のリスクに焦点をあて実習を通して学習する。また、リスク低減策としてのセキュリティの知識と技術を習得する。

## IT と職業倫理

梅田敏文

### 【授業の概要】

情報化の進展による産業や職業の変化を検討する。情報と関わる職業に要求されるプロフェッショナル倫理を、ケーススタディなどを通して理解を深め、情報化社会における職業観や勤労観を育成する。

## 流通情報システム論

三浦信宏

### 【授業の概要】

流通サービス産業におけるコンビニエンスストアをとりあげて、情報システムの設計、管理、活用の知識を習得する。とくに、コンビニ経営のためのデータベース設計や情報検索の手法を、実習を通して習得する。また、情報システムを基盤としたコンビニ経営の最新動向を学習する。

## プロジェクト管理

三浦信宏

### 【授業の概要】

適用業務開発プロジェクトを想定し、情報システムの設計局面、管理局面の作業内容とプロジェクトコントロールの知識と技法を学習する。とくに、画面設計やデータベース設計の作業を取り上げ、設計の作業を実習するとともに、作業の進捗管理、品質管理、変更管理の知識を習得し、情報システムの効果的な設計と管理の技法を学習する。

## コンピュータシミュレーション

上原 衛

### 【授業の概要】

情報処理システムを活用してデータの統計処理やシミュレーション機能を学習するとともに、図形処理や画像処理機能を活用して効果的なデータ提示方法を検討する。

## 異文化コミュニケーションⅠ

ジョリー佐々木幸子

### 【授業の概要】

異文化コミュニケーションの入門レベルのコースで、その基礎的知識、概念及び意思疎通の言語的及び非言語的な技術を習得することにより、学生が将来ボーダレス世界において、広範囲な領域とのビジネス活動をより効率よく、円滑に行動できることを目的とするコースである。コース課程は3部より構成され、異文化間コミュニケーションに影響を与える要因、異文化間コミュニケーション行動のメカニズム、そして異文化間コミュニケーションの実践・応用について学ぶ。

## ビジネスと社会

國信潤子

### 【授業の概要】

ビジネスにおける人間関係の諸側面を法制、社会階層、ジェンダー関係そして産業社会学的視点から考察する。近年女性・男性の社会参画が社会のあらゆる側面で進展している。しかし雇用均等法などの法制は十分に浸透しているとは言い難い。そこで2名の講師によるビジネス活動の多面的な考察をおこなう。

(オムニバス方式)

(國信潤子教授)

社会学的統計データ、産業社会学、男女共同参画などの領域でビジネスにおけるジェンダー関係を紹介する。

(原山恵子兼任講師)

法制面でのビジネス関係の変容、特にビジネス活動でのジェンダー関係と従来の日本社会における人間関係を法制面から事例的に考察し、雇用機会均等法、家族関係の変容などについて解説する。

## 経営情報システム論

伊東俊彦

### 【授業の概要】

経営情報システムを情報通信ネットワークの形態やその進展、およびコミュニケーション形態の変遷との関係でとらえ、MIS、意思決定支援システム、SIS、BPRなどの機能と構造をネットワークの構築、運用の観点から学習する。また、経営戦略やビジネスモデルの策定が、通信ネットワークとコミュニケーションにより、どのような影響を受けるのか、実習も含めたセキュリティ対策などを通して学習する。

## ビジネスマナーと異文化

ジョリー佐々木幸子

### 【授業の概要】

当講義は21世紀のボーダレス社会において、国内或いは海外業務に従事するビジネスパーソンが認識し、行動に移して行くべき基本的思考法やマナー、インターナショナル・プロトコル等という規範を学習し、将来の国際ビジネス活動における異文化交流に備えることを目的とするものである。

## 異文化コミュニケーションⅡ

福本明子

### 【授業の概要】

本講義では、日常の検証されない前提や我々のコミュニケーションの影響を、構築主義・批判主義的視点から探求する視点の研究を目的とする。『文化』を静止的なものではなく、流動的・構築的なものとして捉え、異文化コミュニケーションⅠで学習した「文化」の概念を再検討する。「常識」「規範」「境界」は誰が何の為に構築・維持しているのか。「日本人の境界」やその境界の影響を中心に、民族や力関係の文化への影響を身近な事例を用いて検証し、多文化共生社会へ向け、コミュニケーションを通じて個人の社会への関与・貢献の可能性を探求する。

## ビジネスと社会

原山恵子

### 【授業の概要】

ビジネスにおける人間関係の諸側面を法制、社会階層、ジェンダー関係そして産業社会学的視点から考察する。近年女性・男性の社会参画が社会のあらゆる側面で進展している。しかし雇用均等法などの法制は十分に浸透しているとは言い難い。そこで2名の講師によるビジネス活動の多面的な考察をおこなう。

(オムニバス方式)

(國信潤子教授)

社会学的統計データ、産業社会学、男女共同参画などの領域でビジネスにおけるジェンダー関係を紹介する。

(原山恵子兼任講師)

法制面でのビジネス関係の変容、特にビジネス活動でのジェンダー関係と従来の日本社会における人間関係を法制面から事例的に考察し、雇用機会均等法、家族関係の変容などについて解説する。

## ビジネスマナー

松田照美

### 【授業の概要】

一般社会人として、コミュニケーションを円滑に行なうに必要な対人接遇の在り方について、電話による応待、面談の効果的な仕方、文書による表現などについて学習する。

## ビジネスレター

寺本史子

### 【授業の概要】

経済のグローバル化の進む中、英文ビジネスレターを書く機会は間違いなく増えている。手紙、ファックス、Eメールと形は異なっても、ビジネスレターについて最も大切なものは"50%が文法、のこりの50%は書き手の態度"ともいわれており、明確・簡潔・誠実・友好的に書くことが基本となる。読みやすく、プロフェッショナルにみえる英文ビジネスレターの書き方を、豊富な実例に学び、練習することを通じて、マスターする。

## 交渉術 / ディベート

福本明子

### 【授業の概要】

本講義は、「交渉術」をmediation（ミディエーション：第3者仲介調停）とDebateを含む広い概念として捉え、交渉術の概要を講義すると同時に、ディベートを中心に据えた技能習得を目的とする授業である。概要にて、文化・感情・面子などの交渉・議論への関与を学習する。その後ディベートを中心に、議論の組み立て方・批判検証のポイント・言語操作の俊敏性などの技能向上を目指す。ディベートの使用言語は様子を見ながら日本語と英語の分量を調整する。

## 英語プレゼンテーション

福本明子

### 【授業の概要】

本講義は、英語でのプレゼンテーション技能の向上を目指す講義である。スピーチの作成・プレゼンテーションの学習から始め、パワーポイントの操作を習得し、パワーポイントを用いたプレゼンテーションまで学習する。更に、コミュニケーション研究から言語・非言語による信頼性の構築や意味付与等に関する知識を学習する。定期的にプレゼンテーションを伴う課題を体験し、学習した情報を実践し、個人々が「自分らしさ」を伴うプレゼンテーションを探求する。

## Communication Strategies I

JOLLY, James A.

### 【授業の概要】

議論やディベートについて基本的な概念を学びながら、その際の主張や証拠、論理の組立てについて分析し、話し合う。

This course is aimed at providing students with training and practice in English, as used in international business communication, through review of basic English grammar with practical application in model conversations in social and business situations. Lesson topics and content will also provide students with opportunities for expanding their functional vocabularies and to gain confidence in expressing themselves. Textbook drills will be supplemented with additional materials and activities to facilitate and enhance conversational skills.

## Communication Strategies II

JOLLY, James A.

### 【授業の概要】

議論やディベートについての様々な概念を考察しながら、実際に自分の主張を発表し、その主張を証拠や論拠をあげて反論から守る訓練をする。

The objectives of this course are to provide students with continued review and practice of English as used in international business communication. Class assignments will include written work in addition to conversation practices. Lesson topics and content are designed to provide students with opportunities for expanding their functional vocabulary and to better express themselves in varied business situations. Special handout supplementary materials will be used with the textbook drills to provide broader experience.

## ビジネス外書講読 I

小池弘道

### 【授業の概要】

(小池弘道助教授)

新聞、雑誌・本（リーダーズダイジェスト、日経ジャーナルなど）の英語版や、放送（BBC、CNNなど）などを教材として基礎的な読書力を養う。

内容としては、世界の政治、経済、外交などに関するビッグなニュースを読んで理解するとともに、その出来事の日本および私達の生活への影響を考察する。また景気動向、物価の動き、金融情勢、雇用・失業状況などの経済ニュースを読んで、日本や世界各国の動きを知る。更には、企業の技術革新、収益状況、リストラクチャー、合併統合などに関する記事を読んで、最近の企業動向を理解する。

## ビジネス外書講読 II

ジョリー-佐々木幸子

### 【授業の概要】

ビジネス外書講読 I での学力向上を踏まえて、新聞、雑誌・本（リーダーズダイジェスト、日経ジャーナル、ハーバードビジネスレビューなど）の英語版や、放送（BBC、CNNなど）などを教材として使い、さらにレベルアップを図る。内容としては、世界の政治、経済、外交などに関する動向、日本および世界の景気・経済動向、業種や主な企業の最近の動向など、引き続きビジネス外書講読 I 分野のアドバンスなものに、法律関係、会計関係、コーポレートガバナンス、環境問題関係など、専門的な分野も取り入れて講義していく。

## ビジネス英語入門

ジョリー佐々木幸子

### 【授業の概要】

本講義は(1)英文ビジネス通信文の基礎、(2)社交通信文及び(3)貿易通信文の三分野の基礎と応用を学習することにより、国際ビジネスに必要な英語と関連文書の形式、作成技術を習得することを目的とする。

## 異文化コミュニケーション特論

霜田一敏

### 【授業の概要】

異なったライフ・スタイルや価値観を持った人々との共存が時代の要請であり、異質なものの、異文化的なものを知ることは自国文化の本質を知ることでもある。その意味からも、日本人の常識と社交性の特徴を取り上げ、究明するなかから外国人とのコミュニケーションを良くする方途を考えてみたい。

## 異文化教育論

霜田一敏

### 【授業の概要】

日本においても国際化が進展し、さまざまな国の人たちが急速に増大している。私たちは益々異なった文化と言語を持った人たちと共存して生きていかなければならない。世界の人々との平和的な交流を図る上で、異文化理解はこれからの教育の重要な問題である。この問題を国際理解教育の観点から具体的に論究する。

## 異文化トレーニング

### 【授業の概要】

異なる文化背景を持つ人々がともに生活し、問題を解決するためにどのような知識・態度をもちながらコミュニケーションを取るべきかについて、ロールプレイやシミュレーションを用い分析・考察する。

## 比較文化特論

國信潤子

### 【授業の概要】

日本はその援助額では世界的に1~2位にある国際開発支援国である。日本の政府開発援助は世界各国に多大な影響を及ぼしている。またNGO、NPOが多く確立され、政府のみではできない協力、支援を実践している。この開発を「ジェンダーに敏感な視点」でみるのが今必要になってきている。異なる文化的背景をもつ地域住民の人権擁護、自立とエンパワーメントをめざした「もう一つの、持続可能な開発」とはどのようなものかについて国際比較統計データ、開発協力事例などから考察する。

## 組織心理学

榊原國城

### 【授業の概要】

組織における人間行動を質問紙や面接、観察に基づく調査などから得られた実証的データを用いて、一定の仮説に基づき説明しようとする行動科学的アプローチとしての組織心理学の領域から、いくつかのテーマを取り上げ、考察する。仕事への動機づけと満足の問題、組織におけるリーダーシップの問題、組織内キャリア発達の問題などを取り上げる。

## 比較文化論 I (日・米)

### 【授業の概要】

集団が共有する価値観や規範の体系としての文化について、日本とアメリカを比較対照して、それぞれの文化の特徴を浮き彫りにするとともに、異文化理解を深める方法についても考察する。

## マスコミュニケーション論

### 【授業の概要】

マスコミュニケーションの機能、マスメディアの利用、マスの送り手と受け手、ジャーナリズムと世論などについて概説する。また、日本のテレビ放送の歩みをたどり、21世紀の映像メディアの将来像を考える。

## 放送メディア論

遠藤雄久

### 【授業の概要】

多メディア化、多チャンネル化、更には国際化の趨勢のなかで、放送システムとりわけテレビ放送の地位は大きく揺らぎ、新しい対応を迫られている。本講義は、テレビ放送の「過去・現在・未来」を具体的な事実、データに基づいて考察し、情報化社会のなかでのテレビ放送の新しい可能性を探る。

## 国際ビジネストレンド

真田幸光

### 【授業の概要】

国際ビジネストレンドの講義に於いては、国際化の進む日本経済の現状を鑑み、日本経済の動向、そして日本企業の国際戦略を意識しつつ、Currentな国際経済情勢を学んでいくことを大きなテーマとしている。従って、その題材は新聞、雑誌等のマスコミ報道や日本政府、国際機関の示すデータや情報から取り上げ、これを担当教員が解説した上で、日本経済に与える影響や日本企業に対するビジネス・チャンスやビジネス・リスクなどについて考察、その上で可能な限り、受講生との意見や視点を引き出すことを心掛け、授業を展開していくことを予定している。

## ヒューマンリソースマネジメント

小池弘道

### 【授業の概要】

景気低迷の長期化、高齢化、少子化、女性の職場進出、雇用形態の変化など日本の労働市場の急速な変貌について説明する。続いて、日本の強みと言われた終身雇用制度、年功型処遇制度の崩壊について、その原因と今後の変化を解説する。更に、日本と欧米との人事管理・労務管理の違いについて、役割期待、責任と権限、採用、賃金制度、人事異動、従業員教育、モラル向上などの視点から講義する。また、そのよう状況下において、今後の人事・労務管理に要求される変化について説明するとともに、個人としての対応についても解説する。

## ビジネスマネジメント

辻村宏和

### 【授業の概要】

起業ブームの裏には低成長率もあることを見逃してはならない。財務テクニックや法律知識、あるいは最新テクノロジーに関して自分の不得意領域をカバーすべく起業には良きビジネス・パートナーが不可欠であるが、「ビジネスであるがゆえに親友（兄弟）の正体を知るはめとなった」最大最悪のトラウマに陥ったケースは枚挙にいとまがない。起業自体はマネジメントにとってほんのプロローグに過ぎず経営者は意外にも起業後の非経済的要因で苦悩する。本講義では、そういった苦悩を「組織の病気」として、事例を交えながら理論的に学習する。

## マーケティングストラテジー

大塚英揮

### 【授業の概要】

本講義では、マーケティングベーシックで習得した知識を基礎に、この目標を達成するためにとられる戦略的手法について理解を深めていく。先ず企業の競争戦略を理解するために必要な「考え方」を習得し、その上で個別企業が操作可能な戦略手段である価格、製品、マーケティングチャネル、広告の各手段をそれぞれ取り上げ、これら各手段に関する具体的戦略の理解を深めていく。

## ビジネスストラテジー

河合篤男

### 【授業の概要】

企業を取りまく環境は常に変化している。こうした環境変化に対して、うまく適応して成長を続ける企業もあれば、適応に失敗してしまう企業もある。このような違いがなぜ生み出されるか。それを解明するためのひとつの柱は、経営戦略の立案プロセスの研究である。環境適応に成功している企業が、どのように変化を認識して、次なる経営戦略の立案に結び付けているのか、企業が内部に構築している環境適応のための仕組み、さらには社外からのCEOや経営コンサルティング企業など、外部の力を利用した企業革新について、事例を交えて解説する。

## プロダクションマネジメント

浅井敬一郎

### 【授業の概要】

本講義では、日本の生産システムを「スキル」の視点で議論を進める。まず、プロダクションマネジメントが必要となった背景について概観する。また工学技術が進展するに伴って企業の競争力として重要となる。「スキル」の企業経営における意味を明らかにし、スキルの獲得、移転のプロセスについて論じる。その上で日本の生産システムのもっとも大きな特徴であるプロダクションマネジメントについて考察する。

## マーケティングリサーチ

徳山美津恵

### 【授業の概要】

マーケティング活動を行う上で、市場やそれを構成する消費者を知ることには非常に重要である。そこで、本講義では、市場・消費者に関するデータを収集し、分析していくための基礎知識を理解してもらうことをねらいとする。具体的には、簡単な消費者調査を行い、その集計・分析手法を身につける。また、その際に必要とされるコンピュータや統計学の知識やスキルについても習得する。

## リテールマネジメント

大塚英揮

### 【授業の概要】

他国に比べて厳しいといわれる「流通規制」に守られていた小売業界も、大店法撤廃、酒販免許緩和などの規制緩和の結果、年々競争が激化する傾向にある。セブンイレブンVSローソンのようなコンビニという同じ業態同士の競争のみならず、ユニクロなどの急成長する専門店とイトーヨーカ堂のようなGMS間の異なる業態間の競争も活発化している。激化する競争にどう対応すればよいのか。本講義では小売業に関する基礎知識を学習した上で、小売業のとりうる競争戦略のパターンについてケースを用いて、より実践的に考察する。

## チャネルマネジメント

大塚英揮

### 【授業の概要】

メーカーが自社商品のシェアを高めていく上で、流通チャネルをどう管理していくかは非常に重要な意味を持つ。本講義では次の3つのトピックスについて取り扱う。(a)「チャネル」の形状、「チャネル」を構成する基本要素であるメーカー、卸、小売三者間の取引関係、(b)メーカーが流通業者とどのような取引関係を結び、どう流通業者を管理するのが最適なのか、(c)メーカーと流通業者間の「製販統合」、これら3つのトピックスについて具体的ケースを用いて学習し、流通に関する専門的知識を習得する。

## 統計基礎

元吉忠寛

### 【授業の概要】

本講義では、社会調査やマーケティング・リサーチを行う上で必要となる統計の基礎（どのような分析の際にどのような統計手法を使用するか、また結果をどのように解釈するか）について学ぶ。なお、教養教育科目の「統計学」を必ず履修しておくこと。

## 民法

### 【授業の概要】

本講義の前半では、物を所有すること、つまり物を直接支配する権利について法はどのように規定しているのかについて、物権法を中心に制度の趣旨や基本的な考え方を具体例を用いながら講義する。次に民法のうち債権総論または各論に関わるいくつかのケースを取り上げ、法の趣旨について概略する。この分野は債権の発生原因毎に、それぞれの特異な規定が集められている部分であるので、特に重要と思われる部分に限定して解説する。

## アントレプレナー特論

真田幸光

### 【授業の概要】

本講義では、ビジネスの原点とも言うべき「起業」、即ち、人々が「業を起こす」という初期過程からビジネスとは何かを考察していくことを目的としている。起業をするには、財務分析等の定量的考察のみならず、市場環境調査、労務管理、リーダーシップなど、幅広い視点からビジネスの本質を捉えていく必要が生じ、こうした幅広い視点を研究することによって受講生のビジネスに対する学問的知識の向上と共に実践的な知識・ノウハウの向上を図っていくべく、講義を展開する。尚、実践的知識・ノウハウ向上の為、開講中、3～4人前後の外部講師（外資系企業経営陣、ベンチャー企業経営者、ベンチャーキャピタル経営者、マスコミ関係者、行政関係者などを予定）を招き、講義を受けた後、担当教員とのディベート、更には受講生との意見交換などを組み入れていくことを予定している。

## eビジネス

伊東俊彦

### 【授業の概要】

e-ビジネスと一般のリアル・ビジネスとの違いをそれぞれのビジネスモデルの事例を通して習得し、ビジネスモデル特許の問題やe-ビジネスの成功・失敗の要因について検討する。

## 職業指導論

大倉芳雄

### 【授業の概要】

職業生活に必要な基本的な能力、態度及び職業観を育成し、自らの将来の生き方や進路について考える。

## 会社法 I

原 秀六

### 【授業の概要】

会社法のうち、まず会社の種類を取り上げ、社員の責任の態様について学習する。株式会社の設立・運営に関して商法はどのような考え方に基づいてどのような規定を設けているのか講義する。株式に係る規定についても解説する。

## 会社法Ⅱ

上田純子

### 【授業の概要】

会社法のうち、会社の機関と会社の運営に係る規定を中心に取り上げる。会社の企業経営がいかなる者に任せられ、その者にどのような義務、責任が課せられるか、従業員との関係など、会社の組織法を中心に講義する。また、企業再編・企業統合等についても可能な限り言及する。

## 国際ビジネス法

JOLLY, James A.

### 【授業の概要】

主権国家間の法として成立した国際法の基本概念を把握した上で、個人、民族、国際機構という新たな主体が登場する現代国際社会で、国際法がいかに変貌しつつあるかを、戦争の規制や人権の保障などの分野を中心に考察する。

## 有価証券法

上田純子

### 【授業の概要】

商取引の決済等において重要な役割を果たしている手形・小切手について、手形法・小切手法がどのように規定しているのかについて講義する。細かな解釈論や理論に深入りせず具体的に用いながら法の基本的な考え方の理解を深める。

## ビジネスと法

原秀六

### 【授業の概要】

現代企業がビジネスの現場で遭遇すると思われる問題を取り上げ、法律的側面から検討する。また、ビジネスに関する興味深い判例を取り上げ、解説するとともに、今後企業が対応すべき新たな領域や問題についても考察する。

## 基礎演習Ⅰ

浅井敬一朗 他

### 【授業の概要】

受講者の関心事を踏まえてテーマを設定し、双方向授業の中で、ビジネス社会に役立つ知識、スキルを学習するとともに、ビジネスパーソンとして活躍できるマインドを育成する。

## 基礎演習Ⅱ

浅井敬一朗 他

### 【授業の概要】

受講者の関心事を踏まえてテーマを設定し、双方向授業の中で、ビジネス社会に役立つ知識、スキルを学習するとともに、ビジネスパーソンとして活躍できるマインドを育成する。

## 専門演習Ⅰ

浅井敬一朗 他

### 【授業の概要】

受講者の関心事を踏まえてテーマを設定し、双方向授業の中で、ビジネス社会に役立つ知識、スキルを学習するとともに、ビジネスパーソンとして活躍できるマインドを育成する。

## 専門演習Ⅱ

浅井敬一朗 他

### 【授業の概要】

受講者の関心事を踏まえてテーマを設定し、双方向授業の中で、ビジネス社会に役立つ知識、スキルを学習するとともに、ビジネスパーソンとして活躍できるマインドを育成する。

## 専門演習Ⅲ

浅井敬一朗 他

### 【授業の概要】

受講者の関心事を踏まえてテーマを設定し、双方向授業の中で、ビジネス社会に役立つ知識、スキルを学習するとともに、ビジネスパーソンとして活躍できるマインドを育成する。

## 卒業論文・制作

浅井敬一朗 他

### 【授業の概要】

専門演習Ⅰ、Ⅱを通じて興味と関心のある分野を発見し、専門演習Ⅲ、専門演習Ⅳにおいての研究発表をもとに、演習指導教員の個別指導により卒業論文・制作として結実させる。

## 専門演習Ⅳ

浅井敬一朗 他

### 【授業の概要】

受講者の関心事を踏まえてテーマを設定し、双方向授業の中で、ビジネス社会に役立つ知識、スキルを学習するとともに、ビジネスパーソンとして活躍できるマインドを育成する。

## インターンシップ

上原 衛

### 【授業の概要】

2週間程度の短期間であるが、企業に出向き実際の会社での業務に触れて、実社会での活動を体験する。これまで主として座学によって学んだ理論や事柄が、どのように応用されているかを理解する。また、実社会でビジネスパーソンとしてどのような心構えを持つべきかを自分なりに考えかつ体得する。

## 資本市場と証券投資（野村証券提供講座）

上原 衛

### 【授業の概要】

直接金融への期待が高まる現在、資本市場に求められる役割とは何か。金融ビッグバン以降、激変する日本の資本市場の全容と投資とリスク・リターンの方、株式投資・債券投資・分散投資・グローバル証券投資・分散投資の方法などを実務の観点から解説します。

### 【授業計画】

- (1) ガイダンス
  - (2) 経済情報の捉え方
  - (3) 経済成長と金融資本市場
  - (4) 証券投資のリスク・リターンについて
  - (5) 株式市場の役割と投資の基礎知識について
  - (6) 債券市場の役割と投資の基礎知識について
  - (7) 投資信託の役割とその仕組みについて
  - (8) ポートフォリオ・マネジメント
  - (9) 市場のグローバル化と証券投資について
  - (10) 資産運用とライフプランニング
  - (11) 資本市場における投資家心理について
  - (12) 個人投資家と証券ビジネスについて
- ※授業はオムニバス形式で毎回講師が来て行われる。

### 【評価方法】

期末試験の結果により評価する。

### 【テキスト】

必要に応じてそのつど関連資料を配布する。

### 【参考文献・資料】

証券投資の基礎（野村証券投資情報部編 丸善株式会社）  
日本の資本市場（氏家純一編 東洋経済新聞社）

## 教職入門

梅村敏郎

### 【授業の概要】

本講義は、教員という職業がどのような意義を持っているのか、学校での教師の職務と役割がどのようなものであるかを、学生の被教育体験を生かしながら具体的に解説する。職務の個々の内容について、現在の中学高校の実体を踏まえて詳説する。その上で、今日の学校が抱えている問題解決の方途を、中教審、教課審の答申を学び、求められている教師像を明らかにすることによって教職につかかどうか、自らの適性を見極めて決定する情報と機会を提供したい。

### 【授業計画】

- 1 社会構造の変化と教育の役割の変化
- 2 偉大な教育者に学ぶ
- 3 日本における教員養成
- 4 日本の民主化と教育
- 5 現代社会と教育
- 6 まとめ

### 【評価方法】

筆答試験による。

### 【テキスト】

「教職入門」300円

### 【参考文献・資料】

授業時に適宜紹介する。

## 教師論

佐藤実芳

### 【授業の概要】

日本における明治維新以降の教員養成制度について、教員免許・資格、教員に求められていた資質等の歴史を学習する。

多様化と個性化、国際化、情報化、高学歴化等の現代社会の急激な社会変化の中において期待される教員像を求め、学生の被教育体験を交えて模索することによって、教職への理解を深め、目的意識をもって教職への道を歩む人材の育成を目指す。

### 【授業計画】

1. 日本における教員養成の制度  
(1) 教員養成の歴史と現在 (2) 教職課程の仕組 (3) 教員の採用
2. 教師について考える  
(1) 教科指導 (2) 生徒指導 (3) 教員の研修
3. 種々な教師に学ぶ

### 【評価方法】

レポート、受講態度などにより総合的に評価する。

### 【テキスト】

使用しない。必要に応じて資料を配布する。

## 教職入門

小栗正彦

### 【授業の概要】

本講義は、教員という職業がどのような意義を持っているのか、学校での教師の職務と役割がどのようなものであるかを、学生の被教育体験を生かしながら具体的に解説する。職務の個々の内容について、現在の中学高校の実体を踏まえて詳説する。その上で、今日の学校が抱えている問題解決の方途を、中教審、教課審の答申を学び、求められている教師像を明らかにすることによって教職につかかどうか、自らの適性を見極めて決定する情報と機会を提供したい。

### 【授業計画】

- 1 教師像の変遷
- 2 現代の理想的教師像  
(1) 教科指導者としての教師  
(2) 特別活動の指導者としての教師  
(3) 教師とカウンセリング  
(4) 学級経営者としての教師  
(5) 教師と校務  
(6) 共生社会における教師の仕事
- 3 家庭人としての教師
- 4 市民としての教師
- 5 子どもの未来を開く魅力ある人間としての教師
- 6 まとめ

### 【評価方法】

筆答試験による。

### 【テキスト】

「教職入門」300円

### 【参考文献・資料】

授業時に紹介する。

## 教育原理

佐藤実芳

### 【授業の概要】

高等教育機関への高い進学率を誇っている日本では、教育といえば学校教育を思いうかべることが多いであろう。しかし、学校教育を受けるのは、人生の一時期にしかすぎない。しかも学校教育をめぐる様々な問題が生じている今日、学校とは何か、教育とは何か、そのあるべき姿を真剣に考える必要がある。本講義では、教育の本質と目的を中心に教育とは何かを考察していく。

### 【授業計画】

1. 教育とは何か
2. 人間と教育
3. 教育の本質
4. 教育の目的
5. 現代の教育

### 【評価方法】

試験、レポート、受講態度などにより総合的に評価する。

### 【テキスト】

授業中に指示する。

## 教育思想史

梅村敏郎

### 【授業の概要】

教育は、人間の本質的な営みの一つであって、既に古代から哲学者や思想家の考察の対象となってきた。これらの思想は、思想家たちが生きた時代や文化の主要な潮流や思想家自身の思考方法の特徴によって極めて多様な思想や理論が形成された。

この授業では、古代から現代まで各時代を代表するような偉大な教育思想を時代順に辿るのではなく、現代の教育についての基本的な考え方や主要な概念に直接的な影響を与え、そのため現代教育と直接的なつながりを持つと思われる17世紀のコメニウスを出発点として、それ以後今日に至るまで最も重要と考えられてきた教育者たちの思想を取り上げる。

その際、学生はそれらの思想についての他人の解釈や解説を聴くことも必要ではあろうが、むしろそれらの思想と直接に対決することがより大切である。

専門的な研究者にとっては、それらの思想はそれが書かれた元の言語で読まれるべきであろうが、初歩の学生は先ずそれらの書物の良い日本語訳によって、これらの思想に直接触れることが必要である。

### 【授業計画】

- 1 教育思想史を勉強することの意義
- 2 教育思想史を17世紀から取り扱う理由
- 3 コメニウス
- 4 ルソー
- 5 ペスタロッチ
- 6 ヘルバルト
- 7 フレーベル
- 8 デューイ

### 【評価方法】

評価はレポートの提出、あるいは資料持ち込み自由の筆答試験による。

### 【テキスト】

特定のテキストは使用しない。

### 【参考文献・資料】

参考文献は授業中に適宜紹介する。

## 欧米教育文化史

渡辺かよ子

### 【授業の概要】

欧米教育文化史における「近代化」とは具体的に何を意味するのか、という点に焦点をあて、欧米教育・文化の全体的・構造的な変遷過程に着目しつつ、比較教育史的なアプローチを試みる。

### 【授業計画】

1. 欧米教育文化史の視点と課題
2. 中世後期の欧米教育文化とルネサンス、宗教改革
3. 近代教育文化の生誕と展開（啓蒙思想と市民革命、産業革命）
4. 大学の誕生と展開
5. 西洋的教養と学校制度の確立

### 【評価方法】

レポート。

### 【テキスト】

教養の復権（沼田裕之他 東信堂）

### 【参考文献・資料】

その都度指示する。

## 教育心理学 I

富安玲子

### 【授業の概要】

中学・高校生についての理解を深めるために乳幼児期から青年期までの発達を概観し、発達課題について考えると共に、障害のある幼児、児童、生徒への理解を通して発達の可能性について考えていく。その上で、教育を受ける側と教育する側との相互の人間関係の中で展開される「教育」の営みについて、学習のメカニズムや動機づけの理論を通して考え、心理学的知見を実践の中に生かしていくことを目的とした。

### 【授業計画】

1. 教育の機能と教育心理学の位置づけ
2. 生涯発達の視点
3. 障害のある幼児、児童、生徒の理解と発達可能性
4. 発達段階と発達課題
5. 認知の発達を通しての人間理解
6. 学習の成立過程
7. 学習における知識の役割
8. 学習意欲を育てる

### 【評価方法】

期末試験によるが、授業への参加関与度を考慮する。

### 【テキスト】

テキストとしては使用しない。必要な資料等は授業時に配付する。

### 【参考文献・資料】

授業の中で紹介する。

## 教育心理学 I

小池理穂

### 【授業の概要】

中学・高校生についての理解を深めるために乳幼児期から青年期までの発達を概観し、発達課題について考えると共に、障害児への理解を通して発達の可能性について考えていく。その上で、教育を受ける側と教育する側との相互の人間関係の中で展開される「教育」の営みについて、学習のメカニズムや動機づけの理論を通して考え、心理学的知見を実践の中に生かしていくことを目的とした。

### 【授業計画】

1. 教育心理学を学ぶということ
  - ・教育の機能と教育心理学の位置づけ
2. 発達について考える
  - ・生涯発達の視点
  - ・障害の意味と発達可能性
  - ・発達段階と発達課題
  - ・認知の発達
3. 学習の過程を考える
  - ・学習の成立過程
  - ・学習における知識の役割
  - ・学習意欲を育てる
    - 外発的動機づけと内発的動機づけ/原因帰属をめぐって/知的好奇心の喚起/報酬の意味/目標のありかた

### 【評価方法】

筆記試験またはレポートに加えて、授業への参加関与度を考慮する。

### 【テキスト】

使用せず。

### 【参考文献・資料】

授業の中で紹介する。

## 教育心理学Ⅱ

富安玲子

### 【授業の概要】

人間を発達可能性のある存在として生涯発達の視点から考えながら、一人ひとりが自分の教育観・発達観の基礎づくりをすることを目的にしたい。自己意識の発達などのプロセスを辿りながら、教育的働きかけとの関わりを考え、今日的課題への理解を深めると共に、自分自身の自己形成のプロセスへの関心も深め、自己理解を促進していくことも視野にいれて学んでいく。

### 【授業計画】

1. 発達の心理学を学ぶ/発達の心理学から学ぶ
2. 青年期の意味
3. 発達と教育
4. 「自分」の諸相
5. 「自分でない」世界の認識から
6. 第一「反抗」期の意味
7. 自我と他我
8. 他律的規範への順応
9. 第二の誕生
10. アイデンティティの確立
11. 生涯発達の視点と生き方
12. 自分探しの旅と人間関係

### 【評価方法】

期末試験によるが、授業への参加関与度を考慮する。

### 【テキスト】

テキストとしては使用しない。必要な資料等は授業時に配付する。

### 【参考文献・資料】

授業の中で紹介する。

## 教育制度

佐藤実芳

### 【授業の概要】

社会の変化にともなう学校の誕生や変化に基づき、社会において学校教育が果たしてきた役割について考えるとともに、学校教育制度の典型的比較及び学校教育制度の歴史の変遷から、学校教育制度の基本的な事項を理解する。さらに、学校経営や教育行政に関する規定がある教育法規を取り上げ、現在の日本の教育制度の特徴を考察していく。

### 【授業計画】

1. 教育制度の意義
2. 現代学校教育制度の起源
3. 学校教育制度の類型
4. 日本の学校教育制度
5. 教育法規
6. 外国の学校教育制度

### 【評価方法】

試験、受講態度などにより総合的に評価する。

### 【テキスト】

授業中に指示する。

## 障害児の教育

加藤文子

### 【授業の概要】

障害児についての基本的理解をし、障害児の教育的環境、福祉施設の役割などの実情を理解する。また、就学指導の仕組みを理解し、特別支援教育の現状と課題を認識する。

### 【授業計画】

- 1 心身障害児の理解
- 2 心身障害児の種類と程度  
心身障害児とは  
学校教育で対象とする障害児と児童福祉施設で対象とする障害児  
視覚・聴覚・肢体不自由・知的障害・病弱・虚弱児等の程度と発生原因  
言語障害・情緒障害・重複障害児の発生原因と教育
- 3 心身障害児の早期教育、後期中等教育の重要性  
なぜ早期発見、早期教育が必要か  
社会自立に向けた後期中等教育の重要性
- 4 心身障害児の就学指導の仕組み
- 5 心身障害児（者）教育の歴史  
心身障害児（者）教育を開拓した人々  
心身障害児（者）教育の歴史的要因
- 6 まとめ

### 【評価方法】

出席状況・授業態度・レポート・期末試験の成績により総合的に評価する

### 【テキスト】

テキストは使用せず。必要に応じて資料を配布する

## 比較教育論

渡辺かよ子

### 【授業の概要】

進展する国際化・情報化の中にあつて、人間は次世代にどのような夢や願いを託すことができるのか。教育は、自らが社会問題であると共に、貧困や不平等など現代の社会問題に対する有力な解決方策でもある。本講では、日本を含む各国の教育と全世界的教育の状況の比較研究を通じて、日本の教育の特徴と現代教育の課題を明らかにしていく。

### 【授業計画】

1. 比較教育学の基礎理論
2. 社会発展論と教育
3. 近代化と各国の教育制度（識字と就学）
4. 「発展途上」国と「先進」国の教育の実態
5. 近現代日本の教育制度の成立と特徴
6. 文化と教育、異文化交流としての教育
7. 人権としての教育
8. 比較教育と教育改革

### 【評価方法】

試験とレポート。

### 【テキスト】

使用せず。（資料配布）

### 【参考文献・資料】

比較国際教育学（石附実編著 東信堂）  
世界の学校（二宮皓編著 福村出版）  
多文化教育（中島智子編著 明石書店）  
学歴社会 新しい文明病（ドーア著 岩波書店）  
外国の教科書と日本（吉沢柳子著 丸善ブックス）  
比較高等教育論（アルトバック著 玉川大学出版部）  
被抑圧者の教育学（フレイレ著 亜紀書房）  
情報消費型社会と知の構造（中西新太郎 旬報社）  
国際歴史教科書対話（近藤孝弘著 中公新書）  
教育の比較文化誌（石附実著 玉川大学出版部）  
比較教育学の理論と方法（シュリーバー編著 東信堂）

## 教育課程

小栗正彦

### 【授業の概要】

特定の発達段階にいる子どもを対象として、各レベルの学校がその教育目的・目標を十分に達成するために、子どもにどの種の教科・教材をどのように学習させるか、またどの種の活動をどう体験させるかについての全体的な教育計画である教育課程(カリキュラム)を学習する。

なお、各学校が教育課程を編成する場合に、広範な人間の文化領域のなかから、子どもが学習・体験すべき教育内容を選択し組織化する原理が何であるかという問題に焦点をあてて教育課程について考察する。

### 【授業計画】

1. 教育課程とは
  - (1) 教育課程の原理と理論
  - (2) 教育課程の構造と種類
  - (3) 教育課程の歴史の変遷
2. 諸外国の教育課程の概観
3. わが国の教育課程
  - (1) 戦前の教育課程の構造
  - (2) 戦後の教育課程の構造
  - (3) 現在の中学校の教育課程の改正の趣旨と構造
  - (4) 現在の高等学校の教育課程の改正の趣旨と構造
4. 総合的な学習の時間の設定の趣旨と具体的な展開
5. まとめ
  - (1) 教育課程研究と教師
  - (2) 望ましい教育課程の展開

### 【評価方法】

中間小テスト(レポート)及び期末考査

### 【テキスト】

教育課程概説(資格教育センター編 300円)

### 【参考文献・資料】

中学校学習指導要領(文部省)  
高等学校学習指導要領(文部省)

## 教育課程

梅村敏郎

### 【授業の概要】

特定の発達段階にいる子どもを対象として、各レベルの学校がその教育目的・目標を十分に達成するために、子どもにどの種の教科・教材をどのように学習させるか、またどの種の活動をどう体験させるかについての全体的な教育計画である教育課程(カリキュラム)を学習する。

なお、各学校が教育課程を編成する場合に、広範な人間の文化領域のなかから、子どもが学習・体験すべき教育内容を選択し組織化する原理が何であるかという問題に焦点をあてて教育課程について考察する。

### 【授業計画】

1. 教育課程とは
  - (1) 教育課程の原理と理論
  - (2) 教育課程の構造と種類
  - (3) 教育課程の歴史の変遷
2. 諸外国の教育課程の概観
3. わが国の教育課程
  - (1) 戦前の教育課程の構造
  - (2) 戦後の教育課程の構造
  - (3) 現在の中学校・高等学校の教育課程
4. まとめ

### 【評価方法】

中間小テスト(レポート)及び期末考査

### 【テキスト】

教育課程(資格教育センター編 300円)

### 【参考文献・資料】

中学校学習指導要領(文部省)  
高等学校学習指導要領(文部省)

## 商業科教育法Ⅰ

大倉芳雄

### 【授業の概要】

高等学校学習指導要領の改定の趣旨とその内容を学習し、教科指導に必要な基本的な知識と技法を指導する。

### 【授業計画】

1. 学習指導要領と商業教育
  - (1) 学習指導要領の性格及び構成
  - (2) 商業の目標・組織・学科
2. 教育課程の編成
3. 指導計画の作成と内容の取扱い  
年間指導計画・学習指導案の作成
4. 各科目の内容とねらい  
「ビジネス基礎」「課題研究」「総合実践」
5. 授業の具体的展開  
教材作成、AV機器の利用、学習評価、副教材の活用

### 【評価方法】

出席状況と課題の提出、単位認定試験の成績によって総合的に評価する。

### 【テキスト】

高等学校学習指導要領解説 商業編(文部省編 実教出版)

## 商業科教育法Ⅱ

大倉芳雄

### 【授業の概要】

商業科教育も国際化、情報化、サービス経済化の進展に対応しその内容が変化してきた現実をふまえ、各科目群の教育目標とその具体的な展開について学習し、教科指導に必要な知識や指導技術の向上を図る。

### 【授業計画】

1. 学習指導と評価
  - (1) 学習指導の一般原則
  - (2) 学習指導の形態と方法
  - (3) 商業教科の評価
2. 各科目の内容とねらい  
流通ビジネス科目群、国際経済科目群、簿記会計科目群、経営情報科目群
3. 資格取得指導の現状と課題
4. 商業高校における進路指導の視点 進学・就職
5. 商業教育の将来

### 【評価方法】

出席状況、課題提出、単位認定試験の成績など総合的に評価する。

### 【テキスト】

高等学校学習指導要領解説 商業編(文部省編 実教出版)

## 情報科教育法 I

松蘭重弘

### 【授業の概要】

本授業においては、高度情報化社会における学校教育における情報科教育の意義、役割を認識し、情報科の学習指導要領に示された教育の目的を理解するとともに、情報科担当者に要求される教育目標達成に必要な基礎的な知識、技能について実習を織りまぜながら学習する。授業はすべてコンピュータ実習室で行なう。教育実習に参加する学生がある場合には、授業計画を変更することがある。

### 【授業計画】

1. 情報科教育の史的展開と意義の概観
2. 情報倫理、セキュリティの指導法
  - (1) 情報科社会に正しく、主体的に参画する態度
  - (2) 情報の受信と発信における個人の責任
3. 高度情報化社会における職業倫理、職業観の指導法
  - (1) 高度情報化の進展と職業及び職業人としてのあり方
  - (2) 情報に関するスペシャリストに求められる諸資格
4. コンピュータ及び情報に関する基本的な知識・技能の指導法
5. 情報システムの設計、管理、運用に関する知識・技能の指導法
6. 情報通信ネットワークの構築、運用管理、活用に関する知識・技能の指導法
7. マルチメディアを活用した表現・処理に関する知識・技能の指導法

### 【評価方法】

提出された報告書により評価する。

### 【テキスト】

高等学校学習指導要領解説（情報編）（文部省 海隆堂出版 2000）  
全員必須とする。

### 【参考文献・資料】

随時紹介する。

## 特別活動指導法

小林春治

### 【授業の概要】

中学校・高等学校の特別活動の変遷とその具体的な活動として学級活動、ホームルーム活動、生徒会活動、学校行事についての指導法を考察する。

そのなかで望ましい人間関係、基本的な生活習慣の形成を通して個人及び社会の一員としての在り方、生き方に関する指導の充実を図ることを学習の目標とする。

### 【授業計画】

1. 教育課程の位置と目標  
特別活動は、各教科、道徳とともに教育課程を構成する領域の一つであり、これらそれぞれの充実と相まって、中学校・高等学校の教育目標を達成することができることを学習する。
2. 戦後の教育状況と教育改革  
敗戦直後の教育状況と教育基本法・学校教育法の施行（六・三・三制の実施）にいたる大要を、GHQのとった教育政策にも注目しながら学習する。
3. 特別活動の変遷  
特別活動の変遷を中学校・高等学校の学習指導要領を通して論じ、その社会的背景についても具体的な資料に基づいて学習する。
4. 特別活動の基本となる指導法  
中学校の学級活動、高等学校のホームルーム活動が、生徒会活動、学校行事などと相互に関連していることの学習を通して、これらの集団生活の在り方、心身ともに健康で安全な生活習慣の形成などを基本にした指導法を、現状にも注目しながら考察する。

### 【評価方法】

期末試験の成績とレポートの評価及び出席率を総合する。

### 【テキスト】

高等学校学習指導要領解説 特別活動編（文部省 東山書房 予価130円）

## 情報科教育法 II

松蘭重弘

### 【授業の概要】

本授業においては、情報科教育法 I において学習した事項について、授業者として、実際の学校の授業でどのように展開するかを学習することを目的として、効果的な授業を実施するために必要な、学習指導案、教材・教具の開発と活用、教育方法について、授業計画の作成と模擬授業を行ない実践的な学習を実施する。授業はすべてコンピュータ実習室で行なう。

### 【授業計画】

1. 情報Aの指導法
  - (1) 教育目標と教育計画
  - (2) 教材・教具の活用と開発
  - (3) 学習指導案の作成と模擬授業の実践
2. 情報Bの指導法
  - (1) 教育目標と教育計画
  - (2) 教材・教具の活用と開発
  - (3) 学習指導案の作成と模擬授業の実践
3. 情報Cの指導法
  - (1) 教育目標と教育計画
  - (2) 教材・教具の活用と開発
  - (3) 学習指導案の作成と模擬授業の実践
4. 専門教科「情報」の指導法
  - (1) 教育目標と教育計画
  - (2) 教材・教具の活用と開発
  - (3) 学習指導案の作成と模擬授業の実践
5. 総合的な学習の時間と情報化教育について、情報機器を活用した効果的な授業の具体的な展開
6. 情報化技術の発展と学校における情報教育のあり方

### 【評価方法】

提出された学習指導案、レポート等により評価する。

### 【テキスト】

高等学校学習指導要領解説（情報編）（文部省 海隆堂出版 2000）  
全員必須とする。（前期と同じテキストです。）

### 【参考文献・資料】

随時紹介する。

## 特別活動指導法

不破民由

### 【授業の概要】

中学校・高等学校の特別活動の変遷とその具体的な活動として学級活動、ホームルーム活動、生徒会活動、学校行事についての指導法を考察する。そのなかで望ましい人間関係、基本的な生活習慣の形成を通して個人及び社会の一員としての在り方、生き方に関する指導の充実を図ることを学習目標とする。

### 【授業計画】

1. 自由度の高い特別活動の可能性
2. 特別活動の歴史の変遷
3. 学級活動
4. 生徒会活動
5. 学校行事
  - (1) 儀式的行事 (2) 学芸的行事 (3) 健康安全・体育的行事 (4) 遠足・集団宿泊的行事 (5) 勤労生産・奉仕的行事 等以上の内容の他に、各自のサークル、ゼミ、学園祭等の大学における活動を話題として取り入れる。

### 【評価方法】

数回のレポート

### 【テキスト】

どくろマンボウ青春記（北杜夫 新潮文庫）

### 【参考文献・資料】

特別活動（高旗正人・倉田侃司編著 ミネルヴァ書房）  
教科外活動を創る（折出健二他編 労働旬報社）  
<教育>の誕生（フィリップ・アリエス 中内敏夫・森田伸子訳 新評社、藤原書店）  
<子供>の誕生（フィリップ・アリエス 杉山光信・杉山恵美子訳 みすず書房）  
教養主義の没落（竹内洋 中公新書）  
立身出世主義（竹内洋 NHKライブラリー）  
立志・苦学・出世（竹内洋 講談社現代新書）  
日本の近代12 学歴貴族の栄光と挫折（竹内洋 中央公論新書）  
近現代日本の教養論（渡辺かよ子 行路社）  
学級経営の歴史（志村廣明 三省堂）  
「勉強」時代の幕開け（江森一郎 平凡社）  
運動会と日本近代（吉見俊哉他編 青弓社）  
教育には何ができないか（広田照幸 春秋社）  
近代日本の公民教育（松野修 名古屋大学出版会）  
教育に関する私の方法叙説（不和de民由 新風舎）

他

## 学級経営

前田勝洋

### 【授業の概要】

学級崩壊、担任不信等学校を取り巻く教育環境が問題となっている今日の教育状況を正しく理解し、学級担任として、どのように生徒に接したらよいか、どのようにして生徒の信頼を回復するのか探求するとともに、楽しい、生き生きした学級作りを具体的な事例から求めて行きたい。

### 【授業計画】

小学校、中学校の学級経営事例に学びながら、教師の資質向上を図る方策を探って行きたい。

- (1) 学級づくりと学級こわしの関係
- (2) 生徒理解と学級担任の役割
- (3) 共感的学級経営の実践
- (4) 成就型教育観と参加型教育観
- (5) 学級担任と言葉の問題
- (6) カルテ（個人記録）と一人ひとりを生かす経営

以上のような視点を軸にしながら、互いに事例について意見交換を行うなど、担任教師としての資質を磨きたい。

### 【評価方法】

毎回の受講感想レポートと「事例に対する意見記述」を中心に行いたい。

### 【テキスト】

後日、必要に応じて採用し、活用する。

## 教育方法

霜田一敏

### 【授業の概要】

今日親も教員も子供の本当の姿が見えなくなり、確かな指導の手だてが見出せず苦悩している。この現状を打破するためには、子供理解を深め、子供の立場に立つて教材を開発し、教育方法を構築し、実践する力量が求められている。

テキストを中心に、ビデオ教材、学生同士の討議を加えた参加型授業形態で行い、教員としての教育的力量を培う教育方法を解明したい。

### 【授業計画】

1. 人間回復の学力と教師の在り方
  - (1) 中学・高校における学力論と教師論の検討
  - (2) 生徒の思考の発展を目指す授業方法
  - (3) 生徒の自主的な学習を育てる学習指導法
  - (4) 生徒の側に立った学習指導技術
2. 情報機器及び教材の活用方法
  - (1) 情報機器の特色とその効果的な利用方法
  - (2) 視聴覚教材の特色とその効果的な活用方法
  - (3) メディアの進歩と新しいリテラシーの育成方法
3. 学習者にとって個を生かす学習集団とは
  - (1) 多様化した生徒への対応の仕方
  - (2) 中学校における個を生かす学習集団
  - (3) 高等学校における個を生かす学習集団

### 【評価方法】

学生の積極的な授業参加と毎時提出するミニレポート、期末に行う論文試験等によって評価する。

### 【テキスト】

子どもの側に立つ授業論（霜田一敏著 明治図書 2,370円）

## 生徒指導（進路指導を含む）

加納篤憲

### 【授業の概要】

生徒指導は、学習指導以外のいっさいの教育的指導を指すが、そのねらいは、生徒一人一人が主体的・自律的な人間としての自己実現をなしとげることができるよう、自己指導能力と自己指導的態度すなわち自己教育力を育成するところにある。

したがって、授業内容は、生活指導・進路指導・集団指導（HRなど）・個別指導など多岐にわたるが、そのほかにも、青年期の特徴・教育観や人間観の歴史などの学習を通じて、生徒理解と教師としての在り方にもふれる。

### 【授業計画】

1. 現代日本における青年期の特徴と問題点
2. 日本における教育観の変遷と21世紀の教育観
3. 生徒指導の基本的観点と今日的課題
4. 生徒指導の方法——集団指導（HR指導を中心に）
5. 生徒指導の方法——個別指導・問題行動をもつ生徒の指導
6. 進路指導の基本的観点と進学・就職指導
7. 人間の在り方を求めて——ヨーロッパ・アジア・日本

以上の項目について学習するが、生徒たちが生きている日本や世界の情勢にも、常に関心を持つことが大切である。

### 【評価方法】

期末試験、レポートの成績と出席状況を総合して評価。

### 【テキスト】

自作プリント教材（付資料）

### 【参考文献・資料】

学期始めに課題図書数冊を指定。「教師をめざす若者たち」（大橋功）など。

## 生徒指導（進路指導を含む）

小栗正彦

### 【授業の概要】

生徒指導を管理監督、非行の防止といった消極的な視点からではなく、21世紀に生きる青少年の健全な育成を目指す。個人の尊厳と人格を尊重した生徒指導により生徒の生きる力を養う生徒指導の在り方を求める。

進路指導においては、その理念及び目的を具体的に学習する。

これらの学習をとおして、生徒指導にあたる教員の在り方及び人間観について具体的に指導する。

### 【授業計画】

1. 生徒指導  
現代社会における構造変化に注目し生徒指導を考える。
  - (1) 社会集団の教育機能の低下と学校における生徒指導の役割
  - (2) 青少年非行と矯正教育
  - (3) 中学校における生徒指導の在り方と留意点
  - (4) 高等学校における生徒指導の在り方と留意点
2. 進路指導  
進路指導の基本理念及びその目的を学習する。
  - (1) 進路指導における教員の在り方と留意点
  - (2) 進路に関する情報伝達と進路相談
  - (3) 中学校における進路指導の在り方と留意点
  - (4) 高等学校における進路指導の在り方と留意点

### 【評価方法】

期末試験の成績と、レポートの評価及び出席率を総合する。

### 【テキスト】

生徒指導論の試み（300円）

## 教育相談（カウンセリングを含む）

富安玲子

### 【授業の概要】

教育相談の役割が認識されるようになった背景からその必要性を考え、教育相談への理解を深めて実践につなげていきたい。教育相談は生徒一人ひとりに関心をもつところから始まる。そこで生徒理解のあり方や不適応行動への対応について考えたい。また、傾聴の大切さを中心にして情報提供や助言の仕方なども含めた面接の進め方を学び、カウンセリングの基礎知識も併せて学んでいく。

### 【授業計画】

1. 今、なぜ「教育相談」「カウンセリング」か
2. 「自分」は他者との関係の中で育つ
3. 教師-生徒の相互影響過程
4. 生徒理解
5. 学校における教育相談
6. 教育相談の進め方
7. 相談とカウンセリング
8. 適応と不適応
9. 問題行動のとらえ方とその対応
10. 不登校を考える
11. いじめを考える
12. 非行を考える

### 【評価方法】

期末試験によるが、授業への参加関与度を考慮する。

### 【テキスト】

テキストとしては使用しない。必要な資料等は授業時に配付する。

### 【参考文献・資料】

授業の中で紹介する。

## カウンセリング

富安玲子

### 【授業の概要】

我々が人の話を傾聴するとき、その話を自分にとって都合のよいように切り取って聞いているか、反対に自分に都合の悪い部分を切り捨てて聞いているか、という事実がある。そうした事実を体験的に理解するために試行カウンセリングを行い、傾聴の際の学生が陥りやすいタイプを学ばせたい。従来、ロジャースのいう受容、共感、自己一致の中でも受容と共感に力点が過重に置かれすぎてきたように思われるので、自己一致の重要性を伝えていきたい。

### 【授業計画】

「教育相談」での学習を更に進めて、実習を取り入れながら、「聴く」ことの意味と「聴く」人である自分について考えていきたい。

1. 教育相談とカウンセリングを巡って
2. カウンセリングの歴史
3. カウンセリングの人間観
4. カウンセリングの理論
5. カウンセラーに必要な基本的態度・行動
6. 共感的理解のエクササイズ
7. 正確に「聴く」とは
8. カウンセリングの実例
9. 話しやすさの源は聴き上手：かわり技法
10. 応答訓練
11. ロールプレイ
12. カウンセリングにおける諸問題

### 【評価方法】

期末試験とロールプレイ・レポートに、授業への出席・関与度を加えて評価する。

### 【テキスト】

テキストとしては使用しない。必要な資料等は授業時に配付する。

### 【参考文献・資料】

授業の中で紹介する。

## 教育相談（カウンセリングを含む）

小池理穂

### 【授業の概要】

教育相談の役割が認識されるようになった背景からその必要性を考え、教育相談への理解を深めて実践につなげていきたい。教育相談は生徒一人ひとりに関心をもつところから始まる。そこで生徒理解のあり方や不適応行動への対応について考えたい。また、傾聴の大切さを中心にして情報提供や助言の仕方なども含めた面接の進め方を学び、カウンセリングの基礎知識も併せて学んでいく。

### 【授業計画】

1. 今、なぜ「教育相談」「カウンセリング」か
2. 教師と生徒の人間関係
  - ・「自分」は他者との関係の中で育つ
  - ・教師-生徒の相互影響過程
  - ・生徒理解
3. 教育相談
  - ・学校における教育相談
  - ・教育相談の位置づけ
  - ・教育相談の特質
  - ・教育相談の進め方
  - ・カウンセリングの基礎
4. 学校という生活環境と適応
  - ・適応と不適応
  - ・問題行動のとらえ方とその対応
  - ・学校への不適応を考える
  - ・非行・いじめを考える

### 【評価方法】

筆記試験またはレポートに加えて、授業への参加関与度を考慮する。

### 【テキスト】

使用せず。

### 【参考文献・資料】

授業の中で紹介する。

## 総合演習

梅村敏郎 富安玲子 佐藤実芳 加藤文子  
霜田一敏 渡辺かよ子 小栗正彦

### 【授業の概要】

社会構造や家族構造の変化する現代社会において、青少年をとりまく現実的な課題について分析及び検討することにより、総合的な見地から未来に生きる中学生、高校生をどのように教育するか、その方法を探究し、総合的な指導力を備えた教員の育成をめざし、次の7テーマに別れて演習を行なう。(各テーマ20名以内)

- (1) いじめ問題 (梅村敏郎)
- (2) 福祉-障害のある人も健全な人も共に生きるコミュニティについて- (加藤文子)
- (3) 社会と子育て (佐藤実芳)
- (4) 高齢者福祉の実態と未来 (霜田一敏)
- (5) ジェンダーと教育 (富安玲子)
- (6) 生涯学習における学校 (渡辺かよ子)
- (7) みんなの学校問題 (小栗正彦)

### 【授業計画】

※印は後期日程 (於 星ヶ丘)

1. 全体、各テーマ別 8月6日 ※1月28日
  - (1) 総合演習とは、これからのすすめ方
  - (2) 各テーマの概要説明 (各担当者)
  - (3) 希望テーマ提出、テーマ別編成
  - (4) 各テーマ別に課題設定と学習法の指導
2. 8月27日 ※2月18日
  - 課題レポートの提出 (必要部数の印刷)
3. 各テーマ別 9月3日 ※2月25日
  - (1) 課題レポートについて報告 (1人10~15分)
  - (2) 質疑応答、問題点について討議
4. 各テーマ別 9月10日 ※3月4日
  - (1) 問題点について分析検討
  - (2) グループとして課題について整理、代表者の選出
5. 全体 9月17日 ※3月11日
  - (1) グループ代表者の発表 (1名15~20分)
  - (2) 担当教員の指導
  - (3) 感想文の作成と提出

### 【評価方法】

レポートと感想文により評価

## 教育実習指導（介護体験事前指導を含む）

加藤文子

### 【授業の概要】

教育実習前の指導として、学校教育全般にわたる基本的理解並びに教育実習の意義、実習生としての望ましい態度・技能を習得する。また、介護体験実習にむけて個人の尊厳、社会連帯の理念に関する認識を深めさせる。

### 【授業計画】

1. 教育実習の意義と目的
  - ・前年度実習者からのアンケート結果
  - ・「先輩からの一言」
2. 教育実習の内容と方法
  - ・教育実習の領域
  - ・教育実習の方法
3. 教育実習記録
  - ・実習記録の意義
  - ・実習記録の方法
4. 授業研究
  - ・教材研究、教具の意義
  - ・学習理解を深めるための発問・板書の活用方法
5. 教育実習についての全般的諸注意並びに事後指導
6. 介護体験事前指導
  - ・社会福祉施設等の理解と社会連帯の理念
  - ・特別支援教育諸学校教育の理解
  - ・障害児（者）介護への心構え
7. 介護体験事後指導
8. まとめ、アンケート実施

### 【評価方法】

毎時間の授業態度、課したレポート内容、期末試験の結果（実習・体験評価を参考）により総合的に評価する。

### 【テキスト】

教育実習指導では使用せず、必要に応じて資料を配布。  
介護体験事前指導では、介護体験ガイドブック「フィリア」（全国特殊学校長会編著 ジアーズ教育新社）使用。

## 教育実習指導（介護体験事前指導を含む）

大倉芳雄

### 【授業の概要】

教育実習前の指導として、学校教育全般にわたる基本的理解並びに教育実習の意義、実習生としての望ましい態度・技能を習得する。また、介護体験実習にむけて個人の尊厳、社会連帯の理念に関する認識を深めさせる。

### 【授業計画】

1. 教育実習の意義と目的
2. 教育実習の内容と方法
3. 教育実習記録
4. 授業研究
  - ・教材研究、教具の意義
  - ・学習理解を深めるための発問・板書の活用方法
5. 教育実習についての全般的諸注意並びに事後指導
6. 介護体験事前指導・事後指導

### 【評価方法】

毎時間の授業態度、課したレポート内容、期末試験の結果（実習・体験評価を参考）を総合的に評価する。

### 【テキスト】

教育実習を考える（岩本敏郎・浪本勝年編著 北樹出版）

## 教育実習Ⅰ

加藤文子

### 【授業の概要】

教科に関する専門科目及び教職に関する専門科目で学習した成果を実践し、検証する機会である。

実習校での3週間の教育実習を通じて、教師という専門職としての自覚と誇りを高めるとともに、生徒から親愛と信頼の念をもって迎えられる実習生となるよう、努力と工夫をして3年間の成果を存分に発揮してほしい。

### 【授業計画】

- 実習校において、教師としての仕事を行う。
- (1) 学級担任として
    - 朝の打合せ、STの諸連絡と生徒観察にはじまり、帰りの清掃指導にいたるまでの仕事内容を理解し、生徒指導にあたる。
    - また、道徳教育、総合的な学習の指導にあたるとともに学級事務を担当する。
  - (2) 教科担任として
    - 前半においては、指導教官の授業参観と授業案の作成及び教材の準備を行う。
    - 後半においては、授業案にもとづいて授業を実施し、指導教官の指導と助言をえて、授業をより充実させるよう努める。
  - (3) 特別活動として
    - 学級活動、生徒会活動、学校行事、クラブ・部活動に積極的に参加する。

### 【評価方法】

実習校の評価（生徒指導、学習指導、実習態度）に基づいて評価する。

### 【テキスト】

「教育実習指導」の授業時に配付の「教育実習記録」を活用する。

## 教育実習Ⅱ

小栗正彦

### 【授業の概要】

教科に関する専門科目及び教職に関する専門科目で学習した成果を実践し、検証する機会である。

実習校での2週間の教育実習を通じて、教師という専門職としての自覚と誇りを高めるとともに、生徒から親愛と信頼の念をもって迎えられる実習生となるよう、努力と工夫をして3年間の成果を存分に発揮してほしい。

## 生涯学習概論

羽場俊秀

### 【授業の概要】

現代社会は、情報化、高齢化、生命・健康、環境などの分野において様々な問題に直面している。また、価値観の多様化に対する寛容さが以前にもまして必要とされる時代になってきている。

このような状況下において、諸問題を解決し、人々が主体的に生活していくためには学校だけでなく、広く社会において絶えず学び続けることが大切である。生涯学習に広がりや深まりが求められるゆえんがそこにある。この講義では、生涯学習の原理、実践等について具体的な事例をもとに考察する。

### 【授業計画】

- 1-3. 生涯学習理念の成立と発展
- 4-7. 生涯学習実践の課題
- 8-11. 生涯学習と社会
- 12-13. 生涯学習と人間
- 14-15. 総括

### 【評価方法】

おもに期末試験（筆記）により評価するが、開講中にレポートを課した場合はこれを評価に加味する。

### 【テキスト】

テキストとしては使用しない。授業中に参考文献を適宜紹介する。

### 【参考文献・資料】

なし

## 道徳指導法

加藤文子

### 【授業の概要】

道徳とはなにか、わが国の道徳教育の基盤、義務教育における道徳教育の在り方を探求する。その上で、今日の道徳教育に至るまでの歴史の変遷を学び、さらに道徳性の発達理論を考察する。また、道徳指導の実践についての具体例をとりあげ、その理解を深める。

### 【授業計画】

- 1 道徳と道徳教育
- 2 児童・生徒を生かす道徳教育
- 3 公教育における道徳教育の歴史
  - ・明治5年学制公布から明治23年教育勅語発布までの過程
  - ・戦後の道徳教育の変遷
- 4 道徳性の発達理論と学校道徳教育
- 5 学校における道徳教育の実践
  - ・道徳教育の目標
  - ・道徳教育の内容
  - ・「道徳の時間」の指導計画、指導案の作成
  - ・「道徳の時間」の指導の実際、VTR視聴
  - ・まとめ

### 【評価方法】

期末試験の成績に、毎時間の出席状況、授業中の態度、課したレポート内容を加味して総合的に評価する。

### 【テキスト】

講義資料を配布

## 国際理解教育論

担当者未定

### 【授業の概要】

日本の近代化の過程において、どのような教育経路により先進諸国の文明が導入されたかを考察する。中学校、高等学校の日常的な教科指導、特別教育活動等において、どのように国際理解教育を展開すべきかを考えてみたい。

### 【授業計画】

1. 日本の近代化の過程における外国文明の摂取について、次の視点から考察する。
  - (1) 海外留学生の派遣と帰国後の活躍
  - (2) 外国人教員の雇用とその教育への影響
  - (3) 技術伝習による日本の産業の近代化
2. 現代の学校教育における国際化について次の視点から考察する。
  - (1) 教科教育における国際理解教育
  - (2) 特別活動、学校教育における国際理解教育
  - (3) 海外留学生の派遣と海外からの留学生の受け入れ
  - (4) 外国人英語教員の雇用とその役割
3. 現在の日本の国際化の現状を分析し、真の意味での日本の国際化について、教育の視点から考察する。  
(授業において、皆さんの体験を踏まえて具体的な事例について、ともに考えていきたい)

### 【評価方法】

授業中に課す「感想、意見」の提出及びレポートにより総合評価を行なう。

### 【テキスト】

国際理解教育論講義概要 (300円)

### 【参考文献・資料】

授業中にその都度紹介する。

## 学校経営と学校図書館

小栗正彦

### 【授業の概要】

学校教育における学校図書館の教育的意義を確認し、より効果的な学校図書館の活用を目指し、教職員のみでなく、生徒会及びPTAとの連携を視野に入れた望ましい学校図書館の組織と運営はいかにあるべきかを、次の点に視座をあてて、具体的な成功事例を紹介し学習する。

### 【授業計画】

1. 学校図書館の管理運営組織
  - (1) 生徒の利用時間の設定
  - (2) 生徒への図書等の貸し出し方法
  - (3) 長期休業期間中の開館状況
2. 魅力ある学校図書館について
  - (1) 生徒が親しみやすい雰囲気の学校図書館
  - (2) 学校図書館の図書・資料等の整備拡充
  - (3) 生徒が利用しやすい学校図書館経営
3. 学校図書館と生徒会活動の連携
  - (1) 生徒会図書委員会の組織と活動
  - (2) 読書週間、読書コンクール、図書館日より
  - (3) 学校図書館の利用PR活動
4. 学校図書館の充実
  - (1) PTA組織を活用した寄贈図書等
  - (2) 地域社会への呼びかけによる寄贈図書等
  - (3) 関係機関への呼びかけによる寄贈図書等

### 【評価方法】

出席状況及び課題による。

### 【テキスト】

プリント配布。

## 学習指導と学校図書館

加納篤憲

### 【授業の概要】

学校図書館は、教育に必要な資料を生徒及び教員の利用に供することによって、(1) 学校の教育課程の展開に寄与するとともに、(2) 生徒の健全な教養を育成することを目的としている。

この授業では、(1)の目的を達成するために学校図書館はどのようなものでなければならないかを、蔵書構成や利用指導の現状と実践例、教科学習や総合学習における図書館利用の方法と実践例について学ぶ。

また、司書教諭の役割とこれからの学校教育に占める重要性について学習するとともに、利用指導の図書館実習を体験することによって、司書教諭の仕事への理解を深める。

### 【授業計画】

1. 教育課程と学校図書館
2. 学習活動を促進する学校図書館——実践例
3. 学校図書館の現状と問題点——蔵書冊数・蔵書構成・図書館利用
4. 各教科・科目の学習指導と図書館——実践例
5. 「総合学習」における図書館利用
6. 図書館利用における学級担任及び生徒図書委員の役割
7. 図書館実習——テーマ学習における司書教諭の指導について
8. 討論——中学・高校時代の経験を踏まえて、学校図書館及び司書教諭の望ましいあり方について考える。

### 【評価方法】

期末試験、レポートの成績と出席状況を総合して評価。

### 【テキスト】

自作プリント教材（付資料）

### 【参考文献・資料】

特になし

## 学校図書館メディアの構成

中村和夫

### 【授業の概要】

情報化の著しい進展と共に、従来の活字メディア中心の学校図書館は児童生徒の活字離れにより、大きく変容を迫られている。これからの学校図書館は、児童生徒が喜んで利用できるよう、そのニーズに応え、多様なメディアを取り入れなければならない。この点を中心にして、これからの学校図書館のメディア構成を考えてみたい。

### 【授業計画】

1. 児童生徒が喜んで利用するメディア構成
  - (1) 現在の学校図書館メディア構成の実態分析
  - (2) 児童会・生徒会図書委員会と学校図書館の資料選定
  - (3) 児童生徒の学校図書館に期待するものは何か
2. 教育課程にマッチしたメディア構成
  - (1) 教養中心から教科学習に必要な資料の収集へ
  - (2) 「総合学習の時間」の視点からのメディア構成
  - (3) 「情報」、「オーラル英語」等新しい教科科目の教材
3. 情報化時代にふさわしいメディアの特質の理解
  - (1) ビデオ、DVD、CD等の視聴覚的メディア
  - (2) CD-ROM、マイクロフィルム等の活字メディアに代わるもの
  - (3) Webサイトに代表されるネットワーク系メディアの活用と問題点
4. 学校図書館メディアの組織化
  - (1) 分類の意義と分類作業の基本
  - (2) 目録の種類と目録作業の基本、目録の機械化

### 【評価方法】

出席状況及びレポート等による。

### 【テキスト】

使用しない。

### 【参考文献・資料】

学校図書館メディアの構成（小田光宏編 樹村房）  
分類・目録法入門（木原通夫・志保田務 新改訂第3版 第一法規）

## 読書と豊かな人間性

梅田卓夫

### 【授業の概要】

現在、児童生徒の読書離れの傾向は拡大し、まったくと言っていいほど本を読まなくなってきた。

児童生徒の読書離れの要因と実態を解明するとともに、学校図書館が「読書と豊かな人間性」の視点に立って、どのような役割を果たすべきかを、具体的な実例を紹介するとともに、一方的な講義に終わることなく、受講者自身の体験も取り入れ、以下のような視座に立った参加型授業を展開する。

### 【授業計画】

1. 読書のよこび
  - (1) 人はどのようにして読書の楽しみと出会うのか
  - (2) 代表的な先人の読書経験から学ぶもの
  - (3) 受講者自身の学校図書館での本との出会い
2. 人間形成と読書
  - (1) 幼児期における読み聞かせの教育的意味
  - (2) 少年期・青年期の決定的・運命的な読書との出会い
  - (3) 読書における、内省、思索の意義
3. 学校教育における読書指導
  - (1) 教師による本の紹介、読み聞かせ
  - (2) 「十分間読書」「朝の黙読」等の実践例
4. 読書と仲間作り
  - (1) 家庭での読書についての親子の対話
  - (2) 友達同士の読書グループ、読書会
  - (3) 学区図書館を利用した共同研究
5. 読書の技術
  - (1) 情報化時代の読書のあり方
  - (2) 愛読書、好きな作家

### 【評価方法】

出席状況及びレポートによる。

### 【テキスト】

使用しない。

## 【授業の概要】

学校図書館の高度情報化は21世紀には避けて通れない状況である。現在の状況は必ずしも満足はできないが、学校図書館に将来関係すると思われる新しいメディアの運用についての基礎知識と技能は、今後学校図書館の仕事に携わる教員にとって必須だと言える。以上の観点から、次のテーマで実践的な学習を行ない、これからの情報化される学校図書館の効果的な活用を目標とする。

## 【授業計画】

1. 学校図書館と情報機器
  - (1) 学校図書館におけるコンピュータの役割と活用
  - (2) 学校図書館に設置する情報機器
2. 学校図書館とコンピュータとの関わり
  - (1) 図書検索とコンピュータ (OPAC)
  - (2) インターネットを使用する資料の収集
3. 学校図書館の情報メディアの活用
  - (1) 視覚メディアとしてのVTR等
  - (2) 聴覚メディアとしてのDVD、CD等
  - (3) 活字メディアに代わるCDRom、マイクロフィルム等

## 【評価方法】

出席状況及び試験による。

## 【テキスト】

使用しない。

## 生涯学習概論

古野有隣

### 【授業の概要】

生涯学習という言葉は最近かなり知名度が高くなってきているが、その意味や意義については必ずしも正確に理解されているとはかぎらない。

この講義では生涯学習の意味するところを、その理念の提唱時からの推移の説明をまじえて、理解を深めることをねらいとしたい。また、先の長い人生を持っている自分にとって生涯学習とは何なのかを考える契機となればとも思っている。

1. 生涯教育の理念～推移を含めて～  
ユネスコ以降わが国における推移  
生涯教育のめざすもの  
生涯教育と生涯学習の関係
2. 生涯教育と社会教育・学校教育との関係  
生涯教育と社会教育  
生涯教育と学校教育
3. 社会教育の内容・方法・形態  
行政社会教育の主要領域  
社会教育の内容・方法・形態
4. 生涯学習関連施設の現状と展望  
生涯学習関連施設の範囲  
社会教育施設の種類と現状
5. 生涯学習指導者  
生涯学習指導者の範囲  
生涯学習指導者の役割

### 【授業計画】

講義。

### 【評価方法】

テスト。

### 【テキスト】

資料集（予価500円）を開始時に頒布。

## 図書館情報学概論 I

村主朋英

### 【授業の概要】

この科目は、図書館情報学に関する学習の基礎固めのためのものである。Iでは、図書館情報学における基本的な考え方および分野の特徴について概説する。

### 【授業計画】

1. 情報と知識の研究と実務に関わる分野  
図書館学/情報学/図書館情報学  
図書館情報学を学ぶための情報源/指定図書
2. 情報の概念  
概念・考え方・観点・立場  
定義の多様性と現象の多面性  
情報概念の歴史/情報・知識・データ  
定義の整理のための枠組み/構造的な理解  
認識・認知・こころ/人間・人・ヒト
3. 情報検索の過程

### 【評価方法】

定期試験

注1)「図書館情報学概論 I」の単位を取得済でない学生については、「同 II」の単位を認定しない。

注2)「図書館情報学概論 I」の最終日に夏休みレポート課題を提示する。採点は「同 II」の成績に組み込む。今年度「同 II」のみ履修予定の学生は、7月初旬までに問い合わせること。

### 【テキスト】

図書館情報学用語辞典（丸善 3,800円 税別定価）

## 図書館情報学概論 I

櫻木貴子

### 【授業の概要】

この科目は、図書館情報学に関する学習の基礎固めのためのものである。Iでは、図書館情報学における基本的な考え方および分野の特徴について概説する。

### 【授業計画】

1. 情報と知識の研究と実務に関わる分野  
図書館学/情報学/図書館情報学  
図書館情報学を学ぶための情報源/指定図書
2. 情報の概念  
概念・考え方・観点・立場  
定義の多様性と現象の多面性  
情報概念の歴史/情報・知識・データ  
定義の整理のための枠組み/構造的な理解  
認識・認知・こころ/人間・人・ヒト
3. 情報検索の過程

### 【評価方法】

出席点、試験およびレポートにて評価を行う。

注「図書館情報学概論 I」の単位を取得済でない学生については、「同 II」の単位を認定しない。

### 【テキスト】

図書館情報学用語辞典（丸善 3,800円税別定価）および配布資料

## 図書館情報学概論 II

櫻木貴子

### 【授業の概要】

この科目は、図書館情報学に関する学習の基礎固めのためのものである。IIでは、図書館・情報サービスの実際に関して、最低限知っておくべき事項を紹介し、今後の学習への指針を提供する。

### 【授業計画】

1. 情報の流過程  
情報の流れと情報メディア/学術情報の流過程
2. 図書館・情報サービスの世界  
構成要素と機能/情報システムとしての図書館
3. 協力と競合  
図書館ネットワーク/競合する情報サービス
4. 図書館員と情報専門職の世界
5. 図書館情報学の未来

### 【評価方法】

出席点、試験およびレポートにて評価を行う。

注「図書館情報学概論 I」の単位を取得済でない学生については、「同 II」の単位を認定しない。

### 【テキスト】

図書館情報学用語辞典（丸善 3,800円税別定価）および配布資料

## 図書館情報学概論Ⅱ

村主朋英

### 【授業の概要】

この科目は、図書館情報学に関する学習の基礎固めのためのものである。Ⅱでは、図書館・情報サービスの実際に関して、最低限知っておくべき事項を紹介し、今後の学習への指針を提供する。

### 【授業計画】

- 情報の流通過程  
情報の流れと情報メディア/学術情報の流通過程
- 図書館・情報サービスの世界  
構成要素と機能/情報システムとしての図書館
- 協力と競合  
図書館ネットワーク/競合する情報サービス
- 図書館員と情報専門職の世界
- 図書館情報学の未来

### 【評価方法】

定期試験と夏休みレポート

- 注1) 「図書館情報学概論Ⅰ」の単位を取得済でない学生については、「同Ⅱ」の単位を認定しない。
- 注2) 「図書館情報学概論Ⅰ」の最終日に夏休みレポート課題を提示する。採点は「同Ⅱ」の成績に組み込む。今年度「同Ⅱ」のみ履修予定の学生は、7月初旬までに問い合わせること。

### 【テキスト】

図書館情報学用語辞典(丸善 3,800円 税別定価)

## 図書館経営論

山本 進

### 【授業の概要】

図書館の技術的な面—分類・目録等—資料組織とは別に図書館運営上の諸問題—司書の専門職制の問題、図書館の地域サービスと図書館網計画、図書館の経営評価と見直し等、を図書館経営論として論述する。

### 【授業計画】

- |                                 |    |
|---------------------------------|----|
| 0. オリエンテーション・図書館の経営論の意義         | 1回 |
| 1. 図書館館種別の経営上の問題点と管理原則          | 1回 |
| 2. 図書館学の五法則と図書館員の関わり            | 1回 |
| 3. 図書館の自由に関する宣言                 | 2回 |
| 4. 図書館員の倫理綱領                    | 2回 |
| 5. 図書館員と労働基準法解説                 | 1回 |
| 6. 図書館関係法規と図書館のサービス基準解説         | 1回 |
| 7. 図書館サービスの測定と評価(実例課題によるレポート提出) | 1回 |
| 8. 図書館計画の立案と実例解説                | 2回 |
| 9. 生涯学習と図書館及び利用者教育              | 2回 |
| ※講義の中から関心のある事項についてレポート提出        | 2回 |

### 【評価方法】

期末テスト実施—記述式、前期全体の講義の中から問題をと2〜3問と、提出されたレポートと記述試験の採点とを併せて評価する。

### 【テキスト】

講義シラバスを配付する。

## 情報サービス基礎論Ⅰ

松下 鈞

### 【授業の概要】

電子情報技術の急速な発展とグローバルな広がりを背景として、人と情報との関わりが変化してきた。社会はあらゆる面で急速な変化の様相を見せている。「情報サービス基礎論Ⅰ」では、社会の多様化と情報の多様化と膨大化及び情報流通の変化に直面する「図書館」のサービスについて、主として公共図書館のサービスを念頭において諸問題を概観する。

### 【授業計画】

- オリエンテーション
- 図書館サービスの基本原則
- 情報媒体と利用ニーズの多様性
- 図書館設計に見る図書館サービス
- 子ども向けのサービス
- 青少年へのサービス
- 老人むけのサービス
- 働く人を支援するサービス
- 行政サービス
- 学術サービス
- 多文化サービス
- 図書館建築の動向
- 学校、大学、企業図書館との連携
- 電子情報サービスの進展状況
- ホームページに見る日米公共図書館の比較
- サービス業としての図書館
- まとめ

講義を中心とし、課題小レポート、グループ研究発表を交える。受講に先立ち次ぎのことをしておくこと。  
\*「インターネット講習会」を受講しておくこと。  
\*身近な公共図書館の施設やサービスを注意深く観察しておくこと。

### 【評価方法】

小レポート、期末レポート及びグループ研究と発表をもって評価する。授業への積極的な参加の姿勢を参考点として加味する。

### 【テキスト】

適宜、プリントを配布する。

### 【参考文献・資料】

適宜、紹介する。

## 情報サービス基礎論Ⅰ

逸村 裕

### 【授業の概要】

情報化社会は社会における産業構造の変化をもたらしている。「情報」を扱う産業は、急速に増大し、社会に大きな影響力を与えている。この科目では、図書館情報学の観点から現代社会における特徴的な情報産業の現状を概観し、「情報」を商品化するプロセスを考察するとともに、すべての職業において進展している「情報化」の持つ意味を検討する。また進路としての情報関連産業について論じる。さらに、情報産業の事例紹介を論じ、職業倫理と勤労観についても言及する。

### 【授業計画】

- 情報化社会と情報産業
- 産業と職業における情報とITの意味
- 情報サービス事例1:メディア産業と通信
- 情報サービス事例2:通信と出版産業
- 情報サービス事例3:図書館情報
- 情報サービス事例4:マルチメディアリソース
- 情報サービス事例5:電子ジャーナル
- 情報サービス事例6:電子ブック
- 情報サービス事例7:情報分析・シンクタンク
- 情報産業と大学
- 情報化社会における知的所有権問題
- 情報化社会と情報倫理
- 情報産業における勤労観と職業倫理

講義中心に行なう。適宜、小テスト、レポートを課す。「インターネット講習会」を必ず受講しておくこと。

### 【評価方法】

小テスト、レポート、期末試験による総合評価。詳細は初回講義の際に説明する。

### 【テキスト】

使用せず。

### 【参考文献・資料】

図書館情報学辞典 第2版(丸善 2002)

## 情報サービス基礎論Ⅱ

松下 鈞

### 【授業の概要】

「情報サービス基礎論Ⅰ」の履修を前提とする。  
あなたが図書館員であると仮定し、図書館の現場で利用者からの期待に応えるさまざまな業務と施設を計画立案し、実施、評価するケーススタディなどを交え、より具体的に図書館サービスについての理解を深めることを目的とする。

### 【授業計画】

1. イントロダクション「サービス機関としての図書館」
2. 図書館予算と資料の購入計画
3. 資料の配置
4. 保存と廃棄
5. 開館時間と図書館員の労働環境
6. 弱者へのサービス
7. 情報電子化と情報弱者への対応
8. 住民ハブの活用
9. 情報広場としての図書館
10. 複合文化施設としての図書館
11. 地域文化の情報拠点
12. 知識情報のネットワーク
13. 図書館サービスの国際動向
14. レファレンスFAQとレファレンス協同DBの構築
15. 図書館建築プラン
16. まとめ「図書館学の五法則」

講義とケーススタディを主とし、グループ研究と発表を交えて展開する。

\* 「情報サービス基礎論Ⅰ」の履修者に限る。

\* 受講に先立ち、いくつかの図書館を観察し、蔵書、サービス、施設などについて批判的評価を試みる。また、仮に自分を図書館員であると仮定し、それらの問題点をどのように解決したらよいか、改革プランを考えておくこと。

### 【評価方法】

グループ研究の成果、小レポート、最終レポートによる。  
授業及びグループ研究への積極的な参加態度も評価の参考とする。

### 【テキスト】

適宜、プリントを配布する。

### 【参考文献・資料】

適宜、指示する。

## 情報サービス基礎論Ⅱ

逸村 裕

### 【授業の概要】

図書館で行われる情報サービスには幅広いものがある。また、これらのサービスはその対象、館種、主題、規模ごとに多くの特徴を持つ。さらに今日、伝統的な図書館サービスに加え、情報通信技術の普及発展に伴う新たな対応を迫られている。

これら図書館情報サービスの紹介と評価の視点から講義を行なう。

1. この講義の対象と範囲
2. パブリック・サービス（奉仕・直接サービス）
  - A. 貸出閲覧
  - B. レファレンスサービス
  - C. 相互協力
  - D. 視聴覚資料
  - E. パブリックサービスの今後
3. テクニカル・サービス（資料組織・間接サービス）
  - A. 選書
  - B. 収書
  - C. 整理
  - D. 雑誌
  - E. テクニカルサービスの今後
4. 評価の視点から見た情報サービス
  - A. 蔵書
  - B. 人的サービス
  - C. 図書館アメニティ
  - D. コンソーシアム
  - E. その他のサービス

### 【授業計画】

講義中心に行なう。適宜、小テスト、レポートを課す。  
「インターネット講習会」を受講しておくこと

### 【評価方法】

小テスト、レポート、期末試験による総合評価。詳細は初回講義の際に説明する。

### 【テキスト】

大学図書館の21世紀（勁草書房 2004夏刊予定）

### 【参考文献・資料】

図書館情報学辞典 第2版（丸善 2002）

## レファレンスサービス論

櫻木貴子

### 【授業の概要】

図書館における情報サービスの中核を成してきたレファレンスサービスに関して、レファレンスコレクションの構築、レファレンス質問からその回答にいたる一連のレファレンスプロセス、サービス組織のあり方、等について理解を深めることを主な目的として講義を進める。この科目は、「情報検索演習Ⅲ（情報と文献の探索）」と相互に補完するものとして扱う。

### 【授業計画】

1. 情報ニーズに応える情報サービス
2. レファレンスサービスから情報サービスへ
3. レファレンス機能に基づくレファレンス業務
4. レファレンスサービスのための情報源
5. レファレンス質問を起点とするレファレンスプロセス
6. 質問の受付から内容の確認へ
7. 質問内容の分析から探索の実行へ
8. 質問回答とレファレンスプロセスの終結
9. レファレンスサービスの組織と運営

### 【評価方法】

講義の最終日に試験を行う。出題形式等については、講義の最初に説明する。

### 【テキスト】

レファレンスサービス：図書館における情報サービス（長澤雅男著 丸善 1995）

### 【参考文献・資料】

講義において指示する。

## レファレンスサービス論

佐藤義則

### 【授業の概要】

図書館における情報サービスの中核を成してきたレファレンスサービスに関して、レファレンスコレクションの構築、レファレンス質問からその回答にいたる一連のレファレンスプロセス、サービス組織のあり方、等について理解を深めることを主な目的として講義を進める。この科目は、「情報検索演習Ⅲ（情報と文献の探索）」と相互に補完するものとして扱う。

### 【授業計画】

1. 情報ニーズに応える情報サービス
2. レファレンスサービスから情報サービスへ
3. レファレンス機能に基づくレファレンス業務
4. レファレンスサービスのための情報源
5. レファレンス質問を起点とするレファレンスプロセス
6. 質問の受付から内容の確認へ
7. 質問内容の分析から探索の実行へ
8. 質問回答とレファレンスプロセスの終結
9. レファレンスサービスの組織と運営

### 【評価方法】

講義の最終日に試験を行う。出題形式等については、講義の最初に説明する。

### 【テキスト】

レファレンスサービス：図書館における情報サービス（長澤雅男著 丸善 1995）

### 【参考文献・資料】

講義において指示する。

## 情報検索演習Ⅱ（学術情報の探索）

櫻木貴子

### 【授業の概要】

学術論文を対象として、オンライン情報検索システムの活用に必要な知識と技術を習得することを目的とする。テーマ検索の実習に基づき、検索過程の把握や検索ツールの利用、および検索結果に対する評価について理解する。

当科目は、情報検索演習Ⅰ（図書館情報学科の学生のみ）、図書館情報学概論Ⅰ、Ⅱの履修を前提条件とする。また、LAN講習会を必ず受講すること。

### 【授業計画】

1. 情報検索とは
2. 抄録・索引誌
3. CD-ROM検索
4. オンライン情報検索システム
  - 4.1 JOIS
  - 4.2 シソーラス
  - 4.3 DIALOG
5. テーマ検索

### 【評価方法】

平常点、小テストと、レポート作成の総合評価。

### 【テキスト】

使用せず（プリント配布）。

## 情報検索演習Ⅱ（学術情報の探索）

松井美紀

### 【授業の概要】

学術論文を対象として、オンライン情報検索システムの活用に必要な知識と技術を習得することを目的とする。テーマ検索の実習に基づき、検索過程の把握や検索ツールの利用、および検索結果に対する評価について理解する。

当科目は、情報検索演習Ⅰ（図書館情報学科の学生のみ）、図書館情報学概論Ⅰ、Ⅱの履修を前提条件とする。また、LAN講習会を必ず受講すること。

### 【授業計画】

1. 情報検索とは
2. 抄録・索引誌
3. CD-ROM検索
4. オンライン情報検索システム
  - 4.1 JOIS
  - 4.2 シソーラス
  - 4.3 DIALOG
5. テーマ検索

### 【評価方法】

平常点、小テストと、レポート作成の総合評価。

### 【テキスト】

使用せず（プリント配布）。

## 情報検索演習Ⅱ（学術情報の探索）

伊藤真理

### 【授業の概要】

学術論文を対象として、オンライン情報検索システムの活用に必要な知識と技術を習得することを目的とする。テーマ検索の実習に基づき、検索過程の把握や検索ツールの利用、および検索結果に対する評価について理解する。

当科目は、情報検索演習Ⅰ（図書館情報学科の学生のみ）、図書館情報学概論Ⅰ、Ⅱの履修を前提条件とする。また、LAN講習会を必ず受講すること。

### 【授業計画】

1. 情報検索とは
2. 抄録・索引誌
3. CD-ROM検索
4. オンライン情報検索システム
  - 4.1 JOIS
  - 4.2 シソーラス
  - 4.3 DIALOG
5. テーマ検索

### 【評価方法】

平常点、小テストと、レポート作成の総合評価。

### 【テキスト】

使用せず（プリント配布）。

## 情報検索演習Ⅲ（情報と文献の探索）

櫻木貴子

### 【授業の概要】

情報検索演習Ⅰ（1年次必修）および情報検索演習Ⅱ（2年次）を基礎とし、より高度な情報検索技術の習得を目標とする。

本科目で扱う情報源は、情報提供機関（図書館を含む）において利用可能なものとし、特にレファレンス業務に必要な情報源探索技能を養うため、検索対象のメディア別に特徴、機能、検索に必要な技術の紹介、実習を伴う課題解決演習を行う。

演習には情報検索室の書誌データベースと本学図書館所蔵の印刷体二次資料を併用する。

### 【授業計画】

[演習予定の検索対象ファイル（データベースサービス）]

1. 雑誌記事（書誌情報）検索  
MAGAZINE PLUS (NICHIGAI ASSIST)、ISA (DIALOG)、JST Plus (J Dream)、大宅壮一文庫雑誌記事索引 CD-ROM版
2. 雑誌記事横断検索：DIALINDEX 複数ファイル横断検索 (DIALOG)
3. シソーラスを利用した検索  
JST Plus (J Dream)、ERICファイル (DIALOG)、MEDLINE (DIALOG)
4. 引用関係を利用した検索：Social SciSearch (DIALOG)
5. 一次資料が入手可能なシステムの検索  
NACSIS-IR (NII)、OCLC ArticleFirst (OCLC FirstSearch)、PubMed (NLM/NCBI)
6. ネットワーク情報資源検索・アクセス：LISA (CSA-IDS)
7. 図書（所蔵/目次情報）検索  
Webcat (NII)、BOOKPLUS (NICHIGAI ASSIST)、WorldCat (OCLC FirstSearch)
8. 新聞記事（全文記事）検索：各種新聞ファイル（日経テレコン21）
9. 人物情報検索：人物情報横断検索 (G-Search)

### 【評価方法】

出席点、課題点、試験によって評価する。

### 【テキスト】

使用せず（配付資料）。

### 【参考文献・資料】

情報と文献の探索 第3版（長澤雅男著 東京 丸善 1994 337p）  
検索演習用例題集  
（上田修一・杉江典子著 東京 日外アソシエーツ 2001 47p）

## 情報メディア基礎論Ⅰ

櫻木貴子

### 【授業の概要】

情報流通における情報メディアの役割について論じる。各種メディアの生産から流通までを対象に、その過程での問題点について議論し、より効果的な情報流通のための情報メディアのあり方を検討する。

### 【授業計画】

- 1 情報流通と情報メディア
- 2 学術情報の流通モデル
- 3 情報メディアの特徴と問題点
  - (1) 図書  
出版流通過程と制度  
オンライン書店、オンデマンド出版
  - (2) 雑誌  
学術雑誌の機能、査読制度  
雑誌論文の構成  
抄録作成法、引用法、  
プレプリント、e-print  
レター、editorial comment
  - (3) 新聞  
新聞の流通制度  
新聞記事の構成
  - (4) 会議資料  
学会、会議録
  - (5) 特許資料  
特許制度  
パテントファミリー、引用特許
  - (6) 規格票  
規格制度、情報関連の標準化活動
  - (7) データベース  
情報検索システムの歴史  
検索技術、シソーラス
  - (8) インターネット  
ネットワーク情報資源の特徴  
WWWの評価  
Web citation、メタデータ  
ウェブ・アーカイビング
- 4 情報流通モデルの修正
- 5 電子環境下における情報メディア

### 【評価方法】

期末試験と出席回数によって評価する。

### 【テキスト】

なし。

### 【参考文献・資料】

必要に応じて資料を配布する。

## 情報メディア基礎論Ⅰ

菅野育子

### 【授業の概要】

情報流通における情報メディアの役割について論じる。各種メディアの生産から流通までを対象に、その過程での問題点について議論し、より効果的な情報流通のための情報メディアのあり方を検討する。

### 【授業計画】

- 1 情報流通と情報メディア
- 2 学術情報の流通モデル
- 3 情報メディアの特徴と問題点
  - (1) 図書  
出版流通過程と制度  
オンライン書店、オンデマンド出版
  - (2) 雑誌  
学術雑誌の機能、査読制度  
雑誌論文の構成  
抄録作成法、引用法、  
プレプリント、e-print  
レター、editorial comment
  - (3) 新聞  
新聞の流通制度  
新聞記事の構成
  - (4) 会議資料  
学会、会議録
  - (5) 特許資料  
特許制度  
パテントファミリー、引用特許
  - (6) 規格票  
規格制度、情報関連の標準化活動
  - (7) データベース  
情報検索システムの歴史  
検索技術、シソーラス
  - (8) インターネット  
ネットワーク情報資源の特徴  
WWWの評価  
Web citation、メタデータ  
ウェブ・アーカイビング
- 4 情報流通モデルの修正
- 5 電子環境下における情報メディア

### 【評価方法】

期末試験と出席回数によって評価する。

### 【テキスト】

なし。

### 【参考文献・資料】

必要に応じて資料を配布する。

## 情報メディア基礎論Ⅱ

櫻木貴子

### 【授業の概要】

情報流通における情報メディアの役割について論じる。各種メディアの生産から流通までを対象に、その過程での問題点について議論し、より効果的な情報流通のための情報メディアのあり方を検討する。

### 【授業計画】

- 1 情報流通と情報メディア
- 2 学術情報の流通モデル
- 3 情報メディアの特徴と問題点
  - (1) 図書  
出版流通過程と制度  
オンライン書店、オンデマンド出版
  - (2) 雑誌  
学術雑誌の機能、査読制度  
雑誌論文の構成  
抄録作成法、引用法、  
プレプリント、e-print  
レター、editorial comment
  - (3) 新聞  
新聞の流通制度  
新聞記事の構成
  - (4) 会議資料  
学会、会議録
  - (5) 特許資料  
特許制度  
パテントファミリー、引用特許
  - (6) 規格票  
規格制度、情報関連の標準化活動
  - (7) データベース  
情報検索システムの歴史  
検索技術、シソーラス
  - (8) インターネット  
ネットワーク情報資源の特徴  
WWWの評価  
Web citation、メタデータ  
ウェブ・アーカイビング
- 4 情報流通モデルの修正
- 5 電子環境下における情報メディア

### 【評価方法】

期末試験と出席回数によって評価する。

### 【テキスト】

なし。

### 【参考文献・資料】

必要に応じて資料を配布する。

## 情報メディア基礎論Ⅱ

菅野育子

### 【授業の概要】

情報流通における情報メディアの役割について論じる。各種メディアの生産から流通までを対象に、その過程での問題点について議論し、より効果的な情報流通のための情報メディアのあり方を検討する。

### 【授業計画】

- 1 情報流通と情報メディア
- 2 学術情報の流通モデル
- 3 情報メディアの特徴と問題点
  - (1) 図書  
出版流通過程と制度  
オンライン書店、オンデマンド出版
  - (2) 雑誌  
学術雑誌の機能、査読制度  
雑誌論文の構成  
抄録作成法、引用法、  
プレプリント、e-print  
レター、editorial comment
  - (3) 新聞  
新聞の流通制度  
新聞記事の構成
  - (4) 会議資料  
学会、会議録
  - (5) 特許資料  
特許制度  
パテントファミリー、引用特許
  - (6) 規格票  
規格制度、情報関連の標準化活動
  - (7) データベース  
情報検索システムの歴史  
検索技術、シソーラス
  - (8) インターネット  
ネットワーク情報資源の特徴  
WWWの評価  
Web citation、メタデータ  
ウェブ・アーカイビング
- 4 情報流通モデルの修正
- 5 電子環境下における情報メディア

### 【評価方法】

期末試験と出席回数によって評価する。

### 【テキスト】

なし。

### 【参考文献・資料】

必要に応じて資料を配布する。

## 情報メディア論Ⅳ（人文社会情報メディア）

櫻木貴子

### 【授業の概要】

人文・社会科学分野における情報メディアの特徴から、学問分野における学術情報の生産と利用について検討することを目的とする。

### 【授業計画】

- 1 学問分野と情報メディア
- 2 自然科学分野と人文・社会科学分野
- 3 人文・社会情報メディア
  - 3.1 美術分野
  - 3.2 音楽分野
  - 3.3 文学
  - 3.4 ビジネス分野
  - 3.5 法律分野
  - 3.6 心理学
  - 3.7 図書館情報学
- 4 情報メディアからみた情報の生産と利用

### 【評価方法】

レポートと出席回数によって評価する。

### 【テキスト】

使用せず。

### 【参考文献・資料】

必要に応じて資料を配布する。

## 情報メディア論Ⅳ（人文社会情報メディア）

菅野育子

### 【授業の概要】

人文・社会科学分野における情報メディアの特徴から、学問分野における学術情報の生産と利用について検討することを目的とする。

### 【授業計画】

- 1 学問分野と情報メディア
- 2 自然科学分野と人文・社会科学分野
- 3 人文・社会情報メディア
  - 3.1 美術分野
  - 3.2 音楽分野
  - 3.3 文学
  - 3.4 ビジネス分野
  - 3.5 法律分野
  - 3.6 心理学
  - 3.7 図書館情報学
- 4 情報メディアからみた情報の生産と利用

### 【評価方法】

レポートと出席回数によって評価する。

### 【テキスト】

使用せず。

### 【参考文献・資料】

必要に応じて資料を配布する。

## 情報メディア論Ⅴ（科学技術情報メディア）

櫻木貴子

### 【授業の概要】

自然科学領域における主要な一次情報源である学術雑誌を中心に解説します。学術雑誌と科学論文についての知識は、情報サービス専門家に欠かせない知識です。学術雑誌を理解するポイントは、図書館資料としての狭い枠組みでなく、研究活動と科学コミュニケーションのなかで、その役割や問題を知ることにあります。とくに、研究者による論文生産の視点から、学術雑誌について検討します。

1. 環境としての学術情報
2. 文献情報と文献調査
3. 学術雑誌の歴史と生態
4. 総合誌、レビュー誌、レター誌
5. 日本からの英文論文発表
6. 主要海外誌への日本からの発表傾向
7. 生物医学雑誌への統一投稿規程
8. オアサーシップからみた学術論文
9. 出版倫理と利害の衝突
10. ニュースメディアと学術雑誌
11. レフェリーシステム
12. 一流誌への発表
13. インパクトファクターの批判的吟味
14. 電子メディア（データベース、一次雑誌）の現在

### 【授業計画】

講義を中心に行う。教科書はできるだけ事前に読んでもらいたい。講義内容に関係する資料を随時配付する。

### 【評価方法】

期末レポート、小レポート（授業時間内）

### 【テキスト】

使用せず（配付資料）。

### 【参考文献・資料】

電子時代の学術雑誌（Lambert, J. 著 日本図書館協会）  
出版産業の起源と発達（Thompson, J.W. 著 出版同人）  
歴史としての学問（中山茂著 中央公論社）  
生命科学論文投稿ガイド（山崎茂明著 中外医学社）  
医学文献サーチガイド 第2版（山崎茂明著 日本医書出版協会）  
研究評価（根岸正光・山崎茂明著 丸善）

## 情報メディア論Ⅴ（科学技術情報メディア）

山崎茂明

### 【授業の概要】

自然科学領域における主要な一次情報源である学術雑誌を中心に解説します。学術雑誌と科学論文についての知識は、情報サービス専門家に欠かせない知識です。学術雑誌を理解するポイントは、図書館資料としての狭い枠組みでなく、研究活動と科学コミュニケーションのなかで、その役割や問題を知ることにあります。とくに、研究者による論文生産の視点から、学術雑誌について検討します。

1. 環境としての学術情報
2. 文献情報と文献調査
3. 学術雑誌の歴史と生態
4. 総合誌、レビュー誌、レター誌
5. 日本からの英文論文発表
6. 主要海外誌への日本からの発表傾向
7. 生物医学雑誌への統一投稿規程
8. オアサーシップからみた学術論文
9. 出版倫理と利害の衝突
10. ニュースメディアと学術雑誌
11. レフェリーシステム
12. 一流誌への発表
13. インパクトファクターの批判的吟味
14. 電子メディア（データベース、一次雑誌）の現在

### 【授業計画】

講義を中心に行う。教科書はできるだけ事前に読んでもらいたい。講義内容に関係する資料を随時配付する。

### 【評価方法】

期末レポート、小レポート（授業時間内）

### 【テキスト】

論文投稿のインフォマティクス（山崎茂明著 中外医学社）

### 【参考文献・資料】

電子時代の学術雑誌（Lambert, J. 著 日本図書館協会）  
出版産業の起源と発達（Thompson, J.W. 著 出版同人）  
歴史としての学問（中山茂著 中央公論社）  
生命科学論文投稿ガイド（山崎茂明著 中外医学社）  
医学文献サーチガイド 第2版（山崎茂明著 日本医書出版協会）  
研究評価（根岸正光・山崎茂明著 丸善）

## 資料組織論

伊藤真理

### 【授業の概要】

情報の組織化に関する理論と概念について理解することを目的とする。様々な情報資源を念頭において、資料組織業務の標準化と統一化の流れを把握し、目録の機能を理解することを目指す。

目録に関する用語と、英米目録規則、日本目録規則、主要な分類表および主題件名標目表を網羅する。

### 【授業計画】

- 第1回 情報の組織化
- 第2回 目録
- 第3回 書誌コントロール
- 第4回 書誌ユーティリティ
- 第5回 目録規則の標準化、統一
- 第6回 記述目録と主題目録
- 第7回 記述目録(1) AACR 2r, NCR
- 第8回 記述目録(2) アクセス・ポイントの選定; 標目形
- 第9回 記述目録(3) 典拠コントロール
- 第10回 主題目録(1) 概要
- 第11回 主題目録(2) 主要分類法
- 第12回 主題目録(3) 主要件名標目表
- 第13回 MARC
- 第14回 メタデータ

### 【評価方法】

平常点、試験

### 【テキスト】

初回時にテキスト配布。

## 資料組織演習

伊藤真理

司書

### 【授業の概要】

資料組織論で学んだ理論について、演習を通してより深い理解と習得を目的とする。

講義内容は、記述目録法と主題目録法の2部から成り、オムニバス形式で授業を進める。

記述目録では、目録規則の適用について学ぶ。カード目録作成により、ISBDや記述目録の基本を理解し、オンライン目録の実習を通して、書誌ユーティリティを利用したオンライン目録作業について理解を深める。主題目録法では日本十進分類法、国際十進分類法、基本件名標目表などを取り上げる。主に図書資料を対象として、書誌レコードを作成する。

本科目の履修については、「資料組織論」の履修を条件とする。

### 【授業計画】

- ・目録作業の概要
- ・主題目録法
  - 分類: NDC
  - 主題件名標目表: BSH
- ・記述目録法
  - ISBD
  - カード目録
  - オンライン目録
  - アクセス・ポイント
  - 典拠コントロール

### 【評価方法】

出席、実習およびレポート提出

### 【テキスト】

「資料組織論」で配布したテキストを使用

## 資料組織演習

櫻木貴子

### 【授業の概要】

資料組織論で学んだ理論について、演習を通してより深い理解と習得を目的とする。

講義内容は、記述目録法と主題目録法の2部から成り、オムニバス形式で授業を進める。

記述目録では、目録規則の適用について学ぶ。カード目録作成により、ISBDや記述目録の基本を理解し、オンライン目録の実習を通して、書誌ユーティリティを利用したオンライン目録作業について理解を深める。主題目録法では日本十進分類法、国際十進分類法、基本件名標目表などを取り上げる。主に図書資料を対象として、書誌レコードを作成する。

本科目の履修については、「資料組織論」の履修を条件とする。

### 【授業計画】

- ・目録作業の概要
- ・主題目録法
  - 分類: NDC
  - 主題件名標目表: BSH
- ・記述目録法
  - ISBD
  - カード目録
  - オンライン目録
  - アクセス・ポイント
  - 典拠コントロール

### 【評価方法】

出席、実習およびレポート提出

### 【テキスト】

「資料組織論」で配布したテキストを使用

## 資料組織演習

岡澤和世 菅野育子

### 【授業の概要】

資料組織論で学んだ理論について、実習を通してより深い理解と習得することを目的とする。

講義内容は、記述目録法と主題目録法の2部から成り、オムニバス形式で授業を進める。主題目録法では日本十進分類法や基本件名標目表などを取り上げ、記述目録については、国際的な標準規則として認められている英米目録規則を用いる。主に図書資料を対象として、書誌レコードを作成する。

本科目の履修については、「資料組織論」の履修を条件とする。

### 【授業計画】

- ・目録作業の概要
- ・主題目録法
  - 分類: NDC
  - 主題件名標目表: BSH
- ・記述目録法
  - ISBD
  - アクセス・ポイント
  - 標目形
- ・MARCについて

### 【評価方法】

出席、実習およびレポート提出

### 【テキスト】

「資料組織論」で配布したテキストを使用

## 資料組織演習

田中敦司

### 【授業の概要】

資料組織論で学んだ理論について、演習を通してより深い理解と技術の習得を目的とする。

講義内容は、資料目録法と資料分類法を中心とし、それぞれについて事例に即して実習する形式とする。

資料目録法では、目録規則の適用について、NCRを中心に学ぶ。カード目録作成により、目録の基本を理解し、オンライン目録を通して、書誌ユーティリティを利用したオンライン目録作業について理解を深める。また、資料分類法では、日本十進分類法、基本件名表目録を取り上げる。主に図書資料を対象として、書誌レコードを作成する。

図書館の現場では、コピーカテゴリーの機会が大半であるが、まったく修正せずに使用できるデータは限られている。利用のための資料組織ができることを目指して、演習を行う。

本科目の履修については、「資料組織論」の履修を条件とする。

### 【授業計画】

- ・ 目録作業の概要
- ・ 資料分類法  
分類：NDC  
主題件名標目表：BSH
- ・ 資料目録法  
カード目録  
オンライン目録  
ISBD  
アクセス・ポイント  
典拠コントロール

### 【評価方法】

出席状況、提出したレポート、最後に行う試験を総合して評価。

### 【テキスト】

「資料組織論」で配布したテキストを使用

### 【参考文献・資料】

資料組織演習 新訂版 (吉田憲一編著 日本図書館協会)

## 図書館学特殊Ⅲ (児童サービス論)

福永智子

### 【授業の概要】

図書館における児童サービスの理論と実際について、基礎的理解を図る。具体的には、日本の読書推進政策の現状を踏まえ、児童用資料の特性、利用者としての児童の特性、公立図書館・学校図書館における児童サービスおよび、図書館の周辺領域における児童へのサービスについても広くとりあげる。

### 【授業計画】

1. 公立図書館の児童サービス
  - (1) 児童サービスの法的基盤
  - (2) 児童図書館員の役割と専門性
  - (3) サービス対象としての児童：読書興味の発達段階
  - (4) 児童用資料の特性とコレクション構築の実際
  - (5) 児童サービスの企画と運営、施設・設備
  - (6) 周辺領域：子ども文庫活動、ブックスタート活動
2. 学校図書館と情報活用能力の育成
  - (7) 戦後教育改革と学校図書館の制度化
  - (8) 1997年の学校図書館法改正と「人」の問題
  - (9) 情報センター、学習センター、読書センター機能
  - (10) 学校図書館における図書館利用教育のガイドライン
3. 公立図書館と学校図書館の協力体制
  - (11) 異館種間ネットワーク構築の原理
  - (12) 地方自治体における先進事例の紹介
4. 試験 (13)

### 【評価方法】

出席状況と単位認定試験の成績によって、総合的に評価する。

### 【テキスト】

児童サービス論 (堀川照代編著 日本図書館協会)

### 【参考文献・資料】

児童サービス論 (佐藤涼子編 教育史料出版会)  
学校図書館論 補訂版 (塩見昇編 教育史料出版会)

## 情報学Ⅲ (図書館と情報検索の歴史)

村主朋英

### 【授業の概要】

図書館情報サービスと知識の組織化過程の発達を中心に、図書館情報学分野に関わる歴史を概観する。<人類の情報環境の発達過程を概観する>というコンセプトを掲げ、とくに<情報・知識の伝達・継承のために人類がどのような活動を行ってきたか>という問題を軸に探求する。

具体的には、まず環境要因となるメディア技術 (情報・通信技術) の発達過程を概観し、つぎに情報流通の制度・機構 (情報サービス機関や情報専門職など)、および情報の蓄積・検索の技術・技法が整備されていった過程を詳述する。それらも、人類にとって一種の環境要因である。その上で、そうした環境要因と人間との関わりによって生ずる現象 (とくに情報の社会的蓄積・継承) を論ずる。

Ⅲでは、古代から中世までを対象とし、Ⅳに引き継ぐ。

### 【授業計画】

1. 古代文明のメディアと情報・知識
2. ギリシア・ローマにおける進展
3. 中世の学術と書物・図書館
4. 印刷革命

### 【評価方法】

定期試験 ※穴埋め・訂正問題、論述問題

### 【テキスト】

歴史のなかの科学コミュニケーション (勁草書房 税別定価3,800円)  
図書館情報学用語辞典 (丸善 税別定価3,800円)

## 情報学Ⅳ (図書館と情報検索の歴史)

村主朋英

### 【授業の概要】

図書館情報サービスと知識の組織化過程の発達を中心に、図書館情報学分野に関わる歴史を概観する。Ⅳでは、Ⅲの知見を踏まえた上で、近・現代を対象とする。

### 【授業計画】

1. 印刷のもたらした近代  
学術情報流通システムの成立/新聞と雑誌/読書大衆
2. 図書館の世紀
3. 書誌とドキュメンテーション
4. 情報メディア技術の発達
5. 20世紀の情報流通システムと情報検索
6. 図書館学と情報学
7. 未来を求めて：Vannevar BushのMemex構想をもとに

### 【評価方法】

定期試験 ※穴埋め・訂正問題、論述問題

### 【テキスト】

歴史のなかの科学コミュニケーション (勁草書房 税別定価3,800円)  
図書館情報学用語辞典 (丸善 税別定価3,800円)

## 個人コミュニケーション論 I (認知心理学)

岩原昭彦

### 【授業の概要】

見る、聞く、話す、覚える、考えるなどの知的機能を総称して認知という。認知心理学では、人間を高次な情報処理体として見なし、情報の入力と出力との間に生じるさまざまな認知的過程を実験とシミュレーションにより理論化している。本講義では、人間の記憶活動と言語活動がどのように営まれているのかを明らかにするとともに、それらの活動を支える基盤が、脳の中でどのように組織化されているのかについても検討する。また、講義を通じて、我々が日常生活の中で体験する不思議な現象を認知心理学的に説明していきたい。

### 【授業計画】

1. サプリメンタル・パーセプション
2. 沈黙の手がかり
3. 意識できない知識
4. 健忘症患者の隠された能力
5. なぜ、ずっと覚えていられないのか
6. 記憶の混乱と偽りの記憶
7. 嫌な出来事が忘れられない
8. 言葉と心
9. 言葉の働き
10. 言葉が失われるとき
11. 言葉が意識を生む
12. 自己意識の起源にせまる

### 【評価方法】

期末試験と授業中に実施する実験・調査への参加回数。

### 【テキスト】

使用しない。必要に応じてプリントを配布する。

### 【参考文献・資料】

適宜紹介する。

## 情報メディア論 I (マルチメディア)

三和義秀

### 【授業の概要】

社会、教育現場における情報機器の発展経緯、種類、機能、ならびに情報メディアの発達と変化について論じながら、情報メディアの特性、視聴覚メディア、図形処理と画像処理を中心とするソフトウェア、インターネットとシミュレーションに係るツールの活用方法、情報メディアと情報通信（ネットワーク）技術やマルチメディアとの関係について考察する。また、技術的な側面として、インターネットでの情報の検索手法、ハイパーテキスト・システムの本質的問題、およびその設計・開発手法についても触れていく。

### 【授業計画】

- 1) ガイダンス：授業の目的、方法、授業計画について説明
- 2) メディアとは何か
- 3) 情報機器の発展経緯と種類、機能
- 4) 情報メディアの発展経緯と特性
- 5) 視聴覚メディアの種類と特性
- 6) 図形・画像処理とソフトウェア
- 7) 情報通信とメディア
- 8) マルチメディアと情報通信技術
- 9) ネットワーク技術とインターネット
- 10) 放送の高度化とマルチメディア
- 11) 通信の高度化とマルチメディア
- 12) インターネットとシミュレーション
- 13) インターネットでの情報の検索手法
- 14) ハイパーテキストの仕組みと本質的問題
- 15) ハイパーテキスト・システムの作成手法

### 【評価方法】

出席回数、レポート、および定期試験により評価を行う。

### 【テキスト】

授業時に提示する。

## 情報メディア論 I (マルチメディア)

松井美紀

### 【授業の概要】

現代社会ではあらゆる組織においてコンピュータ等情報機器が不可欠のツールとなっている。これら情報機器を使いこなすことにより、情報のより効果的な利用が可能となる。

この授業では、情報メディア・情報機器に関する基礎的なことを解説する。また、情報技術について図書館・情報サービスにおける導入・活用の実例を示しながら解説する。

情報技術活用のための基礎を身につけることを目標とする。

### 【授業計画】

- 1) ガイダンス：授業の目的、方法、授業計画について説明
- 2) メディアとは何か
- 3) 情報機器の発展経緯と種類、機能
- 4) 情報メディアの発展経緯と特性
- 5) 視聴覚メディアの種類と特性
- 6) コンピュータの基本的な仕組み
- 7) 図書館の機械化
- 8) データベースと情報検索
- 9) メディアの多様化と情報技術
- 10) インターネットについての基礎知識
- 11) インターネットによる情報発信
- 12) 電子情報と知的所有権

### 【評価方法】

- (1) 出席状況 (2) 定期試験（またはレポート）
- 以上の結果により評価を行う。

### 【テキスト】

授業時に提示する。

## 博物館概論

長谷川鏑治

### 【授業の概要】

博物館とは何か、発達の歴史をたどり、世界と日本の博物館を概観する。

### 【授業計画】

- ア はじめに…博物館学とは何かなど学習の基礎を説明する。
- イ 博物館の定義…ICOMの定義、博物館法の定義を中心に考えていく。
- ウ 博物館の始原…博物館の始原をたずねてみる。
- エ 博物館の萌芽…ルネサンス期からの博物館的な施設の形を探る。
- オ 近代博物館の発端Ⅰ…王権の誇示としての財宝の展示から考える。
- カ 近代博物館の発端Ⅱ…市民への公開がなされていく過程を考える。
- キ ヨーロッパの博物館…近世からの主要な博物館を例にとり、特徴をまとめる。
- ク アメリカの博物館…合衆国独立から現代までの特徴を探る。
- ケ 博物館の新しい波…企業博物館、エコ・ミュージアム、テーマ・パークなど新しい動きをひろってみる。
- コ 日本の博物館…日本の博物館の歴史を概観する。
  - ・幕末から明治期にかけての博物館の発端
  - ・国威の宣揚と博物館
  - ・通俗教育による教化と博物館
  - ・十五年戦争と博物館

### 【評価方法】

- ・数回にわたるテストとレポートの提出で評価する。
- ・出席率も重要な評価対象である。

### 【テキスト】

博物館学概説（長谷川鏑治 戸谷印刷）

## 博物館学各論Ⅰ

長谷川鏑治

### 【授業の概要】

博物館について、学芸員資格にかかわる基本的事項を学習する。

### 【授業計画】

- ア 博物館の機能…生涯学習のための施設の一つと定義されていることを念頭におき考える。
- イ 博物館の分類…分類わけをとおして、博物館の役割やあり方を考えていく。
- ウ 博物館の組織…公立博物館を例にとり、典型的な組織をみていく。
- エ 博物館の運営…名古屋市博物館を例にとり、運営の実際を知る。
- オ 学芸員考…学芸員の実態などに焦点をあて、「学芸員」はいかにあるべきかを考える。
- カ 予算など…博物館のマネジメントについて考える。
- キ 博物館の施設・設備…設置基準をもとに施設・設備についてみる。
- ク 博物館と情報…情報化社会の発展、情報技術の進歩と博物館のあり方を探ってみる。
- ケ 博物館の協力…大学・研究機関などとの連携についても考える。
- コ 文化財の保護…わが国の文化財保護の現状と問題点について考察する。あわせて世界遺産についても考える。

### 【評価方法】

- ・数回にわたるテストとレポートの提出で評価する。
- ・出席率は重要な評価対象である。

### 【テキスト】

博物館学概説（長谷川鏑治 戸谷印刷）

## 博物館概論

早川正一

### 【授業の概要】

「博物館概論」とは、愛知淑徳大学が文部省（現在の文科省）の認可のもとに、学芸員と呼ぶ博物館や美術館に不可欠な専門職員になるため、基礎知識をカリキュラムを通じて取得させる基幹の学科科目である。したがって、この養成課程の当初に受講させるので真剣に取り組まないと脱落しかねない。充分な心構えが肝要である。

次のような単元のもとに講義を展開してゆく予定である。

### 【授業計画】

博物館や美術館の基本概念と必要性  
専門職員としての「学芸員」とは何か  
博物館と美術館の発達とその時代背景  
博物館と呼ぶ施設の機能と多様性  
博物館の分類と現代性  
博物館の日常的な組織と運営の局面への学芸員のかかわり方、そして館外活動への配慮  
博物館の相互協力と情報の活用

毎時間、入念にノートさせる。コピーは許さない。  
無用な欠席は不合格につながるので、注意されたい。

長谷川鏑治『博物館学論考』（1995）をはじめ、大学図書館に所蔵の関連文献を通読しておくこと。

### 【評価方法】

学期末の筆記試験をはじめ、毎時間の出席状況、受講態度などで総合評価する。資格認定のため厳格である。

### 【テキスト】

博物館学概説（長谷川鏑治 戸谷印刷）を参照することをすすめる。

## 博物館学各論Ⅰ

早川正一

### 【授業の概要】

愛知淑徳大学の学芸員課程委員会が計画したカリキュラムに準拠し、前段階の「博物館概論」を修得した学生に受講させる。したがって、この講義も基幹をなす学科科目であるから、年次計画を考慮し、真面目に受講しないと、資格取得につながらないので、注意が肝要である。

### 【授業計画】

次の単元を土台として講義を展開する予定である。  
博物館や美術館の展示と陳列構造  
博物館がとり扱う資料の収集と保存  
博物館と所属する学芸員のおこなう調査と研究  
博物館や美術館のおこなう普及活動と教育  
文化財の種類と保護にかかわる諸問題  
生涯学習の必要性と博物館の関連事業

毎時間、入念にノートさせる。コピーは許さない。  
無用な欠席は不合格につながるので、注意してほしい。

博物館学論考（長谷川鏑治 1995）をはじめ、大学図書館に所蔵の関連文献を通読しておくこと。

### 【評価方法】

本学の学長の名において資格を認定する以上、定期試験を厳格に実施し、出席状況や受講態度を含めて総合評価する。

### 【テキスト】

博物館学概説（長谷川鏑治 戸谷印刷）を参照することをすすめる。

## 博物館学各論Ⅱ

長谷川 綉治

### 【授業の概要】

博物館資料とは何かの定義づけからはじめ、資料の取扱い方を含めて学習する。また、博物館の調査・研究についても考える。

### 【授業計画】

- ア 博物館の資料…「物」が博物館資料と位置づけられるのはどのようなことかを考える。
- イ 博物館資料の実際…資料について実技を含めて具体的に学ぶ。
  - 1 資料の収集
  - 2 資料の取扱い
    - ・掛軸
    - ・古文書 ・和装本
    - ・やきもの ・茶碗
    - ・瓦など
  - 3 資料の整理・保存
  - 4 資料の保全
- ウ 資料情報の管理…資料情報の管理についてその実際を探る。
- エ 調査・研究…博物館における調査と研究、成果の公表について考える。

### 【評価方法】

- ・数回にわたるテストとレポートの提出で評価する。
- ・出席率も重要な評価対象である。

### 【テキスト】

博物館学概説（長谷川 綉治 戸谷印刷）

## 博物館学各論Ⅱ

川合 剛

### 【授業の概要】

博物館は「もの（物）」「ひと（人）」「ば（場）」の3つの要素で構成される。この授業では、そのうちの「もの」＝博物館資料に焦点をあて、博物館活動の中での役割を考える。博物館資料の定義、収集、整理分類、保管保存、調査研究そして実際の取扱い方について、基礎的な知識と技術を学ぶ。

### 【授業計画】

- 履修学生が、手を動かし、自分で考える「実技」の時間をできるだけ多くとる。
- (a) 博物館と博物館資料
  - (b) 資料を記録する技術  
拓本・実測・写真など。
  - (c) 資料を扱う技術  
掛け軸・卷子・和本・陶磁器・考古資料など。
  - (d) 資料を保管・保存する技術  
ドキュメンテーション・保存科学など。
  - (e) 博物館と調査・研究

### 【評価方法】

実技を行う。出席および授業に臨む姿勢を重視する。あわせて、レポートなどの課題、(時間内の)小テストの結果も勘案する。

### 【テキスト】

博物館学概説（長谷川 綉治 戸谷印刷）

### 【参考文献・資料】

随時プリントを配布し、参考文献・論文などを紹介する。

## 博物館学各論Ⅱ

秋元 悦子

### 【授業の概要】

博物館の活動の基礎は「資料」にあり、それを有効活用することではじめて博物館と言えよう。本講座では、その収集・取り扱い・整理・保存・活用について具体的事例や実習を取り入れながら学んでいく。

### 【授業計画】

1. 博物館資料とは……「博物館資料」とは、何を指すか、理念およびその具体的な種類を知る。
2. 資料収集……資料の収集に際しての、収集方針の重要性、収集方法の事例を学ぶ。
3. 資料の取り扱い……基本資料の取り扱いを実習し、習得するとともに、その構造を知り展示方法等も学ぶ。  
やきもの、和装・卷子本、掛け軸その他で実習する。
4. 資料整理……資料の整理について、分類方法やその整理登録方法を考え、資料カードの作成を実習する。
5. 資料情報……整理された資料の情報、二次的資料の情報の管理運営について考える。
6. 資料保管……資料の保管に関しての、保存条件や方法、問題点などを学ぶ。
7. 資料活用……資料を活用した調査研究活動の実際とその意義を知る。  
また、4年次の「博物館実習」に備えた情報や、館務実習の準備について説明する。

### 【評価方法】

出席、実習態度、レポートおよび小テストで評価する。

### 【テキスト】

博物館学概説（長谷川 綉治 戸谷印刷）

必要に応じてプリントを配布し、ビデオ・スライド等も利用する。

## 博物館実習

長谷川 綉治

### 【授業の概要】

学芸員の基本的な役割について、講義、展示演習、博物館見学、館務実習などを通して、実践的に学習する。

### 【授業計画】

- ア 展示論……展示についての学問的側面、実際の運びなどをみていく。
  - 1 展示とは
  - 2 展示のポイント
    - ・動線 ・視線 ・照明 ・温度 ・湿度
  - 3 展示の施設
  - 4 展示のプロセス
  - 5 展示と保全
- イ 普及・教育論……生涯学習が重要課題となっている現代社会にあつて、博物館が果たす役割はどんなものかを探っていく。
- ウ 博物館見学……土・日曜日に展覧会や施設の見学に出かける。
- エ 館務実習……夏休み中に各博物館に依頼して館務実習を行う。
- オ 海外特別実習……夏休み中に希望者と海外の博物館に出かけ学習する。
- カ 県外実習……エ、オに参加できない者は、9月に県外へ見学に出かける。

### 【評価方法】

- ・実習はもちろん、学外での研修にはかならず参加し、それぞれレポートを提出する。
- ・その都度、提出させるレポートを中心に実習態度なども勘案して評価する。

### 【テキスト】

博物館学概論（長谷川 綉治 戸谷印刷）

## 博物館実習

秋元悦子

### 【授業の概要】

学芸員資格を取得するにあたって、展示演習、博物館見学、博物館実習を中核に、具体的な学芸員活動を様々な観点から学習する。

### 【授業計画】

1. 展示とは……展示という手法について、その実際と未来像を考える。
2. 展示の実際……計画から、手法、条件などの展示の実際の概要を具体的な事例をふまえながら、学んでゆく。
3. 展示にかかわる事業……展示をとりまく、様々な事業（解説、広報、印刷物、講座など）の存在を知る。
4. 展示の実習……各自で模擬展示の計画書を作成し、展示方法やその活用法を実習する。
5. 展示と教育普及事業……展示を通じての生涯学習機関として、博物館の今後をになう役割と未来を探る。

授業以外に、

- 土曜日に、博物館の展示・施設見学を行う。
- 夏休み中に、各博物館に依頼し館務実習を行う。

### 【評価方法】

授業および学外での研修の出席・レポート、模擬展示の口頭発表およびその計画書で評価する。

### 【テキスト】

博物館学概論（長谷川鏑治 戸谷印刷）

必要に応じてプリントを配布し、ビデオ・スライド等も利用する。

## 生涯学習概論

羽場俊秀

### 【授業の概要】

現代社会は、情報化、高齢化、生命・健康、環境などの分野において様々な問題に直面している。また、価値観の多様化に対する寛容さが以前にもまして必要とされる時代になってきている。

このような状況下において、諸問題を解決し、人々が主体的に生活していくためには学校だけでなく、広く社会において絶えず学び続けることが大切である。生涯学習に広がりや深まりが求められるゆえんがそこにある。この講義では、生涯学習の原理、実践等について具体的な事例をもとに考察する。

### 【授業計画】

- 1-3. 生涯学習理念の成立と発展
- 4-7. 生涯学習実践の課題
- 8-11. 生涯学習と社会
- 12-13. 生涯学習と人間
- 14-15. 総括

### 【評価方法】

おもに期末試験（筆記）により評価するが、開講中にレポートを課した場合これを評価に加味する。

### 【テキスト】

テキストとしては使用しない。授業中に参考文献を適宜紹介する。

### 【参考文献・資料】

なし

## 博物館実習

松村冬樹

### 【授業の概要】

「展示」は博物館における「顔」とも評されるが、最高の広報普及活動でもある。この授業では、さまざまな施設の見学を含め、「展示」の知識と実践を学ぶ。

### 【授業計画】

「展示」を疑似体験できるよう「実技」の時間をできるだけ多くとる。適宜、プリントを配付する。

- (a) 「展示」とは
- (b) 展示のプロセス
- (c) 展示の実際（仮想展覧会企画）
- (d) 展示と解説
- (e) 印刷物（ポスター、ビラ、図録）
- (f) まとめ

\*1 土曜日に近隣の博物館の展示見学、施設見学を行う（年5～6回程度）。

\*2 夏休み中に各博物館に依頼し、館務実習を行う。

\*3 夏休み中に海外博物館見学の研修を行う。

※ \*2、\*3に参加しなかった者は、県外博物館の見学を行う。

### 【評価方法】

出席状況は重視する。意欲や、館務実習では必要な社会常識も評価の対象とする。

### 【テキスト】

博物館学概説（長谷川鏑治 戸谷印刷）

## 視聴覚教育メディア論

東浦信博

### 【授業の概要】

「学芸員のための」を前提としながらも幅広く視聴覚教育メディア全般の特性を検討し、最近のマルチメディアまでの各視聴覚教育メディアを論ずる。

### 【授業計画】

1. 視聴覚教育の意義と効果
2. 博物館と視聴覚教育メディア（手段としてのメディア、目的物としてのメディア）
3. 視聴覚教育メディア各論  
領域と種類  
録音メディア（レコード・テープ・CD等）  
映像メディア1（スライド・OHP等）  
映像メディア2（映画・ビデオ等）  
マルチメディアと情報ネットワーク  
講義中心であるが、OHP、ビデオを多用する。

### 【評価方法】

論述式定期試験（テキスト・ノート持込み可）。

### 【テキスト】

視聴覚メディアと教育（樹村房 ￥1,800+税）

## 教育学概論

羽場俊秀

### 【授業の概要】

教育学の基本的な知識や概念の修得とそれに基づく具体的な諸問題についての考察を進めていくことにする。とりわけ、人間の社会生活と教育との関連に力点をおいて、本来の教育の意義や望ましい教育の作用を明らかにするように努めていくことにする。その際、取り上げる題材としてプリントやVTRを使用して理解を深めていきたい。

### 【授業計画】

- 1-3. 教育学の概念
- 4-6. 教育学の歴史
- 7-9. 教育学の課題
- 10-12. 学校と教育
- 13-14. 社会と教育
15. 総括

### 【評価方法】

おもに期末試験（筆記）により評価するが、開講中にレポートを課した場合はこれを評価に加味する。

### 【テキスト】

テキストとしては使用しない。授業中に参考文献を適宜紹介する。

### 【参考文献・資料】

なし

## 美術史

角田美奈子

### 【授業の概要】

日本の美術の歴史にはたくさんの不思議があります。例えば、今、私たちが美術館で目にする「絵画」が、「日本画」と「洋画」に区別して紹介されていたりするのはどうしてでしょう。また、それはいつからのことでしょうか。

このような不思議を手がかりに日本の美術の歴史をたどり、理解を深めるとともに、作品鑑賞を豊かにする視点や問題意識を育みます。

必要にあわせて東洋や西洋の美術の歴史も参照します。

### 【授業計画】

ワーク・シートを配布し、設問に答えるところから全体の授業をはじめ。不思議を授業を通して発見する。講義は、不思議の背景などを説明し、また新たな不思議を見出すはたらきかけとする。解説プリント、ワーク・シート、感想・質問・要望などを記すフィードバック・シートを適宜配布する。

### 【評価方法】

ワーク・シートやフィードバック・シートを回収し、出欠の確認に代えるとともに、内容を評価する。

これらを使用しないときは、出欠を確認し、評価に反映させる。

授業で自分の考えや答えを発表してもらう。授業に参加する姿勢もあわせて評価する。

内容の評価には、回答の正しさを必ずしも求めない。取り組みの姿勢や理解の深まりなども評価の対象とする。

### 【テキスト】

使用しない。

### 【参考文献・資料】

必要により、授業で紹介する。

## 民俗学

谷沢 明

### 【授業の概要】

なにげなくくりかえしている日々の暮らしの中に、古い生活の投影がある。現代人の物の見方、考え方の中にも、伝統的な生活文化が反映している。民俗学においては、日本人はいかなる文化をつくりあげて今日にいたったかを、民衆の立場にたち、民衆の生活の中から、社会・経済・儀礼・信仰などの伝承をととして具体的にみつめていきたい。また、古いものが今日の暮らしの中にどのように残存しているか、新しく変わった部分はどこで、何が新しくさせていく力になったかも考えてみたい。

### 【授業計画】

1. 民俗学を学ぶ～方法論と調査研究法～
2. 稲作と日本文化～伝統的文化のとらえかた～
3. 農耕儀礼～田遊びを中心に～
4. 年中行事～正月行事を中心に～
5. 年中行事～盆行事を中心に～
6. 人生儀礼～人生の折り返しにあたって～
7. 暮らしの中の習俗～海に生きる人々～
8. 暮らしの中の習俗～山に生きる人々～
9. 庶民信仰を探る～絵馬に託された願い～
10. 庶民信仰を探る～庚申信仰～
11. 日本民俗学のあゆみ～柳田國男の役割～
12. 日本民俗学のあゆみ～宮本常一のまなざし～  
学外教育としてフィールドワークを行う。

### 【評価方法】

中間レポート及び授業内小テスト・試験による

### 【テキスト】

フィールドワークで探る民俗と地域文化

## 文化史

秋元悦子

### 【授業の概要】

本講義では、古来日本に多くの影響を与えてきた中国の古代文化について、理解を深めることを目的とする。文化を理解するためには、その環境の理解が不可欠であるため、自然地理の知識から学び、人間と自然環境の関係を考慮しながら進めたい。また、関連する考古資料・歴史文献・古地図等の様々な資料を知るとともに、その所在や利用法等も学ぶ。授業では、必要に応じて文献講読（漢文資料）や地図分析作業も行う。

### 【授業計画】

1. 中国および日本の自然地理と古代文化  
日本も含む基本的な自然地理について理解し、古代の自然を考察する。
2. 中国古代都市の立地と遺跡  
中国の古代都市は時代により様々な位置に置かれた。各都市の遺跡を確認しながら、その立地を考察する。
3. 文献にみる中国古代の様相  
歴史文献を通じて古代中国の各地域に関する思想を知る。『尚書』禹貢篇、『漢書』地理志等を講読。
4. 地図にみる中国古代の様相  
現代に伝わる古地図や近代地形図の残存状況を知り、内容を理解する。
5. 遺物にみる中国古代の様相  
近年の考古学的発掘による大量の遺物が知られるが、その研究状況を知る。
6. 現代科学にみる中国古代の様相  
現代の科学分析による歴史研究の状況と、その方法について知る。

### 【評価方法】

おもに期末試験（筆記）により評価する。（毎回出欠調査する。欠席回数が多い場合は受験資格を失う。）期中にレポートを提出させた場合は、これを成績評価に反映させる。

### 【テキスト】

テキストとしては使用しない。

### 【参考文献・資料】

世界の歴史と文化 中国（陳舜臣・尾崎秀樹監修 新潮社）

# 日本考古学概論

柴垣勇夫

## 【授業の概要】

考古学は、遺跡・遺物をもとに人間の営んできた歴史を明らかにする学問である。その研究方法には、層位学や型式学、分類学などの科学的方法論がとられ、人文科学の中でもとりわけ自然科学との結びつきが強い学問でもある。そうした学問の基本を学び、考古学が明らかにしてきた日本の歴史の一面を把握する。特に、全国各地で行われている遺跡の発掘調査によって、知られるようになった最近の新しい遺構、遺物を紹介し、学際的な研究の進展を学ぶ。また遺跡調査への関心を高め、文化財の保護という現代的課題についても考える。現代に生きる我々がどういう社会を築くかを、歴史の中から学ぶ際に、考古学の果たす役割と受け継ぐべき文化遺産の重要性を認識する。

まず、考古学の研究法を学び、世界の考古学研究の発展過程を眺める。次に日本の旧石器時代から近世に至る、日本考古学の研究成果を把握する。なかでも原始・古代遺跡における最近の新発見や社会構造の捉え方の変化、中世から近世の城館や都市遺跡の発掘調査から判明してきた当時の生活様式などに理解を深める。また日本考古学の研究対象が近世・近代にまで広がっていることを認識するとともに、遺跡や遺物の文化財としての保存の必要性とその活用方法についても考える。

## 【授業計画】

各時代毎の解説の後、スライド・OHPなどにより視覚的に確認し、次の時代に進む。新聞記事等最近のニュースも逐次取り入れる。研究史から始め、日本の考古学研究の現在や遺跡保存の歩みなどを序章から第IV章までの5章にて構成し、13項の講義を行う。

## 【評価方法】

講義内容から出題するテスト。集中授業での欠席 1/3 を越えたものは受験資格を失う。

## 【テキスト】

印刷物をテキストとして配布する。

## ドイツ語Ⅰ

濱田義孝

### 【授業の概要】

ドイツ語の基礎を習得する。

ドイツ語は英語と同じく西ゲルマン語から出た言語で類似点も多いが、英語に比べてかなり保守的で、面倒な語形変化などがある。しかし一見やっかいそうな文法もいったん慣れてしまえば、かえって語句の関係が明確であり構文の把握も容易になる。

言葉は何よりもまず音声であるから、初めにドイツ語の発音に慣れること。そのためには教師（またはテープ）のドイツ語をよく聞いて、積極的に口を動かして真似ること。こうして繰り返し反復練習することによって、基本的なドイツ語の語句や言い回しになじみ、やさしい文を覚えていけば、週一回という短時間の学習でも、ドイツ語の基礎をマスターできるでしょう。

またドイツ語の学習を通してドイツやオーストリアの生活と文化に触れることもできる。

### 【授業計画】

テキストは全12課で、各課ともドイツ語の会話と基本的な文法事項、練習問題から構成されている。LL方式のパターン練習で基本構文や表現パターンを覚え、それをペアで行なう対話練習で実践し、段階的に表現能力を身に付けてゆく。

1課を2回の授業で修了するくらいのゆっくりしたペースで進む。

### 【評価方法】

授業での平常点と期末試験の成績を総合して評価する。

### 【テキスト】

コミュニケーションのためのドイツ語（在間・田畑共著 第三書房）

## ロシア語Ⅰ

杉本一直

### 【授業の概要】

みなさん、知っていますか？日本の大学のなかでロシア語を学ぶことができるところは本当に少ないんですよ。ということは、「ロシア語がわかる人」は日本ではとても希少価値があるのです！「芸術の国ロシア」の言葉を今すぐ学んでみませんか？

この授業では、初歩のロシア語を学びながらロシアの芸術や文化や街について楽しく紹介していきます。映画の鑑賞会もありますから、楽しみにしてくださいね。

### 【授業計画】

初級のわかりやすい辞書を「テキスト」として授業を進めてきます。まず、例の不思議な形をしたキリル文字を覚え、発音を覚え、そのあとは辞書で遊び(?)ながら「使える単語」「使えるフレーズ」を集めていきます。たくさんたくさん集めたら、あれ、いつのまにかロシア語の達人！

辞書以外に補助教材として会話用プリントを配布します。学ぶ項目は以下のとおりです。

- キリル文字と発音
- 大きな声であいさつしよう
- 買い物に行ってみよう
- 乗り物に乗ろう
- おなかがすいたら...
- 自分について話してみよう
- 好きな音楽について
- 手紙を書こう（本当にロシアへ送るぞ!）

### 【評価方法】

定期試験の成績による。

### 【テキスト】

ロシア語ミニ辞典（白水社）

## ドイツ語Ⅱ

濱田義孝

### 【授業の概要】

ドイツ語の基礎を習得する。

ドイツ語は英語と同じく西ゲルマン語から出た言語で類似点も多いが、英語に比べてかなり保守的で、面倒な語形変化などがある。しかし一見やっかいそうな文法もいったん慣れてしまえば、かえって語句の関係が明確であり構文の把握も容易になる。

言葉は何よりもまず音声であるから、初めにドイツ語の発音に慣れること。そのためには教師（またはテープ）のドイツ語をよく聞いて、積極的に口を動かして真似ること。こうして繰り返し反復練習することによって、基本的なドイツ語の語句や言い回しになじみ、やさしい文を覚えていけば、週一回という短時間の学習でも、ドイツ語の基礎をマスターできるでしょう。

またドイツ語の学習を通してドイツやオーストリアの生活と文化に触れることもできる。

### 【授業計画】

テキストは全12課で、各課ともドイツ語の会話と基本的な文法事項、練習問題から構成されている。LL方式のパターン練習で基本構文や表現パターンを覚え、それをペアで行なう対話練習で実践し、段階的に表現能力を身に付けてゆく。

1課を2回の授業で修了するくらいのゆっくりしたペースで進む。

### 【評価方法】

授業での平常点と期末試験の成績を総合して評価する。

### 【テキスト】

コミュニケーションのためのドイツ語（在間・田畑共著 第三書房）

## ロシア語Ⅱ

杉本一直

### 【授業の概要】

ロシア語Ⅰに引き続き、ロシア語の基礎を学びます。ロシア語Ⅱでは、基礎的な文法事項の習得に重点をおきます。

### 【授業計画】

毎回ひとつの重要な文法事項をクローズ・アップし、ひとつづつじっくり習得していきます。

取り上げる文法事項の主なものは以下の通り。

- ・動詞の過去形
- ・名詞の前置格
- ・名詞の対格
- ・名詞の生格
- ・不完了体と完了体
- ・関係代名詞と関係副詞

### 【評価方法】

定期試験の成績による。

### 【テキスト】

ロシア語ミニ辞典（白水社）

## 英語海外セミナー

担当者未定

### 【授業の概要】

語学学習と異文化体験を目的とする、アメリカ北東部のウェスト・バージニア大学における海外英語研修プログラム。全学を対象に実施される。参加者は、キャンパス内の大学寮等に滞在し、約3週間の集中授業を受ける。週末のホームステイ、小旅行、現地学生および留学生との交流なども用意されている。出発前に行われる数回のオリエンテーションおよび事前事後のライティング課題なども含めて全てを修了すれば、本学の2単位が与えられる。

期間は2月中旬から3月中旬の約1ヶ月、定員は約30名。面接およびTOEICスコアにより選考を行う。

2003年度実施研修プログラムにおける1日(9:00~15:20)の学習内容は、以下の通り:

午前 少人数制英会話クラスと総合英語の授業

午後 アメリカ文化の授業とプロジェクト(音楽/芸術・ドラマ・ニュースレター作成などのプロジェクトから、各自が興味のある分野を選択し、英語による意見交換を行いながら仕上げていき、修了パーティーで発表する。)

### 【授業計画】

この研修は、ウェスト・バージニア大学が本学学生のために用意する特別プログラムである。(全期間の学習および生活面全ての指導は、現地教員およびプログラムスタッフが当たる。期間中、本学教職員は滞在しない。)

### 【評価方法】

ウェスト・バージニア大学授業担当者の評価および研修前後の課題から総合的に判断する。

### 【テキスト】

現地にて用意される。

### 【参考文献・資料】

オリエンテーションで指示する。

## 外国文化海外研修Ⅰ(中国)

馮富榮

### 【授業の概要】

この授業では、言語実践を通して、言葉を知り、理解し、発信し、理解されることの楽しさを体験することができる。また南京師範大学に滞在して生活することで、中国に対する単なる傍観者・観察者ではなく、客観的な目をもった共感者になることを目指す。

1. 京師範大学において3週間の中国語研修を行う。
  - ◎ 月曜～金曜の午前中は8:00～11:30まで中国語の授業。日本語のできない先生が中国語で授業するが、分かるのが不思議。内容は会話表現中心。
  - ◎ 午後は課外活動として南京市内見学(中山陵、南京博物館、玄武湖、夫子廟、南京大屠殺記念館など)を通して、南京の風俗、歴史を学び、日本語学科の学生との交流会などを通して中国人同世代の人の考え方や生活を学ぶ。
  - ◎ 夜は予習復習に追われる。みんな教室に集まって、黙々と勉強。
  - ◎ 土曜と日曜は言語実践の日。南京の街へ飛び出そう!
  - ◎ 風光明媚な「瘦西湖」で名高い揚州へ、庭園で知られている蘇州への一日旅行。
2. 言語文化論Ⅰの講義内容と呼応した5日間ほどの研修旅行。
3. 定員は20名程度。
4. 今年度の2月中旬から3月中旬にかけて実地する。
5. 終了者に2単位を認定する。

### 【授業計画】

4月のガイダンスで研修の内容などを説明する。後期開講科目であるが、履修登録を必要とせず、参加したことによって単位が取得できる。9月下旬、参加募集を掲示に出し、10月中旬頃に参加者を決定する。その後、説明会を2回ほど、オリエンテーションを1回実施する。詳しくは掲示を見る。2月中旬に出発し、3月中旬に帰国する。費用は25万程度。

### 【評価方法】

引率者は平常点で評価する。

### 【テキスト】

南京師範大学の研修授業の担当先生が決めるテキストを使用する。

## 米国 NPO インターンシッププログラム

榎田勝利

### 【授業の概要】

米国ワシントンD.C.にあるCivil Society Consulting Group(CSCG)との共同プログラムとして実施する。米国の民間非営利組織(NPO)でのインターンシップの体験を通して米国社会が抱える深刻な社会問題を理解し、その問題解決の方法を学ぶ。インターンシップの期間中は、一般の米国人の家庭でのホームステイをし、日常生活を体験する。インターンシップの受け入れ場所は、ワシントンD.C.および周辺地域で、学生の関心分野、英語力、専門的知識、経験等を考慮し、受け入れ団体を定める。実践の場を通して、異文化コミュニケーション能力と情報技術能力の向上を図り、学生の将来のキャリア形成の一助ともなる機会を提供する。

(活動可能な分野) 老人、児童・青少年、自然・環境、識字教育、障害者、家族、ホームレス、ジェンダー、文化・芸術、スポーツ、バイリンガル教育、外国人支援、国際交流・国際協力、博物館・美術館、図書館、その他。

(米国側協力団体) Civil Society Consulting Group(CSCG)

### 【授業計画】

(事前研修)・インターンシップの活動分野の決定・日米のNPO、ボランティア団体等の現状学習・日本のNPO、ボランティア団体へフィールドワーク・英会話のトレーニング・米国側ディレクターによる合宿オリエンテーション

(現地プログラム)・オリエンテーション合宿・基本的に月曜から金曜までの5日間のインターン・1日特別研修プログラム・インターンシップの体験報告書の作成と提出・評価会、修了式、さよならパーティ(事後研修)・フォローアップ研修、報告書作成

### 【評価方法】

現地での評価(受け入れ団体、ホストファミリー等と報告書)を考慮し全体評価を行う。

## 外国文化海外研修Ⅱ(韓国)

曹述燮

### 【授業の概要】

本学の姉妹校の一つである韓国の大邱カトリック大学で、韓国の文化や言語などの研修を積む。本研修のために姉妹校からは少人数制の語学授業、陶磁器工芸・伝統音楽・伝統料理などの韓国文化に対する講義と実習、そして両校の学生交流、ホームステイなどの課外活動を含む特別のカリキュラムが編成されている。と同時に本研修には姉妹校での研修を前後して慶州市、独立記念館、ソウル市への旅行などのプログラムも企画されている。

本研修を通じて参加学生たちは、良好に組まれたカリキュラムから韓国に対する知識を習得すると同時に、多様な韓国・韓国人を直接体験し自ら触れあうことで新世紀のパートナーとしての韓国の理解を深める。

期間:  
夏期休暇の8月中の3週間前後

内容:

1. 語学研修
  - a. 14日間、午前中、1日3時間(2コマ)授業
  - b. 現地教員による少人数制の授業で韓国語の発音、文法、文型、会話などの練習
  - c. 初級と中級のクラス編成予定で初心者も授業参加可
2. 韓国文化研修
  - a. 午後週1~2回
  - b. 専門家による講演・指導と質疑応答
  - c. 伝統文化実演の鑑賞(古典劇、音楽など)
  - d. 自己参加型の実習(工芸・料理、舞踊など)
3. その他の各種の課外活動

### 【授業計画】

本研修参加のための数回の事前研修と事後研修が予定されている。事後報告書をまとめる。

### 【評価方法】

現地教員およびプログラムスタッフ、そして引率教員による総合評価による。

### 【テキスト】

特になし

## スポーツ特殊講座（スクーバダイビング）

杉山 和

### 【授業の概要】

「海の中」の自然を体験し、より視野を広める、スクーバダイビングに必要な初級のライセンスを取得し、生涯スポーツの実践へつなげる。

### 【授業計画】

〔スクーバダイビング〕

#### 1. 期日

プール実習 平成16年9月6日（月）～11日（土）  
この期間中に時差をつけて3日間実施します。

海洋実習 平成16年9月14日（火）～9日17日（金）  
3泊4日

第1回説明会 平成16年5月19日（水）5限目

第2回説明会 平成16年7月17日（土）10：00～

#### 2. 場所

プール実習 ロゴダイバーズ 室内プール（一社）

海洋実習 沖縄県 伊江島

#### 3. 諸経費

実習費 約50,000円（講習費、テキスト代、申請料）

用具代 約50,000円（重器材レンタル代、個人器材）

海洋実習費 約78,000円（交通費、宿泊費）

その他 約30,000円（ウェットスーツ希望者のみ）

#### 4. 定員 約20名

\*諸経費については、15年度のものでありますので変更になる場合があります。

\*説明会には必ず参加すること。

### 【評価方法】

1. 実習中の技術の上達度と、実習に対する取り組み方。
2. 実習期間中、欠席した場合は単位が認められません。

## スポーツ特殊講座（スケート）

松田秀子

### 【授業の概要】

スケートを通して、基礎的技術の向上と、知識の習得を目標とし、楽しさを学び生涯スポーツの実践へつなげる。

### 【授業計画】

〔スケート〕

#### 1. 期日

実習 平成17年2月2日（水）・3日（木）

4日（金）・7日（月）

8日（火）・9日（水）

計6日間 午前中のみ

#### 2. 説明会 平成17年1月12日（水）12：30～13：15

実習に必要な諸手続きを行ないますので、必ず参加すること。

#### 3. 場所 名古屋スポーツセンター（大須）

#### 4. 実習費 7,200円

#### 5. 定員 40名

### 【評価方法】

出席状況と実習中の技術の上達度により総合評価する。

## スポーツ特殊講座（ボウリング）

松田秀子

### 【授業の概要】

ボウリングを通して、基礎技術の向上と知識の習得を目標とし、生涯スポーツの実践へとつなげる。

### 【授業計画】

〔ボウリング〕

#### 1. 期日

実習 平成16年9月8日（水）・9日（木）

10日（金）・13日（月）

14日（火）・15日（水）

計6日間 午前中のみ

#### 2. 説明会 平成16年7月7日（水）12：30～13：15

実習に必要な諸手続きを行ないますので、必ず参加すること。

#### 3. 場所 星ヶ丘ボウル

#### 4. 実習費 6,000円（15年度のものでありますので変更する場合があります。）

#### 5. 定員 40名

### 【評価方法】

出席状況と実習中の技術の上達度により総合評価する。

## 研究技法 I (データ解析)

太田浩司

### 【授業の概要】

この講義では調査によって収集されたデータをSPSSという統計パッケージを利用して解析する手法を紹介する。扱う統計手法は記述統計、ピアソン積率相関、T-検定、分散分析、重回帰分析を予定している。特にデータ分析の結果の読み方と解釈の仕方に焦点を置く。講義の詳しい内容は最初の授業で知らせる。

### 【授業計画】

学期の最初に提示をする。

### 【評価方法】

出席、学期末データ分析ペーパー。

### 【テキスト】

未定

### 【参考文献・資料】

パソコンによるデータ解析 (新村秀一著 講談社ブルーバックス)

## 国際社会特別講義V (比較政治論)

西尾林太郎

### 【授業の概要】

東アジアにおける国際体系の変化と中国、韓国、日本の近代史は深く連動しながら展開した。この点を考慮しつつ、政治的近代化論を軸として、中・韓・日3国の近代史と現代の政治システムについて比較分析することを、本講義の目的とする。また、その結果をふまえて、“アジア的国家”と西欧近代国家との比較も試みたい。

### 【授業計画】

- 1 「沖縄」からみた近代日本～プロローグに代えて～
- 2 伝統的東アジアの国際秩序
- 3 科挙官僚制と中国の近代化
- 4 両班(ヤンパン)と李氏朝鮮の近代化
- 5 徳川幕藩体制と日本の近代化
- 6 アメリカの発展と太平洋進出
- 7 “アジア的国家”とは何か?
- 8 イギリス、ドイツ、フランスにおける政治的近代化
- 9 stateとnation
- 10 1950年代～80年代における中国、韓国の政治と社会

### 【評価方法】

出席状況とレポートによる。

### 【テキスト】

特に定めない。随時、資料を配布する。

### 【参考文献・資料】

1. *Asian Power and Politics: The Cultural Dimensions of Authority* (Lucian W.Pye Harvard Univ. Press)
2. ステイトとネイション——近代国民国家と世界経済の政治経済学—— (佐々木隆生『経済学研究』VOL.47～50、北海道大学経済学部、1997～2000年、に連載)

## 地域社会特別講義IV (地域文化論)

谷沢 明

### 【授業の概要】

「風土・歴史・文化を生かした地域づくり」をテーマとした事例研究の講義をする。併せて、受講生によるプレゼンテーションも行なう。

### 【授業計画】

1. 北海道池田町：ワインによる地域づくり
2. 大分県大山村：「村おこし」の元祖
3. 長野県南木曾町：「町並み保存」の元祖・妻籠宿
4. 石川県金沢市：城下町の歴史を生かした景観形成
5. 山口県萩市：城下町の歴史を生かした景観形成
6. 北海道函館市：港町の歴史を生かした都市づくり
7. 長崎県長崎市：港町の歴史を生かした都市づくり
8. 北海道小樽市：小樽運河保存問題と都市景観保全
9. 福岡県柳川市：掘割を生かした環境形成
10. 滋賀県近江八幡市：八幡堀の保全とまちづくり
11. 岐阜県八幡町：水の恵みを生かした地域づくり
12. 受講生による課題の成果発表

### 【評価方法】

「風土・歴史・文化を生かした地域づくり」をテーマに、夫々が該当地区を1箇所取材して事例研究を行い、その成果をパワーポイントで作成し、発表・提出する。成果物は、CDRで提出すること。評価は成果物CDRとその発表、及び平生の授業態度で行なう。

### 【テキスト】

テキストは特に使用しないが、次の参考文献を使用する。  
まちづくりの実践 (田村明 著 岩波新書)  
町並みまちづくり物語 (西村幸夫 著 古今書店)  
歴史的文化的遺産の保存・活用とまちづくり (大河直躬編 学芸出版社)  
都市の歴史とまちづくり (大河直躬編 学芸出版社)  
新・町並み時代 (全国町並み保存連盟 学芸出版社)  
インターネット等を利用して、各自が予習・復習を行なうこと。

## メディアプロデュース特別講義IV (教育メディア論)

大西 誠

### 【授業の概要】

デジタルメディア社会をむかえ、メディアの教育性が注目されている。いわゆる教材・教具から映像をベースにした番組やインターネットまで幅広いメディアの教育利用が求められている。メディアの成り立ちや歴史的発展とともにメディアの教育利用について理論と実習を通じて明らかにする。

### 【授業計画】

近年、市民が番組を制作する機会が多くなっている。取材(ロケ)映像とスタジオ映像とは、それぞれどのような特徴があり、どのように作られているのか。また、それらを効果的に組み合わせることで市民に資する番組を制作するには、どうしたら良いか。基本的なモデルを教育番組に求める。

本講では、教育メディアの歴史と理論を学ぶとともに、情報化社会におけるメディアのあり方や教育とのかかわりを、実際に放送された教育・教養番組の内容を分析し、グループ・ワークで番組を試作する。

- ・教育番組の制作過程
- ・「日本賞」教育番組国際コンクール
- ・映像制作技術(実習)
- ・インターネット交流
- など

### 【評価方法】

授業への参加度、期末の課題と作品で評価する。

### 【テキスト】

未定

## 都市環境デザイン特別講義Ⅱ（建築保存再生論）

河辺泰宏

### 【授業の概要】

西洋と日本を中心に、都市と建築の歴史的遺産について理解を深めるとともに、それらの保存・修復・復原や都市資産としての利活用の方法について論じる。

### 【授業計画】

授業は主に講義形式で進めるが、テーマによって担当を決め、報告会を行うことがある。

- 1) 破壊との闘い  
人類の蛮行と遺産保護への執念
- 2) 変りゆく保存の概念  
文化遺産保存活動の歴史とユネスコの世界遺産条約
- 3) 開発・建設の時代から維持・再生の時代へ  
建築におけるサステナビリティ
- 4) 文化財保存の論理  
日本における文化財保護の歴史
- 5) 文化財保存の事例研究  
日本・イタリア・トルコ・シリア etc.
- 6) 町並み保存の論理  
日本における町並み保存の歴史
- 7) 町並み保存事例研究  
ポローニャ・妻籠・長浜・倉敷 etc.
- 8) 近代建築保存の論理  
近代建築および近代化遺産の保存・再生の歴史
- 9) 近代建築保存・再生の技法  
保存・再生の基本理念と具体的方法
- 10) 近代建築保存・再生の事例研究  
神戸・横浜・大阪・京都 etc.

### 【評価方法】

授業や見学会への参加状況とレポート、課題発表の内容等によって決める。

### 【テキスト】

必要に応じてプリントを配布する。

## 主題講義Ⅱ

垂井洋蔵 日色真帆

### 【授業の概要】

建築のデザインの前提として、我々は制作者として、現代という時間と空間、さらに建築の作り出す場所としての都市をどうとらえるのか、そして、作ることに意味について自らの立場を表明することができなければならない。建築の制作にかかわるさまざまなキーワードをもとに、建築とそれをとりまく事象との関連を、建築分野以外の制作にかかわる視点も参考にしながら考察する。

### 【授業計画】

数人の講師による集中講義の形式をとる。講義の前提となる、問題の提示、学生による発表の後、さまざまな分野の講師による講義を行い、最終的な討論と総括を行う。

詳細なテーマは別途決定次第発表する。

### 【評価方法】

研究発表とレポートによる。

### 【テキスト】

使用しない。

### 【参考文献・資料】

講義の初めに紹介する。

## 都市環境デザイン特別講義Ⅲ（情報化建築論）

吉田邦彦

### 【授業の概要】

現在の都市・建築は、マルチメディア化とネットワーク化により著しく進展した情報化（高度情報化）によって、大きな変革が進みつつある。情報化の観点から、生活空間の変化の方向を探り、それらが今後の都市・建築のあり方およびそこでの生活にどのような影響を与えるかを論じる。

### 【授業計画】

下記のテキストを各自が読解し、ディスカッション形式で理解が深まるように講義を進める。

### 【評価方法】

分担部分の発表内容・形式、討議への参加、および課題に対するレポートなどを総合して評価する。

### 【テキスト】

- (1) シティ・オブ・ピットー情報革命は都市・建築をどうかえるかー  
(ウィリアム・J・ミッチェル著 掛井秀一他訳 彰国社)
- (2) e-トピアー新しい都市創造の原理ー  
(ウィリアム・J・ミッチェル著 渡辺俊訳 丸善株式会社)

## 文化創造総論（異文化理解と創造）

榎田勝利 島田修三 清水良典 皆川修吾

### 【授業の概要】

主体的かつ創造的な表現に必要な人間性や知的な奥行き、そして日本の伝統文化への造詣、また国際交流に必要な異文化理解や現状認識、それに実践的処理能力など、より高度な文化創造への素養や姿勢、加えて人間の感性や理性に働き掛ける心理的・社会的状態など文化創造の根元について学ぶ。

(オムニバス方式)

(島田教授) 日本文化の伝統的特質を古典文学の表現を通して学び、日本人が歴史的に培った固有性およびグローバルな普遍性への志向を探る。

(清水教授) 現代日本における多様化しグローバル化した文化状況を現代文学の表現を通して学び、日本固有の文化創造の可能性を考える。

(皆川教授) 地球存続に必要なグローバル共生文化の涵養プロセスと共生文化の理念を軸とした異文化理解や現状認識の術を学ぶ。

(榎田教授) 国際交流の実践に必要な素養や姿勢を学び、創造されつつあるグローバル市民社会の現状を検証し、発展的に将来像を探る。

### 【授業計画】

- 第1回 日本古典文学における伝統と文化の意識の発生
- 第2回 日本古典文学における中国文学の受容とその独自の再編
- 第3回 日本古典文学における文化的独創性の獲得
- 第4回 近代文学の文体について
- 第5回 言文一致運動期の文体模索について
- 第6回 現代文学の文体実験について
- 第7回 社会科学としての文化論：文化を分析概念として使う
- 第8回 国際社会の変容：価値体系の地球規模の共有化
- 第9回 国際秩序の制度化過程：歴史の視野とリアリズムを通しての現状認識
- 第10回 国際社会の変容とシビリアン・パワー
- 第11回 シビリアン・パワーとしてのNGO
- 第12回 シビリアン・パワーの現状と将来

### 【評価方法】

出席点および各教員の講義ごとに1200字のレポートを課し、総合的に評価する

### 【テキスト】

授業中に適宜、プリントを配布する

### 【参考文献・資料】

各講義ごとに授業中に指示する

## 詩歌創作理論Ⅰ

荒川洋治

### 【授業の概要】

韻文作品を成立させる方法論や、その表現技術を支える修辞学等の創作に関わる基礎的な理論を取り上げ、どのように創作理論が実際の韻文テキストを構築していくか、という問題を創作のプロセスと関連させながら考えていく。

### 【授業計画】

現代詩前期（明治・大正・昭和）の詩論を読む。

- ・漢詩、和歌、俳諧の詩学
- ・岩野泡鳴の詩論
- ・萩原朔太郎の詩論
- ・西脇順三郎の詩論
- ・小野十三郎の詩論
- ・伊藤信吉の詩人論
- ・武者小路実篤と詩語

### 【評価方法】

出席状況とレポートによる。

### 【テキスト】

使用しない。

### 【参考文献・資料】

- 日本文学史（小西甚一著 講談社学術文庫）
- 伊藤信吉著作集第4巻（沖積舎）
- 武者小路実篤詩集（角川文庫）
- 詩を読む人のために（三好達治著 岩波文庫）
- 詩とは何か（嶋岡農著 新潮選書）

## 散文創作理論Ⅰ

三木卓

### 【授業の概要】

近代・現代の代表的な作家における小説作法や小説観等の創作に関わる理論的な発言を検討しながら、それらが実際の小説作品の上にもどのような表現として反映されているか、という問題を解析的に考えていく。

### 【授業計画】

- 第1回 小説の創造について
- 第2～6回 近代小説の変遷
- 第7～11回 近代小説の諸理論
- 第12回 総括と議論

### 【評価方法】

皆出席を原則とする。出席ならびに、受講態度、議論に臨む姿勢、レポート内容等を総合的に評価する。

### 【テキスト】

開始時に指示する。

### 【参考文献・資料】

同上

## 詩歌創作理論Ⅱ

荒川洋治

### 【授業の概要】

韻文作品を成立させる方法論・技術論・修辞学に関する体系的理論のうち、主として現代詩に関する代表的なものを検討すると同時に、そうした創作理論と現代詩のテキストとの相互性を多角的に検証し、理論と実作の有機的な関係をとらえる。

### 【授業計画】

戦後の詩論を読む。

- ・小野十三郎の詩論
- ・田村隆一の詩論
- ・高見順「三人の詩について」
- ・粟津則雄の現代詩史

### 【評価方法】

出席状況とレポートによる。

### 【テキスト】

使用しない。

### 【参考文献・資料】

- 現代詩手帖（小野十三郎著 創元社）
- 高見順全集第16巻（勁草書房）

## 散文創作理論Ⅱ

三木卓

### 【授業の概要】

リアリズム理論をはじめとする、近代・現代の体系的な小説創作理論を検討し、創作主体の姿勢・素材の選択・主題による素材の再構成・プロットの構想・登場人物の設定等の小説を成立させる諸問題との関係を考えていく。

### 【授業計画】

- 第1回 現代小説の諸問題
- 第2～6回 リアリズムの手法ならびに理論
- 第3～11回 脱リアリズムの手法ならびに理論
- 第12回 総括と議論

### 【評価方法】

皆出席を原則とする。出席ならびに、受講態度、議論に臨む姿勢、レポート内容等を総合的に評価する。

### 【テキスト】

開始時に指示する。

### 【参考文献・資料】

同上

## 映像創作理論 I

若松孝二

### 【授業の概要】

多くの創作表現ジャンルの中で、映画という動く映像表現の際立った特性を、その制作方法に関わる基礎的な理論および技術を通して考える。教材として、日本・外国映画の代表的な作品を用い、具体的な検討をしていく。

### 【授業計画】

映画製作のための作品分析と技法を学ぶ

1. 映画を作ることは？
2. 「寝盗られ宗介」鑑賞
3. 同作品の分析と技法の解明
4. 「エンドレスワルツ」鑑賞
5. 同作品の分析と技法の解明
6. 「キスより簡単」鑑賞
7. 同作品の分析と技法の解明
8. 「天使の恍惚」鑑賞
9. 同作品の分析と技法の解明
10. 「狂走情死考」
11. 同作品の分析と技法の解明
12. 映像の表現とカメラ位置について
13. シナリオの作成方法

### 【評価方法】

作品を分析したレポートで評価する

## 映像創作理論 II

若松孝二

### 【授業の概要】

映画の創作理論として、モンタージュ理論・リアリズム理論・フォトジェニー論等多くの歴史的成果が挙げられるが、これらをつぶさに検討しながら、現代映画が時代社会や、そこに生きる人間を映像化していく新たな理論の可能性について考えていく。

### 【授業計画】

映画とテレビの表現方法の相違、海外での製作、プロデューサーの役割について探究する。

1. テレビドラマ「ウェディング・ベル」の鑑賞と分析
2. 映画とテレビ製作との相違について
3. 「シンガポール・スリング」鑑賞
4. 海外での映画製作の実態について
5. 「愛のコリーダ」鑑賞
6. プロデューサーの役割について
7. 映画の予算の組み立て方
8. 俳優を指導する方法
9. シナリオの役割について

### 【評価方法】

作品を分析したレポートで評価する。

## ライフ・ライティング実作演習（随筆・自分史）

清水良典

### 【授業の概要】

3週間程度の限定された期間で、随筆あるいは自分史の実践的な創作を試み、ワークショップ作品として提出する。

### 【授業計画】

講義内で文章を書きながら、そのつど相互批評をしていくが、第10回までに各自のモチーフに従った作品（10～20枚程度）を執筆提出する。

- 第1回 ライフ・ライティングとは何か
- 第2・3回 「記憶」を書く
- 第4回 相互批評
- 第5～7回 文体づくりの試み
- 第8・9回 相互批評
- 第10～11回 提出作品の相互批評
- 第12回 全体講評

### 【評価方法】

集中講義形式なので、皆出席を原則とし、提出された作品の質によって評価する。

なお、優秀作品は、大学院ホームページ等で公開する。

### 【テキスト】

自分づくりの文章術（清水良典著 ちくま新書）

### 【参考文献・資料】

新作文宣言（梅田卓夫著 ちくま学芸文庫）

## フィクション実作演習 I（短篇小説）

清水良典

### 【授業の概要】

3週間程度の限定された期間で、短篇小説の実践的な創作を試み、ワークショップ作品として提出する。

### 【授業計画】

第10回までに、短篇小説（20～30枚程度）を提出する。

- 第1回 短篇小説の特質
- 第2～6回 「描写」の練習
- 第7～9回 短篇小説の技術を読む
- 第10～12回 相互批評と講評

### 【評価方法】

集中講義形式なので、皆出席を原則とし、提出された作品の質によって評価する。

なお、優秀作品は、大学院ホームページ等で公開する。

### 【テキスト】

戦後短篇小説再発見10 表現の冒険（講談社文芸文庫）

### 【参考文献・資料】

戦後短篇小説再発見1～18（講談社文芸文庫）

## フィクション実作演習Ⅱ(童話・ファンタジー)

酒井晶代

### 【授業の概要】

3週間程度の限定された期間で、童話あるいはファンタジーの実践的な創作を試み、ワークショップ作品として提出する

### 【授業計画】

400字詰原稿用紙10～20枚程度の短編を完成させることを目標とする。構想から完成に至る一連の作業を通して、童話・児童文学の特質を体験的に学ぶ場としたい。また、合評会をはじめとする受講者間の共同作業と交流を通して、作品の推敲や批評の方法も身に付けていきたい。

第1回 授業の進め方、全体計画について

第2回～作品の構想・執筆・推敲

第12回 完成作品の合評会

執筆段階をいくつか区切って、課題を提出してもらう予定。授業は、各自の課題発表と相互批評を中心に進めていく。課題の執筆は自宅作業になる場合もあるので、注意すること。

### 【評価方法】

出席状況、発表内容や質疑応答の様子、課題などにより総合的に評価する。

### 【テキスト】

未定。授業時に指示する。

### 【参考文献・資料】

未定。授業時に適宜指示する。

## 現代短歌実作演習

篠弘

### 【授業の概要】

3週間程度の限定された期間で、現代短歌の実践的な創作を試み、ワークショップ作品として提出する。

### 【授業計画】

定型詩としての短歌、その機能と魅力を理解するところから、表現の基本をつかむ。提出された短歌の添削と批評を実施し、現代短歌のレベルを目指した実作の指導をおこなう。

1. 定型のなりたち
2. 叙事と叙情
3. 心情の具象化
4. 写実の役割
5. 発想の単純化
6. 用語の選択
7. 比喩の活用
8. 個性の発見
9. 生活態度の反映
10. 連作の試み
11. 作品鑑賞の要点

### 【評価方法】

出席状況、授業内に提出された短歌、さらに題詠の成果等を総合的に評価する。

### 【テキスト】

生き方の表現 (篠弘著 日本放送出版協会)

疾走する女性歌人 (篠弘著 集英社新書)

## 現代詩実作演習

荒川洋治

### 【授業の概要】

3週間程度の限定された期間で、現代詩の実践的な創作を試み、ワークショップ作品として提出する。

### 【授業計画】

20編前後の「量的」詩作を試み、一冊の「詩集」を提示する。

- ・詩集の著者とは何か
- ・テーマについての考え方
- ・題名と配列
- ・割付と活字
- ・詩集の余白と美術
- ・詩集の形態と流通
- ・ことばはどこから、詩になるのか
- ・詩のつくり方と、こわし方
- ・発表と読者

### 【評価方法】

提出された作品で評価する。

### 【テキスト】

使用しない。

### 【参考文献・資料】

特になし。

## シナリオ実作演習

海上宏美

### 【授業の概要】

3週間程度の限定された期間で、シナリオの実践的な創作を試み、ワークショップ作品として提出する。

### 【授業計画】

抽象的な思考と具体的な手法を往還する発想法を練習する。

1. 主題を考える
2. 物語の語り手は誰なのかを考える
3. 叙情なのか叙事なのか語り口を考える
4. 物語の場面構成を考える
5. ジェンダーを考える
6. 台詞の役割と分量を考える
7. 始まりと終わりを考える

### 【評価方法】

出席状況と提出作品で評価する。

### 【テキスト】

使用しない。

### 【参考文献・資料】

適宜授業内で指示する。

## 創造表現特講Ⅰ（現代詩）

宮崎真素美

### 【授業の概要】

戦後から現在までの代表的な詩や詩論を主な手がかりとして、現代詩の変遷を検証するとともに、創作理論・主題・様式・修辞といった方法を多角的に検討し、詩は時代の問題をどのように作品化し得るか、あるいはどのように時代を超え得るかという創作方法について学ぶ。

### 【授業計画】

「荒地」派の詩と詩論をめぐる以下のような観点から、日本の戦後詩について考察する。

- 1 「荒地」派とは何か（1）
- 2 「荒地」派とは何か（2）
- 3 黒田三郎の詩と詩論（1）
- 4 黒田三郎の詩と詩論（2）
- 5 鮎川信夫の詩と詩論（1）
- 6 鮎川信夫の詩と詩論（2）
- 7 鮎川信夫の詩と詩論（3）
- 8 「荒地」派の周辺
- 9 「荒地」派の影響
- 10 「荒地」派をめぐる評価

### 【評価方法】

講義における発言内容、および学期末に課すレポートの双方によって総合的に評価する。

### 【テキスト】

プリント配布。

## 創造表現特講Ⅲ（現代小説）

清水良典

### 【授業の概要】

戦後から現在までの代表的な創作や評論を主な手がかりとして、現代小説の変遷を検討するとともに、文学理論・主題・モチーフ・人物造型・文体といった方法を多角的に検討し、小説は時代の病理や問題をどのように作品化し得るか、あるいはどのように時代を超え得るかという創作方法について学ぶ。

### 【授業計画】

テキスト購読と講義を主としつつ、相互の討議と調査・報告を課す。

- 第1回 現代文学概論
- 第2～4回 村上春樹を解説する
- 第5～7回 高橋源一郎を解説する
- 第8～10回 村上龍を解説する
- 第11～12回 総括と討議

なお、指定テキスト以外にも、現代文学関係の書籍を大量に読む必要がある。

### 【評価方法】

出席は皆出席を前提とする。受講態度ならびに討議の積極性、調査・報告の質等を総合的に考慮して評価する。

### 【テキスト】

- 羊をめぐる冒険（村上春樹著 講談社文庫）  
さようなら、ギャングたち（高橋源一郎著 講談社文芸文庫）  
トパーズ（村上龍著 角川文庫）  
上記以外は、指示する。

### 【参考文献・資料】

文学がどうした!？（清水良典著 毎日新聞社）

## 創造表現特講Ⅱ（現代短歌）

篠弘

### 【授業の概要】

戦後短歌から前衛短歌にいたる戦後短歌史を踏まえながら、主として1980年代以降の代表的歌人の作品を題材に、その創作理論・主題・修辞といった方法を多角的に検討し、現代をどのように作品化していくかという創作方法について学ぶ。

### 【授業計画】

- 第1回 近代短歌から現代へ
- 第2回 戦後短歌の運動
- 第3回 第二芸術論議
- 第4回 民衆詩としての短歌
- 第5回 前衛短歌の時代
- 第6回 女性歌人の興隆
- 第7回 リアリズムの変質
- 第8回 主題の獲得
- 第9回 喩的表現の拡大
- 第10回 美意識の深化
- 第11回 文体の確立
- 第12回 口語的発想
- 第13回 アイロニカルトーン
- 第14回 アニミズムの浸透
- 第15回 自然観の変容

### 【評価方法】

出席状況、授業内の数回の小レポート、学期末の課題レポート等を総合的に評価する。

### 【テキスト】

現代の短歌—100人の名歌集（篠弘編著 三省堂）

## 創造表現特講Ⅳ（童話）

酒井晶代

### 【授業の概要】

近現代の代表的な創作や児童文学論を主な手がかりとして、日本児童文学史を検証するとともに、主題・モチーフ・文体等の方法のみならず、広く社会史や文化史の視点から子ども観の変容を検討し、「子どもの文学」の創作方法とその独自性について学ぶ。

### 【授業計画】

近年刊行された児童文学関係の理論書から一冊を選び、演習形式で講読していく。児童文学研究は、作家・作品論のほか、読者論やメディア論といった社会・文化史的なアプローチなど、さまざまな文学理論の影響下でその幅を広げつつある。一方で、研究の深まりや多様化とともに、従来の「文学」の枠組みを解体する、より大きな視座の必要性も指摘されるようになってきた。理論書の講読を通して、児童文学をめぐる言説の最前線と現代的課題を考える場としたい。

- 第1回 授業の進め方、全体計画について
- 第2回 児童文学研究の現在
- 第3回～理論書の講読

授業は、レポーターが調査・分析したことをレジュメにより報告し、受講者全員で討議する演習形式で進めていく。報告のまとめとして小論文の提出を求めることがある。

### 【評価方法】

出席状況、発表内容や質疑応答の様子、課題などにより総合的に評価する。

### 【テキスト】

未定。授業時に指示する。

### 【参考文献・資料】

・研究=日本の児童文学<全5巻>（日本児童文学学会編 東京書籍）  
その他の参考文献は、授業時に適宜指示する。

## 創造表現特講V (アニメ・コミック)

とりいかずよし

### 【授業の概要】

手塚治虫作品とその影響下にある戦後漫画・コミックおよび宮崎駿などのアニメーション作品を主な題材として、広く社会史や文化史の視点も導入しながら、表象文化としてのアニメ・コミックの芸術的特質や機能を考察し、その可能性を生かした創作方法について学ぶ。

### 【授業計画】

実践的アニメ・コミックの習作

- A アニメ化するコミックとそうでないコミックとは？
- B 読者のピンポイント化するコミック界の現況

### 【評価方法】

感性、表現、創作、将来性等の巧拙

### 【テキスト】

その都度対応して作成

### 【参考文献・資料】

広範なコミック雑誌、単行本、アニメビデオ等  
※入手可能な成否を精査し検討

## 創造表現各論I (詩学)

宮崎真素美

### 【授業の概要】

近現代の詩作品を主な手がかりとして、「ことば」をめぐる哲学や現代思想の変遷も念頭に置きながら、詩の本質や詩的言語の規則・方法に関する批評的解読の方法について多角的かつ理論的に学ぶ。

### 【授業計画】

明治初期の詩作品に見られる伝統的古典詩歌に対する意識の錯綜を通して、その連続と切断のありよう、および詩学の確立への模索について、以下の観点から考察する。

- 1 『新体詩抄』の詩と思想 (1)
- 2 『新体詩抄』の詩と思想 (2)
- 3 『新体詩抄』の詩と思想 (3)
- 4 近代詩と伝統歌謡 (1)
- 5 近代詩と伝統歌謡 (2)
- 6 近代詩と伝統歌謡 (3)
- 7 『新体詩歌』の詩と思想 (1)
- 8 『新体詩歌』の詩と思想 (2)
- 9 『新体詩歌』の詩と思想 (3)
- 10 鷗外の役割

### 【評価方法】

講義における発言内容、および学期末に課すレポートの双方によって総合的に評価する。

### 【テキスト】

プリント配布

## 創造表現各論II (シナリオ論)

海上宏美

### 【授業の概要】

近現代の代表的なシナリオ作品を主な手がかりとして、放送史をはじめとするメディアの変遷も念頭に置きながら、主題・ストーリー・人物造形・台詞・場面構成などの方法を多角的に検討し、シナリオ表現の特質や創作に関する諸方法について学ぶ。

### 【授業計画】

言葉であるシナリオに基づいて表現された作品構造全体において、その基盤となるシナリオの言葉がどのような機能を担っているのかを、構造 (主義)・話法・技術 (史) などの面から探っていく。

- 1・メディアの変遷
- 2・観客の変遷
- 3・テキスト (シナリオ) の位置
- 4・話法と人称性の問題
- 5・大きな物語と小さな物語の違い
- 6・台詞における口語的表現と文語的表現の違い
- 7・描く対象 (主題) の選択が意味するもの
- 8・表象されるジェンダーについて
- 9・物語と無意識

### 【評価方法】

出席状況とレポート提出で評価する。

### 【テキスト】

授業内で適宜指示する。

### 【参考文献・資料】

授業内で適宜指示する。

## 創造表現各論III (舞台芸術論)

角田達朗

### 【授業の概要】

演劇の重要な構成要素である「舞台」の歴史的展開を主な手がかりとして、照明・音響・映像による舞台効果にも目配りしながら、演劇空間あるいは場面転換装置としての舞台の機能や特質とその解読方法について多角的かつ理論的に学ぶ。

### 【授業計画】

舞台芸術は生 (ライブ) の芸術であり、生の上演に接することなしに舞台芸術への理解を深めることは不可能である。よって、この授業では鑑賞課題を2本設定し、鑑賞ノートの提出を課すものとする。課題を鑑賞するまでは、舞台芸術の歴史について、芸能や演劇がいかにして誕生したか、上演において舞台が果たす役割はどのようなものかを概説する。鑑賞ノート提出以降は、レポートを編集したプリントをテキストとして使用し、上演への理解を深めて行く。

### 【評価方法】

鑑賞ノート・劇評

### 【テキスト】

使用しない。

### 【参考文献・資料】

授業内で適宜指示する。

## 国際交流研究 I (基礎)

榎田勝利

### 【授業の概要】

「非軍事的なあらゆる手段で途上国の人々を支援する試み」と定義されている国際協力の基礎的な理念、仕組みを検証するとともに、国際協力の新しいアプローチを作り出している背景要因を学ぶ。

### 【授業計画】

- 1 講義のねらいと評価の方法
- 2 国際協力の概念
- 3 国際協力の新しい潮流
- 4 国際協力のアクター I (国連、国際機関)
- 5 国際協力のアクター II (政府援助機関-JICA・OECD, USAID, AFD, CIDA, GTZ, DFID)
- 6 国際協力のアクター III (NGO, 欧米の NGO と日本の NGO)
- 7 国際協力の方法 I (政府開発援助-ODA)
- 8 国際協力の方法 II (地方自治体)
- 9 国際協力の方法 III (NGO, ボランティア)
- 10 開発課題と国際協力 (貧困、人口、食料、教育、保健、難民、ジェンダー、児童労働、少数民族、環境、都市スラム、開発と保存)
- 11 国際協力事業の評価
- 12 国際協力の果たす役割

### 【評価方法】

平常の出席・遅刻状況、毎回の講義の際の貢献度、最終課題レポートにて評価する。

### 【テキスト】

使用しない。毎回プリントを配付する。

### 【参考文献・資料】

国際協力 (下村・辻・稲田・深川著 有斐閣選書)  
国際協力 (功刀達郎編著 サイマル出版会)  
国際連合の基礎知識 (国際連合広報局 世界の動き社)  
政府開発援助 (ODA) 白書 (2001年版 外務省・経済協力局発行)  
UNDP・人間開発報告書 (2002年版 国連開発計画編 国際協力出版会)  
国際協力用語集第2版 (国際開発ジャーナル社)  
ボランティア学のすすめ (内海成治編著 昭和堂)

## 国際文化研究 A I (言語系基礎)

中野弘三

### 【授業の概要】

英語学の研究対象や研究分野を概観し、新言語学に基づく英語学研究的現状と言語を科学的に分析する視点を学ぶ。

### 【授業計画】

<言語の構造>

1. 文の統語構造
2. 文の意味構造
3. 語の構造
4. 語の音声構造
5. 語の意味構造

<言語の機能>

6. 文の発話の機能
7. 文の構成要素の機能
8. 文の意味解釈
9. 文と談話
10. 談話標識の機能

### 【評価方法】

出席状況・平常点・課題などにより評価する。

### 【テキスト】

英語学セミナー (高橋勝忠・福田稔 松柏社)

### 【参考文献・資料】

*Linguistics: An Introduction to Language and Communication* (4th Edition 1995 A. Akmajian, R.A. Demers, A.K. Farmer, and R.M. Harnish / The MIT Press)  
*Syntactic Theory and the Structure of English: A Minimalist Approach* (1997 A. Radford / Cambridge University Press)  
*Morphology* (1993 F. Katamba / Macmillan Press)  
*An Introduction to Functional Grammar* (2nd Edition 1994 M.A.K. Halliday / Arnold)  
*Semantics* (2000 K. Kearns / Macmillan Press)  
*Pragmatics* (1996 G. Yule / Oxford University Press)

## 国際交流研究 II (発展)

皆川修吾

### 【授業の概要】

「国際秩序の統治」と定義されているグローバル・ガバナンスの概念の国際関係における有効性と限界について研究し、国際秩序が制度化されていくプロセスを経験的に学ぶ。

### 【授業計画】

- 第1講 国際システムの構造とプロセス
- 第2講 バランス・オブ・パワーの教訓
- 第3講 集団安全保障の挫折
- 第4講 冷戦
- 第5講 権力と国際法
- 第6講 国際連合の役割
- 第7講 相互依存の管理体制の必要性
- 第8講 1) 開発政策
- 第9講 2) 世界経済
- 第10講 3) 国際協力
- 第11講 グローバル・ガバナンスの構造
- 第12講 国際秩序制度化の今後の課題
- 第13講 単位認定試験

### 【評価方法】

単位認定試験の成績と出席状況との総合評価による。

### 【参考文献・資料】

現代国際関係学 (新藤栄一著 有斐閣)  
グローバル・ガバナンス：政府無き秩序の模索 (渡辺昭夫編著 東大出版)  
グローバル化とは何か (デヴィット・ヘルド編著 法律文化社)  
現代国際関係学 (新藤栄一著 有斐閣)  
国際紛争 (ジョセフ・ナイ著 有斐閣)  
地球政治の構想 (猪口孝著 NTT出版)  
グローバル・ポリティクス (小林誠・遠藤誠治編著 有信堂)

## 国際文化研究 A II (言語系発展)

大野清幸

### 【授業の概要】

英語や日本語などにおける特定の研究対象を選択し、新言語学における特定の理論に基づき、言語を科学的に分析する実際の学び。

### 【授業計画】

- 第1講 PC実践教室において、授業計画指示など。必ず出席すること
- 第2講 PC実践教室において、認知言語学など関連分野の本物情報を検索・探索する。
- 第3講 1 学術論文などを利用して、演習を行う。

### 【評価方法】

出席状況・平常点・課題などによる。  
授業においては、基本的に、学術論文を精読し、議論する。

学期末レポート：現代英語に関する研究題材を選び、  
(1) 先行研究を調査し、  
(2) 仮説をたて、  
(3) データを採集・整理し、  
(4) 理論の枠組みで分析し、  
(5) 論文としてまとめ、提出する。

### 【テキスト】

学術論文。ただし、未定。演習を中心に行う。

※授業・課題などにおいて電子メールなどインターネットを利用しますので、インターネット利用を日常化しておいて下さい。  
理想的には、自宅においてインターネット環境を実現しておいて下さい。

### 【参考文献・資料】

認知文法論 (1995 山梨正明 ひつじ書房)  
認知言語学原理 (2000 山梨正明 ころし出版)  
認知言語学論考 No.1 (2001 山梨正明編著 ひつじ書房)  
認知言語学論考 No.2 (2002 山梨正明編著 ひつじ書房)  
現代言語学の潮流 (2003 山梨正明編著 勁草書房)  
認知意味論：英語動詞の多義と構造 (1990 田中茂範 三友社出版)  
認知意味論 (1993 George Lakoff 著 池上嘉彦・河上誓作他訳 紀伊國屋書店)  
認知意味論の原理 (1994 中右実 大修館書店)  
認知意味論の方法：経験と動機の言語学 (1995 吉村公宏 人文書院)  
認知意味論の基礎 (1996 河上誓作編著 研究社出版)  
認知言語学の発展 (2000 坂原茂編 ひつじ書房)  
認知言語論 (2000 定延利之 大修館書店)  
認知意味論の展開：語源学から語用論まで (2000 Eve E. Sweetser 著 澤田治美訳 研究社出版)  
ことばの認知科学事典 (2001 辻幸夫編 大修館書店)  
認知意味論のしくみ (2002 杉山洋介 研究社)

## 国際文化研究 B I (文化系基礎)

平林美都子

### 【授業の概要】

20世紀に入って顕著になってきた異文化接触のコロニアリズムやポストコロニアリズムなどの諸問題を、様々な文化批評理論から系統的に学ぶ。

### 【授業計画】

Frantz Fanon, Homi Bhabha, Edward Said, Stuart Hallらの主要論文を読み、コロニアリズム、ポスト・コロニアリズム理論を理解する。

- 1 Frantz Fanon とコロニアリズム
- 2 Homi Bhabha
- 3 Edward Said とオリエンタリズム
- 4 ポスト・コロニアリズム

なお、英文原書の講読が中心のため、英語力が必要である。

### 【評価方法】

出席およびレポートによる。

### 【テキスト】

Patrick Williams and Laura Chrisman eds. *Colonial Discourse and Post-Colonial Theory* (Columbia University Press)

## 国際文化研究 B II (文化系発展)

杉本一直

### 【授業の概要】

ロシア亡命者の文学作品や芸術作品を講読・鑑賞し、「国文学」「伝統文化」という概念とは対極的ないわば「脱領域」的な表現様式、あるいはグローバルな普遍性を獲得しようとした亡命者たちの創作意識を考察する。

### 【授業計画】

英文による原典講読を中心とし、あわせて文学研究の方法論を学ぶ。原典講読のテキストとして、国外からアメリカへ移住した作家のなかでもっともアメリカの読者やアメリカ人作家に愛読された作家のひとり、ウラジーミル・ナボコフの代表作『ロリータ』を使用し、ヨーロッパ文化とアメリカ文化との相克を作品のなかに読み取っていく。また、サブテキストとして、ナボコフを含めた亡命作家たちの文学について論じた研究書や、20世紀アメリカ文学におけるコスモポリタニズムについて論じた研究書等を用い、現代アメリカ文学の根底に流れる形而上の本質、つまり脱領域的(extraterritorial)本質についての理解を促す。

- 第1回 概説
- 第2回～第4回 原典講読
- 第5回 サブテキスト解説
- 第6回～第8回 原典講読
- 第9回 サブテキスト解説
- 第10回～第13回 原典講読
- 第14回 サブテキスト解説
- 第15回 総論

### 【評価方法】

学期末レポートと平常点により評価する。

### 【テキスト】

Vladimir Nabokov "The Annotated Lolita" Random House Inc.

### 【参考文献・資料】

徹夜の塊／亡命文学論 (沼野充義著 作品社)  
言語の都市 (トニー・タナー著 白水社)  
脱領域の知性 (ジョージ・スタイナー著 河出書房新社)

## 国際交流特講 I

榎田勝利

### 【授業の概要】

国際協力の主要なアクターである国連・国際開発機関、政府開発援助(OIDA)、非政府組織(NGO)の存在意義・役割・活動を研究するとともに、非営利組織の実践的なマネジメントを学ぶ。

### 【授業計画】

- 1 国際協力とは
- 2 国際協力の基本的な仕組み
- 3 国際協力活動の変遷(1) 1980年代まで  
・国連開発の十年  
・新国際経済秩序  
・ベシック・ヒューマン・ニーズ(BHN)  
・持続可能な開発の思想
- 4 国際協力の変遷(2) 1990年代～  
・人間の安全保障  
・21世紀の新開発戦略  
・包括的開発フレームワーク
- 5 開発課題への取組み(1)  
・人間の安全保障と貧困問題への取組み
- 6 開発課題への取組み(2)  
・持続可能な開発と地球環境問題への取組み
- 7 国際協力のあり方  
・オーナーシップとガバナンス
- 8 日本の援助政策(OIDA)
- 9 欧米主要国の援助政策(OIDA)  
・米国、イギリス、ドイツ、フランス
- 10 国連とNGO
- 11 日本のNGOと欧米のNGO
- 12 政府(OIDA)とNGOとのパートナーシップ

### 【評価方法】

出席状況と最終の課題レポートにて評価する。

### 【テキスト】

使用しない。毎回プリントを配付する。

### 【参考文献・資料】

世界銀行・開発金融と環境・人権問題(鷲見一夫著 有斐閣)  
ODA大綱の政治経済学・運用と援助理念(下村・中川・斎藤著 有斐閣)  
社会開発・経済成長から人間中心型発展へ(西川潤編 有斐閣選書)  
日本のODAをどうするか(渡辺利夫・草野厚著 日本放送出版会)  
人間開発戦略・共生への挑戦(マブール・ハク著 日本評論社)  
草の根環境会議・アメリカの新しい萌芽(マークグワイ著 戸田清訳 日本経済評論社)  
地球環境対策(堀内行蔵編 有斐閣)  
ハンドブックNGO(馬橋憲男・斎藤千広著 明石書店)  
NGOとは何か(伊勢崎賢治著 藤原書店)、他